

江 南 市
介護保険及び高齢者福祉
実態調査報告書

令和 8 年 8 月

江 南 市

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	2
6	調査結果の表示方法	2
II	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果	3
	あなた自身のことについて	3
1	ご家族や生活状況について	5
2	からだを動かすことについて	11
3	食べることについて	15
4	毎日の生活について	26
5	地域での活動について	40
6	たすけあいについて	54
7	健康について	62
8	認知症にかかる相談窓口の把握について	69
9	介護予防・福祉サービスについて	72
10	終末期の考え方について	87
11	高齢社会への対応について	92
III	生活機能評価等に関する分析（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）	98
1	複数の機能リスク該当者割合の分析	98
2	機能別リスク該当者割合の分析	100
IV	在宅介護実態調査結果	113
1	調査対象者様ご本人について（A票）	116
2	主な介護者の方について（B票）	134
3	介護保険サービスについて（C票）	144
V	事業所調査結果	164
	介護人材実態調査【事業所票】施設・通所系	164
	介護人材実態調査【事業所票】訪問系	171
	介護人材実態調査【職員票】訪問系	175
	居所変更実態調査【施設等票】	184
	在宅生活改善調査【事業所票】	193
VI	自由意見	197
1	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	197
2	在宅介護実態調査	200
VII	調査票	202
1	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	202
2	在宅介護実態調査	218
3	事業所調査	230

I 調査の概要

1 調査の目的

令和9年度から令和11年度までを計画期間とする第10期介護保険事業計画、高齢者福祉計画及び認知症施策推進計画の策定の基礎資料として、調査を実施するものです。

2 調査対象

- (1) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査
市内在住の要介護認定者（要介護1～5）を除く65歳以上の高齢者2,000人
- (2) 在宅介護実態調査
市内で主に在宅にて生活する要介護1～5の認定を受けている方1,000人
- (3) 事業所調査
市内の介護保険サービス等事業所118事業所
 - (i) 介護人材実態調査【事業所票】 施設・通所系
 - (ii) 介護人材実態調査【事業所票】 訪問系
 - (iii) 介護人材実態調査【職員票】 訪問系
 - (iv) 居所変更実態調査【施設等票】
 - (v) 在宅生活改善調査【事業所票】

3 調査期間

- (1) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 (2) 在宅介護実態調査 (3) 事業所調査
令和8年2月12日～3月13日

4 調査方法

- (1) 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査：郵送による配布・回収（一部聴き取り）
WEB 回答
- (2) 在宅介護実態調査：調査員の面接による聴き取り調査（一部郵送）・WEB 回答
- (3) 事業所調査：メールによる配布・回収・WEB 回答

5 回収状況

区分	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	在宅介護実態調査
配布数	2,000	1,000
回答件数（紙）	1,245	743
回答件数（WEB）	163	97
不明・無回答	9	2
有効回答件数	1,399	838
有効回答率	70.0%	83.8%
【参考】前回回答率	63.2%	73.6%

区分	介護人材実態調査			居所変更実態調査	在宅生活改善調査
	【事業所票】 施設・通所系	【事業所票】 訪問系	【職員票】 訪問系	【事業所票】	【施設等票】
配布事業所数	77	20	20	39	24
有効回答件数	68	17	100（人）	30	22

6 調査結果の表示方法

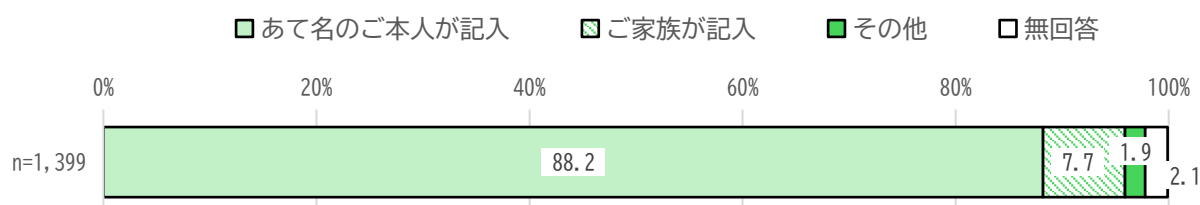
- 図表中の「n」は回答者数(あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人)を示しています。
- グラフ中の「%」は、小数第2位を四捨五入しているため、単数回答の設問（1つだけに○をつけるもの）であっても合計が100.0%にならない場合があります。また、複数回答の設問の場合（いくつでも○をつけるものなど）は「n」に対する各選択肢の回答者数の割合を示しています。
- 調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを  で網かけをしています。ただし、「n」が1桁のものは網かけしていません。
- 性別、年代別等で示しているグラフの「n」を合わせた数は、性別や年代等の無回答を除いた数であるため、全体の「n」と一致しません。
- 自由記述式の回答については、内容を損なわない範囲で一部表現を整理したうえで、抜粋して掲載しています。
- クロス集計表における圏域別区分は、次のとおりです。
 - 北部圏域：古知野北・宮田・草井・藤里小学校区在住者
 - 中部圏域：古知野東・古知野南・門弟山小学校区在住者
 - 南部圏域：古知野西・布袋・布袋北小学校区在住者

Ⅱ 介護予防・日常生活圏域二エズ調査結果

あなた自身のことについて

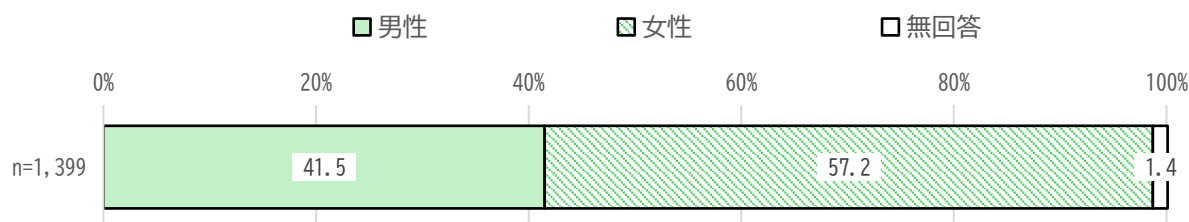
調査票の記入者はどなたですか。（○は1つ）

「あて名のご本人が記入」が88.2%、「ご家族が記入」が7.7%となっています。



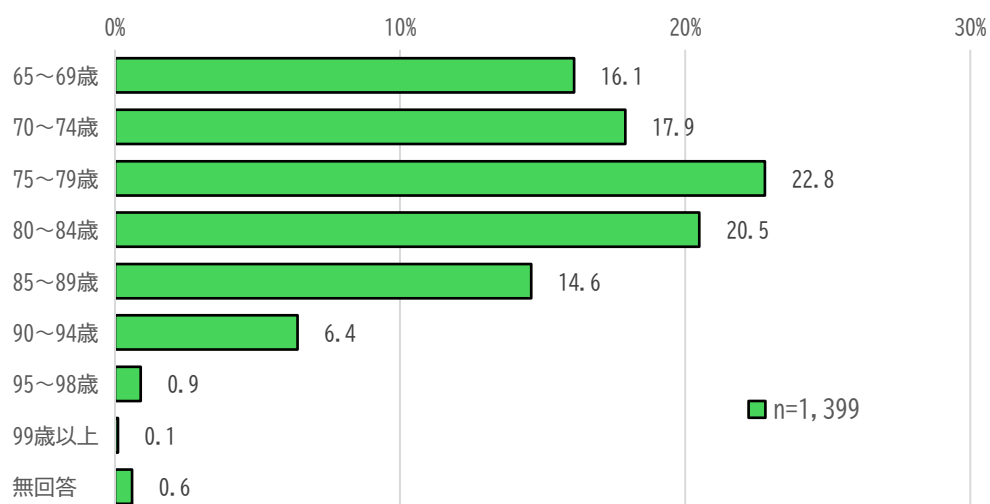
性別はどちらですか。（○は1つ）

「男性」が41.5%、「女性」が57.2%となっています。



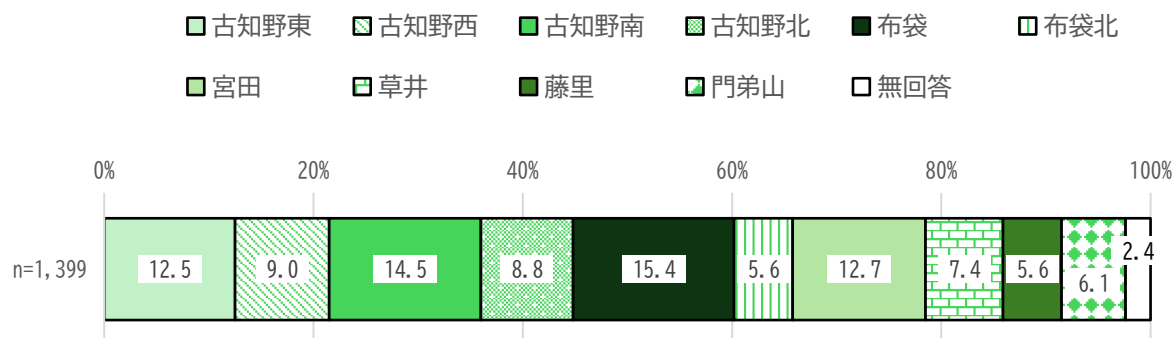
年齢はおいくつですか。（○は1つ）※令和8年1月1日現在

「75～79 歳」（22.8%）の割合が最も高くなっており、次いで「80～84 歳」（20.5%）、「70～74 歳」（17.9%）となっています。



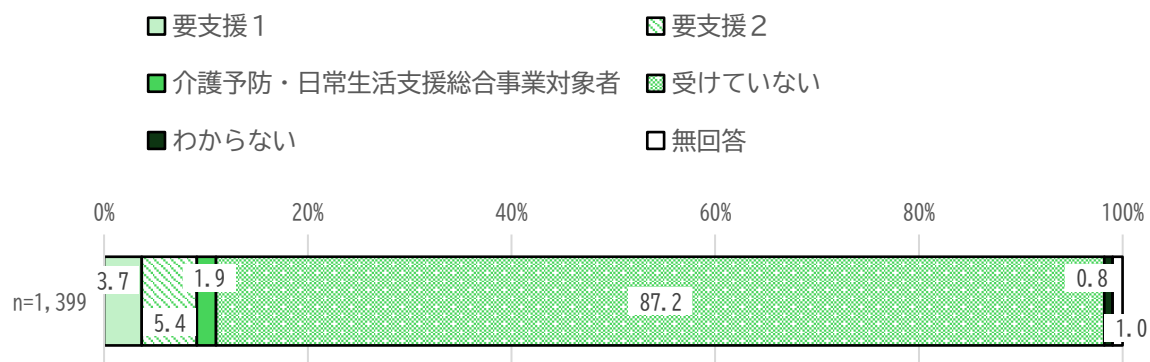
お住まいの小学校区はどちらですか。（〇は1つ）

「布袋」（15.4％）の割合が最も高くなっており、次いで「古知野南」（14.5％）、「宮田」（12.7％）となっています。



要介護認定を受けていますか。もしくは介護予防・日常生活支援総合事業対象者(※)ですか。（〇は1つ）

「受けていない」（87.2％）の割合が最も高く、次いで「要支援2」（5.4％）、「要支援1」（3.7％）となっています。

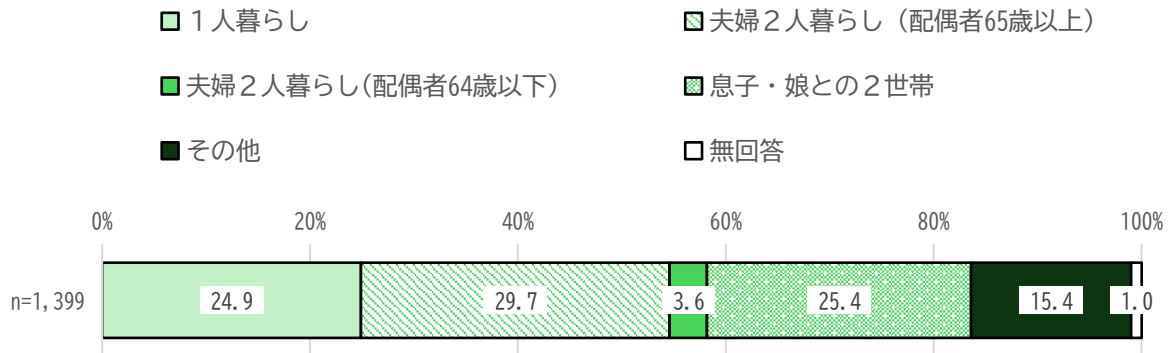


※事業対象者とは、25の質問項目で構成する日常生活に必要な機能が低下していないかを判定する「基本チェックリスト」を受けた結果、生活機能の低下がみられると判定された方。

1 ご家族や生活状況について

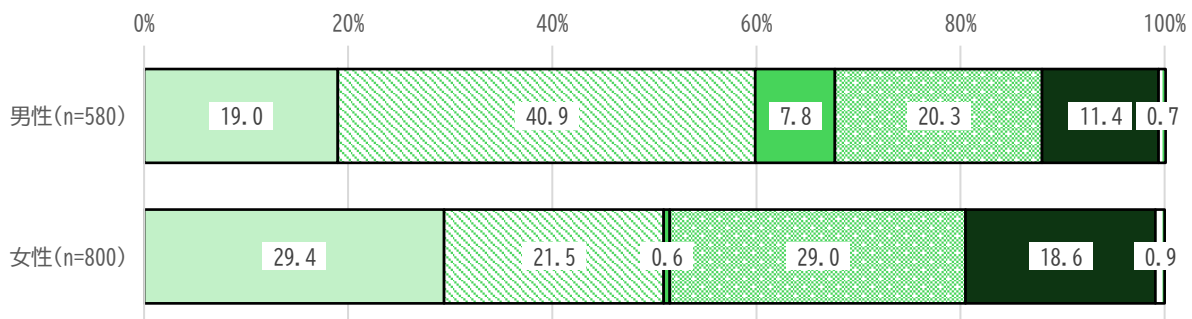
(1) 家族構成をお教えてください（○は1つ）

「夫婦2人暮らし（配偶者 65 歳以上）」（29.7%）の割合が最も高く、次いで「息子・娘との2世帯」（25.4%）、「1人暮らし」（24.9%）となっています。



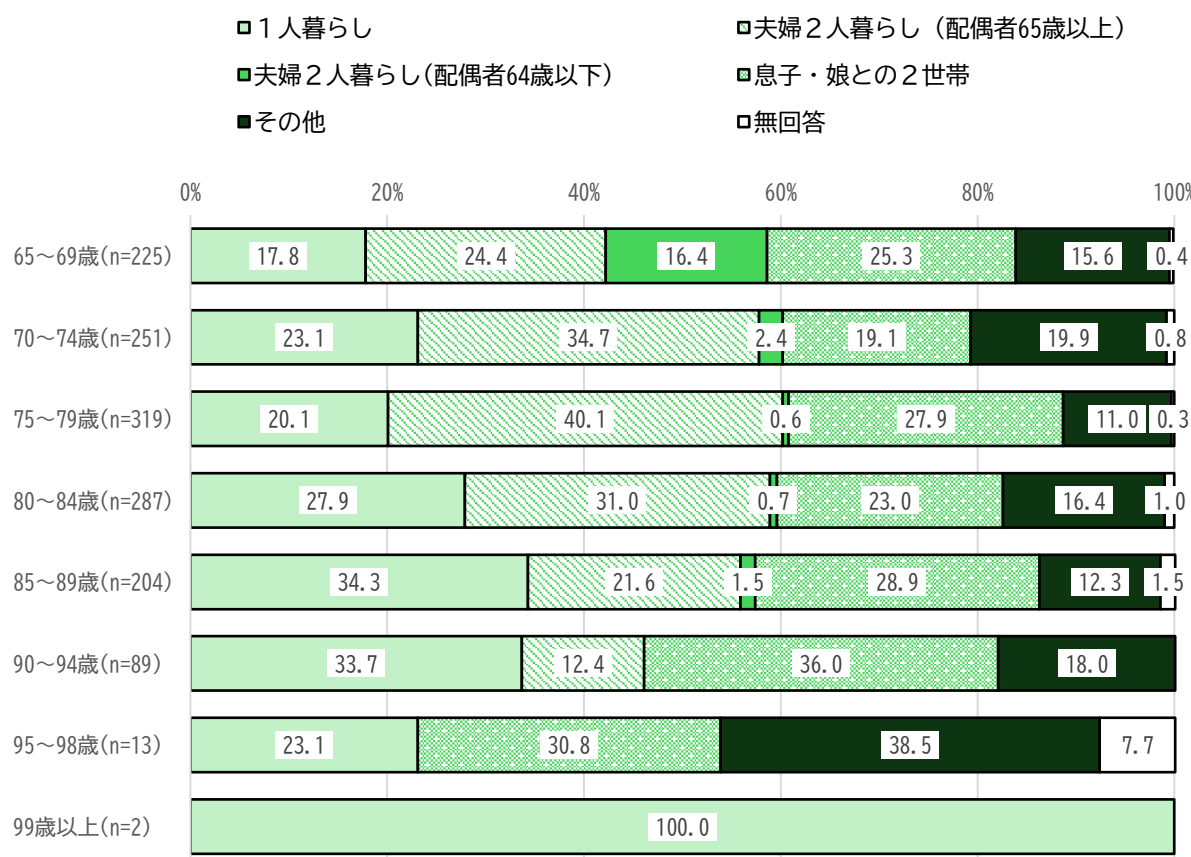
【性別】

性別では、男性で「夫婦2人暮らし（配偶者 65 歳以上）」（40.9%）、女性で「1人暮らし」（29.4%）の割合が最も高くなっています。



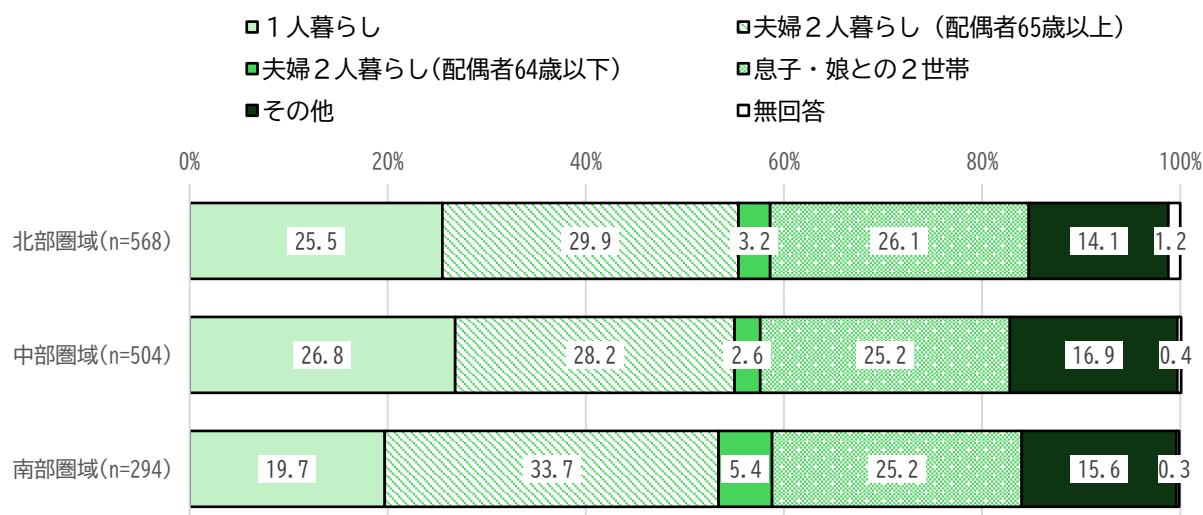
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、65～69歳で「夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）」（16.4%）の割合が高くなっています。また、75～79歳で「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」（40.1%）の割合が高くなっています。



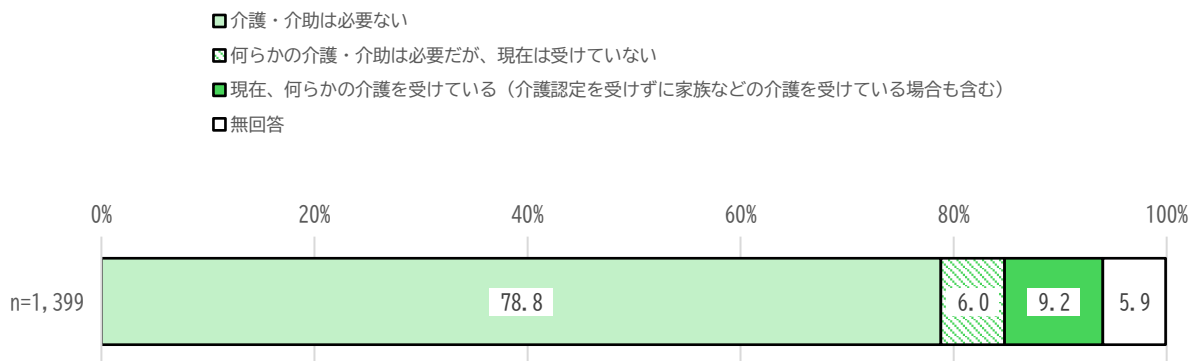
【圏域別】

圏域別では、南部圏域で「1人暮らし」（19.7%）の割合が低く、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」の割合が高くなっています。



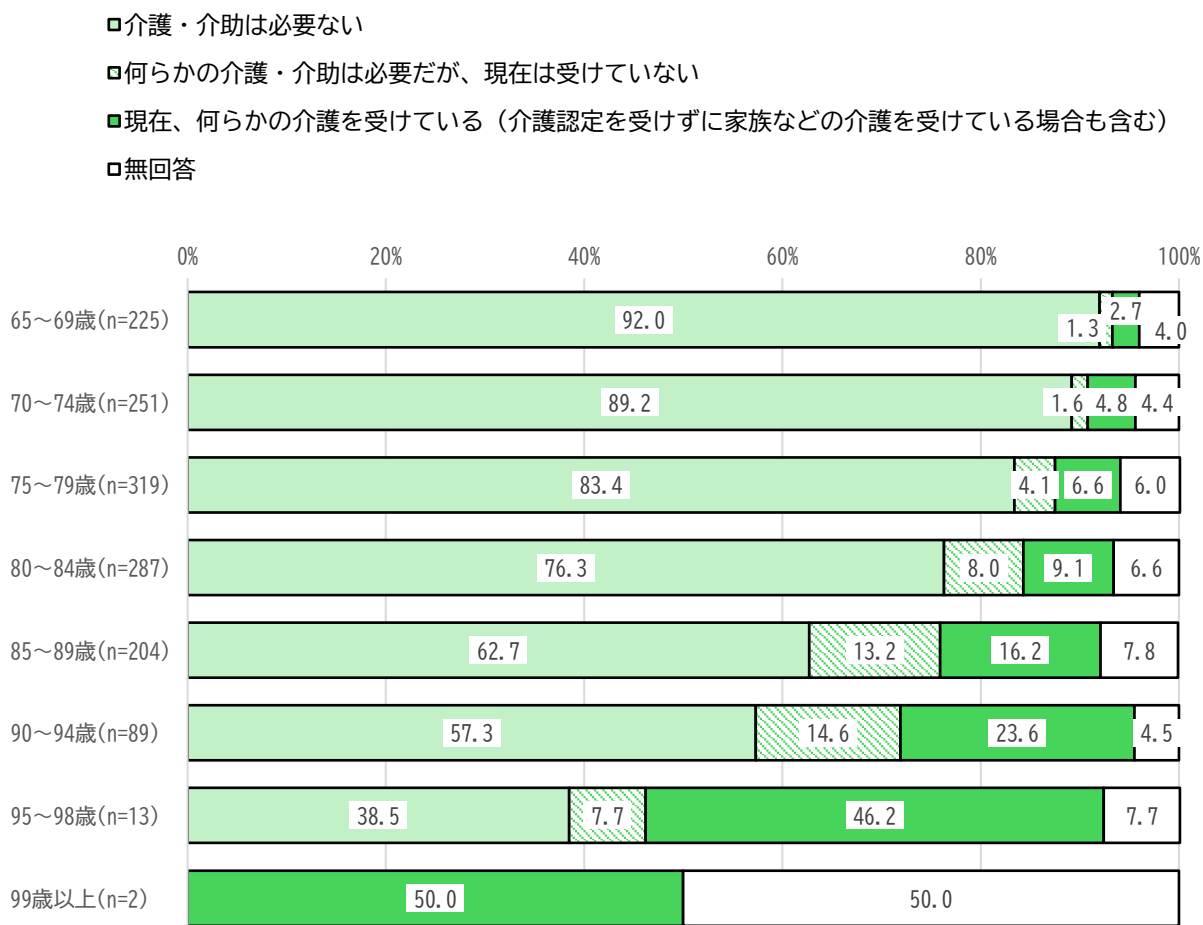
(2) 普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか（○は1つ）

「介護・介助は必要ない」（78.8%）の割合が最も高く、次いで「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」（9.2%）、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」（6.0%）となっています。



【年代別】

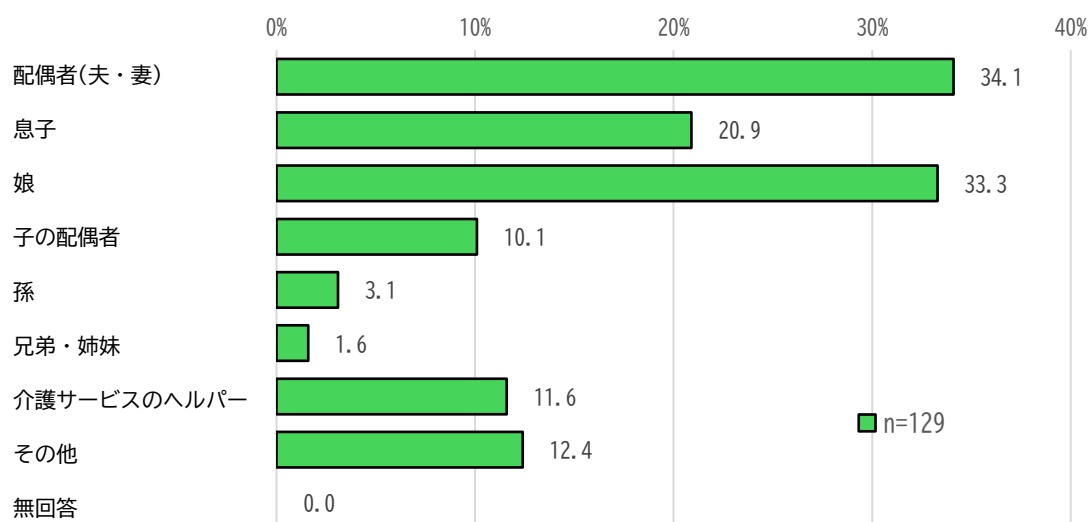
年代別では、年代が上がるにつれ「介護・介助は必要ない」の割合が低くなり、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」、「現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」の割合が高くなっています。



(2) で「3. 現在、何らかの介護を受けている」と答えた方のみ以下の質問にお答えください

(2) - 1 主にどなたの介護、介助を受けていますか (〇はいくつでも)

「配偶者(夫・妻)」(34.1%)の割合が最も高く、次いで「娘」(33.3%)、「息子」(20.9%)となっています。



【年代別】

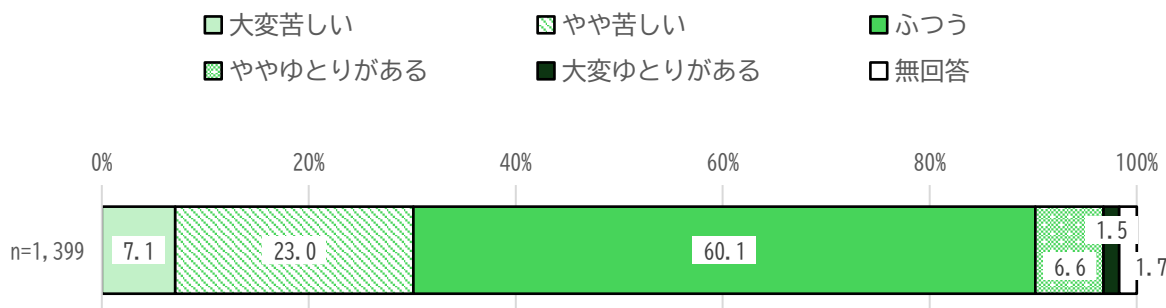
年代別では、他の年代と比べ、70～74歳で「配偶者(夫・妻)」(75.0%)の割合が高くなり、90～94歳では「息子」(47.6%)の割合が高くなっています。

単位: %

区分	全体 (件数)	配偶者 (夫・妻)	息子	娘	子の 配偶者	孫	兄弟・ 姉妹	介護サ ービス のヘル パー	その他	無回 答
全体	126	34.1	20.6	32.5	10.3	3.2	1.6	11.9	11.9	0.0
65～69歳	6	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	66.7	0.0
70～74歳	12	75.0	0.0	8.3	8.3	0.0	0.0	8.3	16.7	0.0
75～79歳	21	57.1	23.8	19.0	14.3	0.0	0.0	9.5	9.5	0.0
80～84歳	26	46.2	3.8	34.6	3.8	7.7	0.0	19.2	11.5	0.0
85～89歳	33	18.2	30.3	42.4	9.1	6.1	3.0	12.1	6.1	0.0
90～94歳	21	19.0	47.6	38.1	14.3	0.0	4.8	4.8	9.5	0.0
95～98歳	6	0.0	0.0	50.0	33.3	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0
99歳以上	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

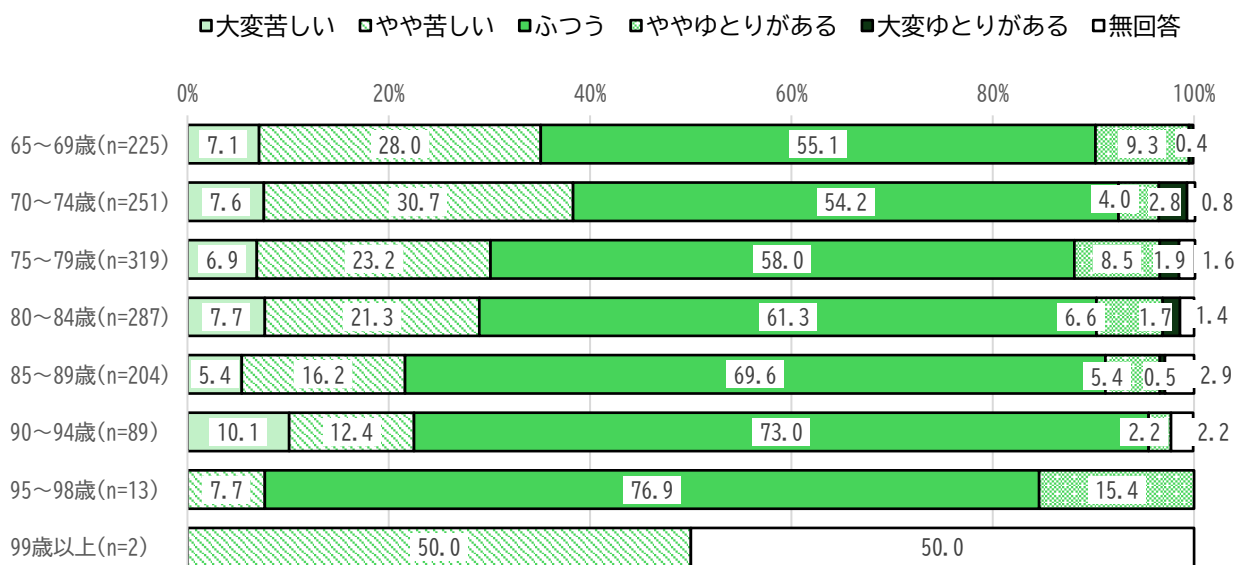
（３）現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか（○は１つ）

「ふつう」（60.1％）の割合が最も高く、次いで「大変苦しい」と「やや苦しい」を合わせた『苦しい』（30.1％）、「ややゆとりがある」と「大変ゆとりがある」を合わせた『ゆとりがある』（8.1％）となっています。



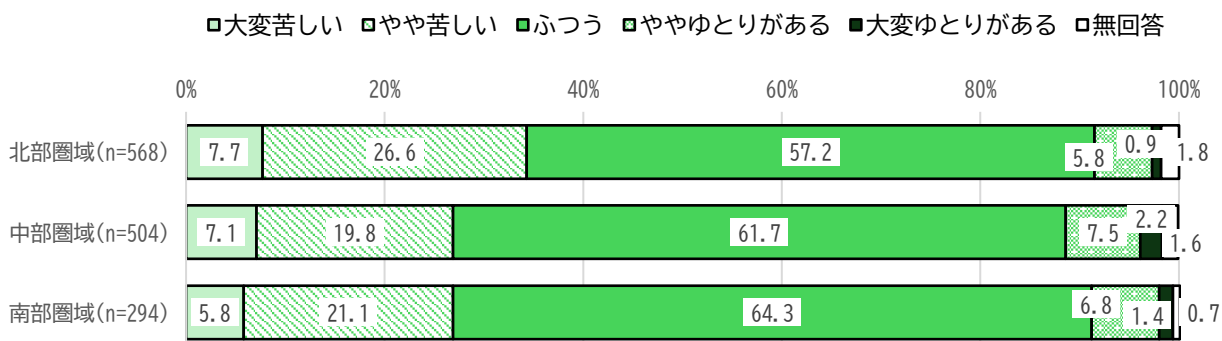
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、70～74歳で『苦しい』（38.3％）の割合が高くなっていますが、年代が上がるほど『苦しい』の割合は低くなっています。



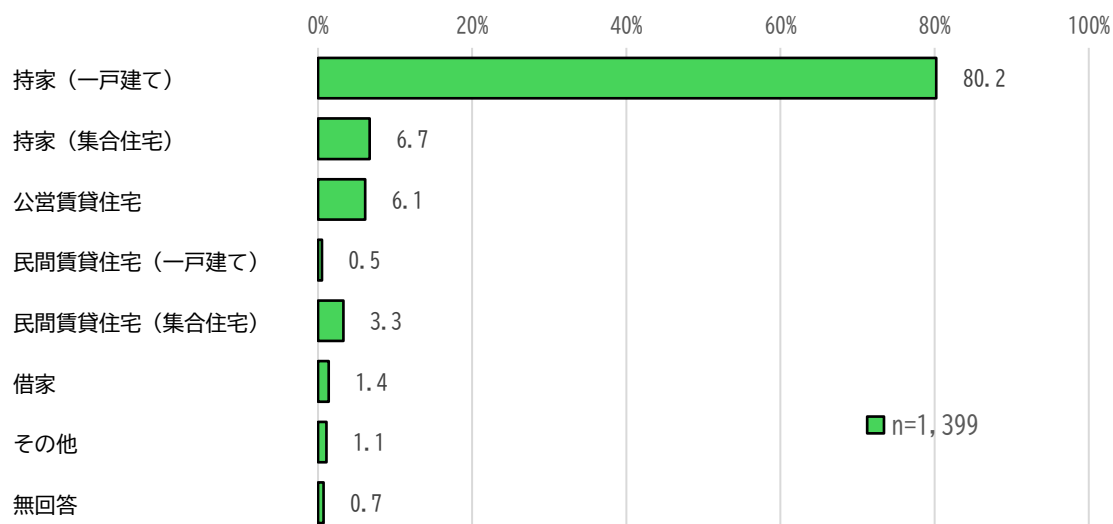
【圏域別】

圏域別では、他の圏域と比べ、北部圏域で『苦しい』（34.3％）の割合が高くなっています。



(4) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか（○は1つ）

「持家（一戸建て）」（80.2%）の割合が最も高く、次いで「持家（集合住宅）」（6.7%）、
「公営賃貸住宅」（6.1%）となっています。



【年代別・圏域別】

年代別では、すべての年代で「持家（一戸建て）」が最も高くなっています。

圏域別では、他の圏域と比べ、北部圏域で「公営賃貸住宅」（11.8%）の割合が高くなっています。

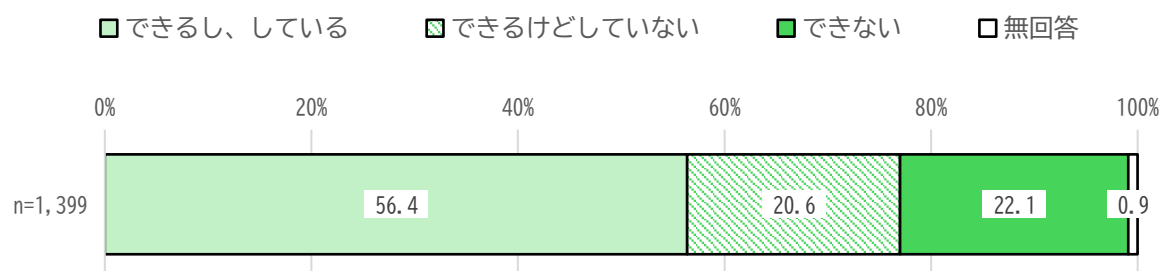
単位：%

区分	全体 （件数）	持家 （一戸建て）	持家 （集合住宅）	公営 賃貸住宅	民間 賃貸住宅 （一戸建て）	民間 賃貸住宅 （集合住宅）	借家	その他	無 回答
65～69歳	225	76.9	11.6	4.4	0.0	4.9	1.3	0.9	0.0
70～74歳	251	75.7	9.2	6.0	1.2	6.0	0.8	0.8	0.4
75～79歳	319	84.0	6.0	4.7	0.0	2.8	1.3	0.6	0.6
80～84歳	287	80.5	4.9	8.4	0.7	2.1	1.7	1.0	0.7
85～89歳	204	82.8	3.9	7.4	0.5	1.5	2.0	2.0	0.0
90～94歳	89	84.3	3.4	5.6	1.1	2.2	1.1	1.1	1.1
95～98歳	13	92.3	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
99歳以上	2	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
北部圏域	568	76.6	3.9	11.8	0.5	5.3	0.4	1.2	0.4
中部圏域	504	82.1	9.3	1.8	0.4	2.4	2.4	1.0	0.6
南部圏域	294	87.8	6.5	1.0	0.7	1.0	2.0	1.0	0.0

2 からだを動かすことについて

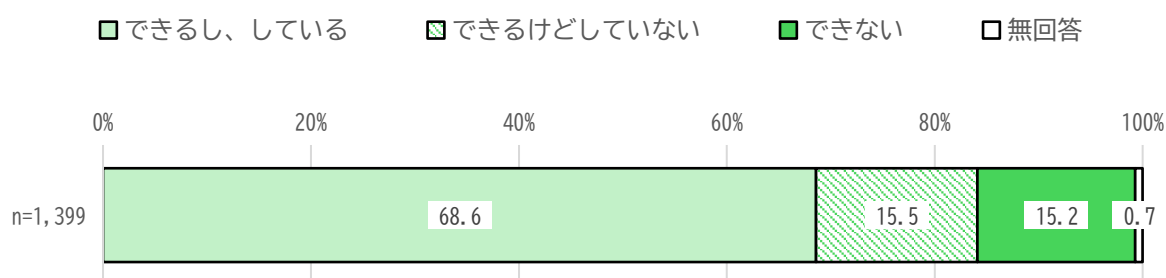
(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか (○は1つ)

「できるし、している」(56.4%)の割合が最も高く、次いで「できない」(22.1%)、「できるけどしていない」(20.6%)となっています。



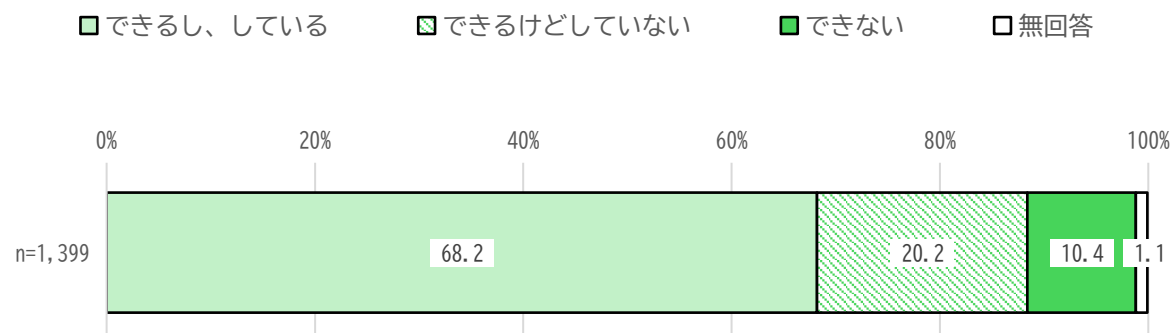
(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか (○は1つ)

「できるし、している」(68.6%)の割合が最も高く、次いで「できるけどしていない」(15.5%)、「できない」(15.2%)となっています。



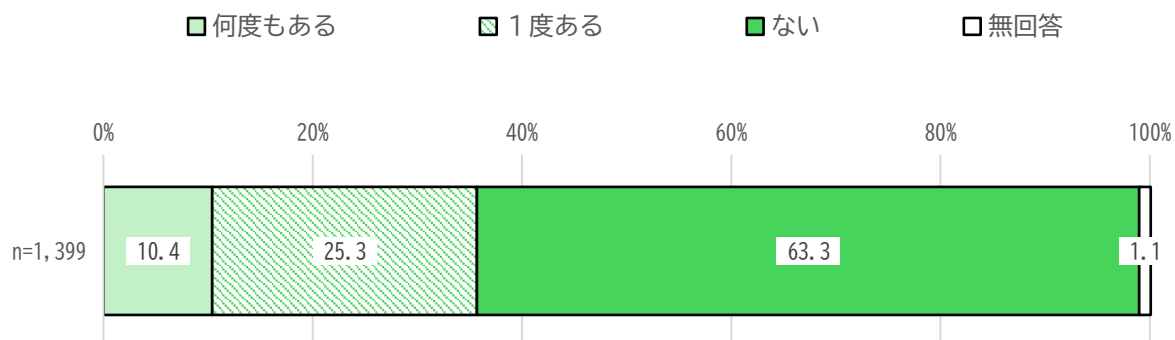
(3) 15分くらい続けて歩いていますか (○は1つ)

「できるし、している」(68.2%)の割合が最も高く、次いで「できるけどしていない」(20.2%)、「できない」(10.4%)となっています。



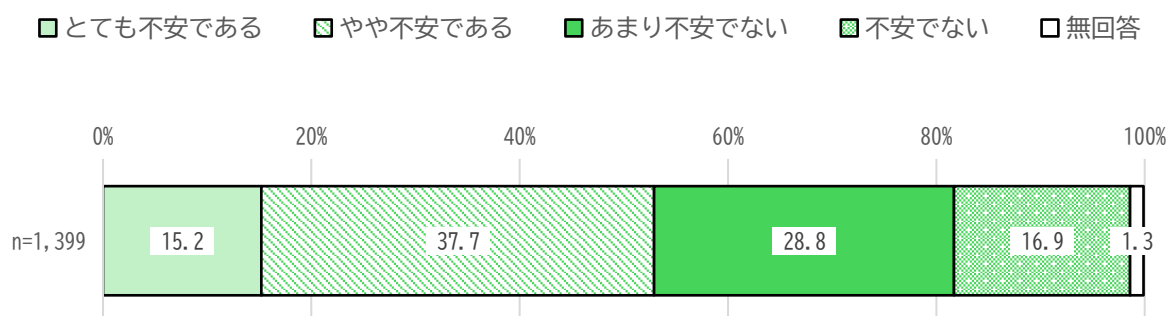
(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか (○は1つ)

「ない」(63.3%)の割合が最も高く、次いで「1度ある」(25.3%)、「何度もある」(10.4%)となっています。



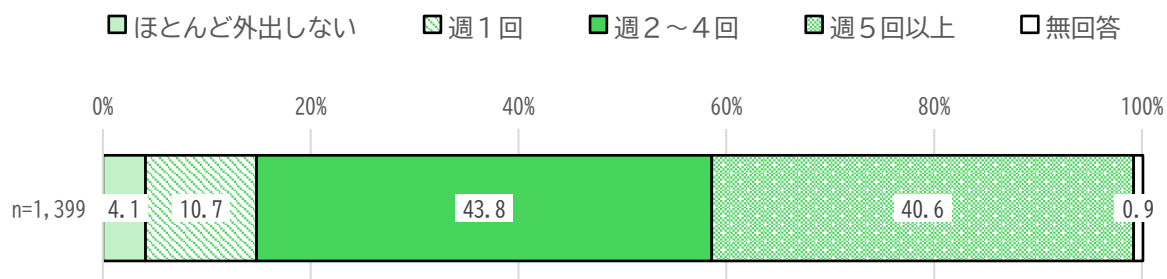
(5) 転倒に対する不安は大きいですか (○は1つ)

「とても不安である」と「やや不安である」を合わせた『不安である』が52.9%、「あまり不安でない」と「不安でない」を合わせた『不安でない』が45.7%となっています。



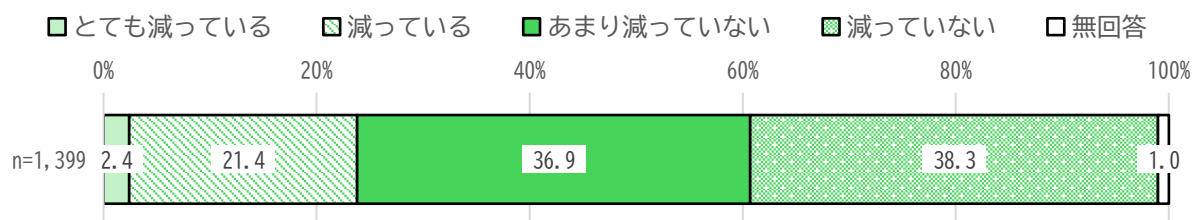
(6) 週に1回以上は外出していますか (○は1つ)

「週2～4回」(43.8%)の割合が最も高く、次いで「週5回以上」(40.6%)、「週1回」(10.7%)、「ほとんど外出しない」(4.1%)となっています。



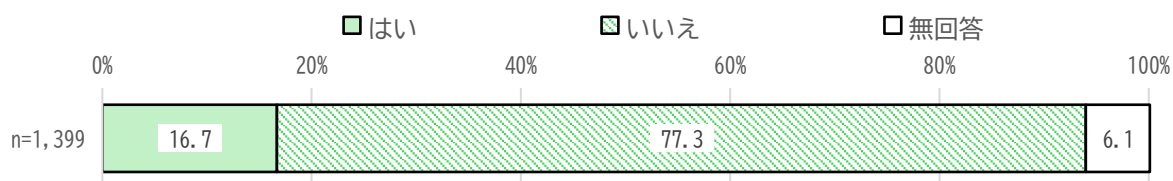
(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか (○は1つ)

「とても減っている」と「減っている」を合わせた『減っている』が 23.8%、「あまり減っていない」と「減っていない」を合わせた『減っていない』が 75.2%となっています。



(8) 外出を控えていますか (○は1つ)

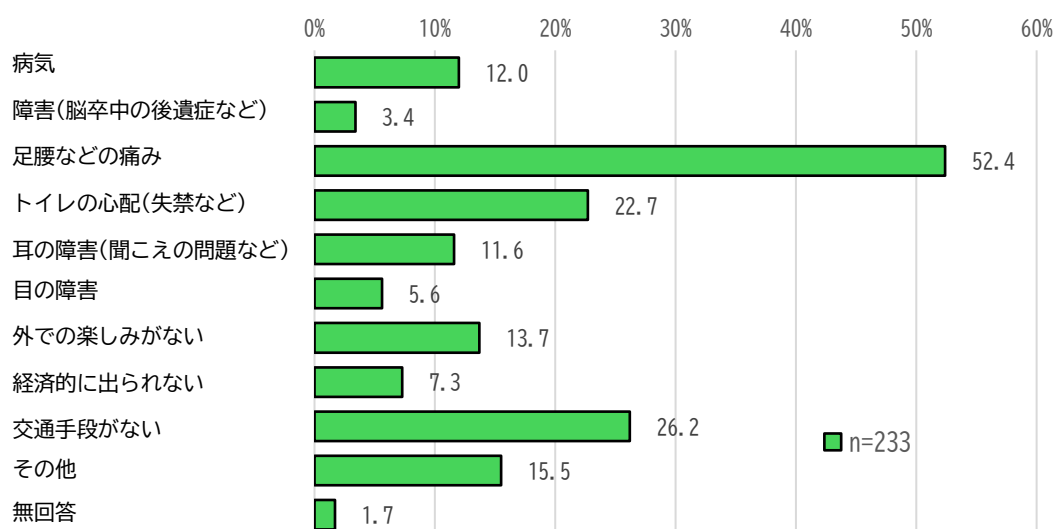
「はい」が 16.7%、「いいえ」が 77.3%となっています。



(8) で「1. はい」(外出を控えている)と答えた方のみ以下の質問にお答えください

(8) - 1 外出を控えている理由は、次のどれですか (○はいくつでも)

「足腰などの痛み」(52.4%)の割合が最も高く、次いで「交通手段がない」(26.2%)、「トイレの心配(失禁など)」(22.7%)となっています。

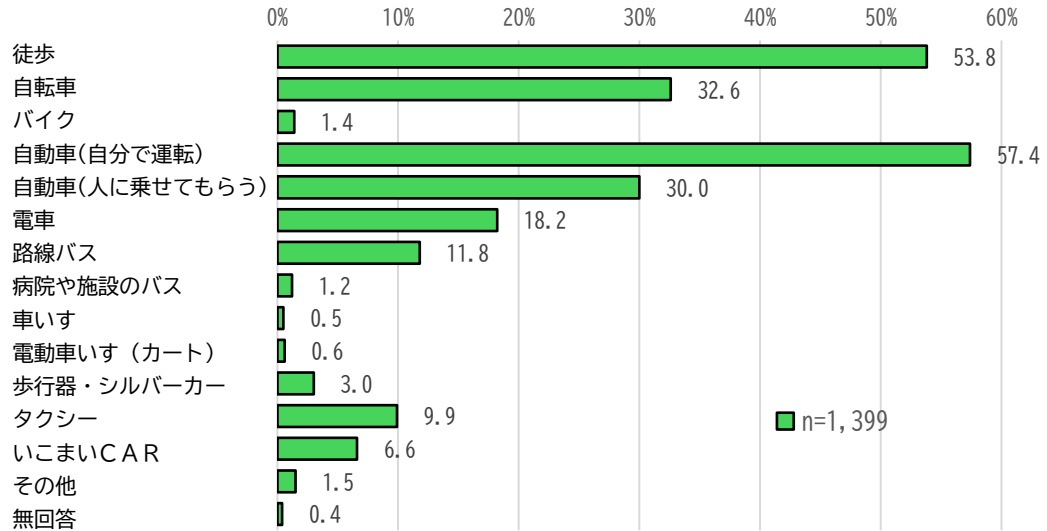


その他の主な内容

- ・新型コロナウイルス感染症やインフルエンザがこわい
- ・家族が心配するから
- ・外出するという意欲がない、体力がおとろえている
- ・転倒の心配
- ・交通事故の心配

(9) 外出する際の移動手段は何ですか

「自動車（自分で運転）」（57.4％）の割合が最も高く、次いで「徒歩」（53.8％）、「自転車」（32.6％）となっています。



【年代別・小学校区別】

年代別では、年代が上がるにつれ、「自動車（自分で運転）」と「電車」の割合が低くなる傾向が見られます。

小学校区別では、他の小学校区と比べ、藤里で「路線バス」（38.5％）の割合が高くなっています。

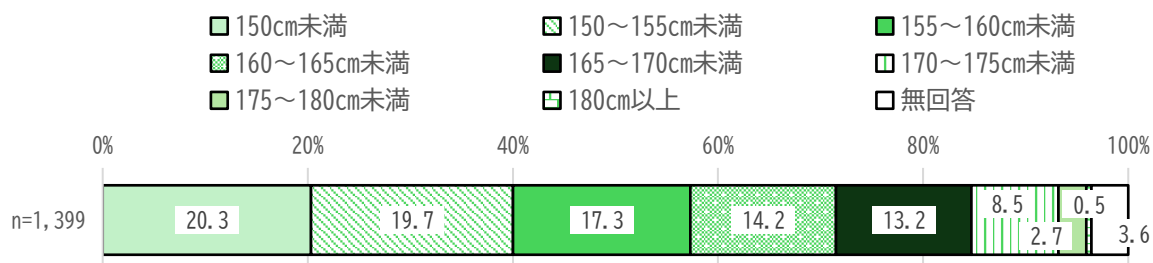
単位：％

区分	全体 (件数)	徒歩	自転車	バイク	自動車 (自分で運転)	自動車 (人に乗せてもらう)	電車	路線バス	病院や施設のバス	車いす	電動車いす (カート)	歩行器・ シルバーカー	タクシー	いこまいCAR	その他	無回答
65～69歳	225	55.1	28.9	3.1	83.6	17.8	24.9	8.4	0.4	0.4	0.0	0.9	3.1	1.8	0.0	0.9
70～74歳	251	55.8	34.3	2.8	75.7	22.3	22.7	12.4	0.0	0.0	0.0	0.4	4.0	3.6	1.2	0.4
75～79歳	319	54.2	35.4	1.3	64.6	24.1	18.8	14.1	0.6	0.3	0.0	1.6	8.8	5.6	0.6	0.0
80～84歳	287	54.7	32.8	0.3	53.7	31.4	16.4	11.8	1.7	0.0	1.4	3.5	11.8	10.1	2.1	0.3
85～89歳	204	53.9	35.8	0.0	26.5	42.2	14.2	12.3	3.4	1.0	1.5	6.4	22.1	12.3	2.9	1.0
90～94歳	89	42.7	23.6	0.0	9.0	66.3	4.5	10.1	1.1	1.1	1.1	9.0	14.6	9.0	1.1	0.0
95～98歳	13	46.2	0.0	0.0	7.7	69.2	7.7	7.7	7.7	0.0	0.0	15.4	7.7	0.0	7.7	0.0
99歳以上	2	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
古知野東	175	56.0	32.0	0.0	60.6	28.0	17.7	7.4	0.6	0.6	0.6	2.3	12.0	4.6	0.6	0.6
古知野西	126	56.3	35.7	3.2	54.0	26.2	19.8	17.5	0.8	1.6	0.8	6.3	12.7	11.1	1.6	0.0
古知野南	203	58.6	38.4	2.0	52.7	31.5	22.7	13.3	0.5	0.0	0.0	2.5	6.9	5.9	1.0	1.0
古知野北	123	48.0	34.1	2.4	66.7	27.6	22.8	3.3	1.6	0.0	0.0	0.8	11.4	3.3	2.4	0.0
布袋	215	54.9	27.4	0.0	60.9	31.2	18.1	4.7	1.4	0.9	0.0	4.7	7.4	6.0	1.9	0.5
布袋北	79	48.1	29.1	1.3	62.0	38.0	10.1	5.1	2.5	0.0	1.3	1.3	7.6	7.6	0.0	0.0
宮田	178	48.9	32.6	1.7	53.9	29.8	16.3	16.3	1.1	0.6	0.6	2.2	7.9	7.9	1.1	1.1
草井	104	49.0	25.0	0.0	59.6	35.6	14.4	9.6	1.9	0.0	1.9	4.8	9.6	5.8	1.0	0.0
藤里	78	57.7	29.5	5.1	42.3	28.2	14.1	38.5	3.8	0.0	1.3	1.3	16.7	11.5	3.8	0.0
門弟山	85	61.2	38.8	0.0	64.7	27.1	24.7	16.5	0.0	1.2	1.2	3.5	9.4	2.4	1.2	0.0

3 食べることについて

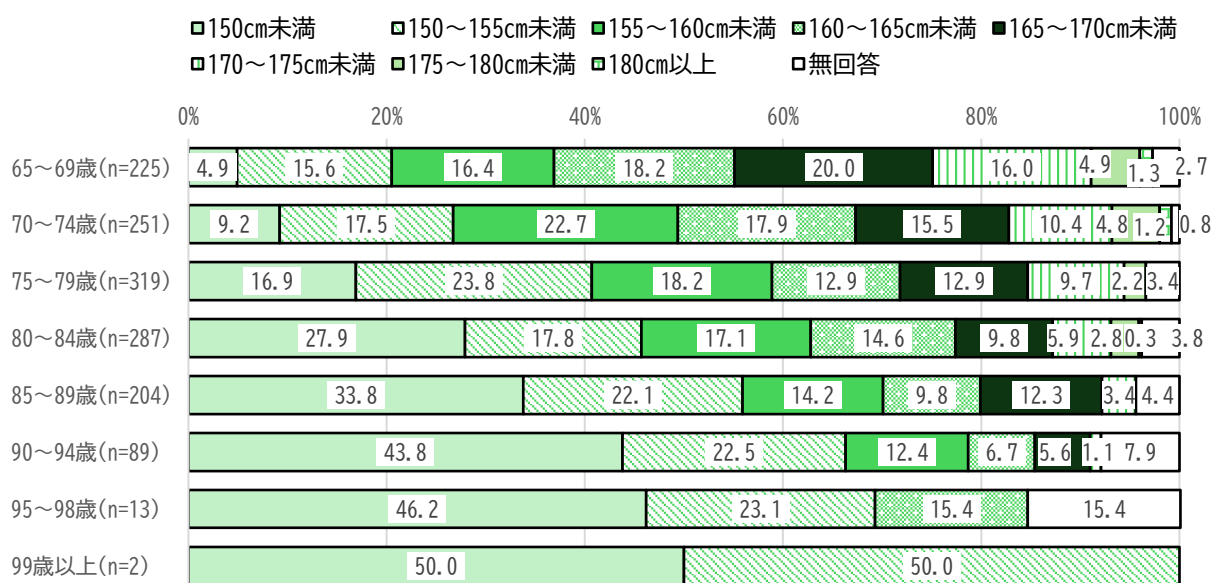
(1) - 1 身長

「150cm 未満」(20.3%)の割合が最も高く、次いで「150～155cm 未満」(19.7%)、「155～160cm 未満」(17.3%)となっています。



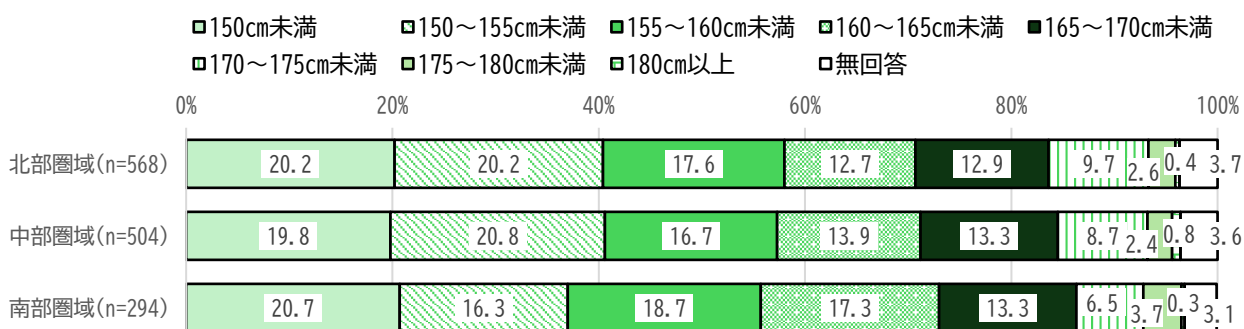
【年代別】

年代別でみると、年代が上がるにつれ「150 cm未満」の割合が高くなっています。



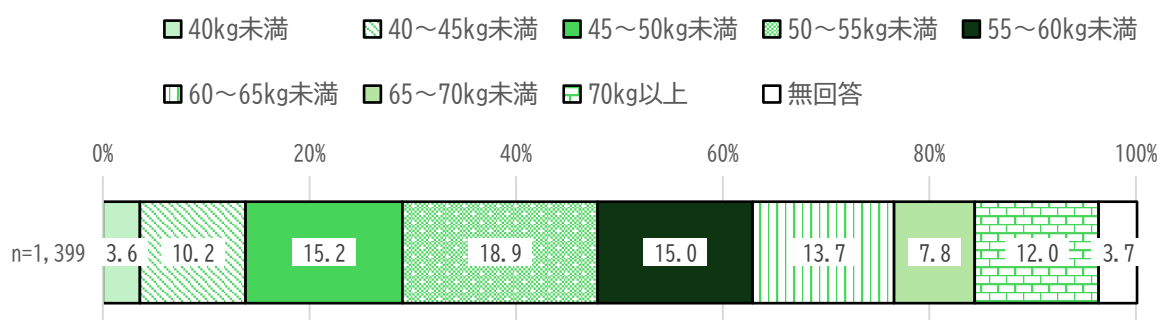
【圏域別】

圏域別でみると、他の圏域と比べ、南部圏域で「160～165cm 未満」(17.3%)の割合が高く、「150～155cm 未満」の割合が低くなっています。



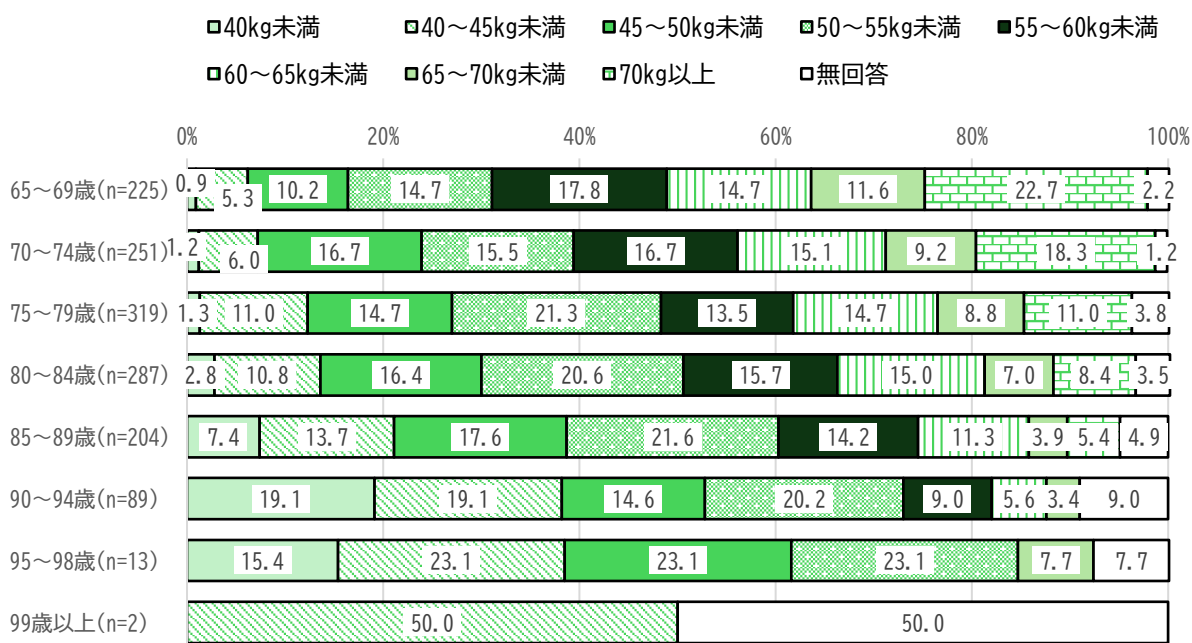
(1) -2 体重

「50～55kg 未満」(18.9%)の割合が最も高く、次いで「45～50kg 未満」(15.2%)、「55～60kg 未満」(15.0%)となっています。



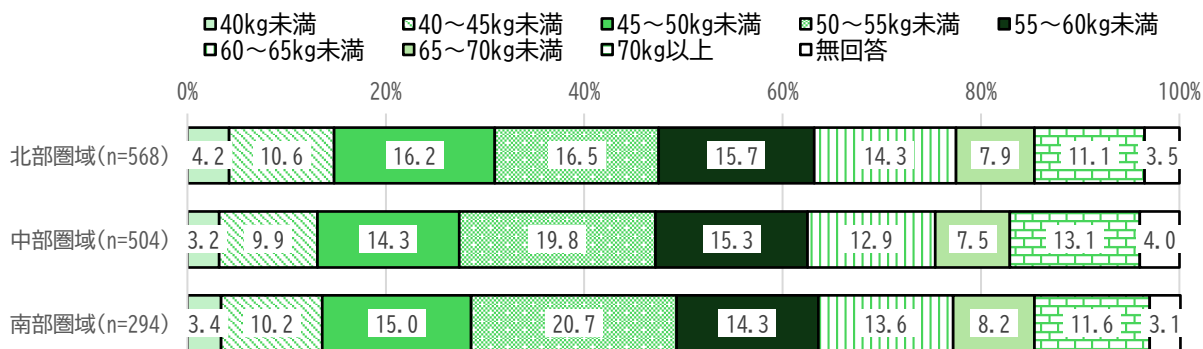
【年代別】

年代別では、年代が上がるにつれ「40～45kg 未満」の割合が高くなっています。



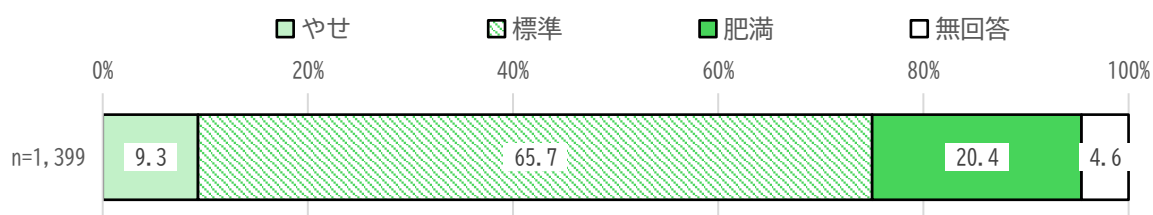
【圏域別】

圏域別では、大きな差異はみられません。



(1) -3 BMI※

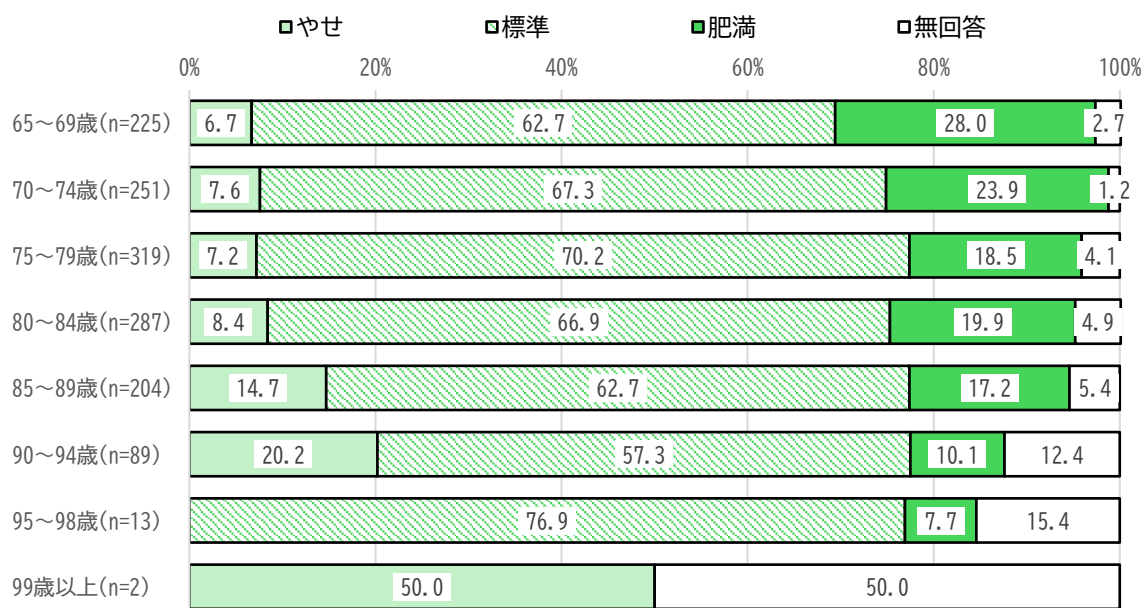
「標準」(65.7%)の割合が最も高く、次いで「肥満」(20.4%)、「やせ」(9.3%)となっています。



※BMI：ボディマス指数 (Body Mass Index)。体重と身長の関係から算出した、肥満度を表す指数。
 $\text{体重 (kg)} \div [\text{身長 (m)} \times \text{身長 (m)}]$ で表される。日本肥満学会では、BMIが22を「標準体重」、25以上の場合を「肥満」、18.5未満を「やせ」としている。

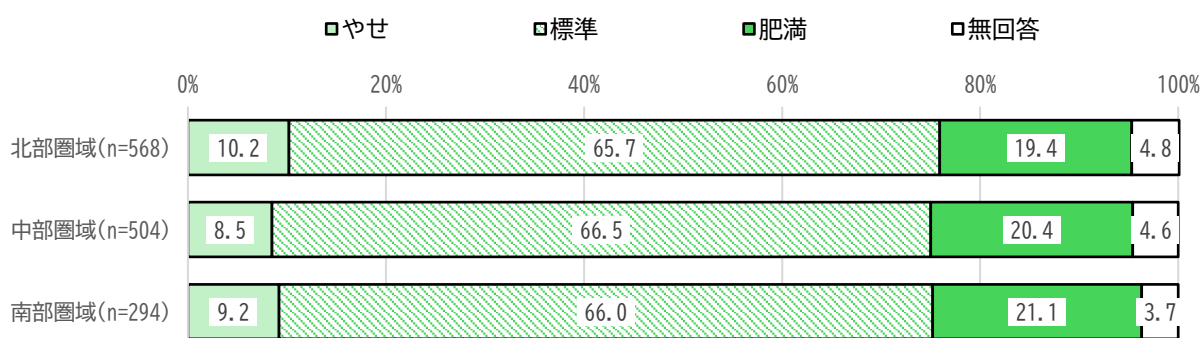
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、65～69歳で「肥満」の割合が高くなっています。



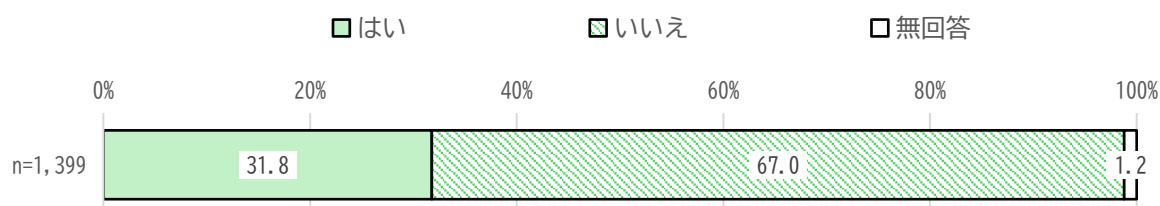
【圏域別】

圏域別では、大きな差異はみられません。



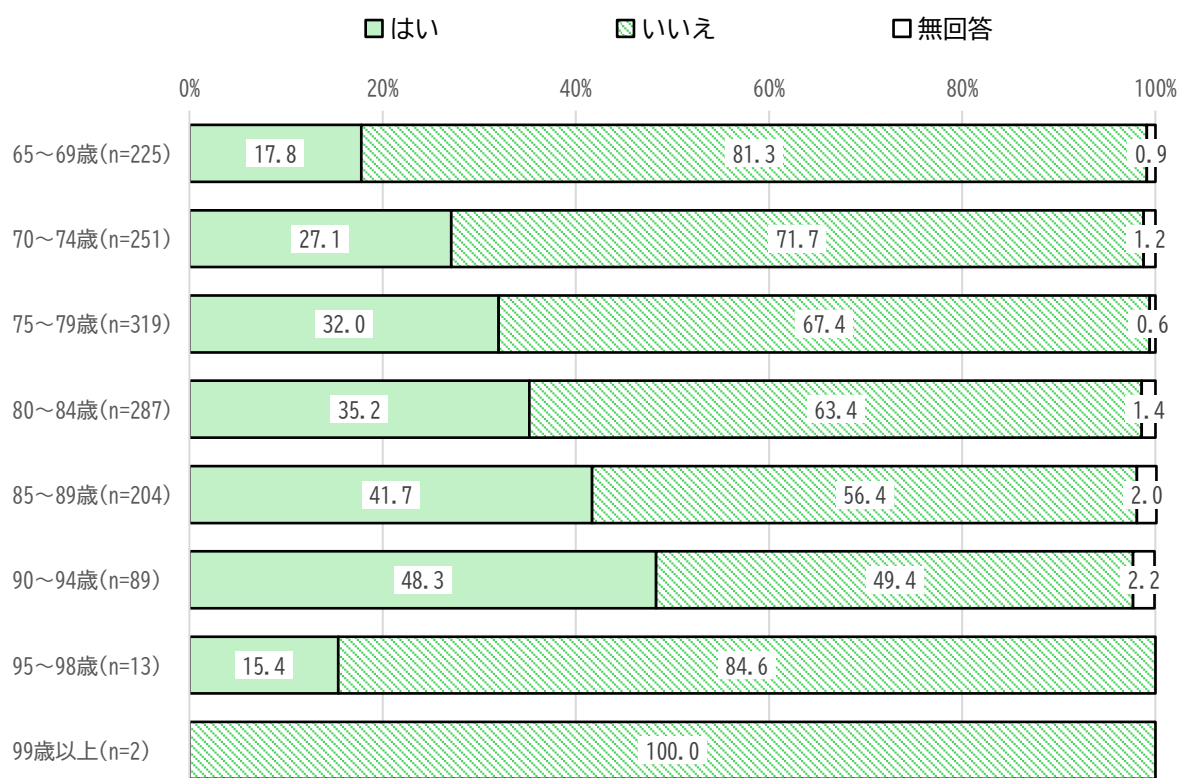
(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか (○は1つ)

「はい」が31.8%、「いいえ」が67.0%となっています。



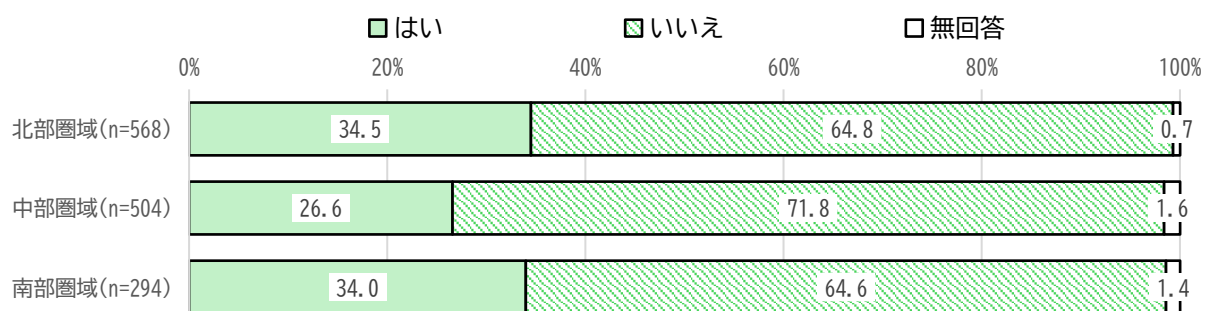
【年代別】

年代別では、年代が上がるにつれ「はい」の割合が高くなる傾向がみられますが、95～98歳では「はい」(15.4%)の割合が低くなっています。



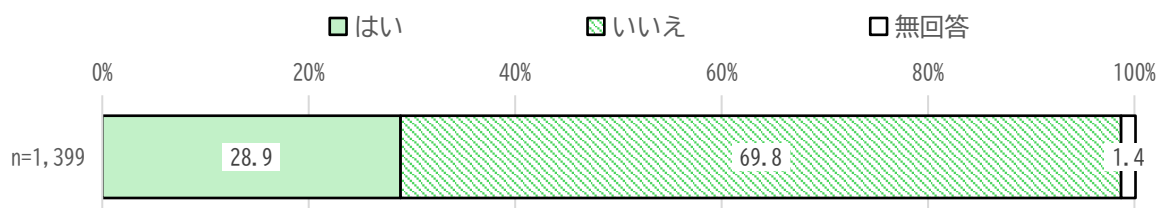
【圏域別】

圏域別では、他の圏域と比べ、中部圏域で「はい」(26.6%)の割合が低くなっています。



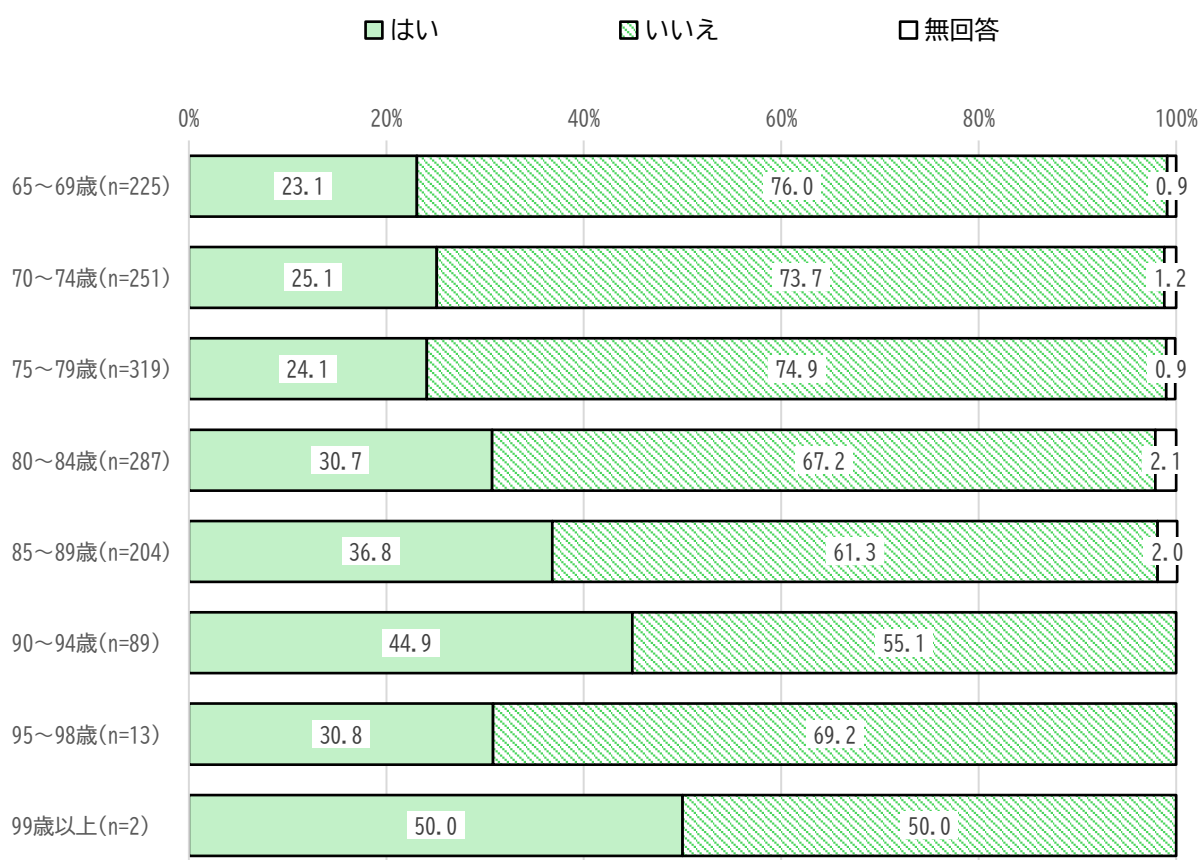
(3) お茶や汁物等でむせることがありますか (○は1つ)

「はい」が28.9%、「いいえ」が69.8%となっています。



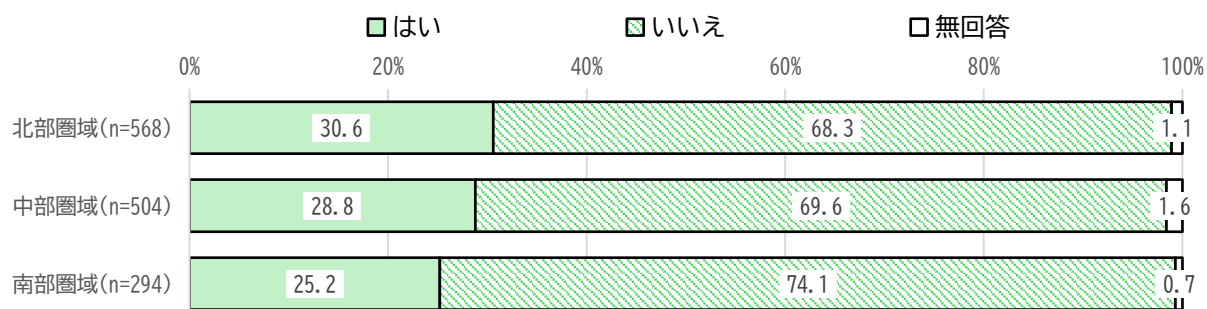
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、90～94歳で「はい」(44.9%)の割合が高くなっています。



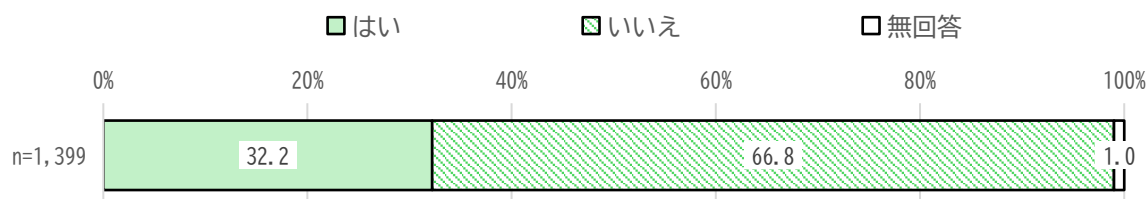
【圏域別】

圏域別では、他の圏域と比べ、北部圏域で「はい」(30.6%)の割合が高くなっています。



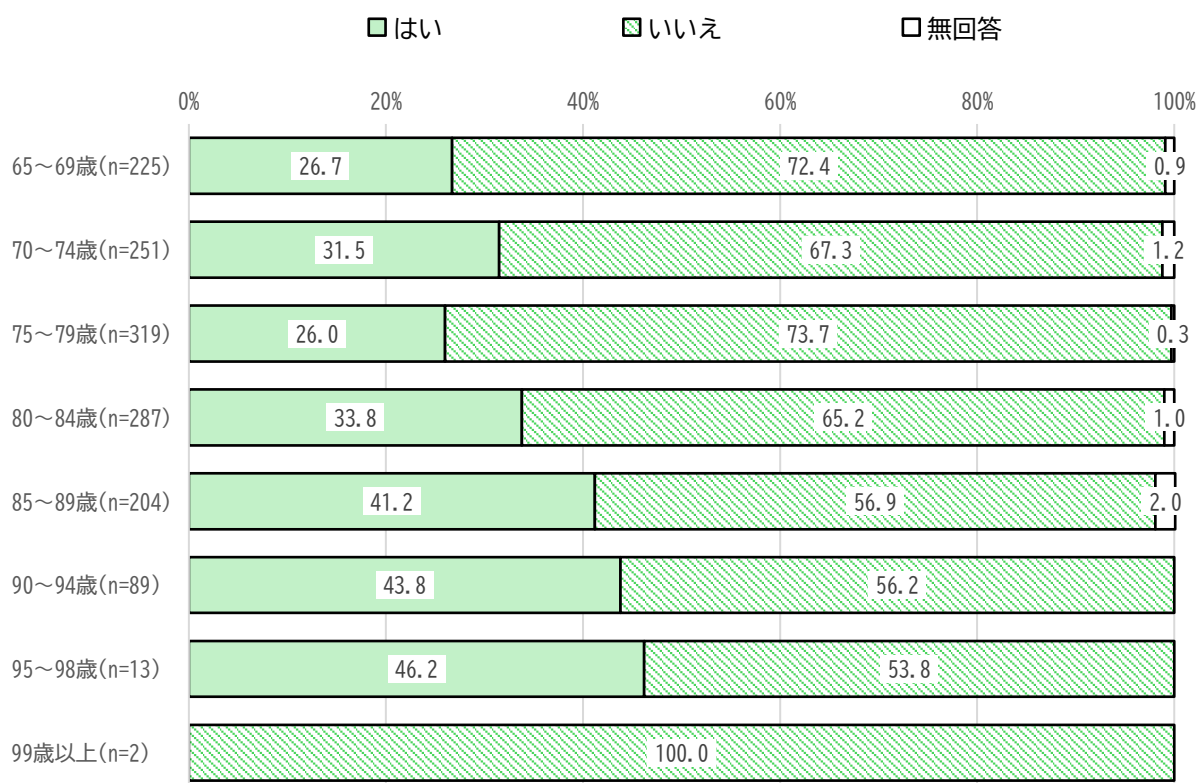
(4) 口の渇きが気になりますか (○は1つ)

「はい」が32.2%、「いいえ」が66.8%となっています。



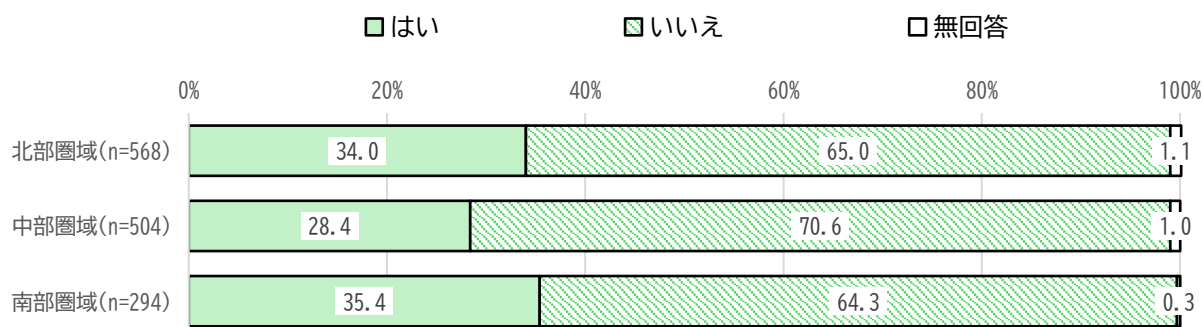
【年代別】

年代別では、年代が上がるにつれ「はい」の割合が高くなる傾向が見られます。



【圏域別】

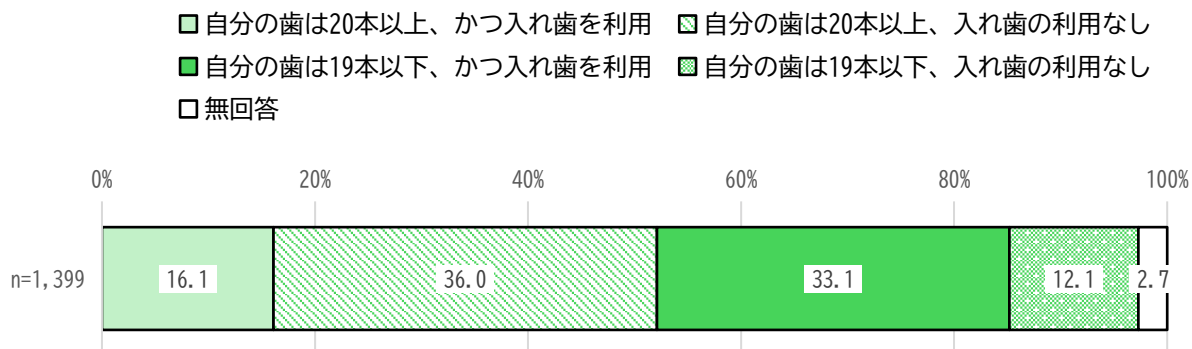
圏域別では、他の圏域と比べ、南部圏域で「はい」(35.4%)の割合が高くなっています。



(5) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください (○は1つ)

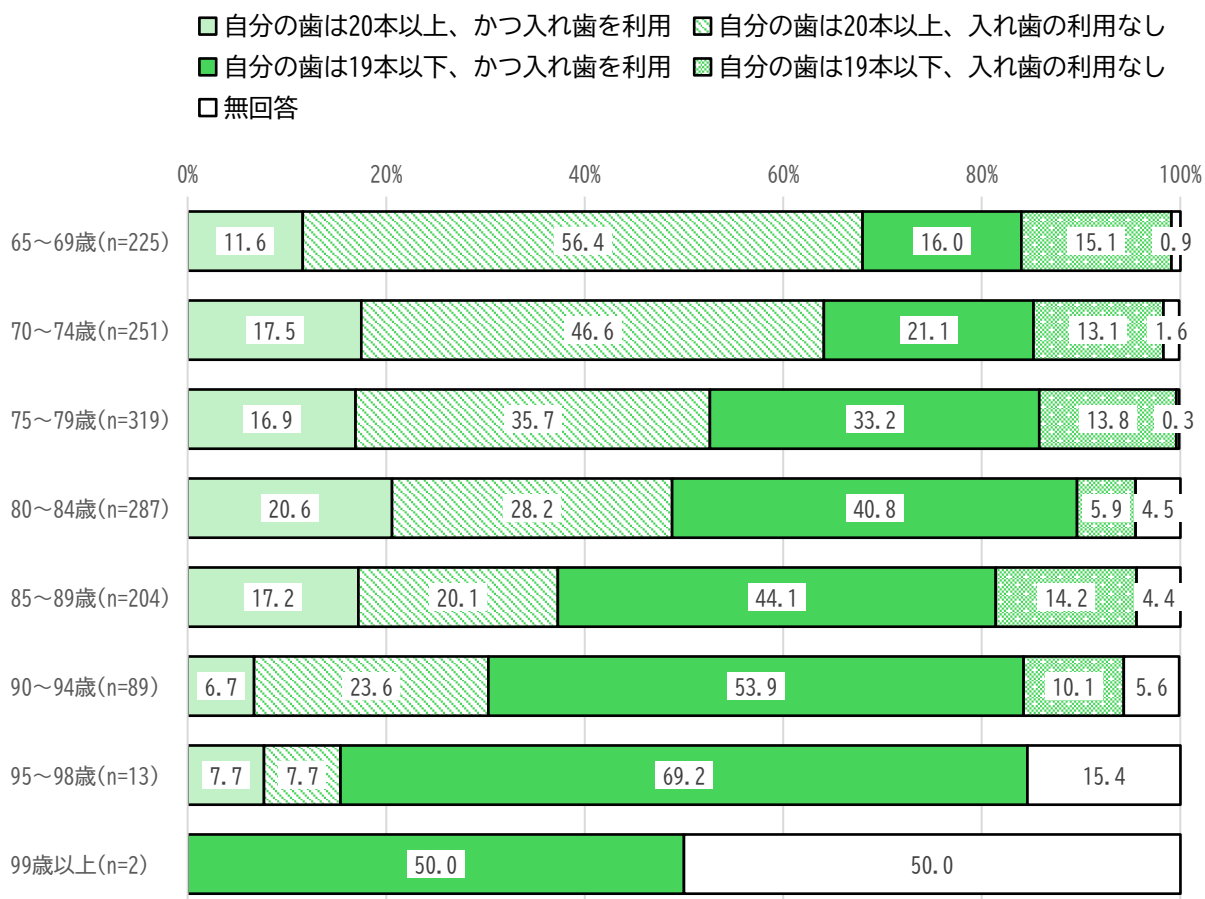
(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)

「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」 (36.0%) の割合が最も高く、次いで「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」 (33.1%)、「自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」 (16.1%)、「自分の歯は 19 本以下、入れ歯の利用なし」 (12.1%) となっています。



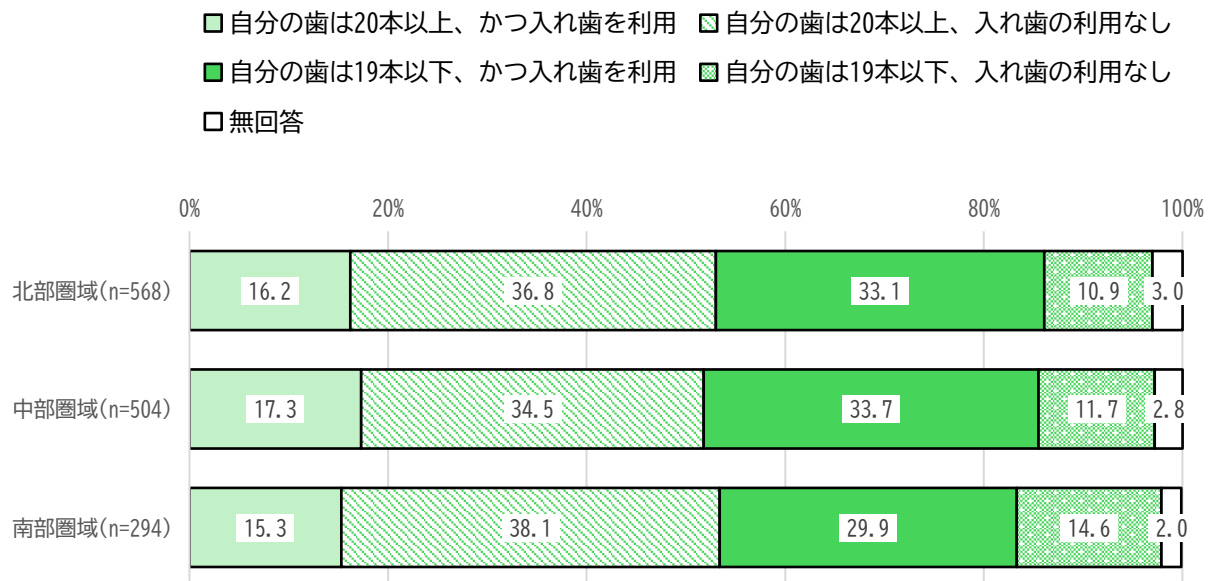
【年代別】

年代別では、65～69 歳で「自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし」 (56.4%) の割合が最も高くなっています。また、年代が上がるにつれ「自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用」の割合が高くなる傾向がみられます。



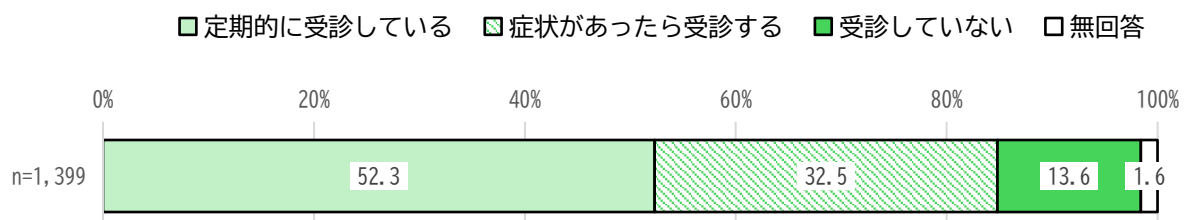
【圏域別】

圏域別では、大きな差異はみられません。



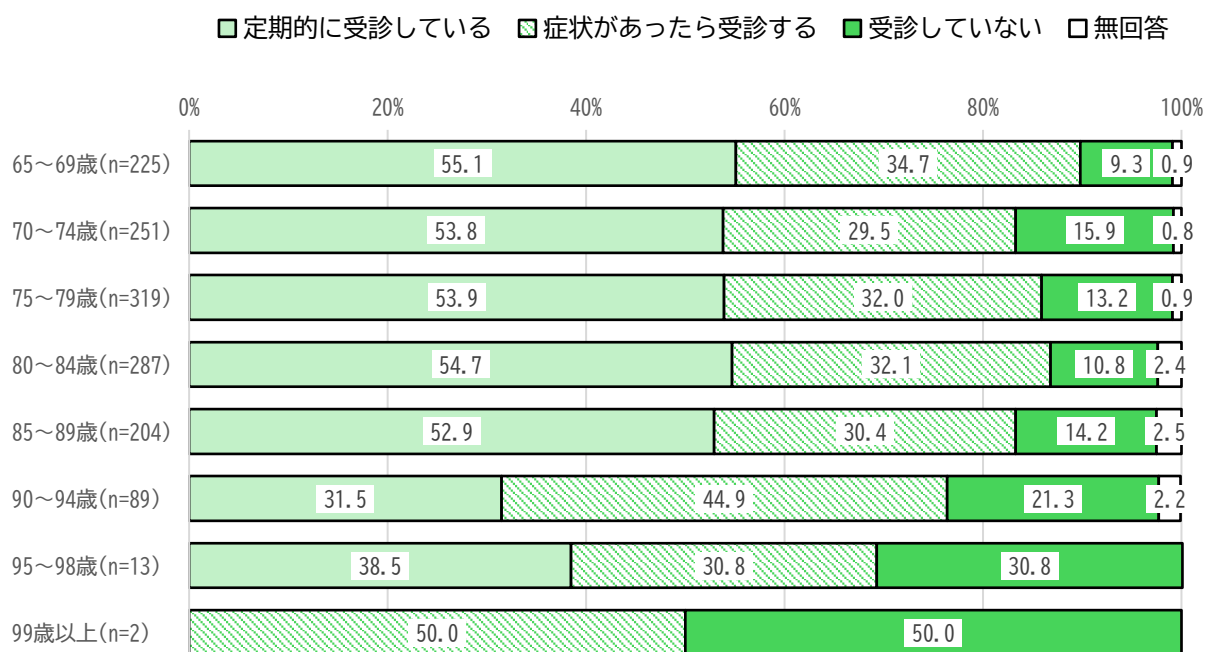
（６）歯科診療を受けていますか。（○は１つ）

「定期的に通診している」（52.3％）の割合が最も高く、次いで「症状があったら通診する」（32.5％）、「通診していない」（13.6％）となっています。



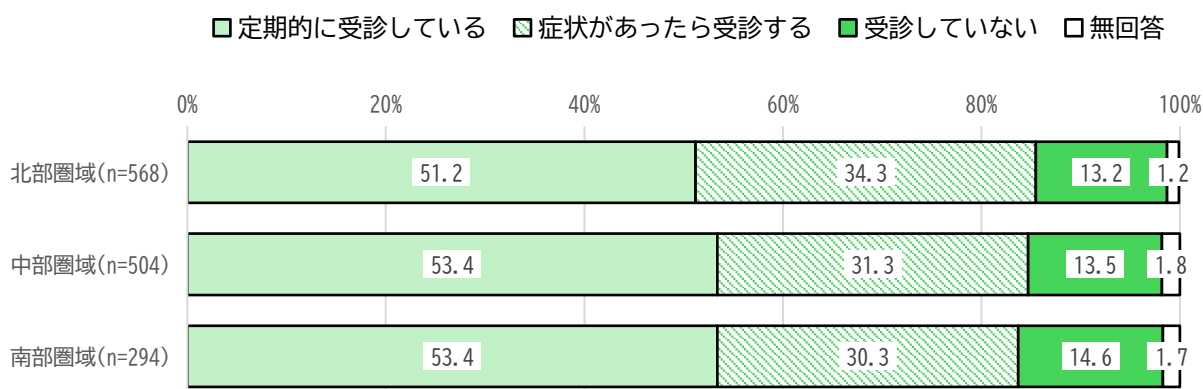
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、90～94 歳で「症状があったら通診する」（44.9％）の割合が高くなっています。



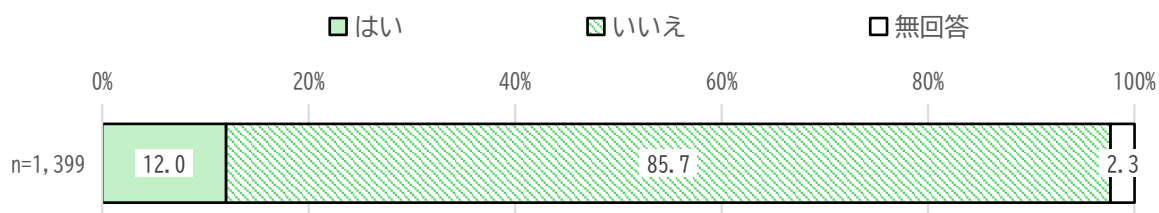
【圏域別】

圏域別では、大きな差異はみられません。



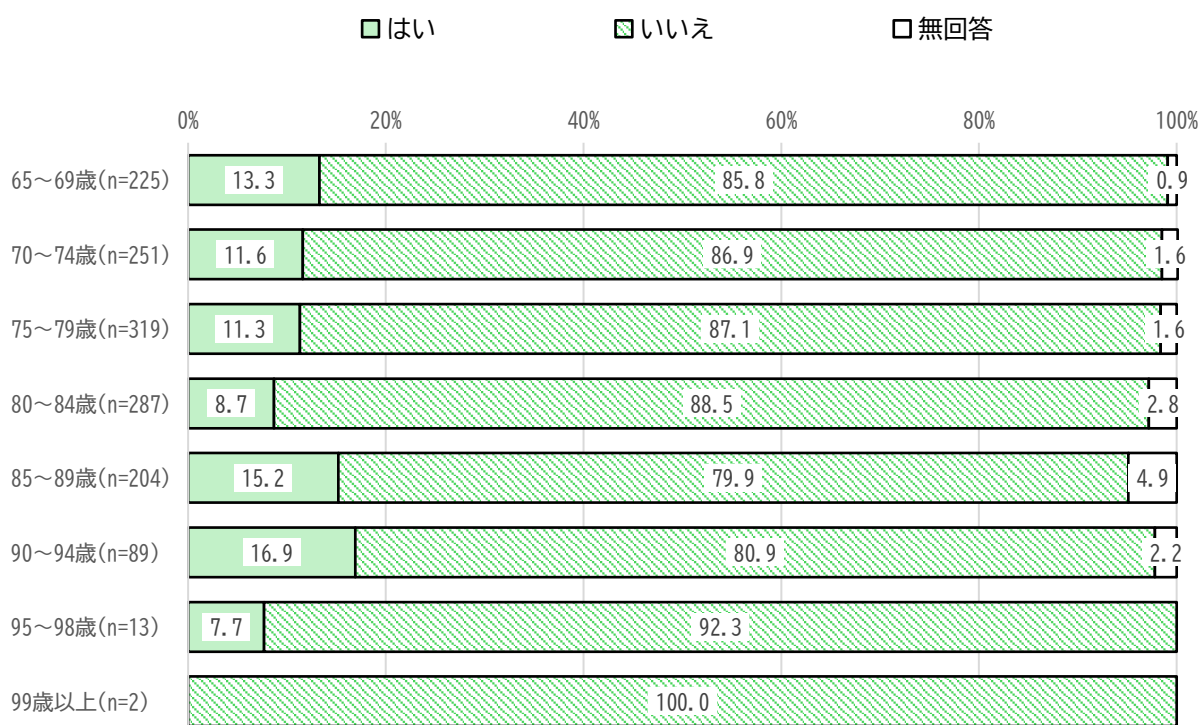
(7) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか（○は1つ）

「はい」が12.0%、「いいえ」が85.7%となっています。



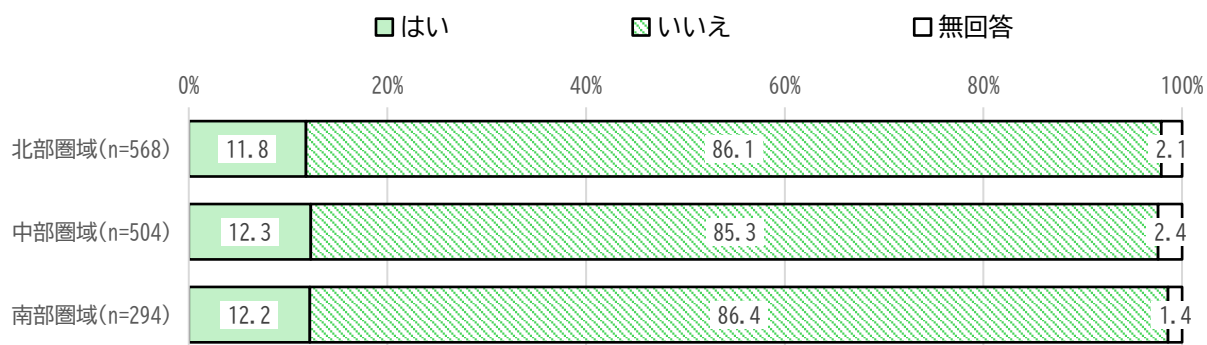
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、「はい」が80～84歳で8.7%、95～98歳で7.7%と割合が低くなっています。



【圏域別】

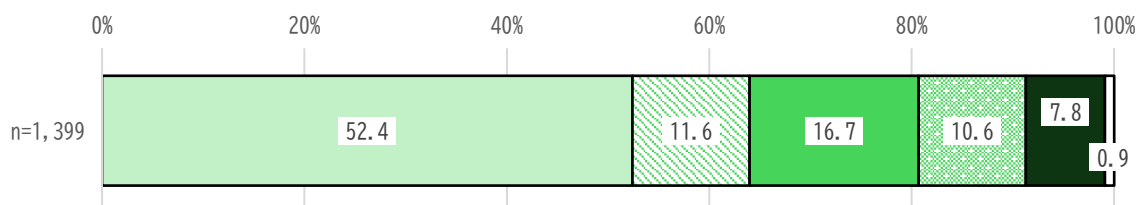
圏域別では、大きな差異はみられません。



(8) どなたかと食事をとにもする機会がありますか (○は1つ)

「毎日ある」(52.4%)の割合が最も高く、次いで「月に何度かある」(16.7%)、「週に何度かある」(11.6%)、「年に何度かある」(10.6%)、「ほとんどない」(7.8%)となっています。

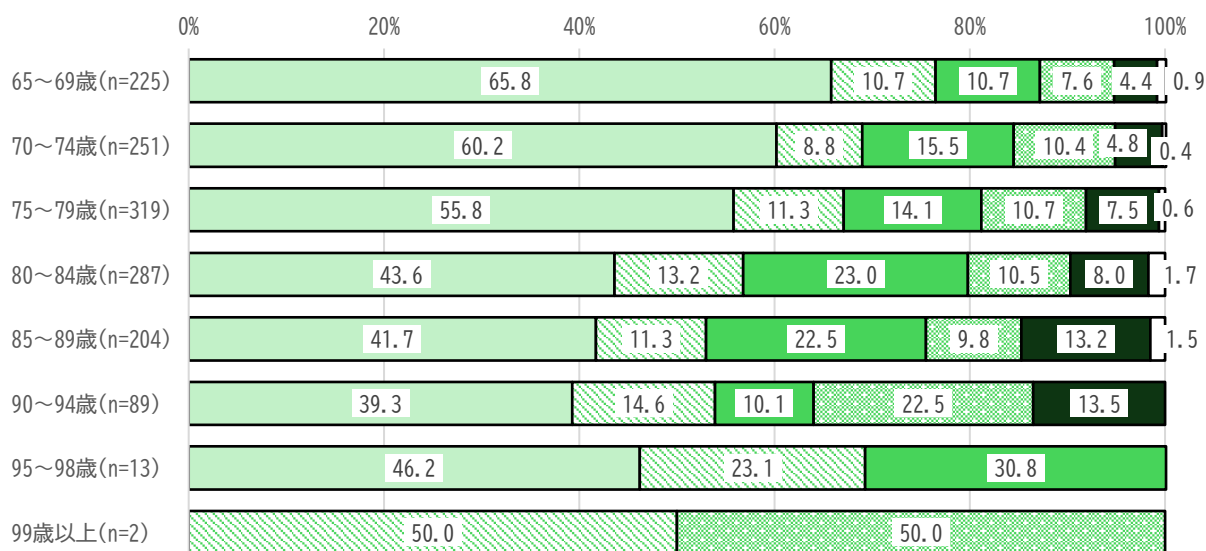
□毎日ある □週に何度かある ■月に何度かある ■年に何度かある ■ほとんどない □無回答



【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、65～69歳で「毎日ある」(65.8%)の割合が高くなっています。

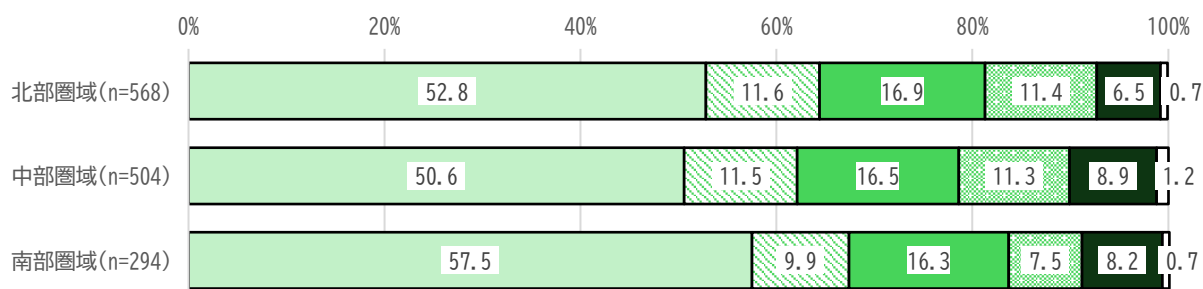
□毎日ある □週に何度かある ■月に何度かある ■年に何度かある ■ほとんどない □無回答



【圏域別】

圏域別では、他の圏域と比べ、中部圏域で「ほとんどない」(8.9%)が高くなっています。

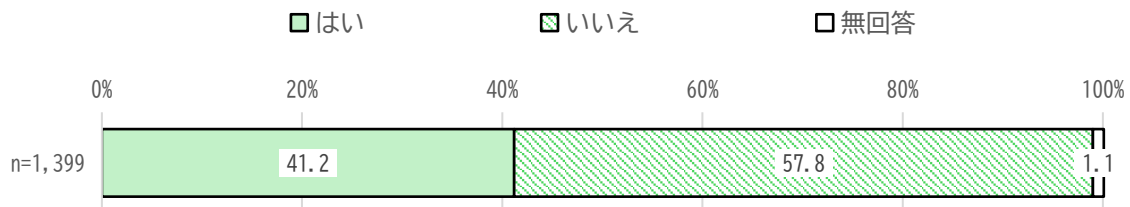
□毎日ある □週に何度かある ■月に何度かある ■年に何度かある ■ほとんどない □無回答



4 毎日の生活について

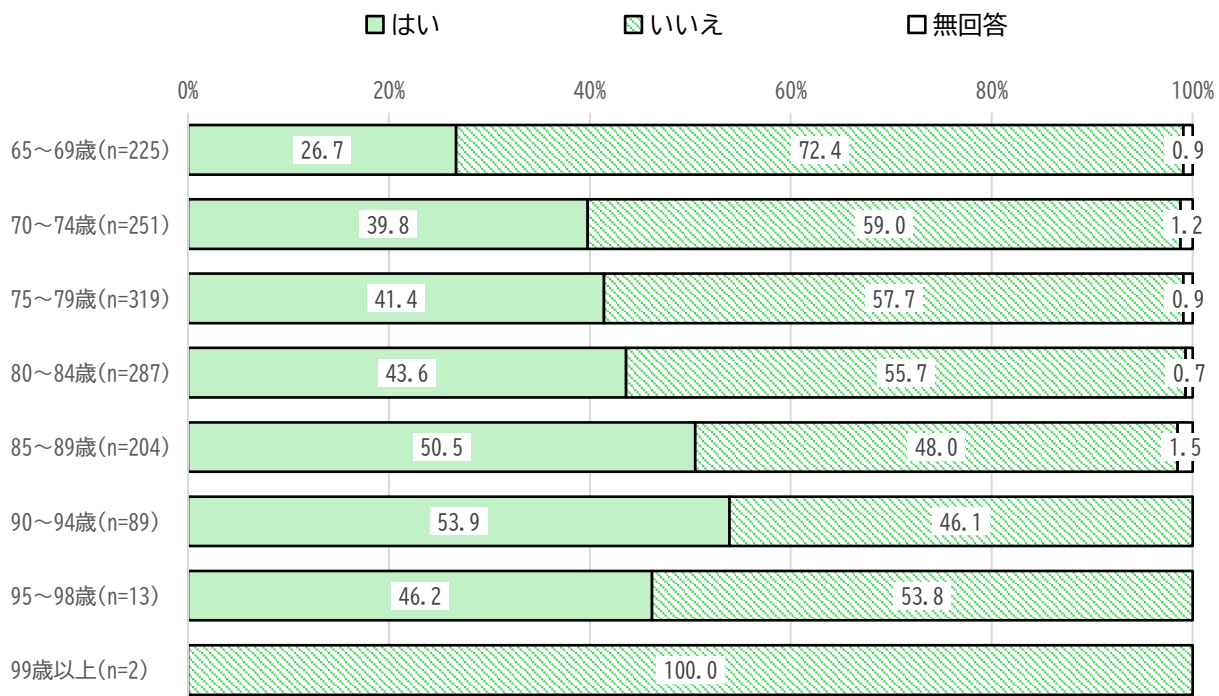
(1) 物忘れが多いと感じますか (○は1つ)

「はい」が41.2%、「いいえ」が57.8%となっています。



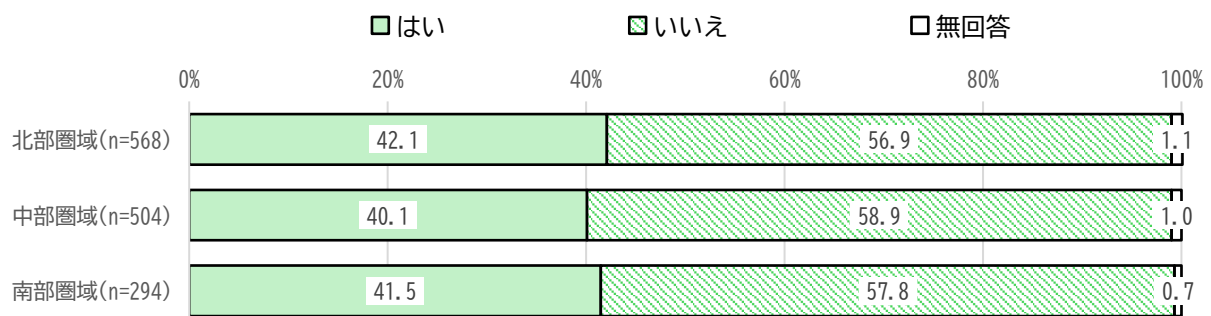
【年代別】

年代別では、年代が上がるにつれ「はい」の割合が高くなる傾向が見られます。



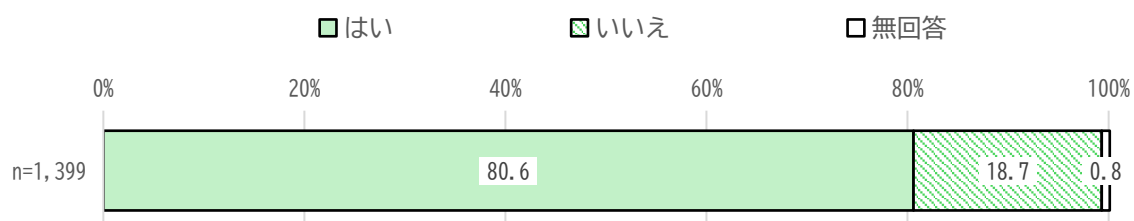
【圏域別】

圏域別では、大きな差異はみられません。



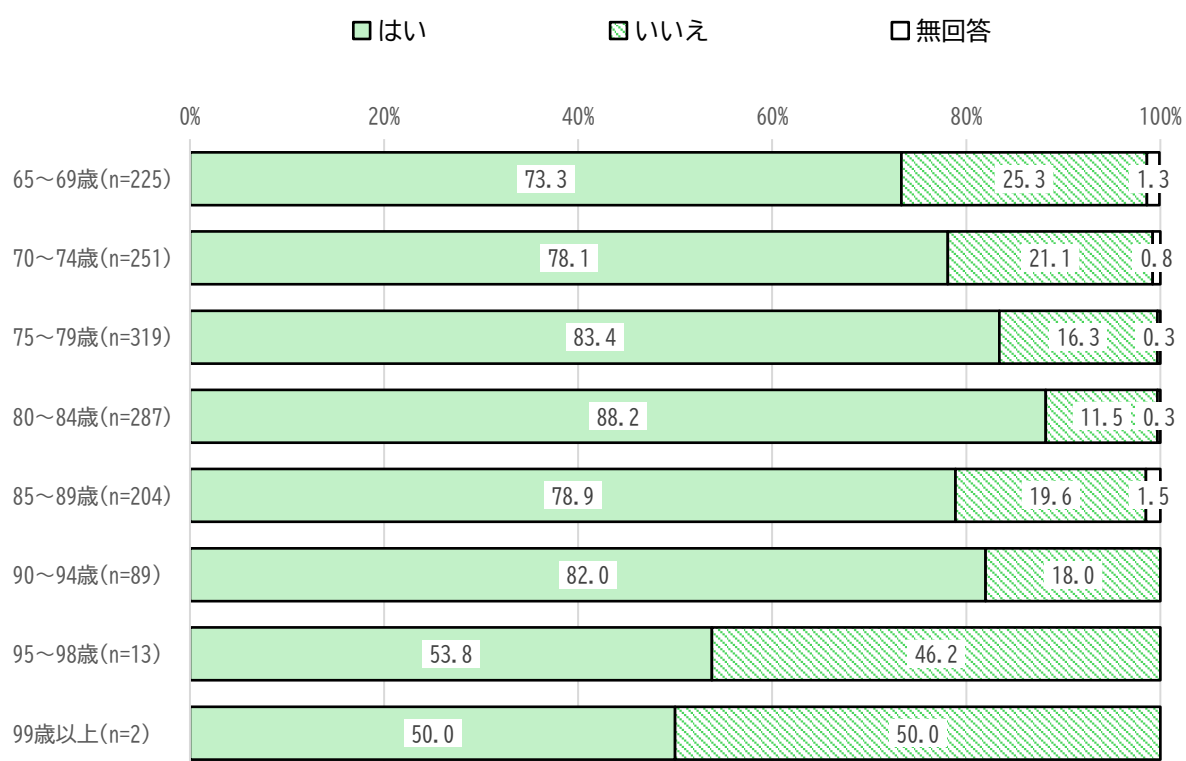
(2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか (○は1つ)

「はい」が80.6%、「いいえ」が18.7%となっています。



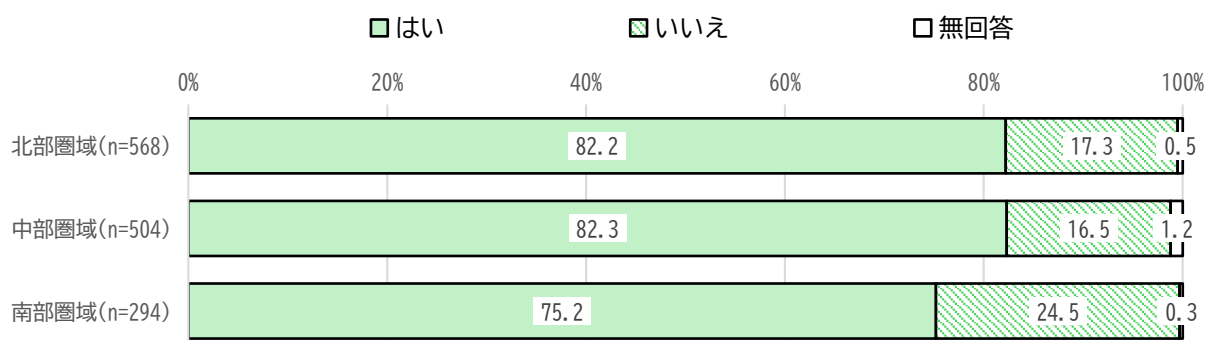
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、95歳以上で「いいえ」の割合が高くなる傾向が見られます。



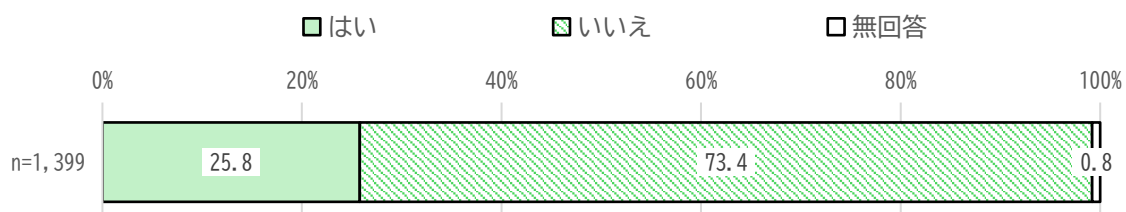
【圏域別】

圏域別では、南部圏域で「はい」(75.2%)の割合が低くなっています。



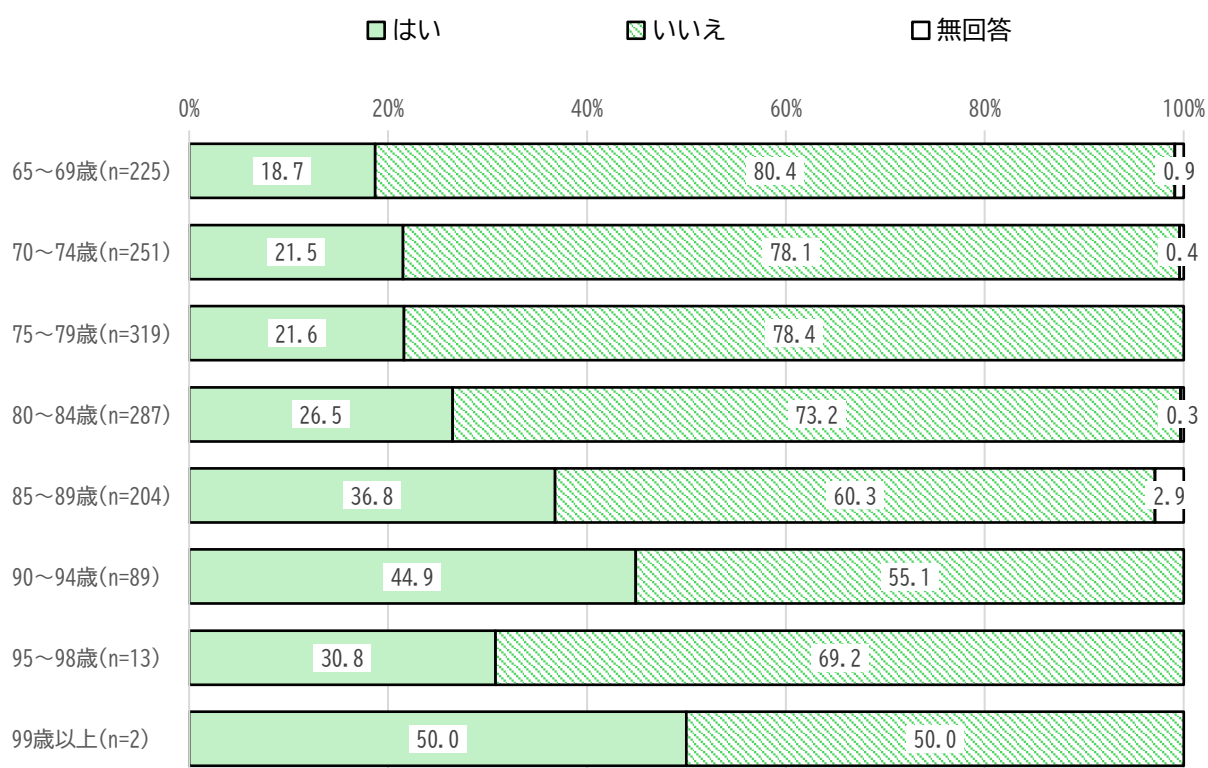
(3) 今日が何月何日かわからない時がありますか (○は1つ)

「はい」が25.8%、「いいえ」が73.4%となっています。



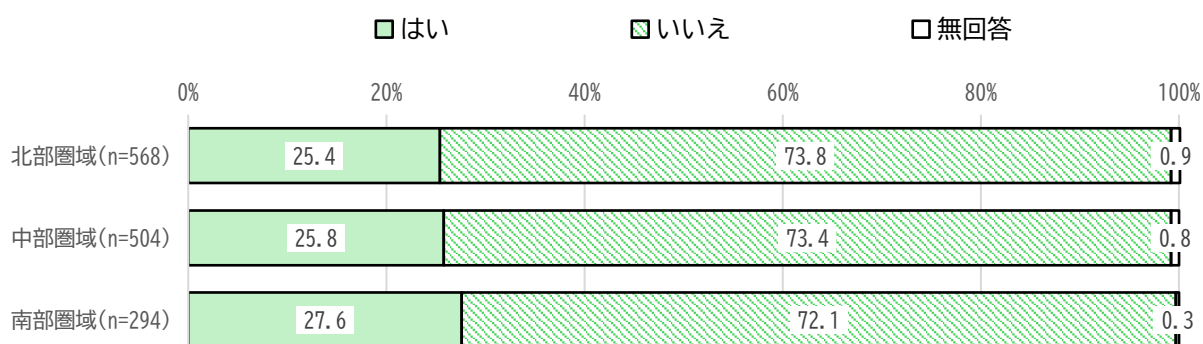
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、90～94歳で「はい」(44.9%)の割合が高くなっています。



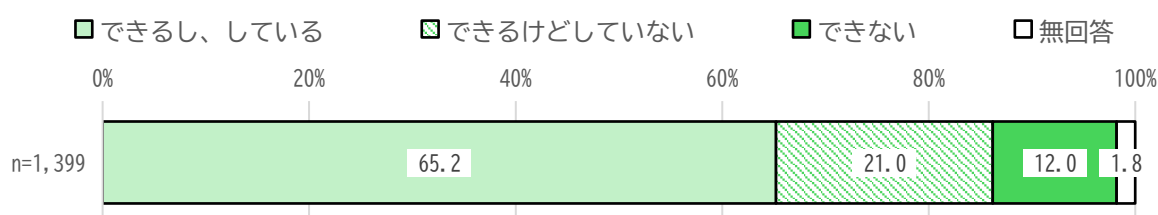
【圏域別】

圏域別では、大きな差異はみられません。



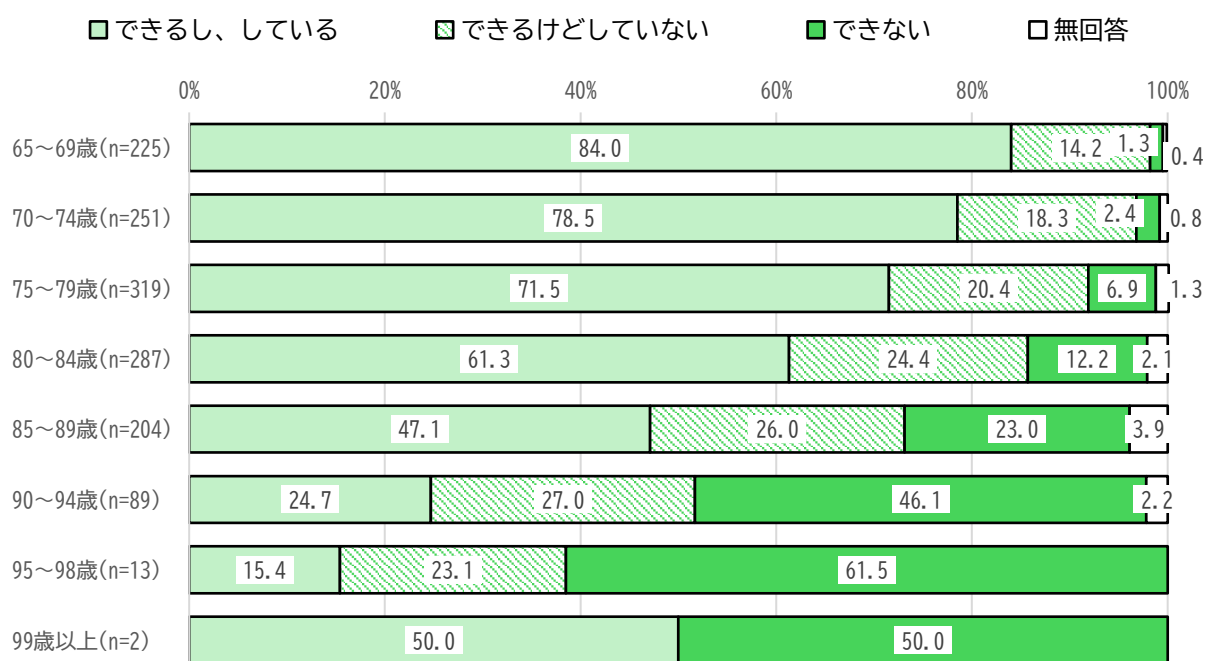
(4) バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）（○は1つ）

「できるし、している」（65.2％）の割合が最も高く、次いで「できるけどしていない」（21.0％）、「できない」（12.0％）となっています。



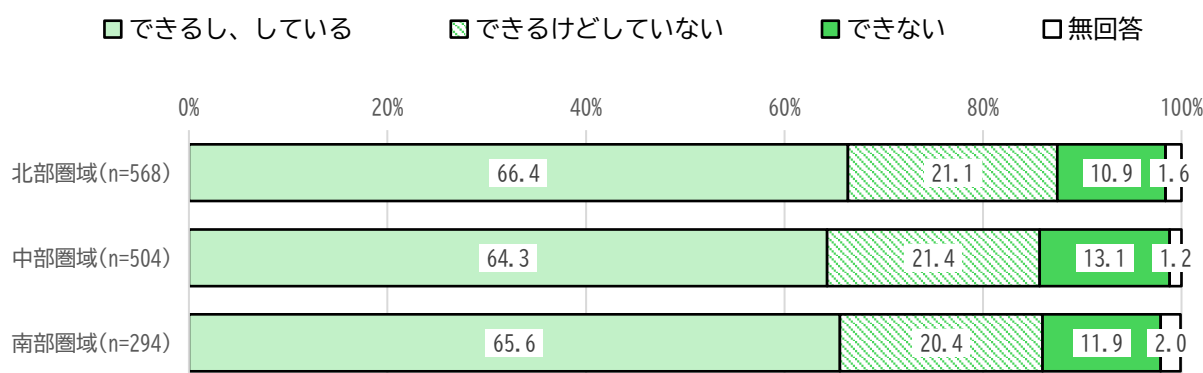
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、65～69 歳で「できるし、している」（84.0％）の割合が高くなっています。また、95～98 歳で「できない」（61.5％）の割合が高くなっています。



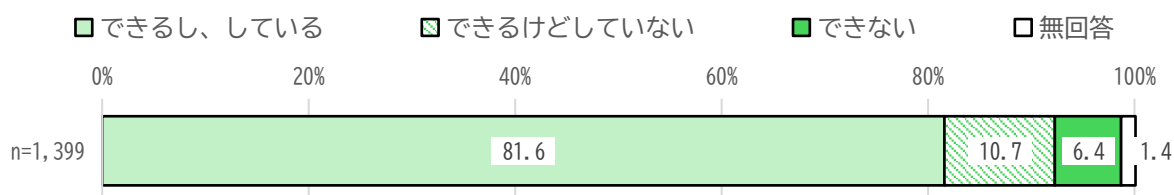
【圏域別】

圏域別では、大きな差異はみられません。



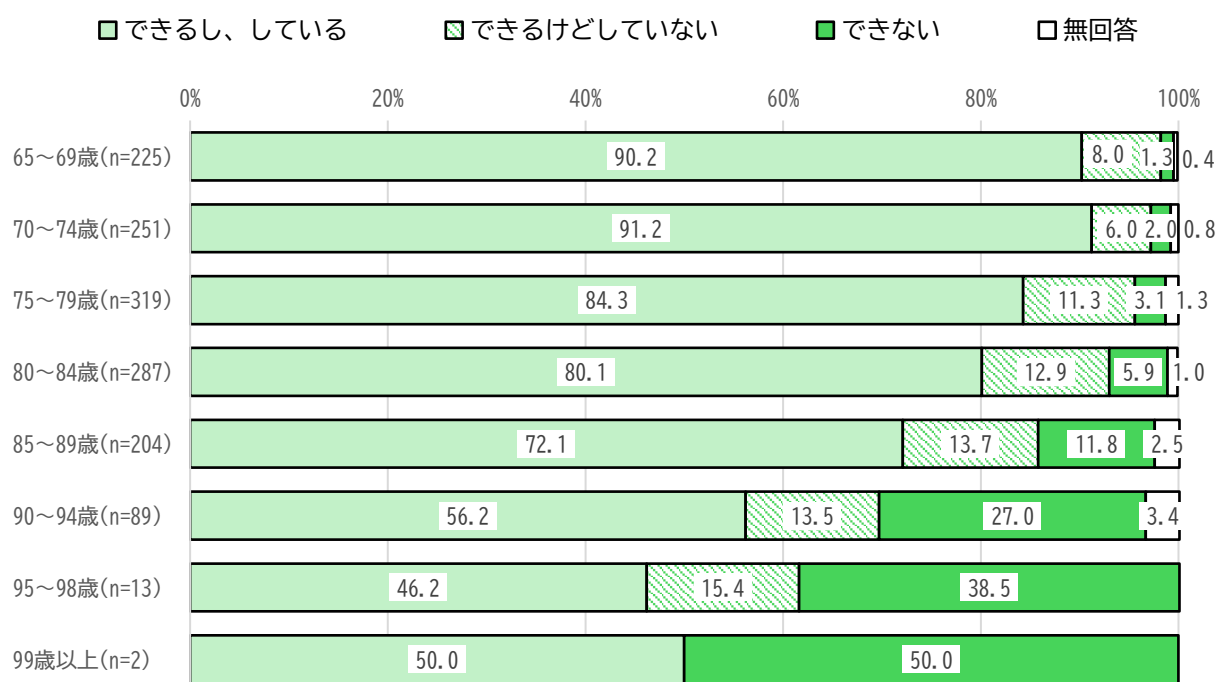
(5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか (○は1つ)

「できるし、している」(81.6%)の割合が最も高く、次いで「できるけどしていない」(10.7%)、「できない」(6.4%)となっています。



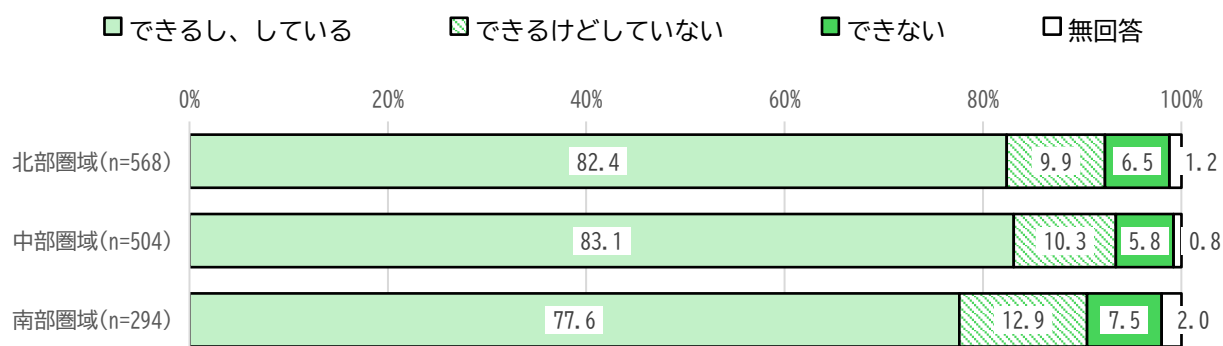
【年代別】

年代別では、年代が上がるにつれ「できない」の割合が高くなっています。



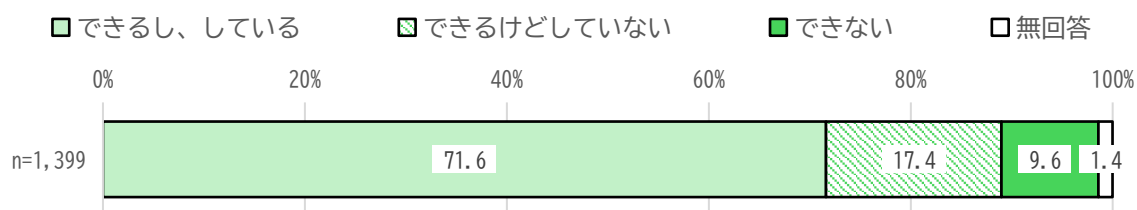
【圏域別】

圏域別では、他の圏域と比べ、南部圏域で「できるし、している」(77.6%)の割合が低くなっています。



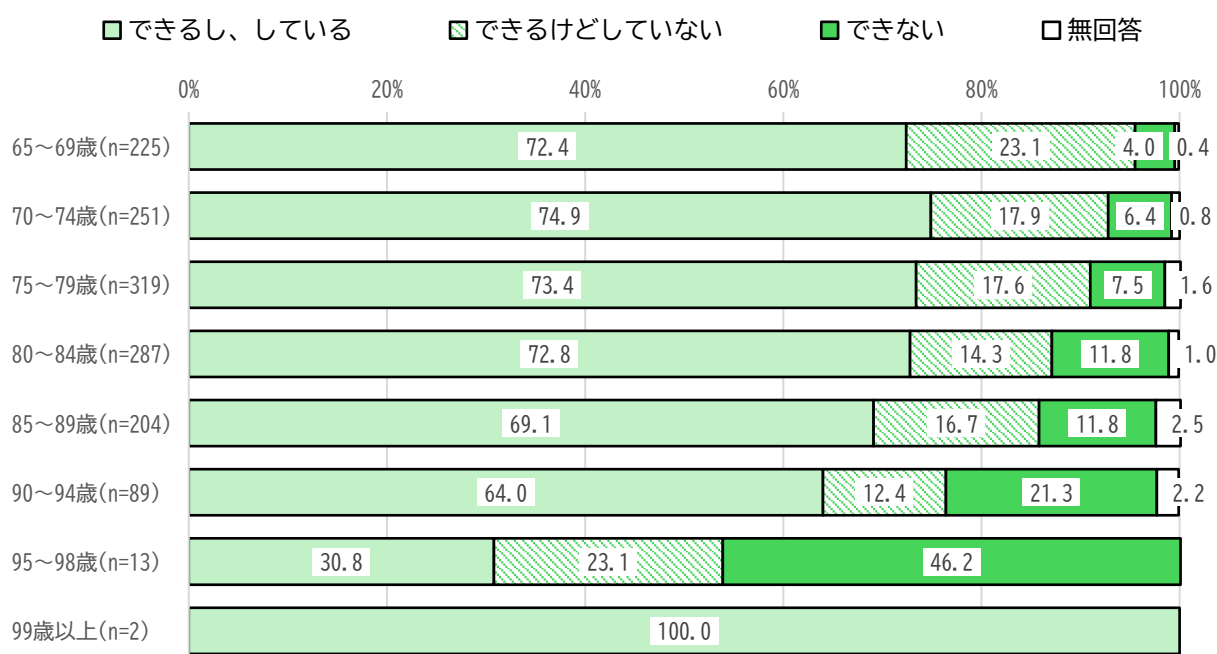
(6) 自分で食事の用意をしていますか (○は1つ)

「できるし、している」(71.6%)の割合が最も高く、次いで「できるけどしていない」(17.4%)、「できない」(9.6%)となっています。



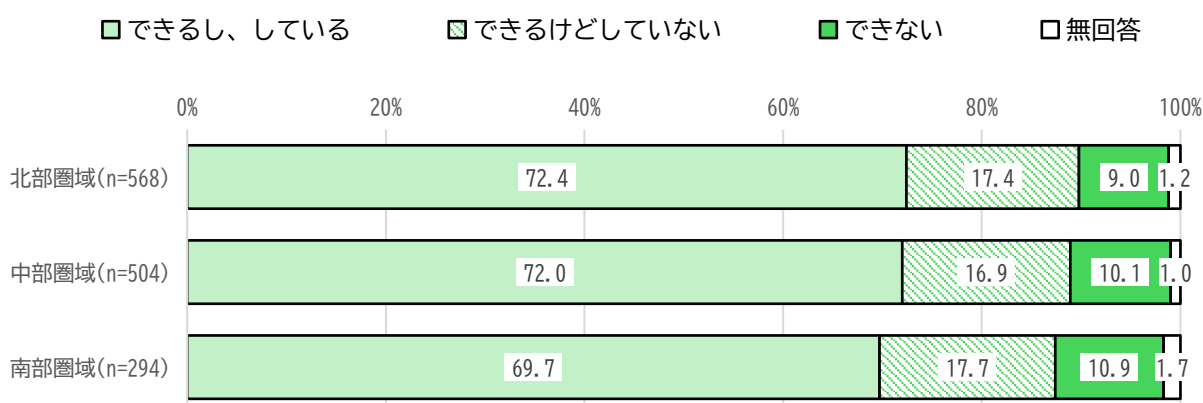
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、95～98歳で「できない」(46.2%)の割合が高くなっています。



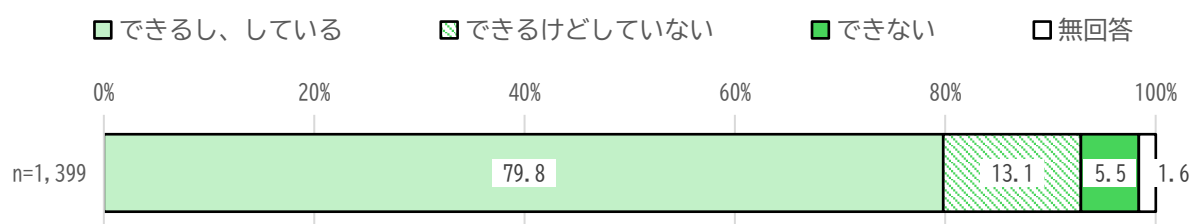
【圏域別】

圏域別では、大きな差異はみられません。



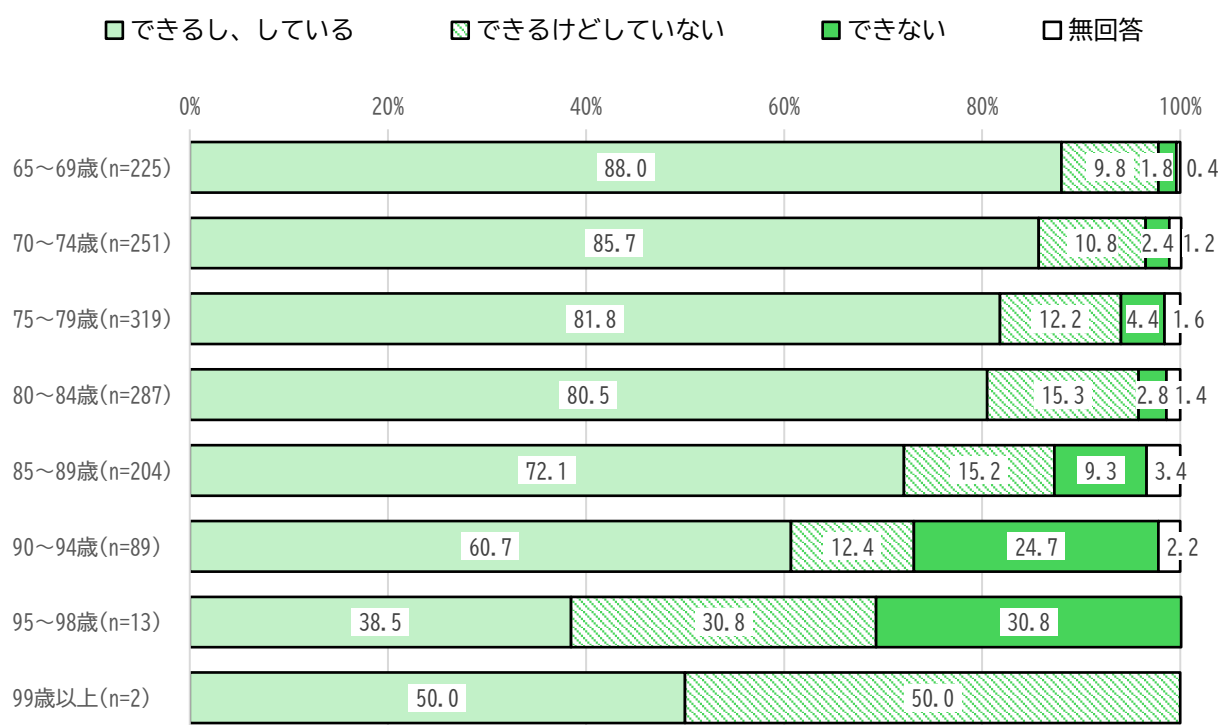
(7) 自分で請求書の支払いをしていますか (○は1つ)

「できるし、している」(79.8%)の割合が最も高く、次いで「できるけどしていない」(13.1%)、「できない」(5.5%)となっています。



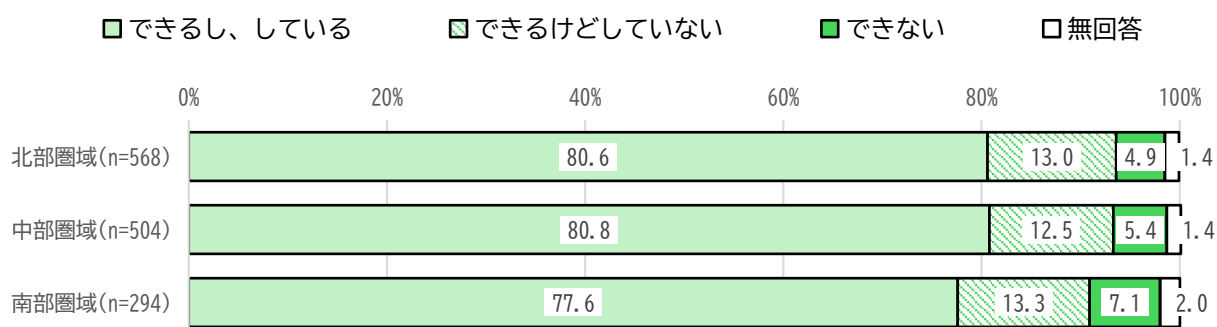
【年代別】

年代別では、年代が上がるにつれ「できるけどしていない」の割合が高くなっています。



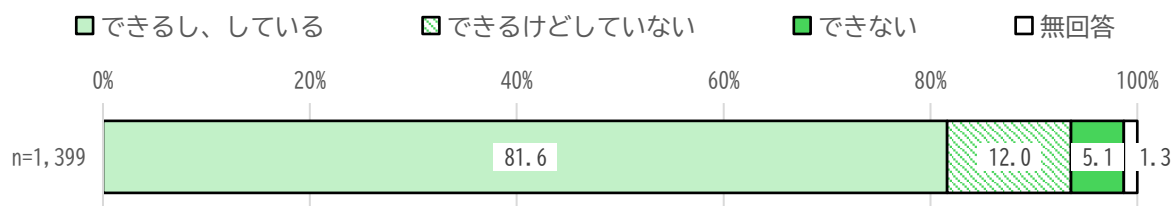
【圏域別】

圏域別では、大きな差異はみられません。



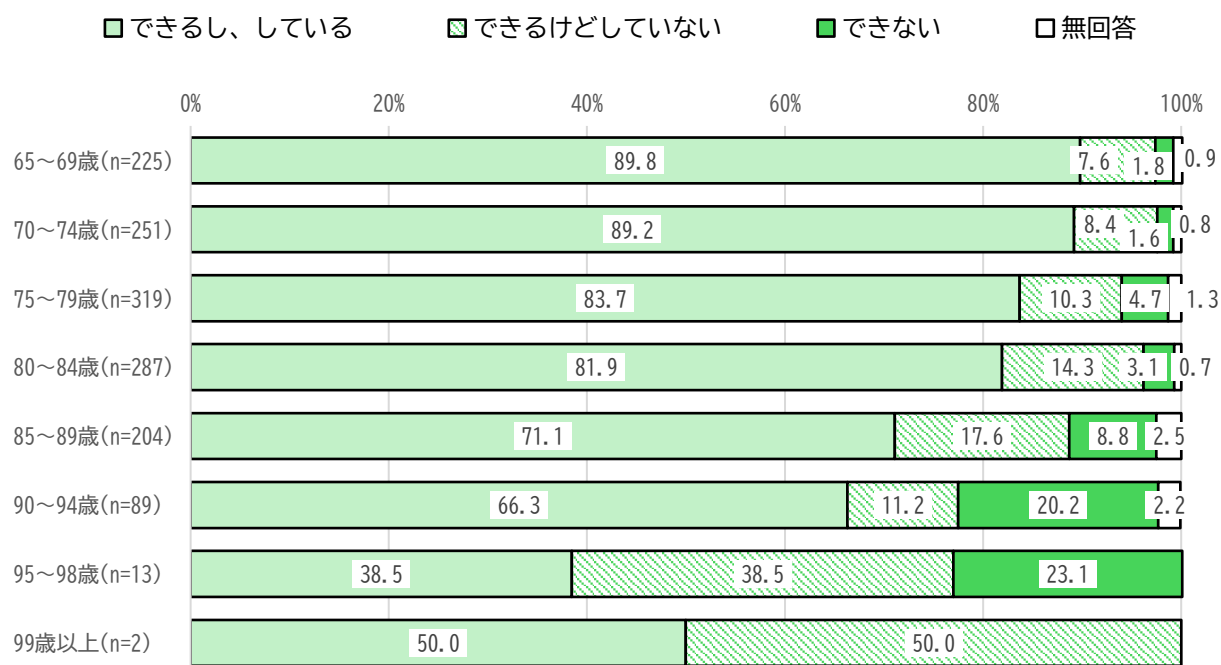
(8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか (○は1つ)

「できるし、している」(81.6%)の割合が最も高く、次いで「できるけどしていない」(12.0%)、「できない」(5.1%)となっています。



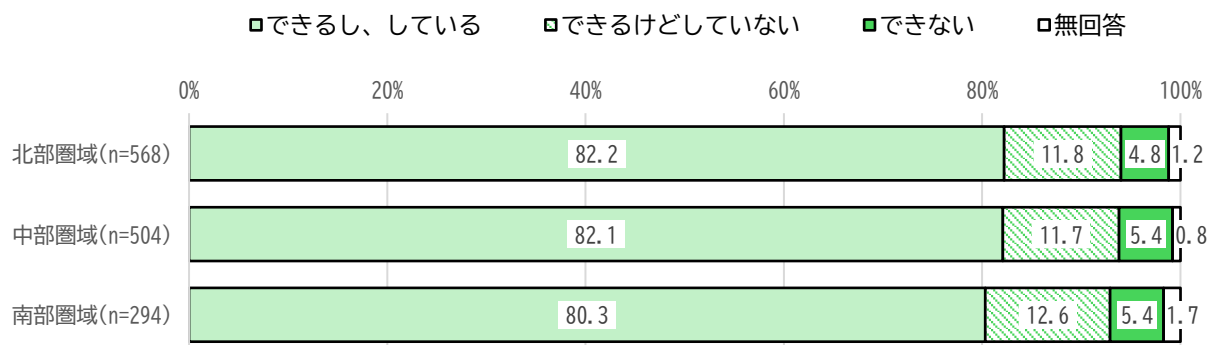
【年代別】

年代別では、年代が上がるにつれ、「できるけどしていない」の割合が高くなっています。



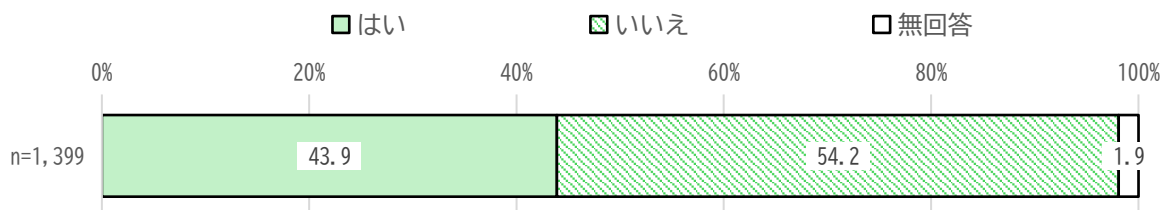
【圏域別】

圏域別では、大きな差異はみられません。



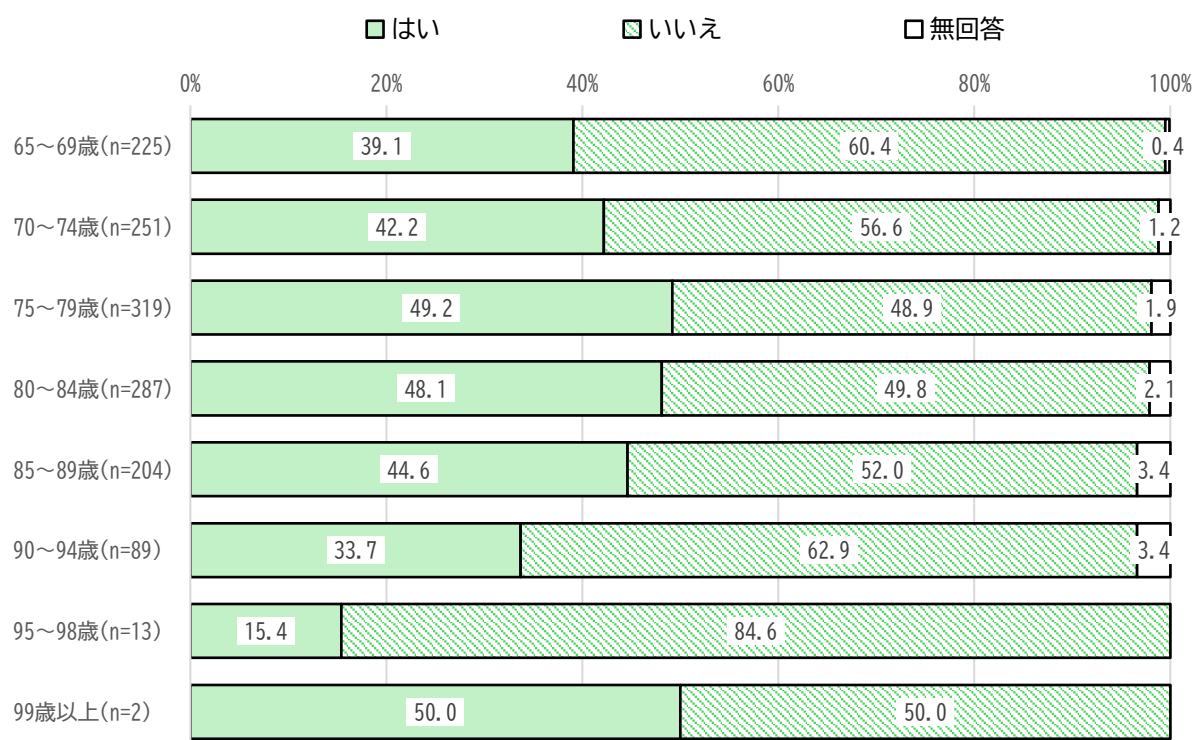
(9) 友人の家を訪ねていますか (○は1つ)

「はい」が43.9%、「いいえ」が54.2%となっています。



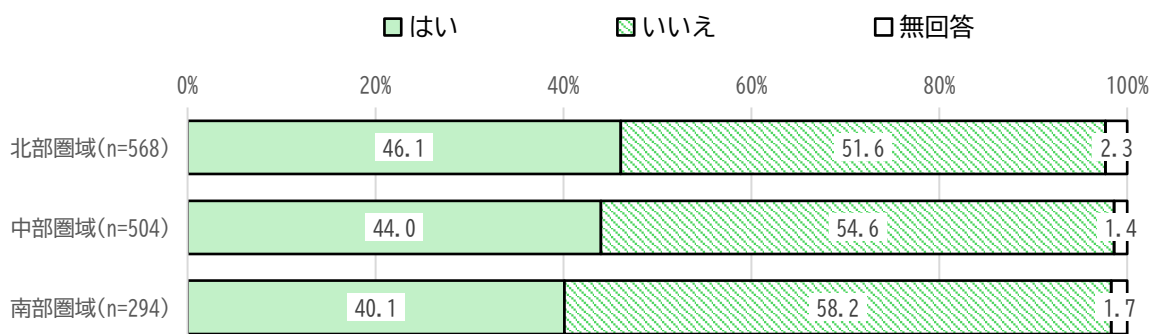
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、75～79歳で「はい」(49.2%)の割合が高くなっています。



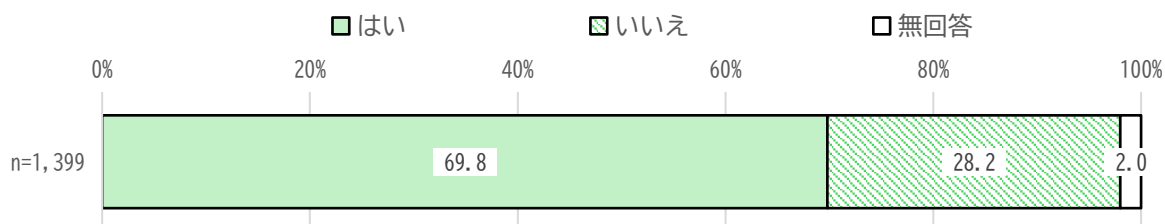
【圏域別】

圏域別では、大きな差異はみられません。



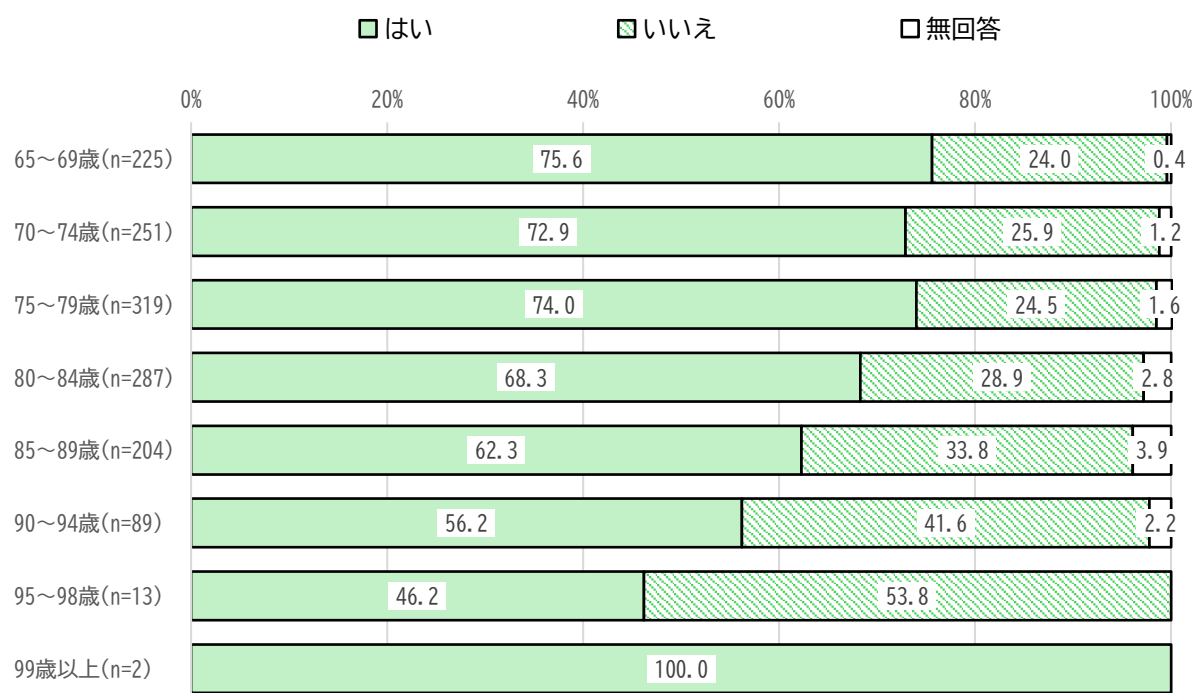
(10) 家族や友人の相談にのっていますか（○は1つ）

「はい」が69.8%、「いいえ」が28.2%となっています。



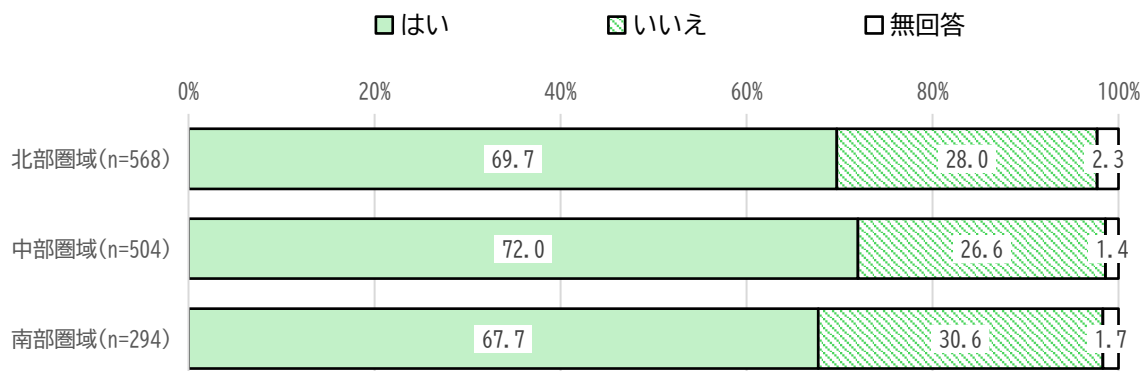
【年代別】

年代別では、年代が上がるにつれ、「はい」の割合が低くなる傾向が見られます。



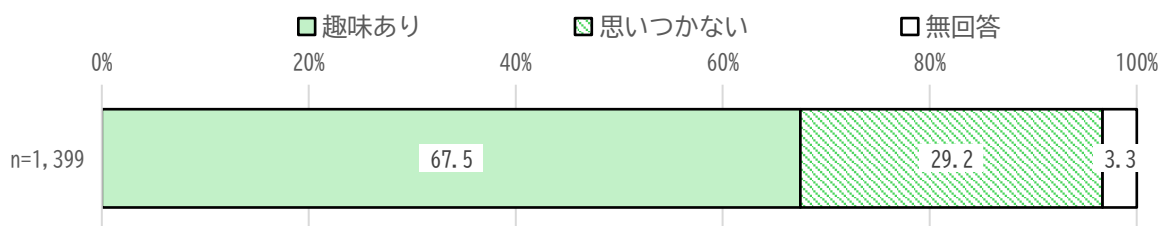
【圏域別】

圏域別では、大きな差異はみられません。



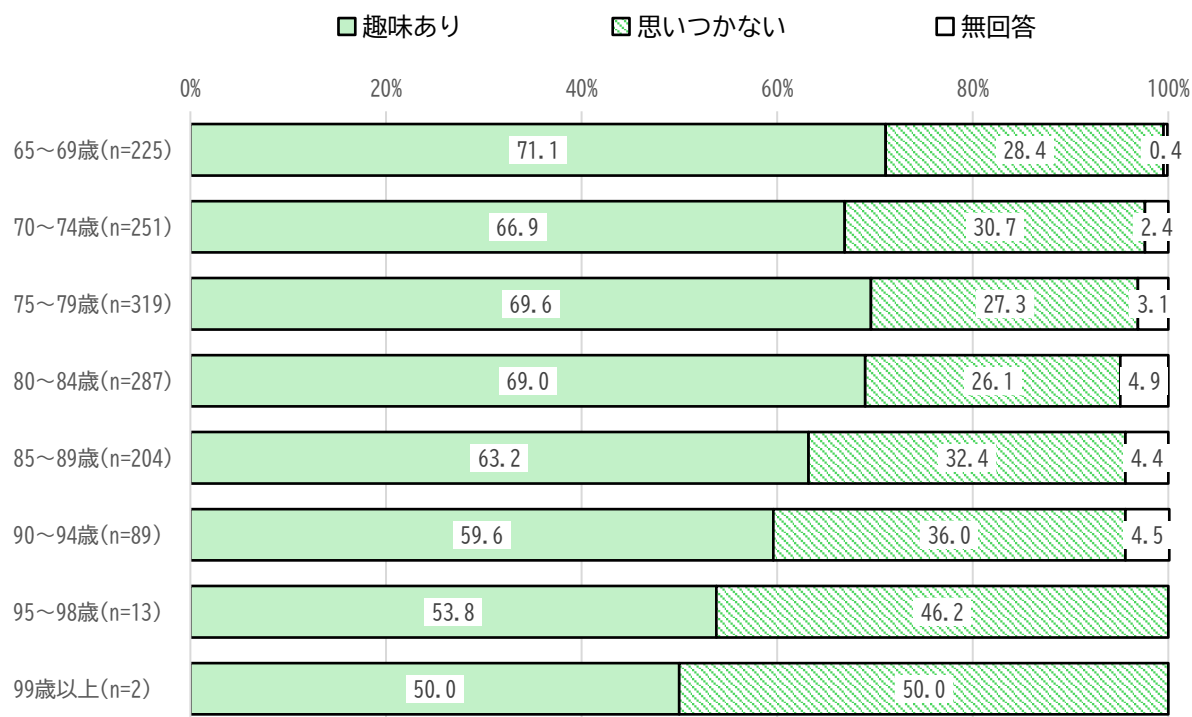
(11) 趣味はありますか（○は1つ）

「趣味あり」が67.5%、「思いつかない」が29.2%となっています。



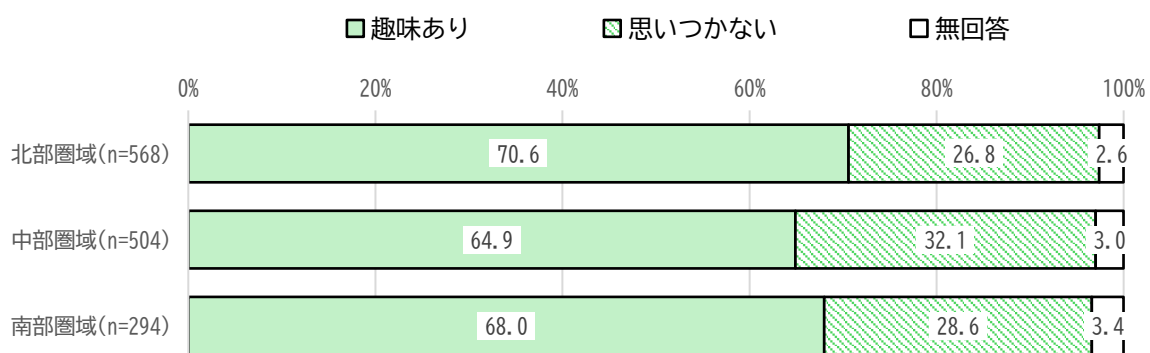
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、65～69歳で「趣味あり」（71.1%）の割合が高くなっています。



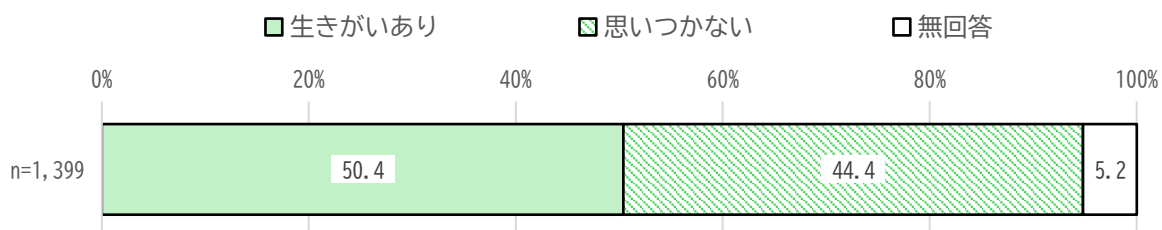
【圏域別】

圏域別では、他の圏域と比べ、北部圏域で「趣味あり」（70.6%）の割合が高くなっています。



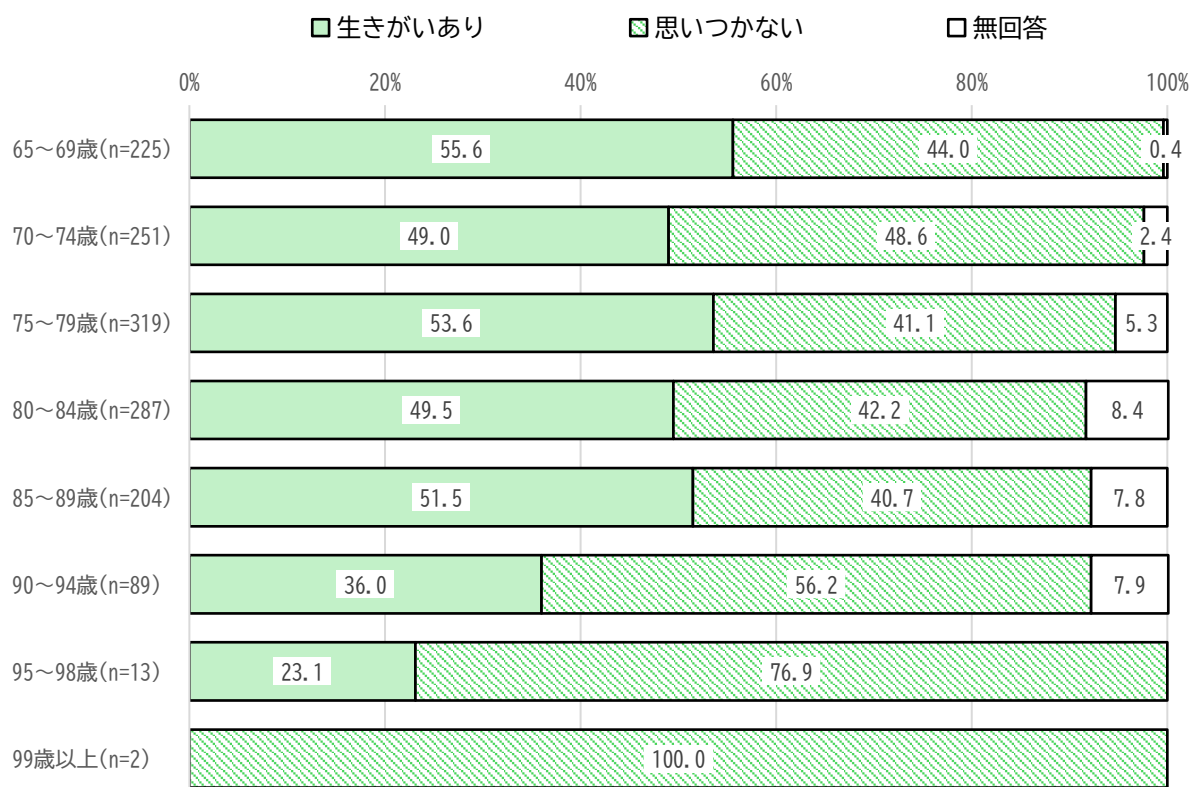
(12) 生きがいがありますか (○は1つ)

「生きがいあり」が50.4%、「思いつかない」が44.4%となっています。



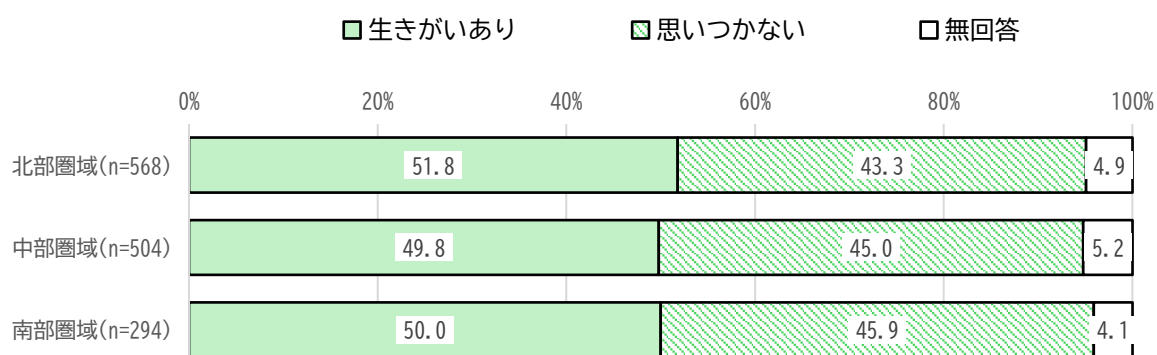
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、90歳以上になると「思いつかない」の割合が高くなっています。



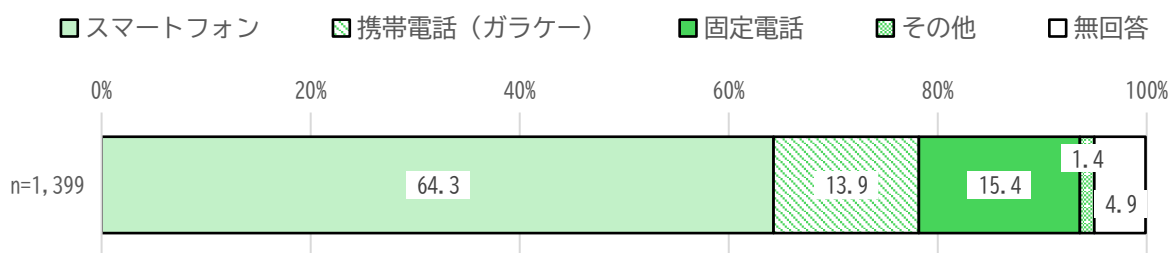
【圏域別】

圏域別では、大きな差異はみられません。



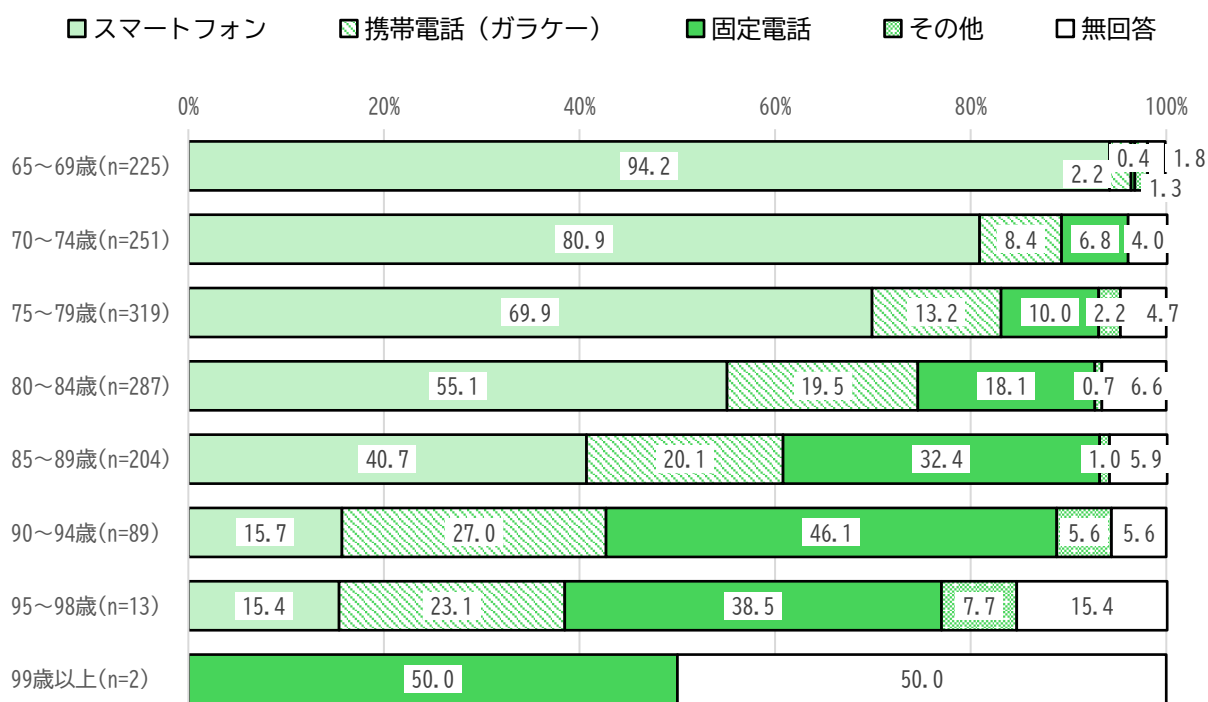
(13) 主に使用している通信・連絡機器はどれですか（〇は1つ）

「スマートフォン」（64.3％）の割合が最も高く、次いで「固定電話」（15.4％）、「携帯電話（ガラケー）」（13.9％）となっています。



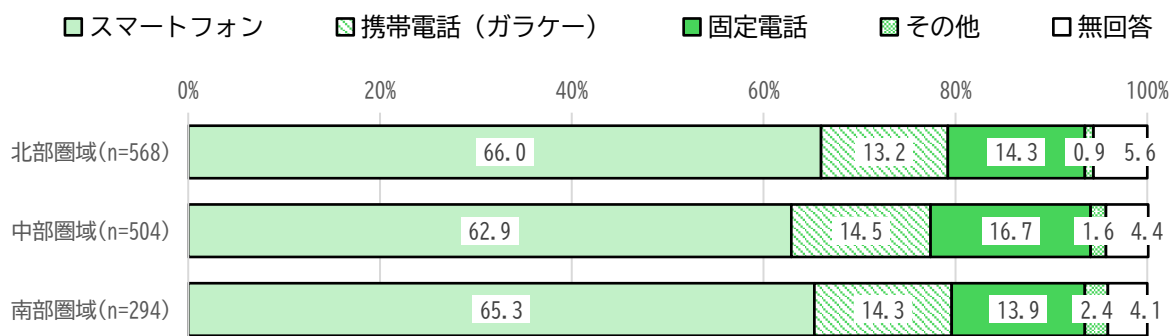
【年代別】

年代別では、年代が上がるにつれ「スマートフォン」の割合が低く、「携帯電話（ガラケー）」と「固定電話」の割合が高くなっています。



【圏域別】

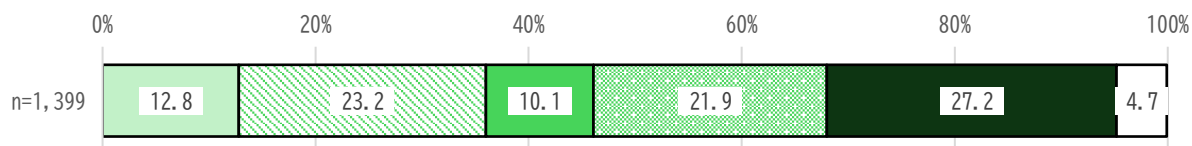
圏域別では、大きな差異はみられません。



(14) スマートフォンやパソコン、タブレットなどの通信・連絡機器を使って、各種申込や申請を行うことに不安を感じますか（○は1つ）

「不安」（27.2%）の割合が最も高く、次いで「できるが少し不安」（23.2%）、「どちらかといえば不安」（21.9%）となっています。

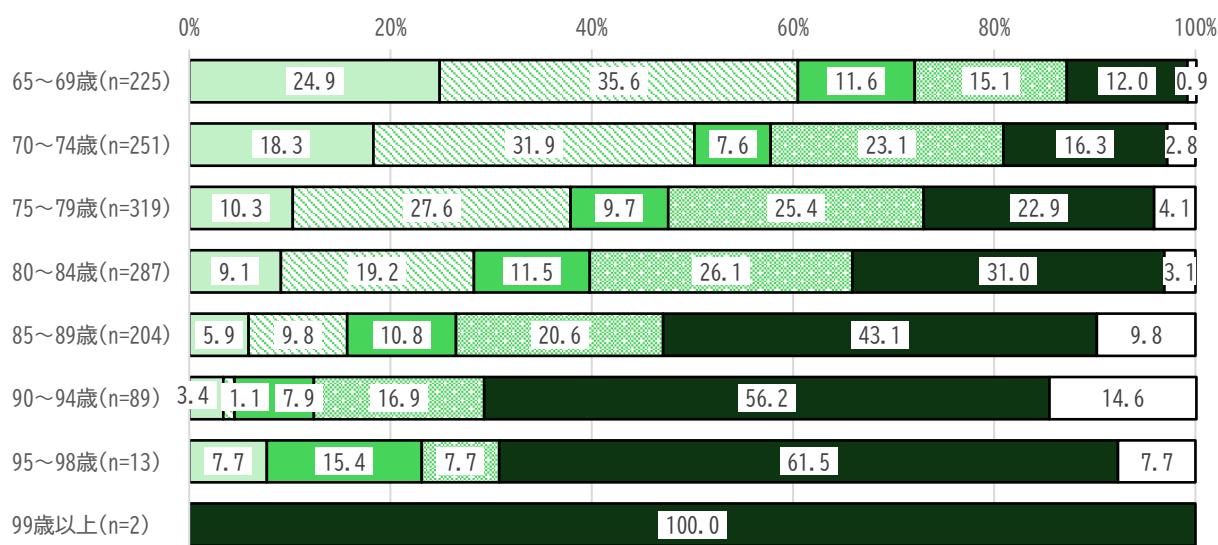
□ 不安を感じない □ できるが少し不安 ■ どちらとも言えない □ どちらかといえば不安 ■ 不安 □ 無回答



【年代別】

年代別では、年代が上がるにつれ「不安」の割合が高くなる傾向が見られます。

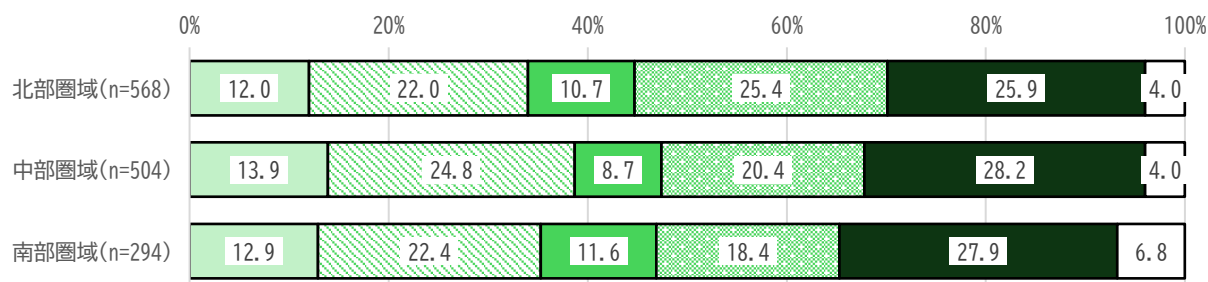
□ 不安を感じない □ できるが少し不安 ■ どちらとも言えない □ どちらかといえば不安 ■ 不安 □ 無回答



【圏域別】

圏域別では、他の圏域と比べ、北部圏域で「どちらかといえば不安」（25.4%）の割合が高くなっています。

□ 不安を感じない □ できるが少し不安 ■ どちらとも言えない □ どちらかといえば不安 ■ 不安 □ 無回答



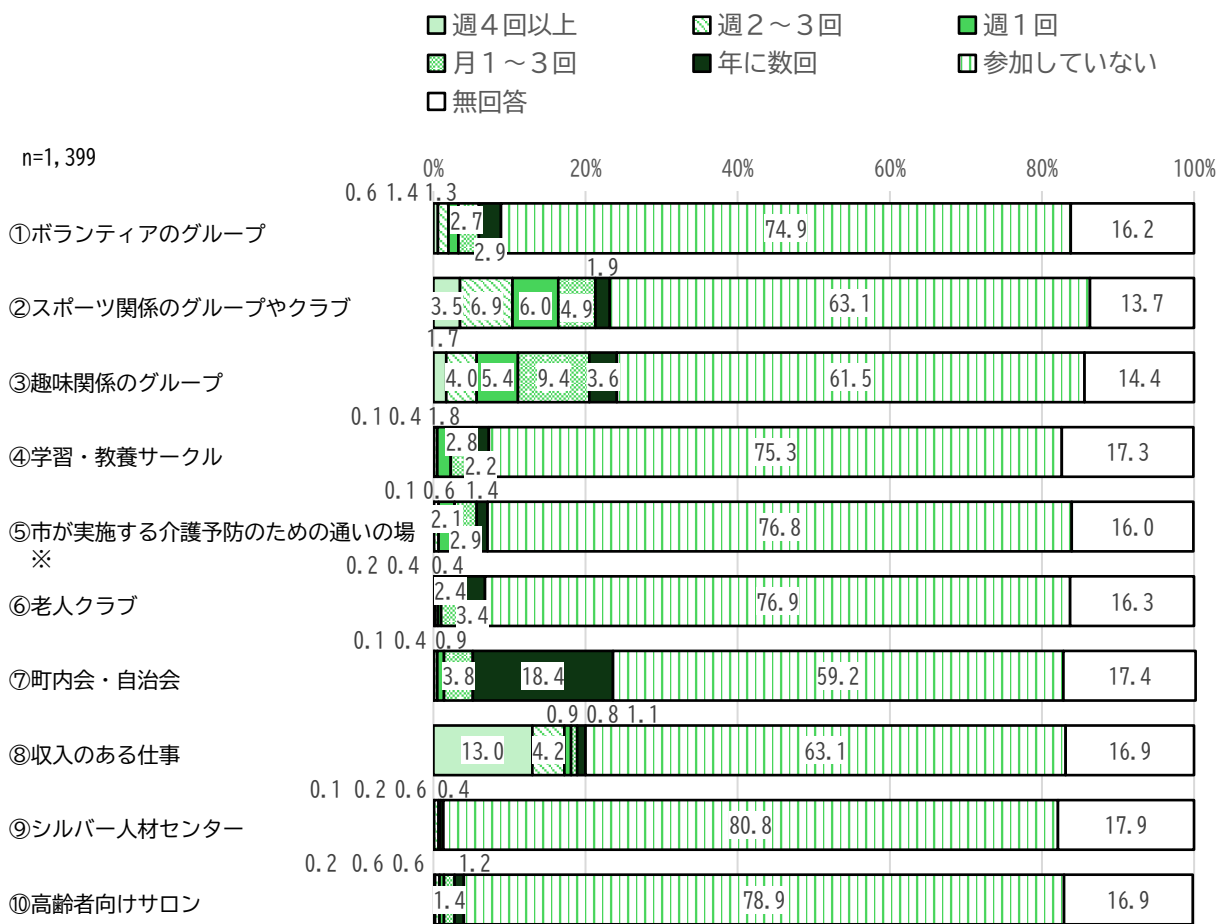
5 地域での活動について

(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか

※①～⑩それぞれに回答してください（○はそれぞれに1つ）

【参加頻度】

「週4回以上」と「週2～3回」と「週1回」と「月1～3回」と「年に数回」を合わせた『参加している』は、「②スポーツ関係のグループやクラブ」「③趣味関係のグループ」、「⑦町内会・自治会」「⑧収入のある仕事」で割合が高くなっています。

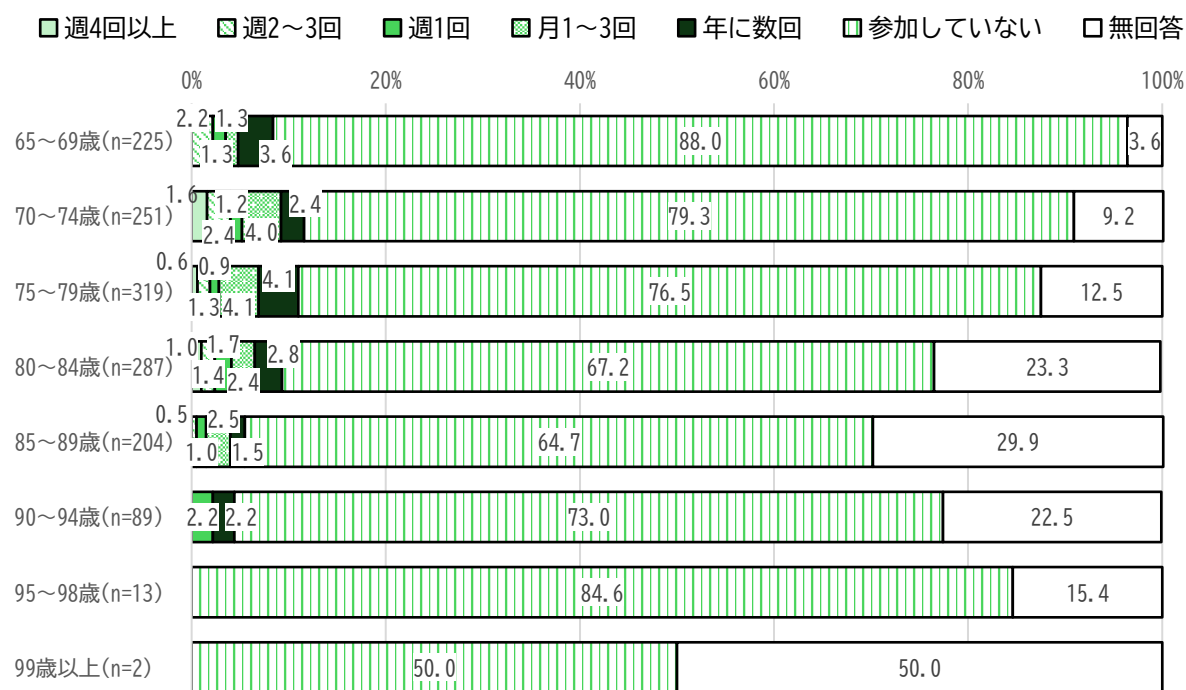


※足腰弱らん教室、ちいきのきょうしつ、講師派遣型介護予防教室、楽しく健康づくり教室、高齢者教室

①ボランティアのグループ

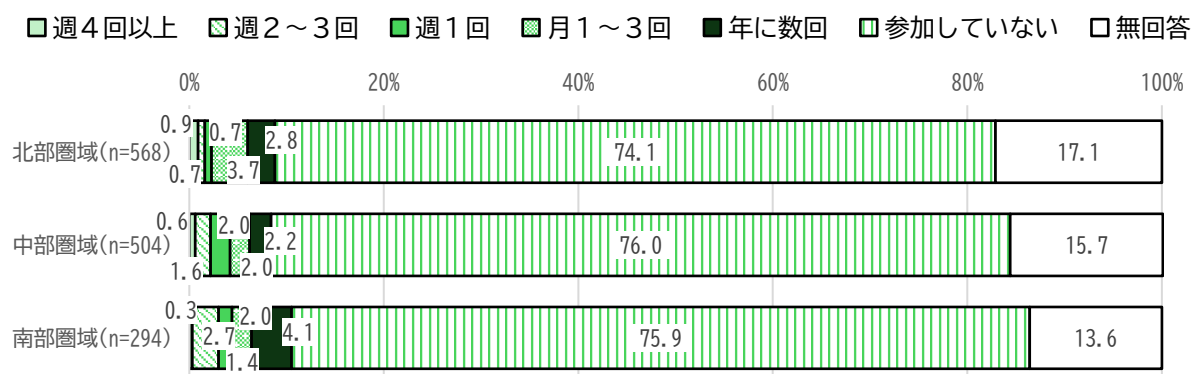
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、70～79歳で『参加している』の割合が高くなっています。



【圏域別】

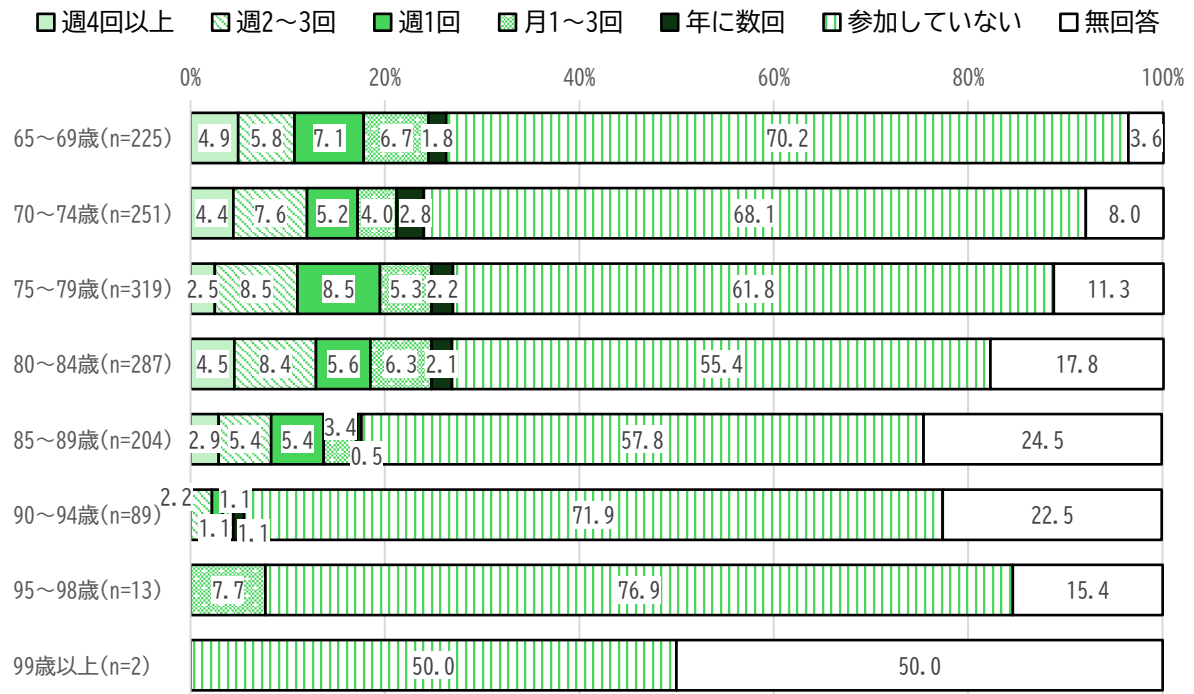
圏域別では、大きな差異はみられません。



②スポーツ関係のグループやクラブ

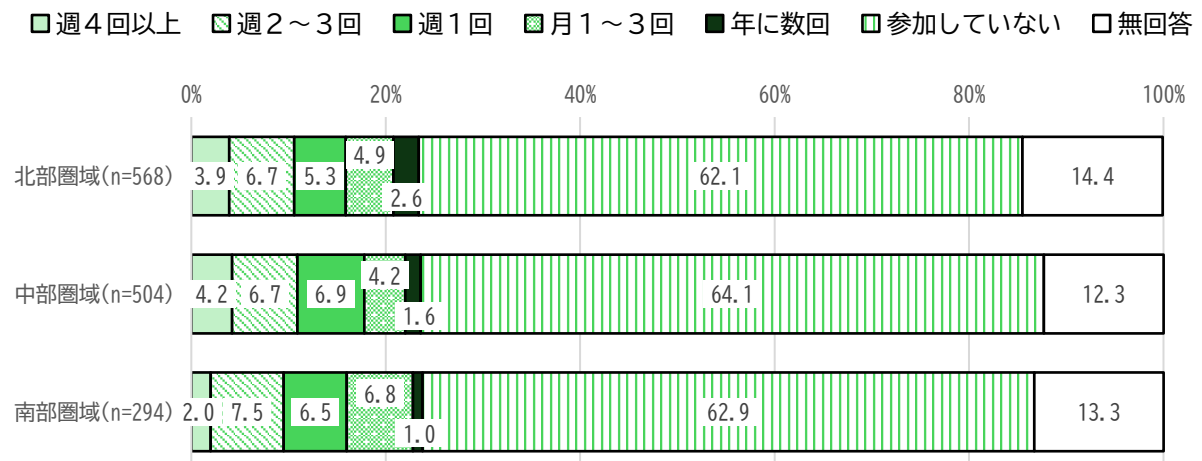
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、65～84歳で『参加している』の割合が高くなっています。



【圏域別】

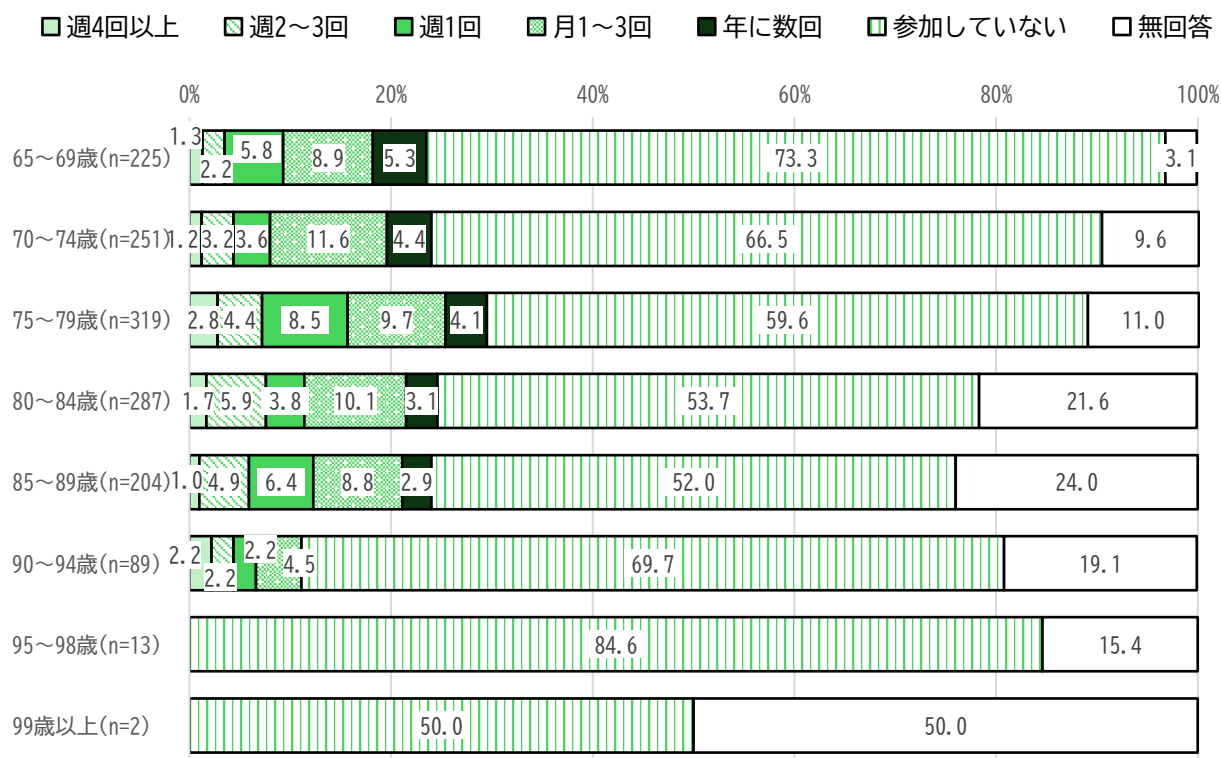
圏域別では、大きな差異はみられません。



③趣味関係のグループ

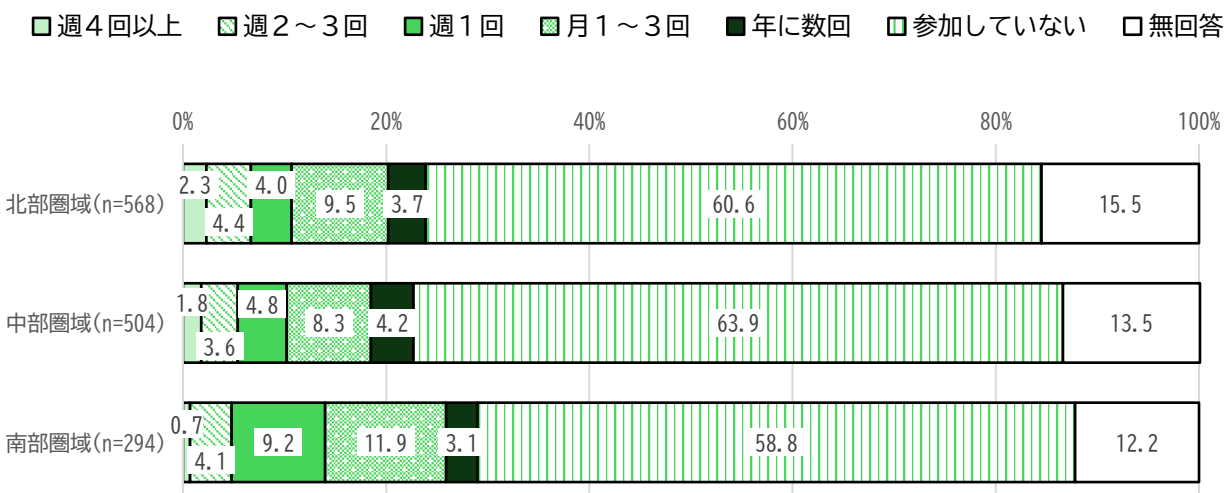
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、75～79歳で『参加している』の割合が高くなっています。



【圏域別】

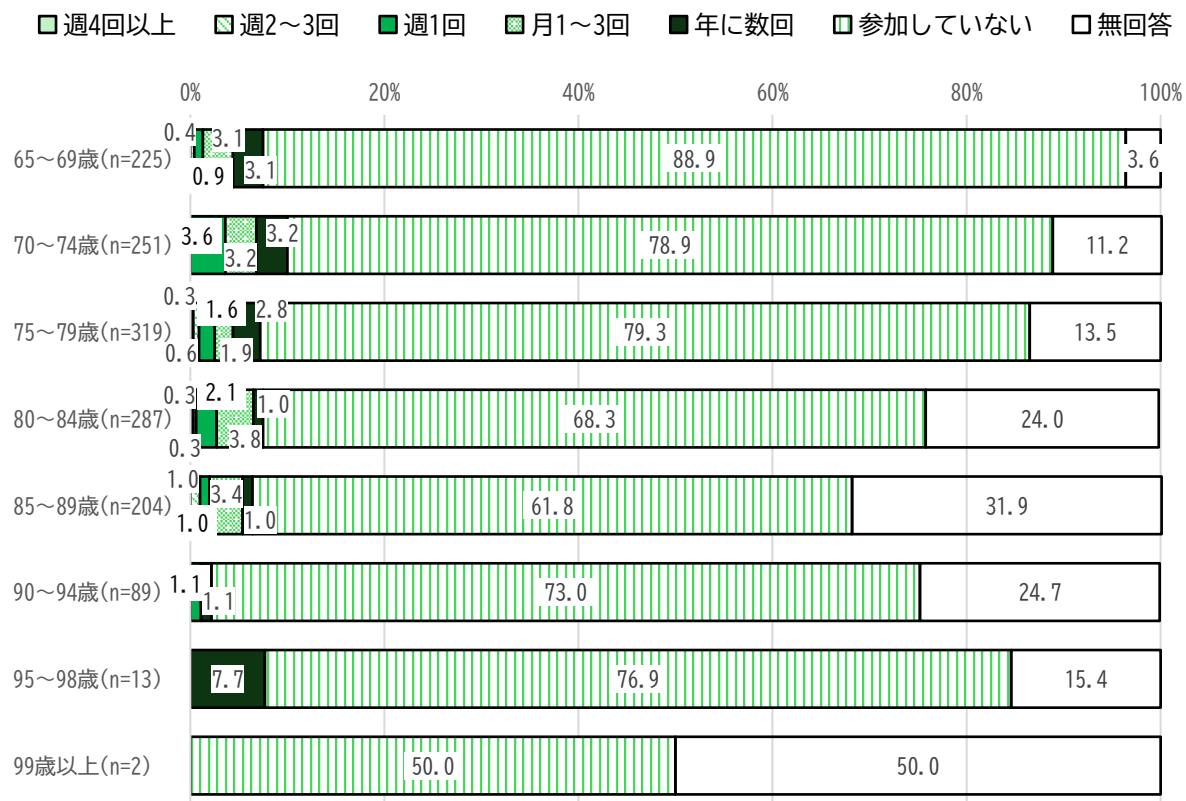
圏域別では、他の圏域と比べ、南部圏域で『参加している』の割合が高くなっています。



④学習・教養サークル

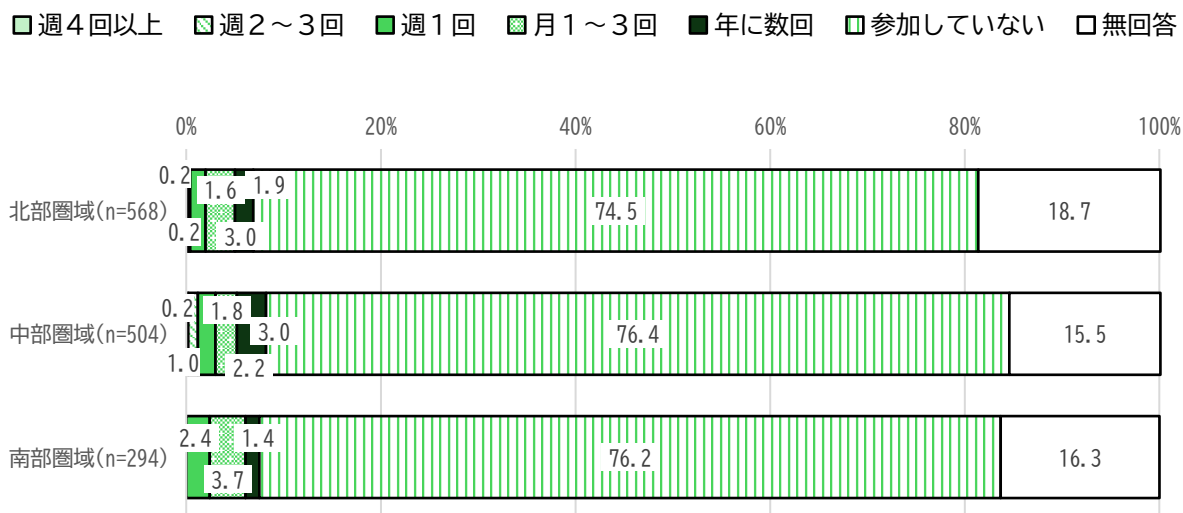
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、65～69 歳で「参加していない」（88.9％）の割合が高くなっています。



【圏域別】

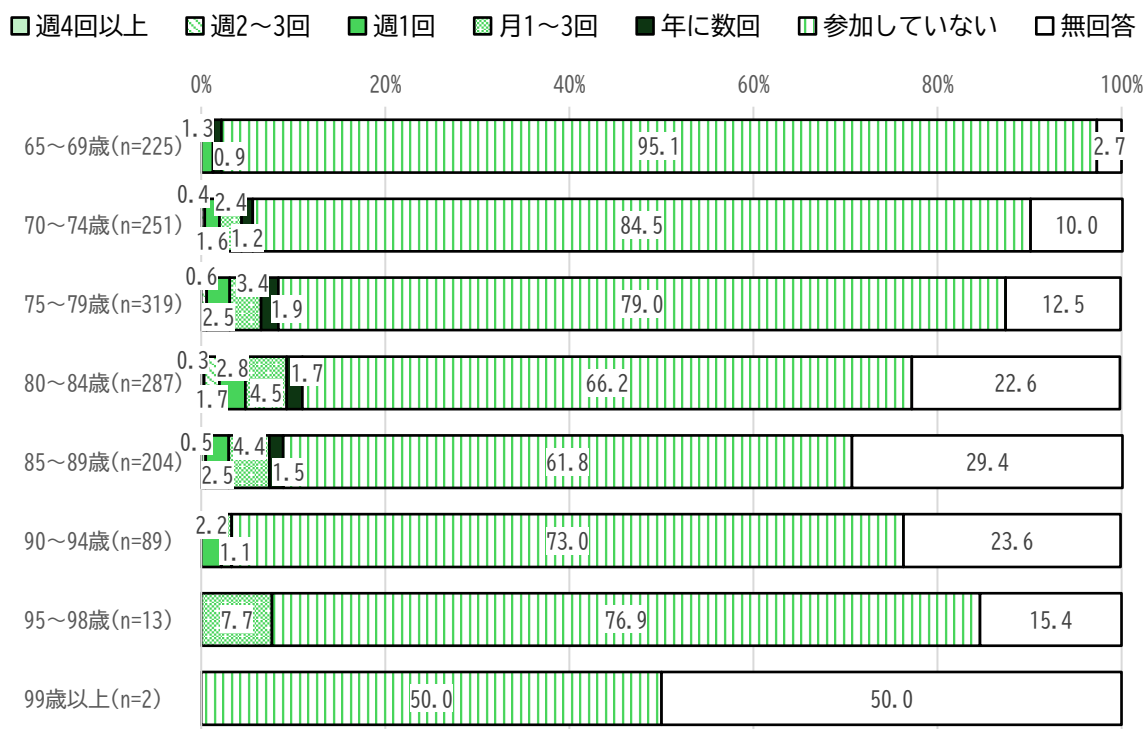
圏域別では、大きな差異はみられません。



⑤市が実施する介護予防のための通いの場

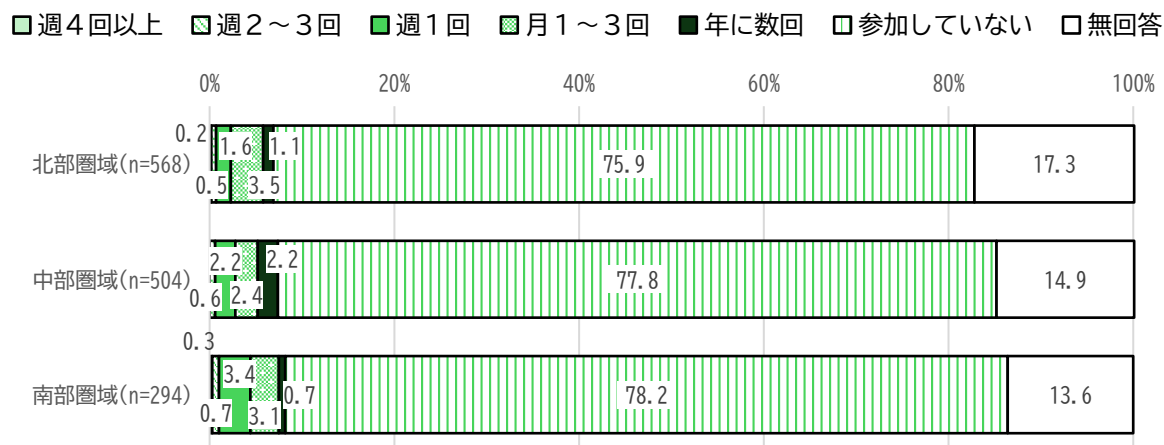
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、80～84歳で『参加している』の割合が高くなっています。



【圏域別】

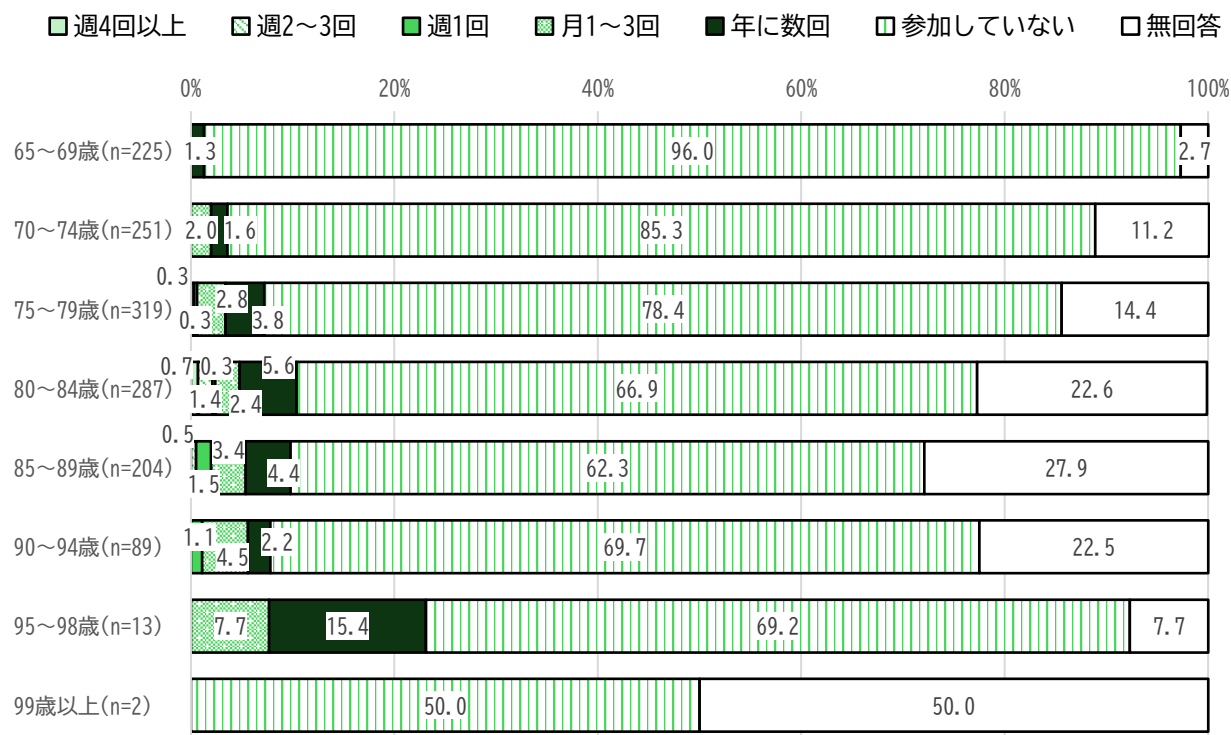
圏域別では、大きな差異はみられません。



⑥老人クラブ

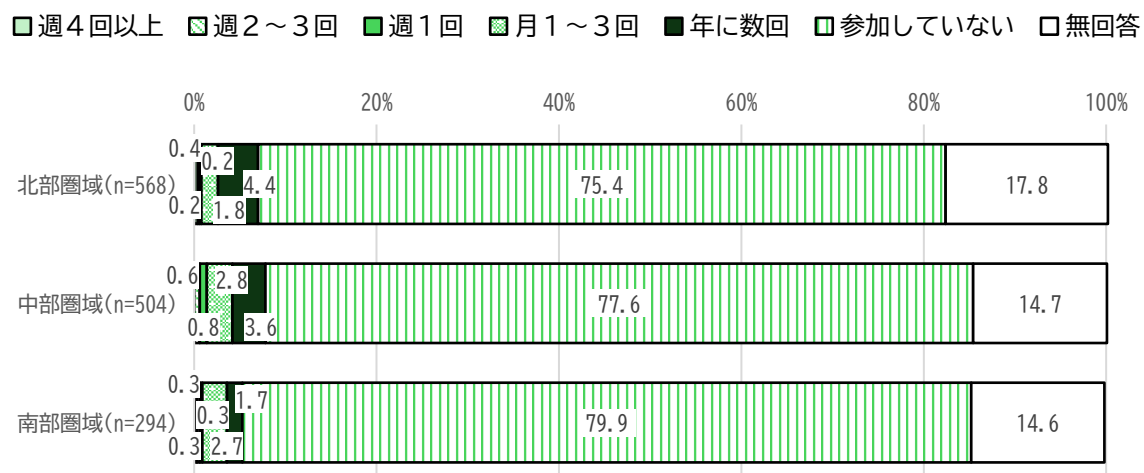
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、65～69歳で「参加していない」（96.0％）の割合が高くなっています。また、年代が上がるにつれ『参加している』の割合が高くなる傾向がみられます。



【圏域別】

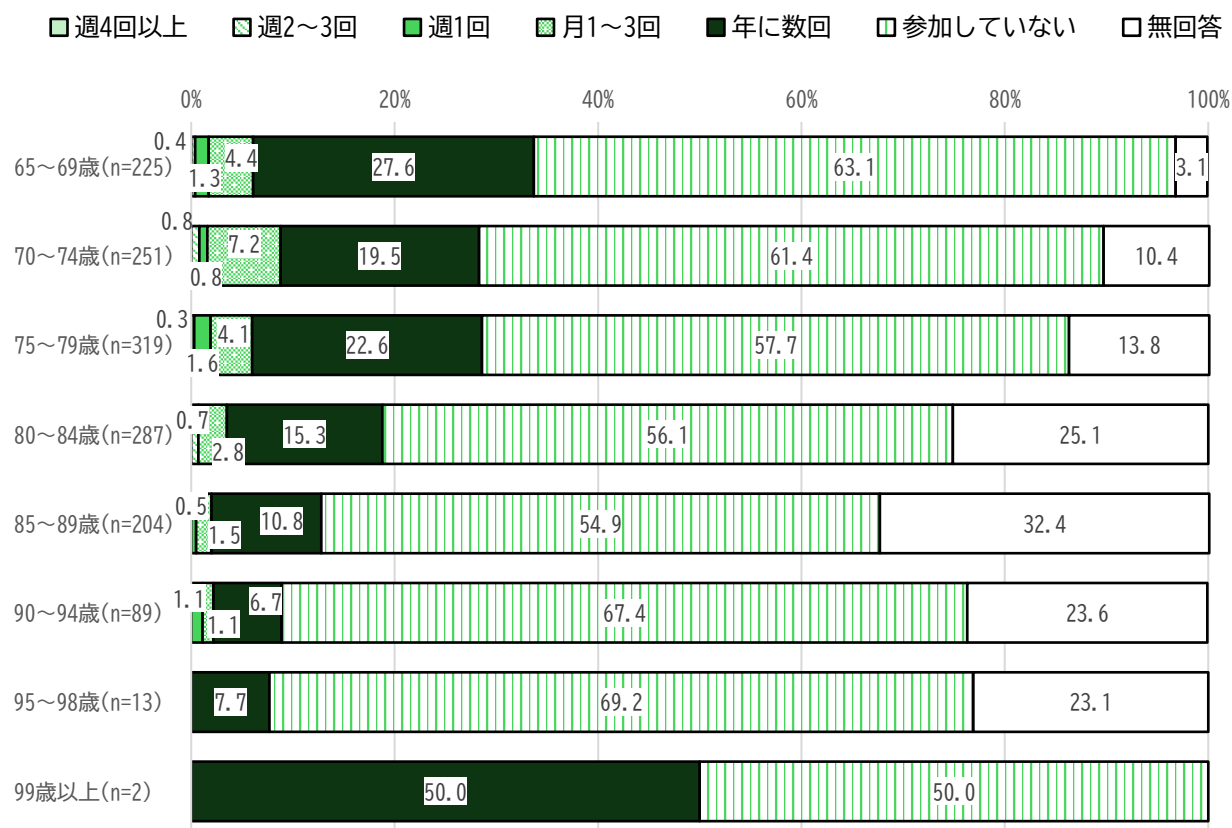
圏域別では、大きな差異はみられません。



⑦町内会・自治会

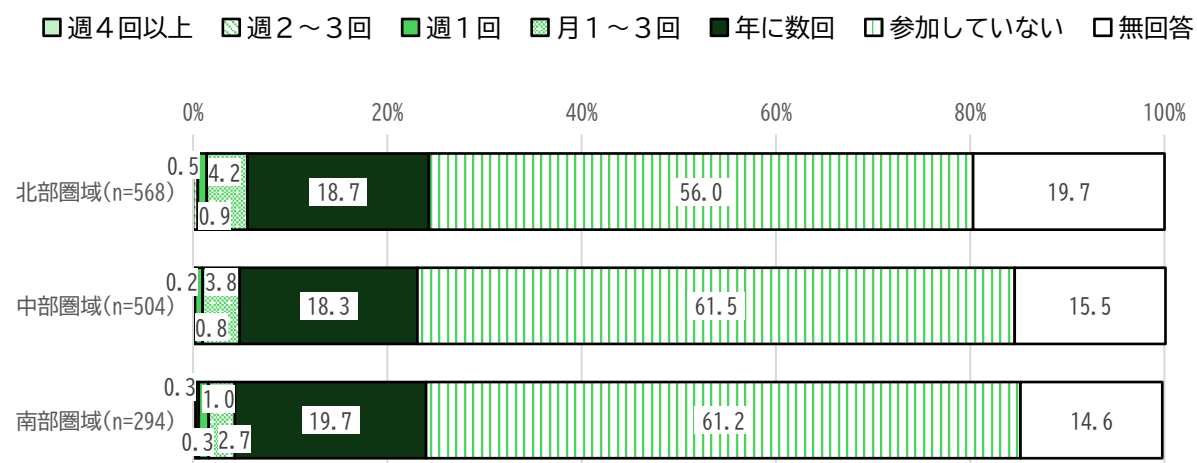
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、65～69歳で『参加している』の割合が高くなっています。



【圏域別】

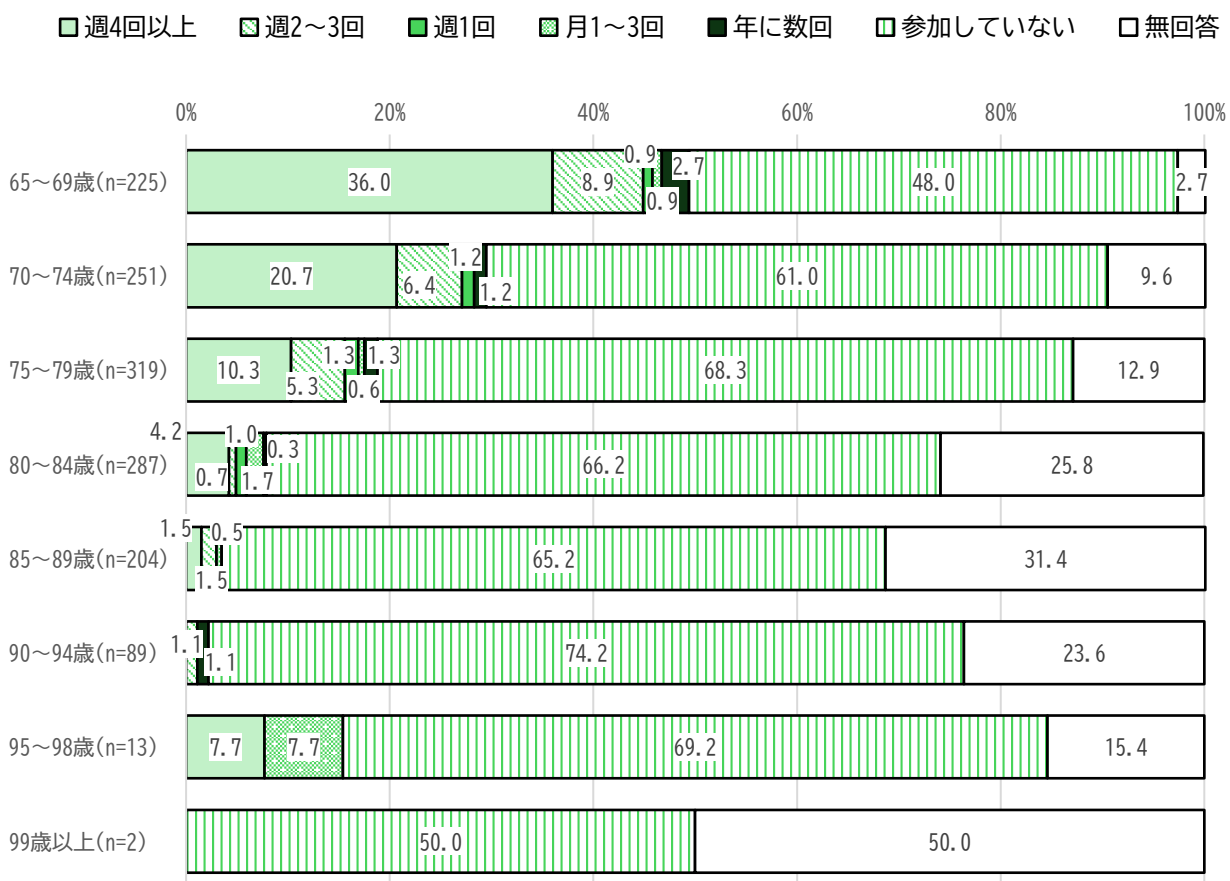
圏域別では、他の圏域と比べ、北部圏域で「参加していない」（56.0%）の割合が低くなっています。



⑧収入のある仕事

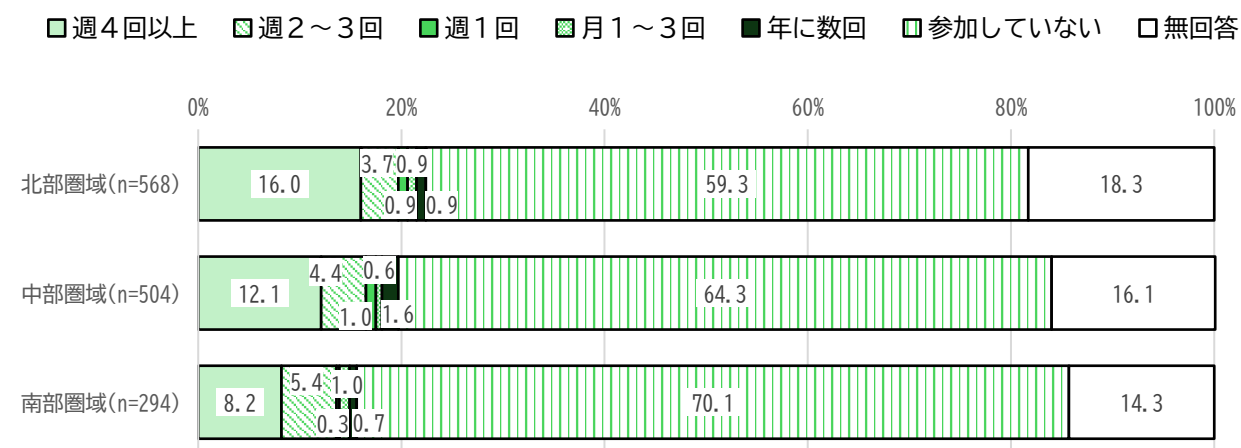
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、65～69歳で『参加している』の割合が高くなっています。



【圏域別】

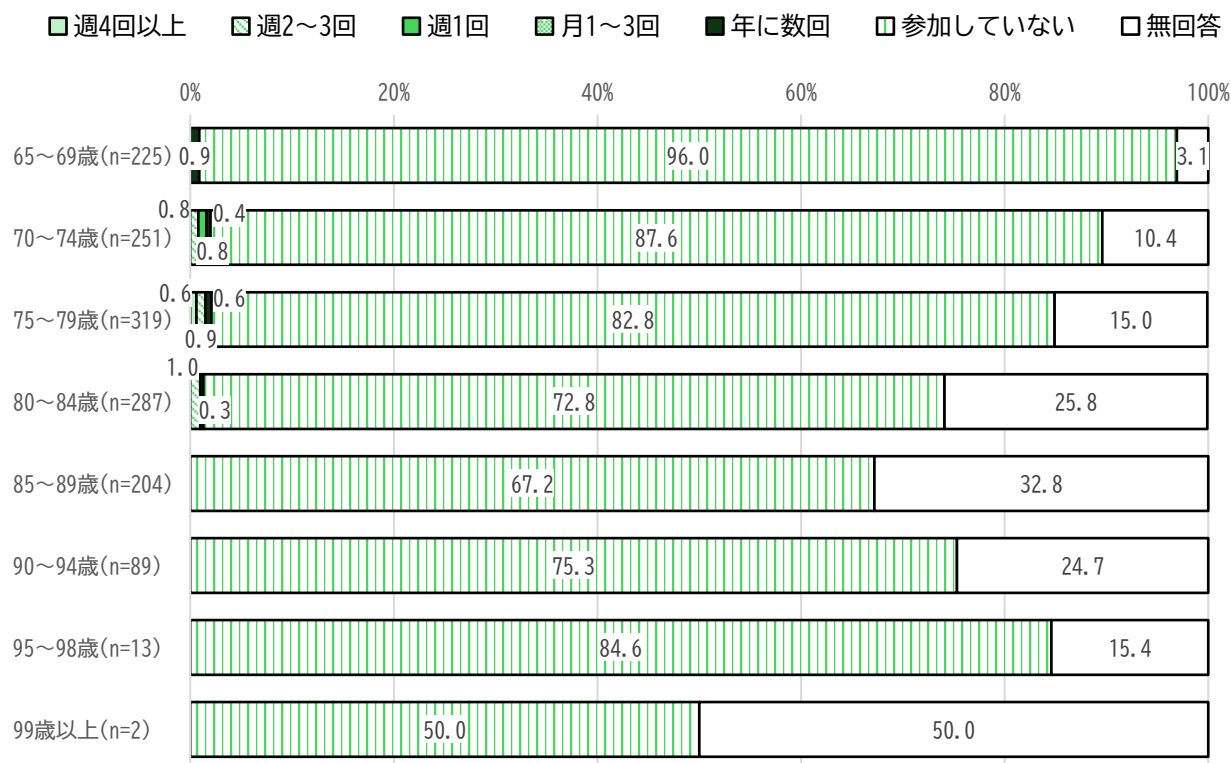
圏域別では、他の圏域と比べ、南部圏域で「参加していない」（70.1％）の割合が高くなっています。



⑨シルバー人材センター

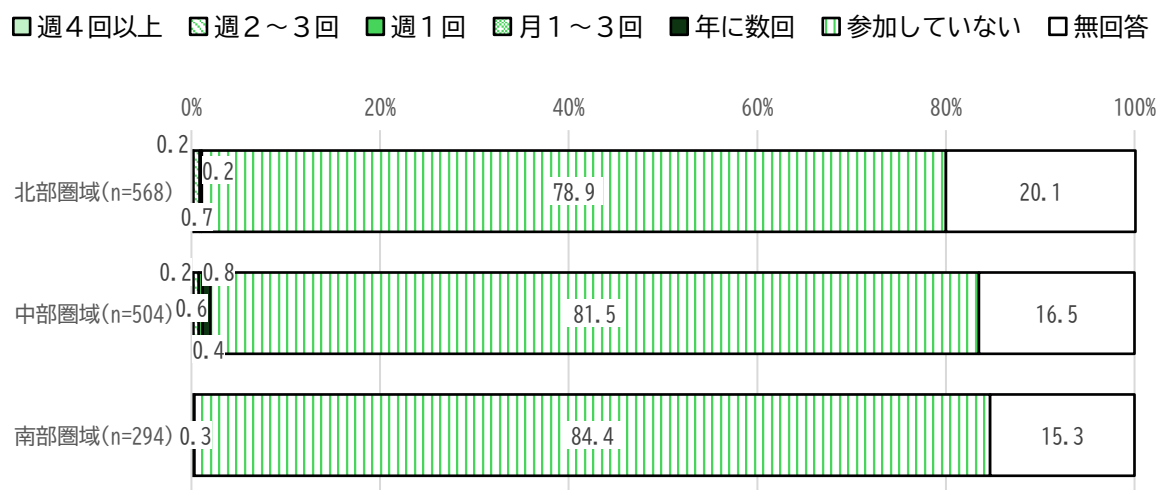
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、65～69 歳で「参加していない」（96.0％）の割合が高くなっています。



【圏域別】

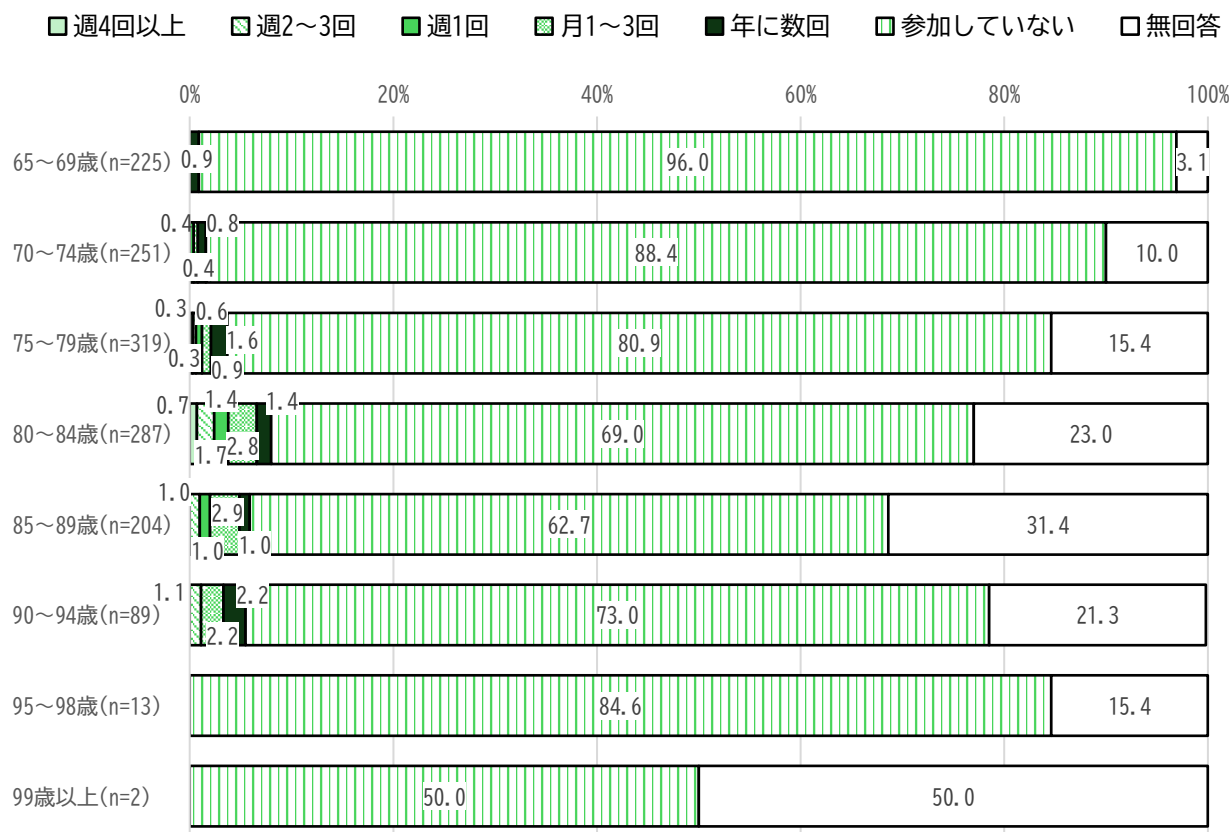
圏域別では、大きな差異はみられません。



⑩高齢者向けサロン

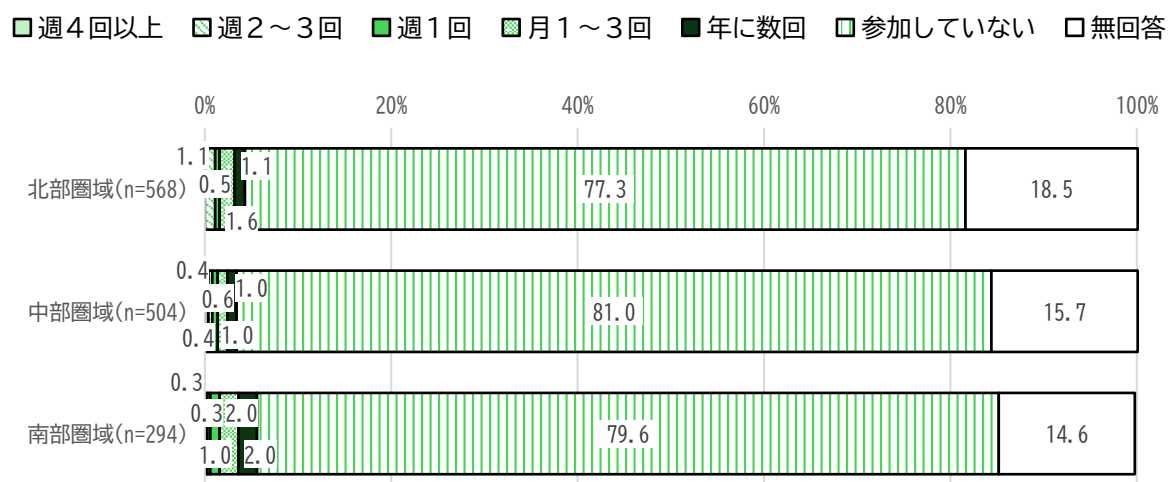
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、80～84歳で『参加している』の割合が高くなっています。



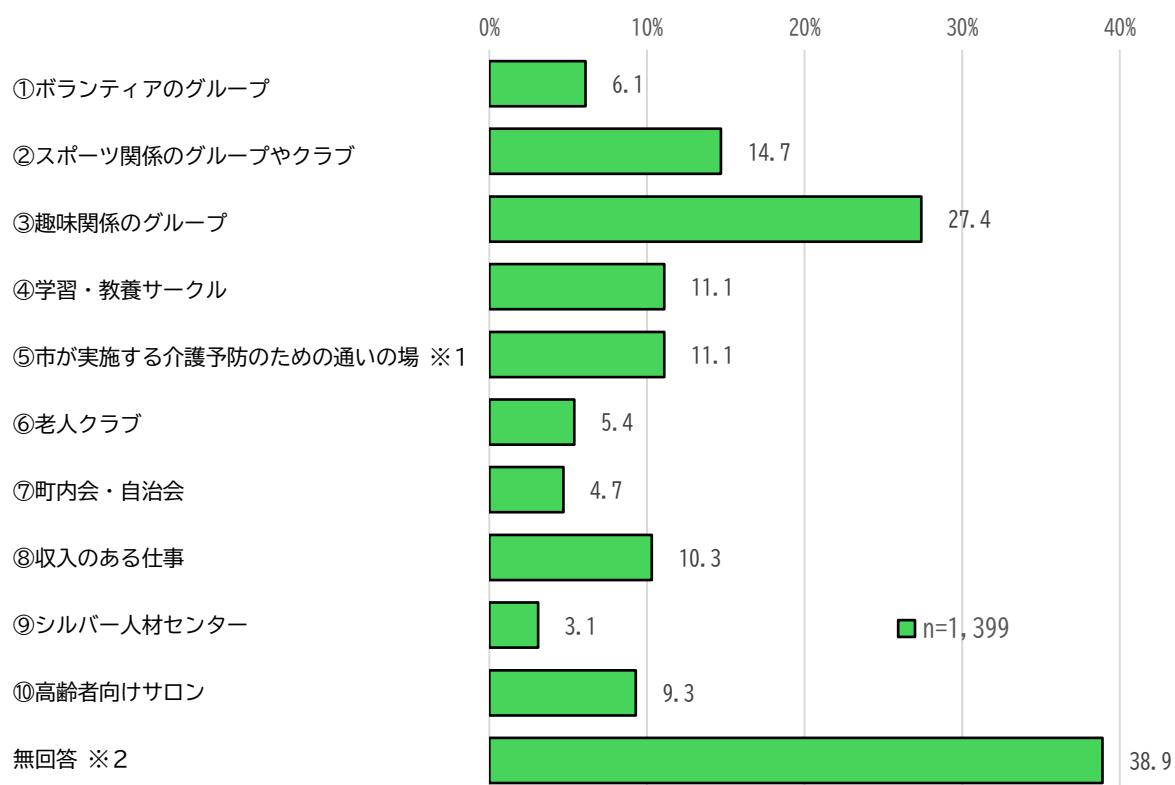
【圏域別】

圏域別では、大きな差異はみられません。



(2) 以下のような会・グループ等で、今後参加してみたいものを教えてください
(〇はいくつでも)

今後の参加希望では、「趣味関係のグループ」(27.4%)の割合が最も高く、次いで「スポーツ関係のグループやクラブ」(14.7%)、「学習・教養サークル」「市が実施する介護予防のための通いの場」(各11.1%)となっています。



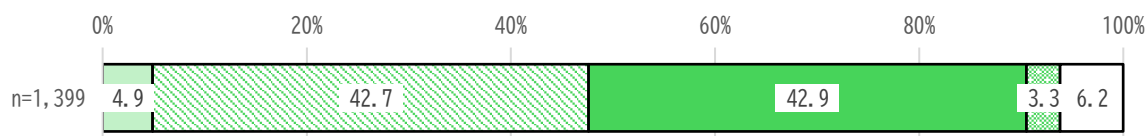
※1 足腰弱らん教室、ちいきのきょうしつ、講師派遣型介護予防教室、楽しく健康づくり教室、高齢者教室

※2 今回の調査から、「今後の参加希望」は個別の設問として回答する形式としたため、前回調査より「無回答」が減少しています。

(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、その活動に参加者として参加してみたいと思いますか（〇は1つ）

「是非参加したい」と「参加してもよい」を合わせた『参加希望あり』（47.6%）の割合が最も高く、次いで「参加したくない」（42.9%）、「既に参加している」（3.3%）となっています。

■是非参加したい ■参加してもよい ■参加したくない ■既に参加している □無回答



【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、70～74歳で『参加希望あり』の割合が高くなっています。

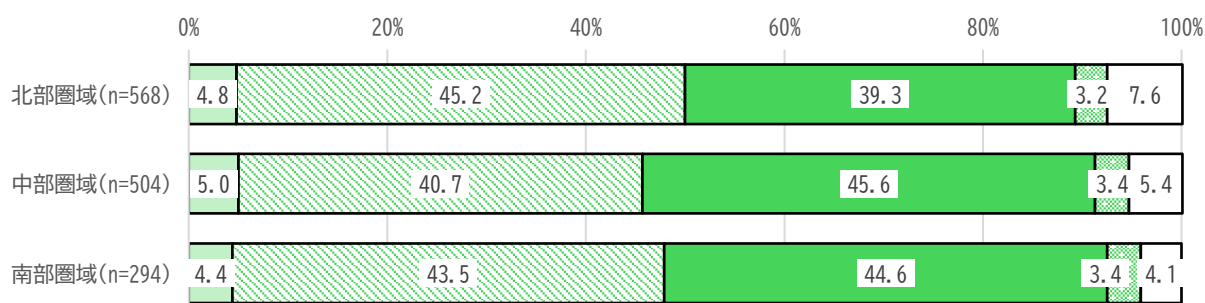
■是非参加したい ■参加してもよい ■参加したくない ■既に参加している □無回答



【圏域別】

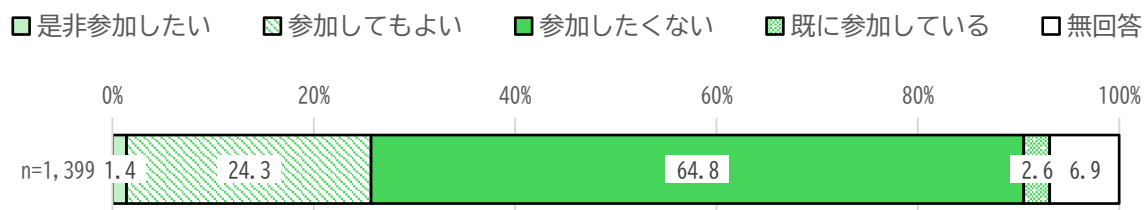
圏域別では、他の圏域と比べ、北部圏域で「参加したくない」（39.3%）の割合が低くなっています。

■是非参加したい ■参加してもよい ■参加したくない ■既に参加している □無回答



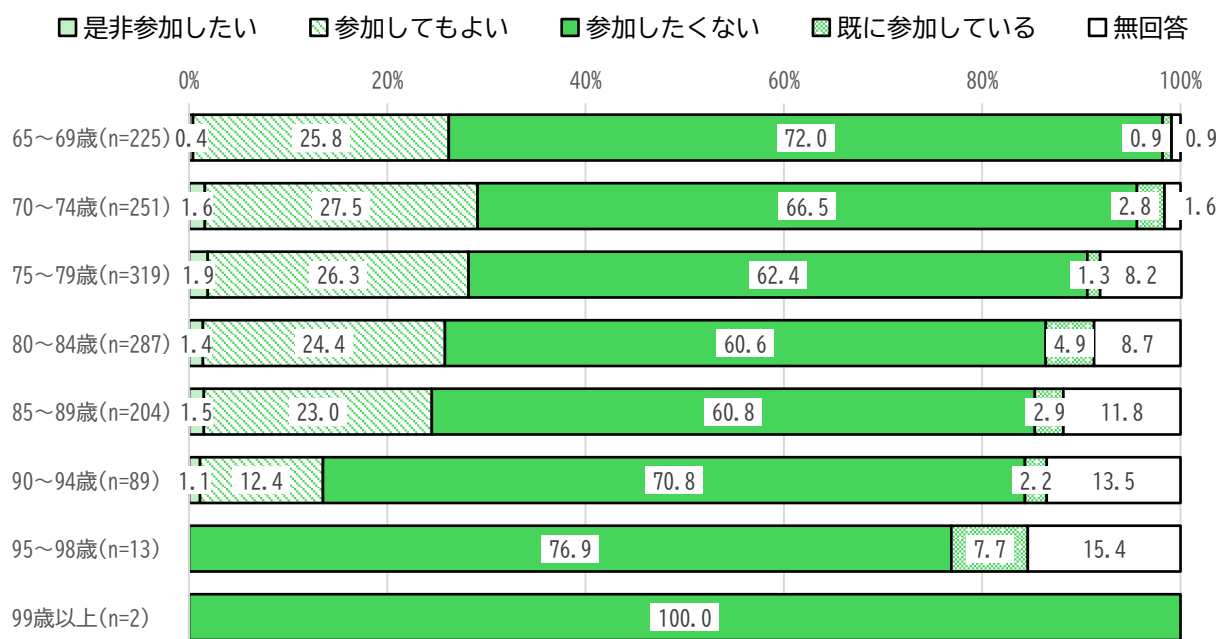
(4) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、その活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか（〇は1つ）

「参加したくない」（64.8％）の割合が最も高く、次いで「是非参加したい」と「参加してもよい」を合わせた『参加希望あり』（25.7％）、「既に参加している」（2.6％）となっています。



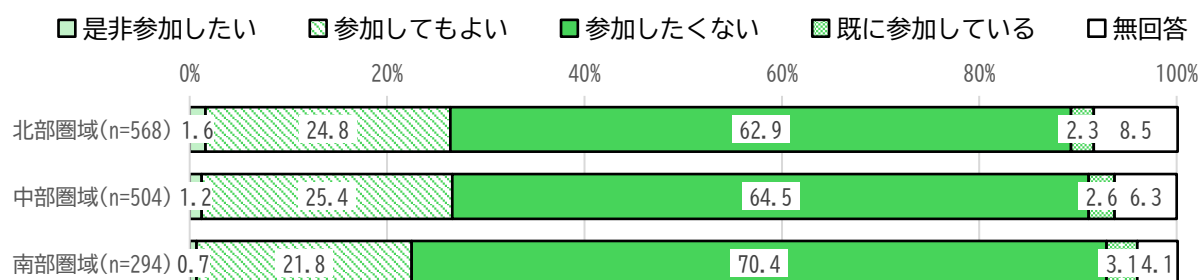
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、70～74 歳で『参加希望あり』（29.1％）の割合が高くなっています。



【圏域別】

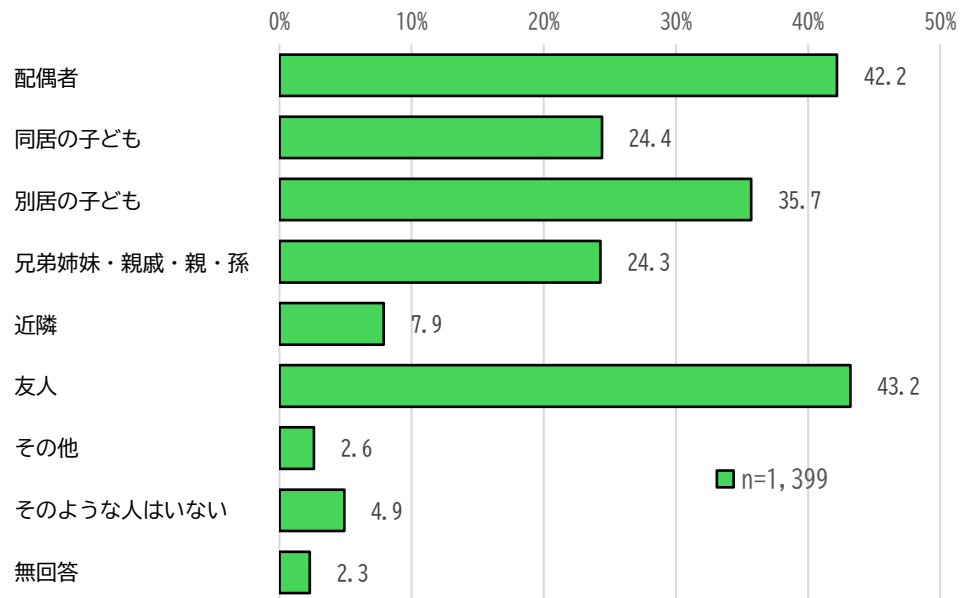
圏域別では、他の圏域と比べ、南部圏域で「参加したくない」（70.4％）の割合が高くなっています。



6 たすけあいについて

(1) 心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（〇はいくつでも）

「友人」（43.2％）の割合が最も高く、次いで「配偶者」（42.2％）、「別居の子ども」（35.7％）となっています。



【年代別・圏域別】

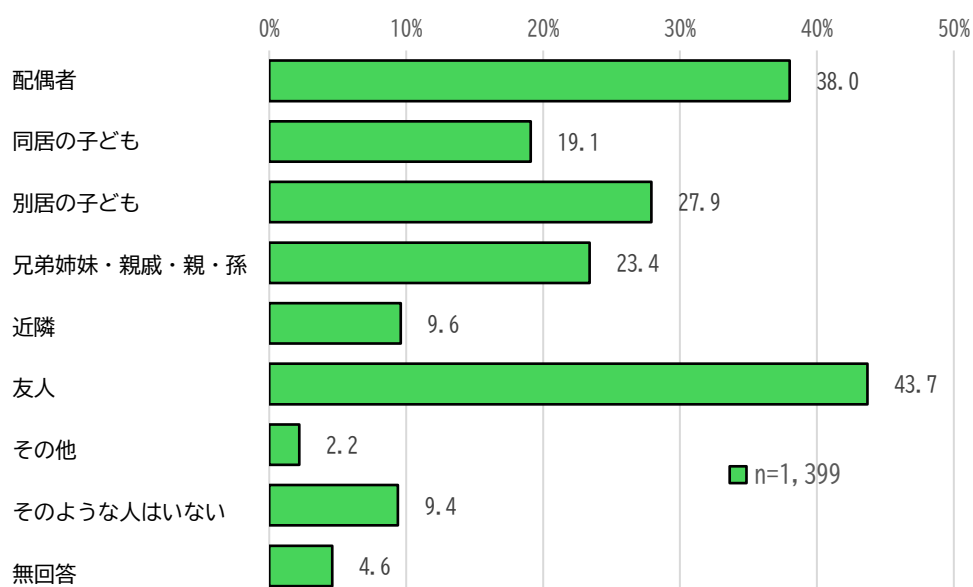
年代別では、他の年代と比べ、65～79歳で「配偶者」の割合が高くなっています。

圏域別では、南部圏域で「配偶者」の割合が最も高くなっており、北部圏域と中部圏域では「友人」の割合が最も高くなっています。

区分	全体 (件数)	配偶者	同居の子ども	別居の子ども	兄弟姉妹・親戚・親・孫	近隣	友人	その他	そのような人はいない	無回答
65～69歳	225	56.0	20.9	35.6	24.9	4.0	49.8	4.0	8.9	0.4
70～74歳	251	51.8	22.7	34.3	23.5	8.0	50.2	1.6	4.8	0.8
75～79歳	319	49.8	23.5	33.9	25.4	8.8	48.9	1.3	2.5	1.9
80～84歳	287	36.6	22.6	34.1	23.0	10.5	39.4	2.1	5.6	3.8
85～89歳	204	26.5	26.5	41.7	27.0	6.9	34.3	3.4	3.9	2.5
90～94歳	89	13.5	38.2	34.8	20.2	10.1	24.7	4.5	5.6	5.6
95～98歳	13	15.4	53.8	46.2	15.4	0.0	15.4	15.4	0.0	0.0
99歳以上	2	0.0	0.0	100.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
北部圏域	568	43.7	25.7	37.1	25.9	7.7	44.0	2.5	4.6	3.2
中部圏域	504	38.5	23.0	36.7	25.6	8.9	44.8	3.2	5.2	1.4
南部圏域	294	47.6	24.5	31.6	20.1	6.8	39.1	2.0	4.4	1.4

（２）反対に、心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（○はいくつでも）

「友人」（43.7％）の割合が最も高く、次いで「配偶者」（38.0％）、「別居の子ども」（27.9％）となっています。



【年代別・圏域別】

年代別では、他の年代と比べ、65～69歳で「配偶者」（52.9％）の割合が高くなっています。

圏域別では、南部圏域で「配偶者」の割合が最も高くなっており、北部圏域と中部圏域では「友人」の割合が最も高くなっています。

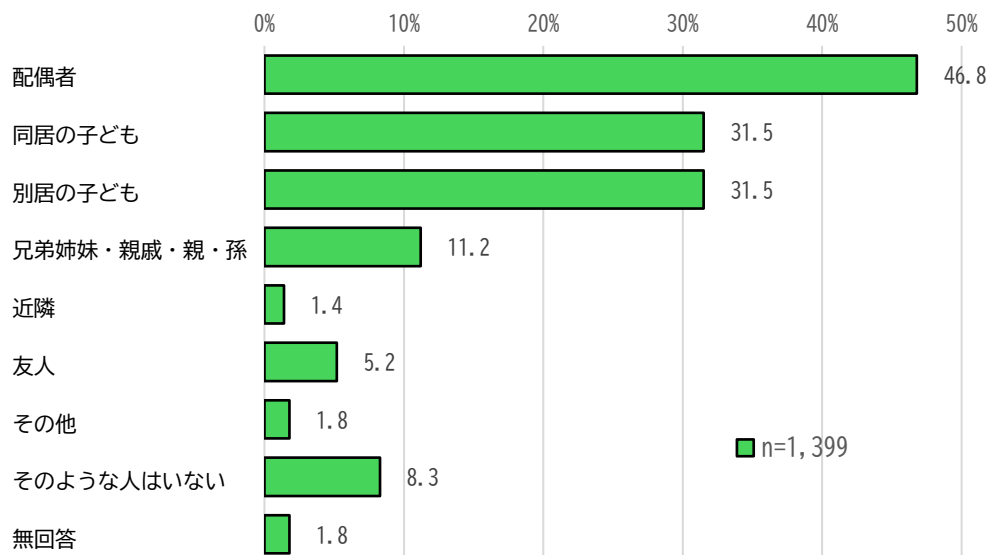
単位：％

区分	全体 (件数)	配偶者	同居 の 子ども	別居 の 子ども	兄弟 姉妹・ 親戚・ 親・孫	近 隣	友 人	そ の 他	そ の よ う な 人 は い な い	無 回 答
65～69歳	225	52.9	20.0	33.3	24.9	5.3	48.0	4.9	8.0	0.4
70～74歳	251	46.6	19.9	31.1	25.9	10.0	51.8	2.8	6.0	1.2
75～79歳	319	42.9	20.1	29.5	22.6	10.0	52.0	1.6	6.6	3.8
80～84歳	287	31.7	16.4	25.1	22.0	12.2	40.8	0.7	8.4	7.3
85～89歳	204	26.0	16.2	24.5	23.5	8.8	30.9	2.0	18.6	7.4
90～94歳	89	11.2	23.6	13.5	20.2	13.5	24.7	1.1	14.6	10.1
95～98歳	13	15.4	30.8	30.8	23.1	0.0	23.1	7.7	23.1	7.7
99歳以上	2	0.0	0.0	100.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
北部圏域	568	38.7	19.7	30.5	25.4	10.2	46.8	1.6	8.8	5.6
中部圏域	504	35.9	19.2	27.8	24.4	9.7	42.9	2.6	8.9	3.6
南部圏域	294	41.2	19.0	23.8	19.7	8.2	39.5	2.4	10.9	3.4

(3) 病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人

(○はいくつでも)

「配偶者」(46.8%)の割合が最も高く、次いで「同居の子ども」「別居の子ども」(各31.5%)となっています。



【年代別・圏域別】

年代別では、他の年代と比べ、65～69歳で「配偶者」(64.0%)の割合が高くなっています。また、85～89歳で「別居の子ども」(44.1%)の割合が高くなっています。

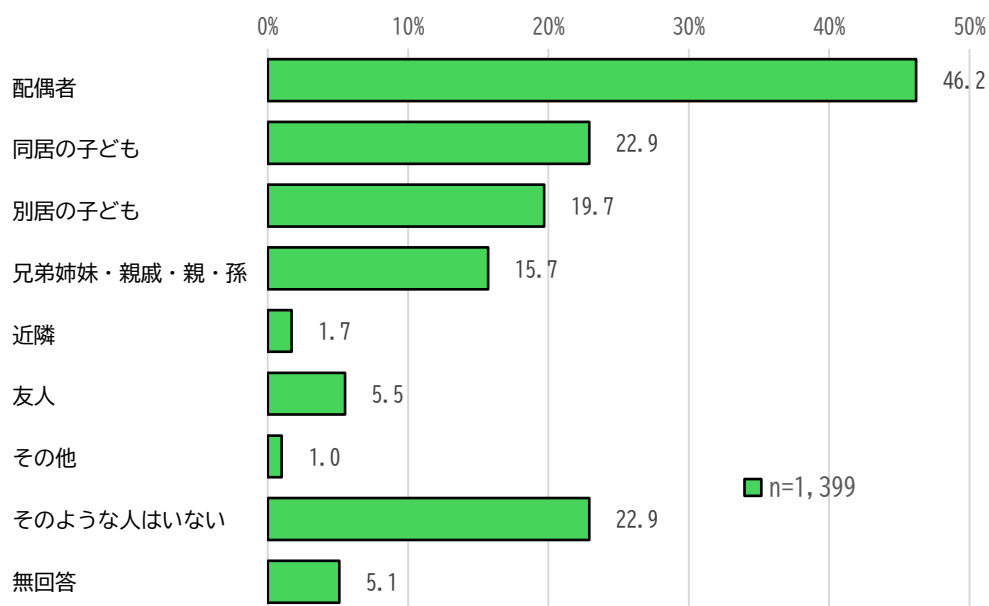
圏域別では、すべての圏域で「配偶者」の割合が最も高くなっています。

単位：%

区分	全体 (件数)	配偶者	同居の 子ども	別居の 子ども	兄弟姉妹・ 親戚・親・ 孫	近隣	友人	その他	その ような人 はいない	無 回 答
65～69歳	225	64.0	27.6	23.6	10.2	0.0	7.1	0.9	10.2	0.4
70～74歳	251	56.6	27.5	26.3	12.4	1.6	6.0	0.8	10.4	0.8
75～79歳	319	52.7	31.0	27.9	10.3	1.9	5.0	1.3	8.5	2.5
80～84歳	287	42.5	30.3	34.5	10.8	2.1	3.8	2.1	7.3	2.4
85～89歳	204	30.4	34.8	44.1	12.3	1.5	4.9	3.4	5.9	1.0
90～94歳	89	14.6	46.1	37.1	9.0	1.1	3.4	3.4	7.9	3.4
95～98歳	13	7.7	61.5	38.5	15.4	0.0	7.7	7.7	0.0	0.0
99歳以上	2	0.0	0.0	100.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
北部圏域	568	47.5	31.7	32.0	11.6	2.3	5.8	1.2	7.4	2.3
中部圏域	504	43.3	31.2	31.9	12.9	1.4	4.8	2.4	8.9	1.4
南部圏域	294	52.4	31.6	30.6	8.2	0.0	4.4	1.7	8.5	1.0

（４）反対に、看病や世話をしあける人（○はいくつでも）

「配偶者」（46.2％）の割合が最も高く、次いで「同居の子ども」「そのような人はいない」（各 22.9％）となっています。



【年代別・圏域別】

年代別では、他の年代と比べ、65～69 歳で「配偶者」（63.1％）の割合が高くなっています。また、85～98 歳で「そのような人はいない」の割合が高くなっています。

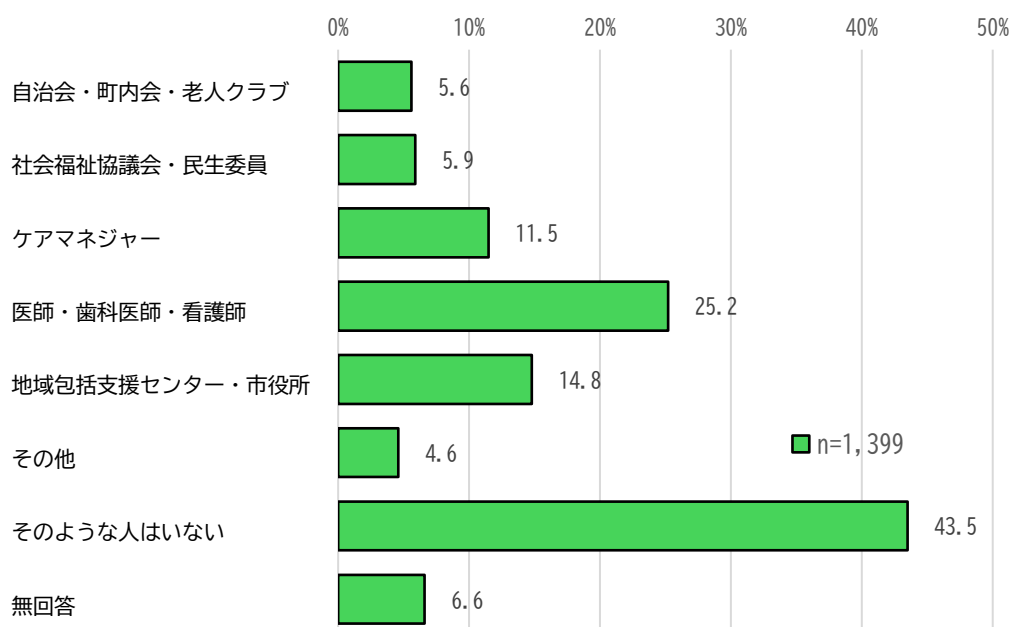
圏域別では、すべての圏域で「配偶者」の割合が最も高くなっています。

単位：％

区分	全体 (件数)	配偶者	同居の 子ども	別居の 子ども	兄弟姉妹・ 親戚・親・ 孫	近 隣	友 人	そ 他	そ の よ う な 人 は い な い	無 回 答
65～69歳	225	63.1	27.6	26.2	28.4	0.4	5.8	1.8	13.3	0.9
70～74歳	251	54.6	24.3	23.9	18.3	2.0	7.2	0.8	19.5	2.0
75～79歳	319	52.4	22.9	22.6	16.6	2.5	6.3	0.6	15.4	5.3
80～84歳	287	44.3	20.6	17.4	11.1	2.4	6.3	0.7	22.3	8.4
85～89歳	204	29.4	19.6	9.8	7.8	1.0	3.4	1.5	37.7	5.9
90～94歳	89	12.4	22.5	12.4	6.7	1.1	1.1	1.1	44.9	7.9
95～98歳	13	7.7	23.1	15.4	7.7	0.0	0.0	0.0	69.2	0.0
99歳以上	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0
北部圏域	568	46.7	22.2	22.0	18.0	1.9	5.3	0.9	21.7	6.0
中部圏域	504	44.2	23.6	20.4	16.3	1.4	5.8	1.2	22.4	5.0
南部圏域	294	50.3	24.5	15.0	11.2	1.4	5.4	0.7	25.5	2.7

(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください
(〇はいくつでも)

「医師・歯科医師・看護師」(25.2%)、次いで「地域包括支援センター・市役所」(14.8%)、「ケアマネジャー」(11.5%)となっています。一方、「そのような人はいない」(43.5%)の割合が最も高くなっています。



【年代別・圏域別】

年代別では、年代が上がるにつれ「そのような人はいない」の割合が低くなる傾向がみられます。また、他の年代と比べ、95歳以上で「ケアマネジャー」の割合が高くなっています。

圏域別では、すべての圏域で「そのような人はいない」の割合が最も高くなっています。

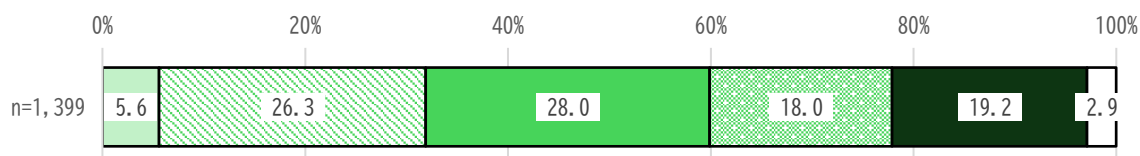
単位：%

区分	全体 (件数)	自治会・ 町内会・ 老人ク ラブ	社会福 祉協議 会・民 生委 員	ケア マネ ジャ ー	医 師・ 歯 科 医 師・ 看 護 師	市 役 所 地 域 包 括 支 援 セ ン タ ー・	そ の 他	そ の よ う な 人 は い な い	無 回 答
65～69歳	225	3.1	2.7	7.6	24.4	16.4	5.8	54.7	1.3
70～74歳	251	6.0	3.6	6.4	22.3	13.1	2.0	57.4	3.2
75～79歳	319	6.6	5.6	6.3	26.6	15.4	5.0	43.9	6.9
80～84歳	287	4.2	7.7	11.8	22.0	16.0	5.9	36.9	11.1
85～89歳	204	7.8	9.8	18.6	30.4	14.2	4.4	30.9	8.8
90～94歳	89	5.6	6.7	28.1	28.1	11.2	3.4	32.6	6.7
95～98歳	13	15.4	7.7	46.2	23.1	15.4	0.0	15.4	7.7
99歳以上	2	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
北部圏域	568	6.5	6.5	10.6	24.5	14.8	3.9	43.1	7.2
中部圏域	504	5.4	5.8	10.7	27.8	16.5	5.6	41.9	5.8
南部圏域	294	4.4	4.8	14.6	24.1	13.3	4.8	45.2	6.5

(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか (〇は1つ)

「月に何度かある」(28.0%)の割合が最も高く、次いで「週に何度かある」(26.3%)、「ほとんどない」(19.2%)となっています。

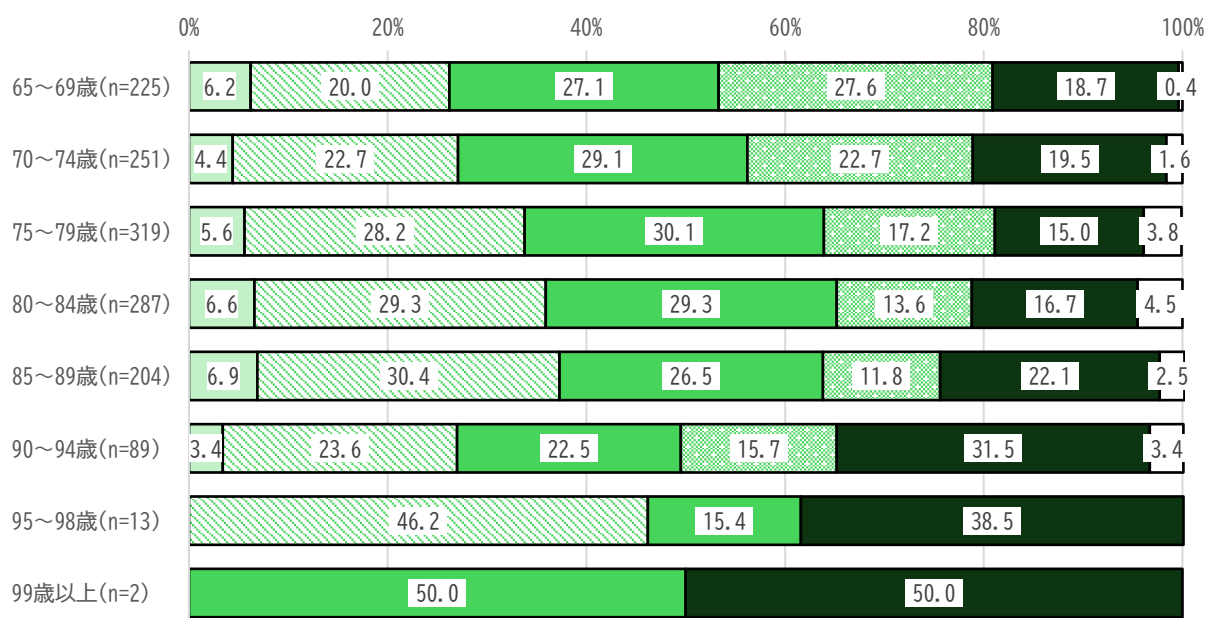
■ 毎日ある ■ 週に何度かある ■ 月に何度かある ■ 年に何度かある ■ ほとんどない □ 無回答



【年代別】

年代別では、年代が上がるにつれ「ほとんどない」の割合が高くなる傾向がみられます。

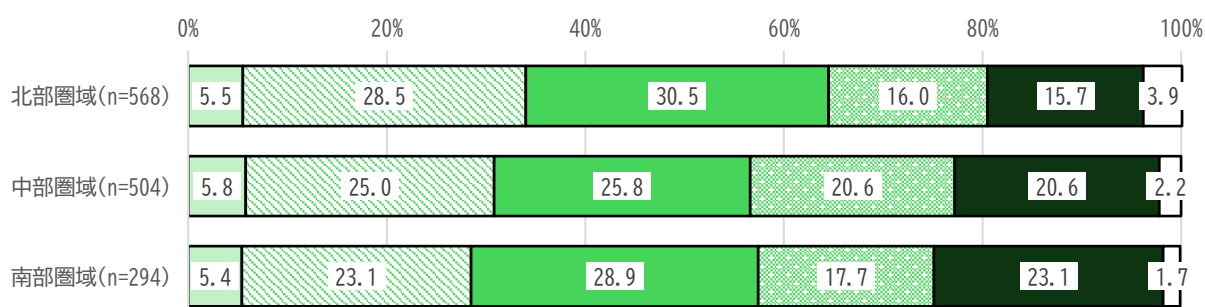
■ 毎日ある ■ 週に何度かある ■ 月に何度かある ■ 年に何度かある ■ ほとんどない □ 無回答



【圏域別】

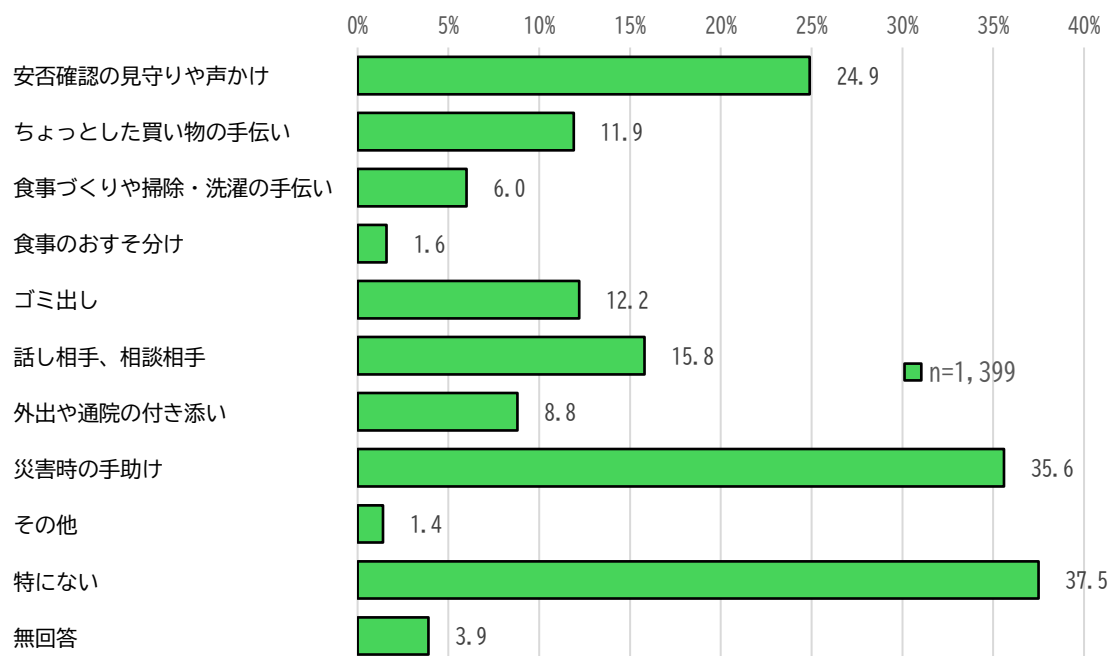
圏域別では、他の圏域と比べて、南部圏域で「ほとんどない」(23.1%)の割合が高くなっています。

■ 毎日ある ■ 週に何度かある ■ 月に何度かある ■ 年に何度かある ■ ほとんどない □ 無回答



(7) お困りのとき（今後、お困りになったとき）、地域の方に手助けをしてほしいことは何ですか（〇はいくつでも）

「災害時の手助け」（35.6%）、次いで「安否確認の見守りや声かけ」（24.9%）、「話し相手、相談相手」（15.8%）となっています。一方、「特にない」（37.5%）の割合が最も高くなっています。



【年代別・圏域別】

年代別では、全体的に「安否確認の見守りや声かけ」と「災害時の手助け」の割合が高くなっています。一方、全年代で「特にない」の割合が高くなっています。

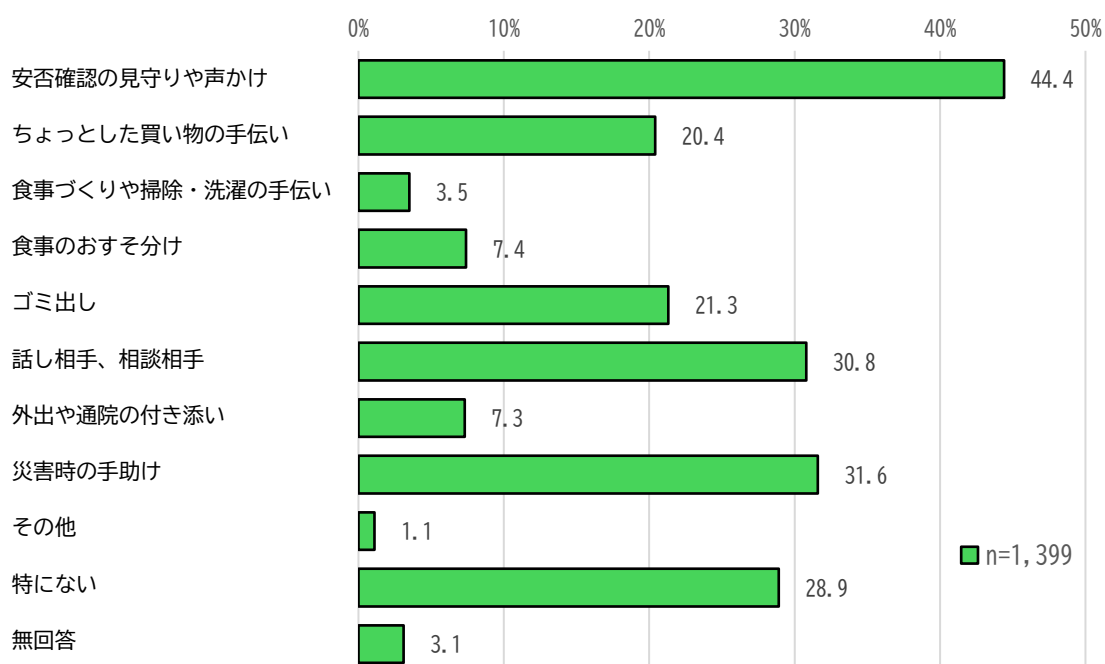
圏域別では、すべての圏域で「特にない」が最も高くなっています。

単位：％

区分	全体（件数）	安否確認の見守りや声かけ	ちよつとした買い物の手伝い	食事づくりや掃除・洗濯の手伝い	食事のおすそ分け	ゴミ出し	話し相手、相談相手	外出や通院の付き添い	災害時の手助け	その他	特にない	無回答
65～69歳	225	25.8	9.3	6.2	0.9	10.7	12.4	6.2	40.4	0.4	43.6	1.3
70～74歳	251	23.1	9.6	4.8	0.4	9.6	13.5	7.6	35.1	1.6	42.2	3.2
75～79歳	319	30.4	14.4	7.2	2.5	11.3	16.6	10.3	38.9	1.3	33.5	5.0
80～84歳	287	23.7	10.8	4.2	2.1	11.1	17.4	4.9	28.9	1.0	39.4	4.9
85～89歳	204	22.1	14.2	7.8	1.5	17.2	18.1	13.7	35.8	3.4	31.9	3.4
90～94歳	89	22.5	12.4	4.5	2.2	15.7	20.2	11.2	36.0	0.0	30.3	5.6
95～98歳	13	7.7	15.4	23.1	7.7	23.1	7.7	15.4	23.1	0.0	46.2	0.0
99歳以上	2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0
北部圏域	568	24.5	13.2	6.5	1.9	14.3	16.7	9.3	36.1	0.9	37.0	3.3
中部圏域	504	26.2	11.1	6.0	2.2	12.1	15.5	8.9	34.7	2.2	37.1	4.2
南部圏域	294	24.5	11.6	5.4	0.3	9.9	15.6	8.5	37.8	0.7	39.5	2.7

(8) 近所の方がお困りのとき、支援できることは何ですか（〇はいくつでも）

「安否確認の見守りや声かけ」（44.4％）の割合が最も高く、次いで「災害時の手助け」（31.6％）、「話し相手、相談相手」（30.8％）となっています。



【年代別・圏域別】

年代別では、他の年代に比べ、75～79歳で「安否確認の見守りや声かけ」（54.5％）の割合が高くなっています。

圏域別では、すべての圏域で「安否確認の見守りや声かけ」が最も高くなっています。

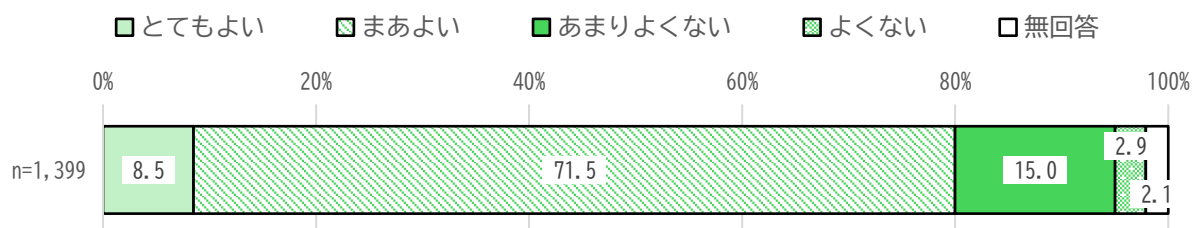
単位：％

区分	全体（件数）	安否確認の見守りや声かけ	ちょっとした買い物の手伝い	食事づくりや掃除・洗濯の手伝い	食事のおすそ分け	ゴミ出し	話し相手、相談相手	外出や通院の付き添い	災害時の手助け	その他	特にない	無回答
65～69歳	225	48.0	24.0	2.2	4.0	22.2	28.4	8.0	44.9	0.4	23.6	0.4
70～74歳	251	52.6	22.3	5.2	6.4	25.5	29.9	10.0	41.0	1.6	25.5	1.6
75～79歳	319	54.5	27.3	5.3	11.0	26.6	35.1	9.1	38.9	1.3	18.8	2.5
80～84歳	287	40.8	17.4	2.1	5.9	20.2	28.2	4.5	23.0	0.7	34.5	5.9
85～89歳	204	32.8	15.7	3.9	7.4	16.2	30.9	7.4	19.6	1.5	38.2	4.4
90～94歳	89	19.1	7.9	0.0	9.0	7.9	34.8	2.2	7.9	0.0	42.7	3.4
95～98歳	13	23.1	0.0	0.0	7.7	0.0	23.1	0.0	7.7	7.7	61.5	0.0
99歳以上	2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
北部圏域	568	46.7	19.5	3.7	8.8	24.6	33.3	7.6	32.7	0.7	25.7	3.0
中部圏域	504	44.4	22.6	2.8	6.0	21.0	30.8	6.2	31.2	1.6	30.6	3.2
南部圏域	294	41.8	19.7	4.1	7.1	16.3	27.9	9.2	32.3	0.7	31.0	2.4

7 健康について

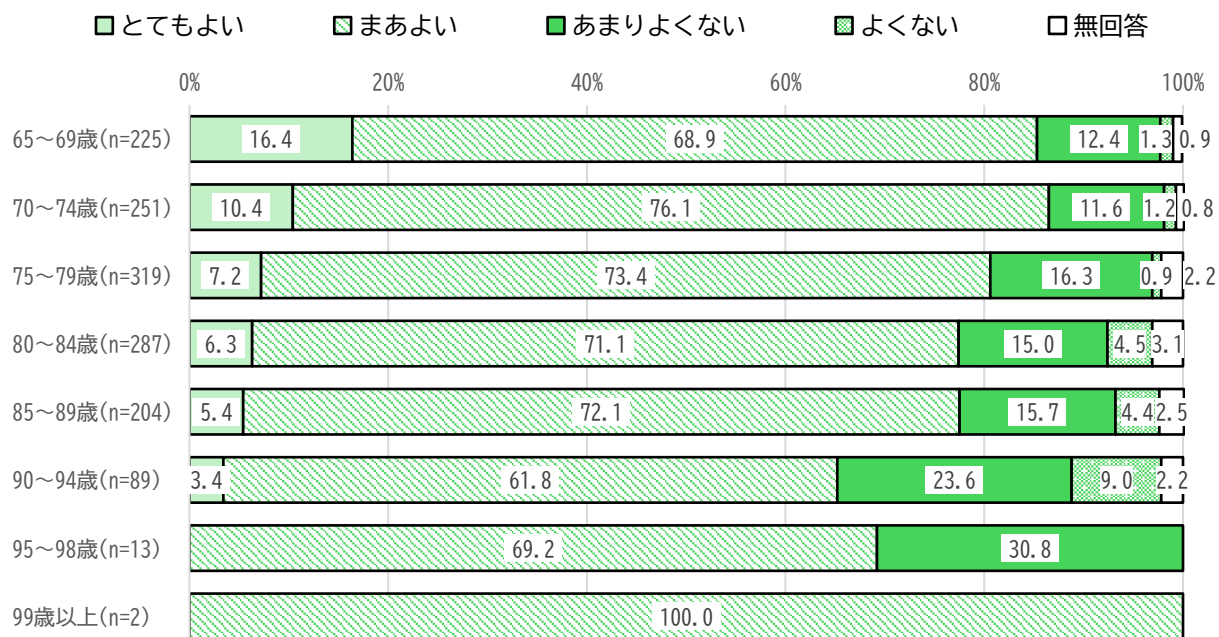
(1) 現在の健康状態はいかがですか (○は1つ)

「とてもよい」と「まあよい」を合わせた『よい』が 80.0%、「あまりよくない」と「よくない」を合わせた『よくない』が 17.9%となっています。



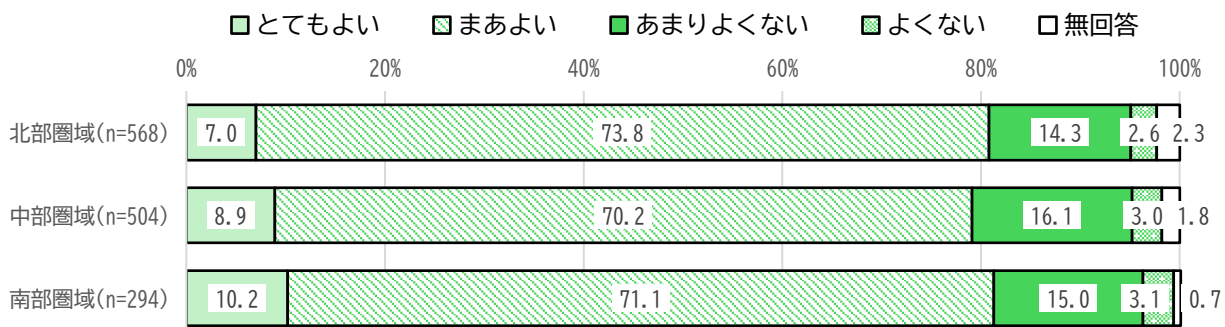
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、90歳以上で『よくない』の割合が高くなっています。



【圏域別】

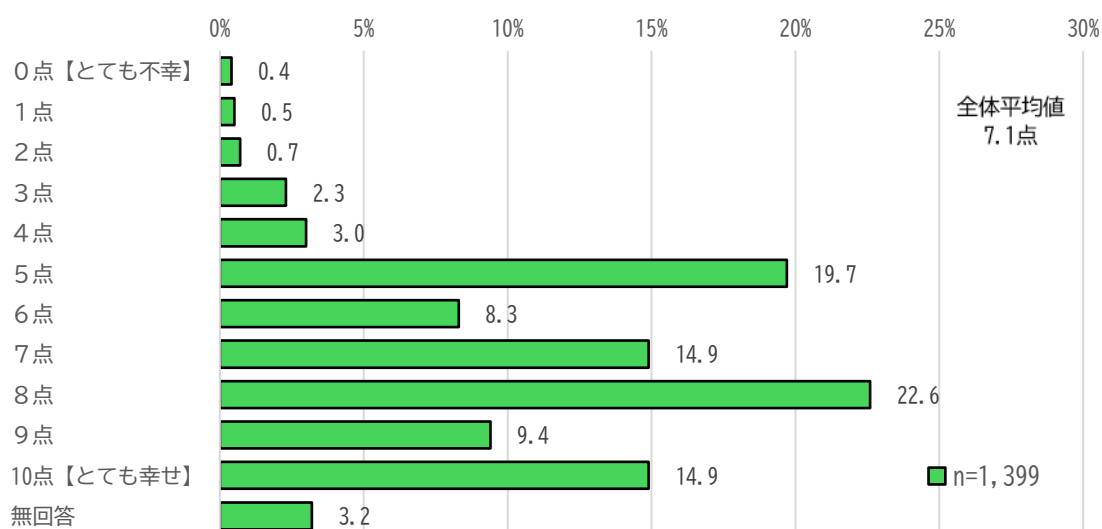
圏域別では、大きな差異はみられませんでした。



(2) あなたは、現在どの程度幸せですか（〇は1つ）

（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください）

「8点」（22.6%）の割合が最も高く、次いで「5点」（19.7%）、「7点」「10点」（各14.9%）となっています。なお、全体の平均値は7.1点（「無回答」を除いた平均）となっています。



【年代別・圏域別】

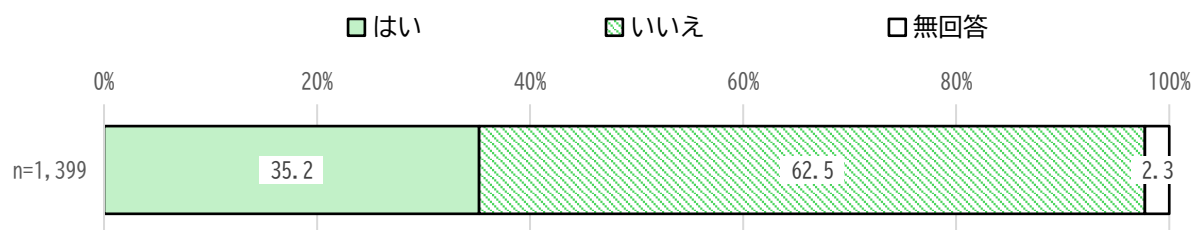
年代別では、全体的に「8点」の割合が高くなっています。

圏域別では、他の圏域と比べ、南部圏域で「5点」の割合が高くなっています。

区分	全体 (件数)	単位：%											無 回 答
		0点 【とても 不幸】	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点 【とても 幸せ】	
65～69歳	225	0.9	0.4	2.2	3.1	3.1	16.9	9.3	18.7	21.3	10.7	12.0	1.3
70～74歳	251	0.4	0.4	0.4	2.8	2.4	17.5	8.8	19.5	24.7	8.0	14.3	0.8
75～79歳	319	0.0	0.3	0.3	2.2	3.1	19.1	6.9	17.2	24.5	9.1	14.4	2.8
80～84歳	287	0.3	0.7	0.7	1.0	3.1	20.6	11.1	10.5	20.9	8.7	17.4	4.9
85～89歳	204	0.5	0.5	0.5	2.0	3.4	22.5	5.9	10.3	22.5	10.8	16.2	4.9
90～94歳	89	1.1	1.1	0.0	4.5	3.4	27.0	6.7	10.1	16.9	10.1	14.6	4.5
95～98歳	13	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	15.4	38.5	23.1	15.4	0.0
99歳以上	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
北部圏域	568	0.4	0.5	0.9	1.8	4.0	18.8	8.1	15.3	21.7	9.5	15.3	3.7
中部圏域	504	0.8	0.0	1.0	3.4	1.4	18.1	7.9	15.5	25.2	9.5	14.7	2.6
南部圏域	294	0.0	1.0	0.0	1.4	3.7	24.5	9.2	13.3	21.8	9.2	13.9	2.0

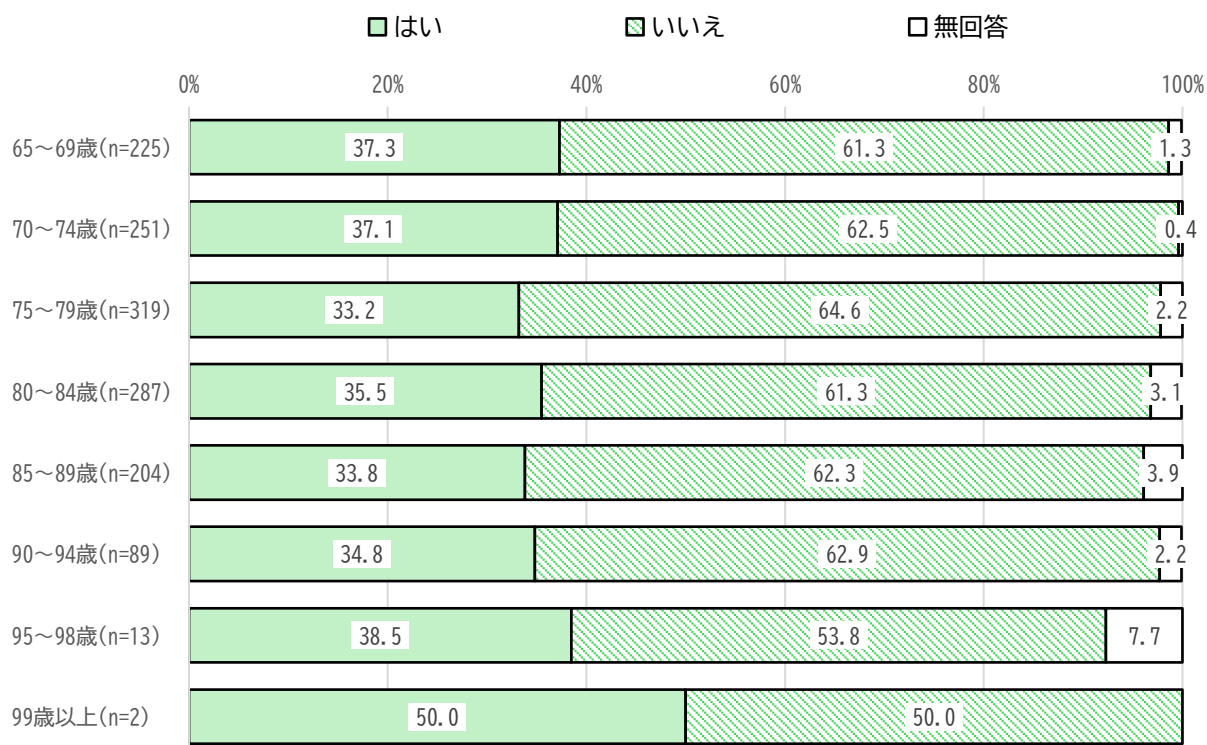
(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか（○は1つ）

「はい」が35.2%、「いいえ」が62.5%となっています。



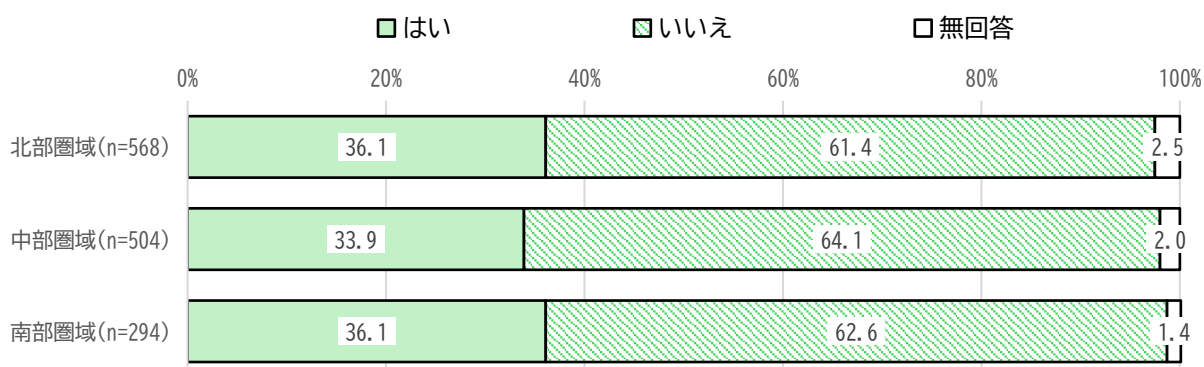
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、75～79歳で「いいえ」の割合が高くなっています。



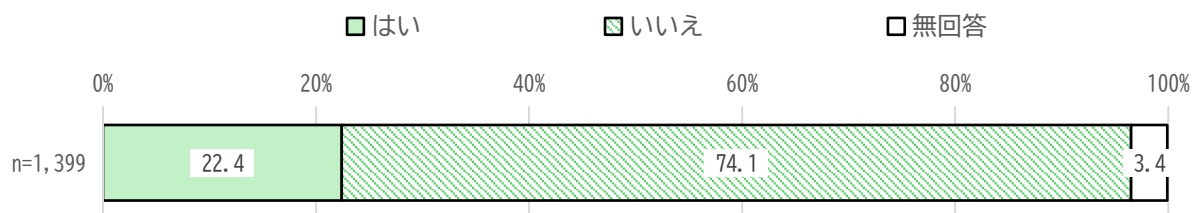
【圏域別】

圏域別では、大きな差異はみられません。



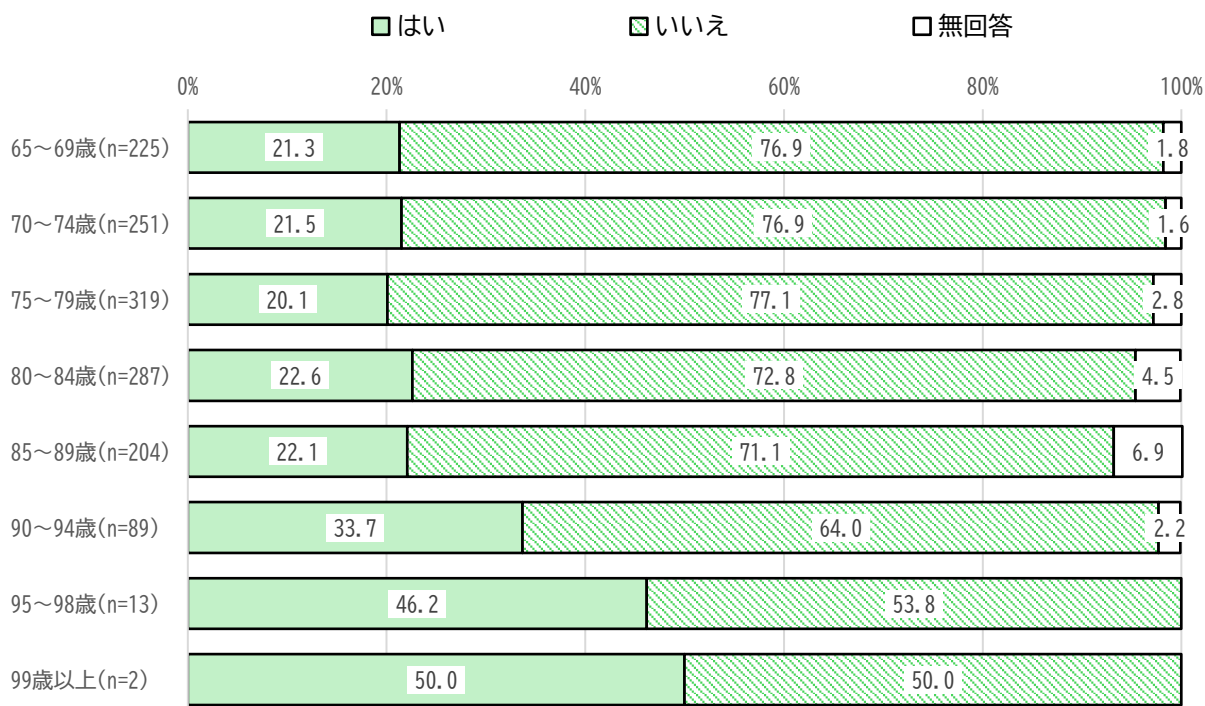
（４）この１か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか（○は１つ）

「はい」が22.4%、「いいえ」が74.1%となっています。



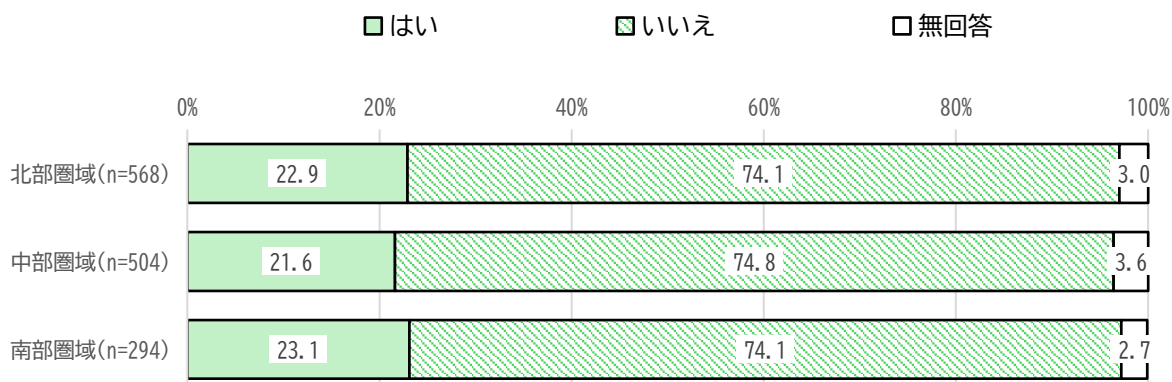
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、90歳以上で「はい」の割合が高くなっています。



【圏域別】

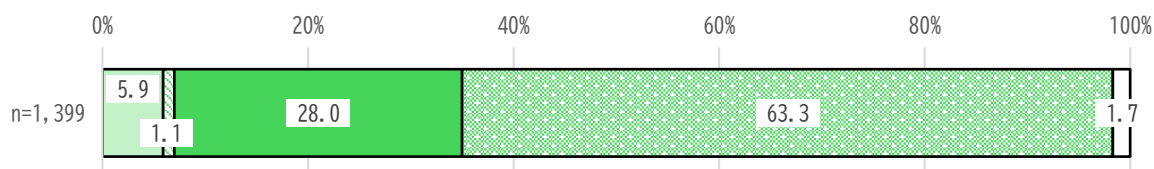
圏域別では、大きな差異はみられません。



(5) タバコは吸っていますか (○は1つ)

「ほぼ毎日吸っている」と「時々吸っている」を合わせた『吸っている』が7.0%、「吸っていたがやめた」が28.0%、「もともと吸っていない」が63.3%となっています。

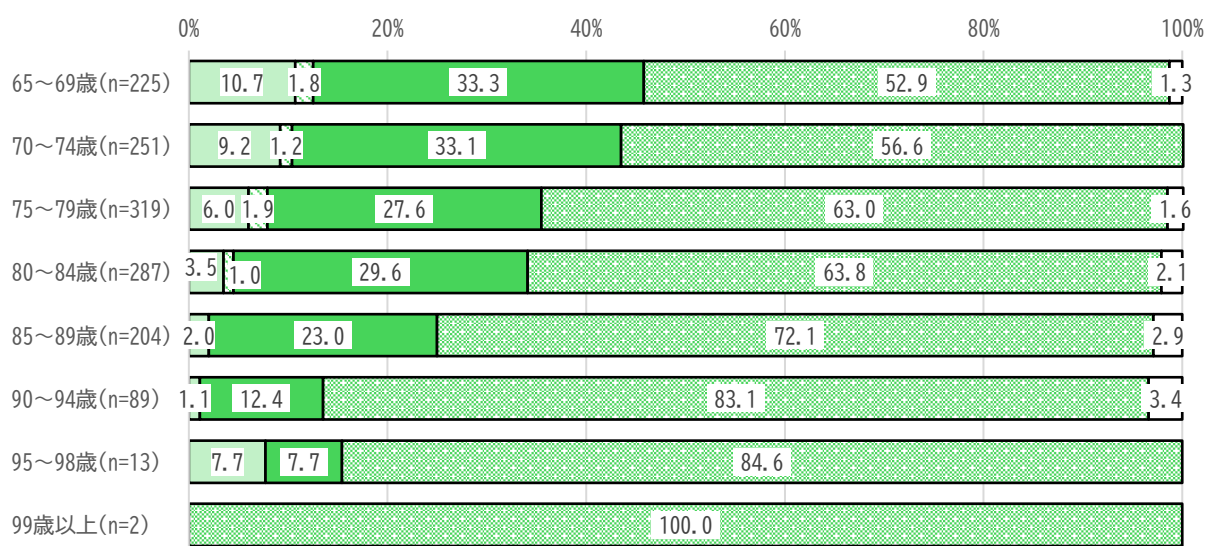
□ ほぼ毎日吸っている ■ 時々吸っている ■ 吸っていたがやめた ■ もともと吸っていない □ 無回答



【年代別】

年代別では、年代が上がるにつれ「吸っていたがやめた」の割合が低くなっています。

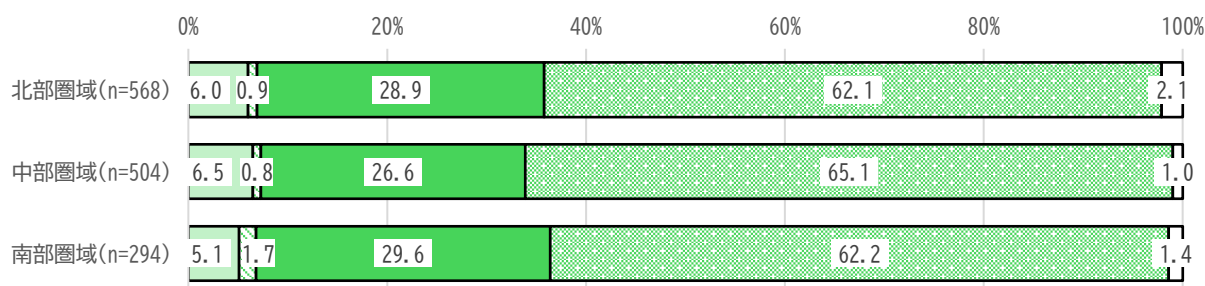
□ ほぼ毎日吸っている ■ 時々吸っている ■ 吸っていたがやめた ■ もともと吸っていない □ 無回答



【圏域別】

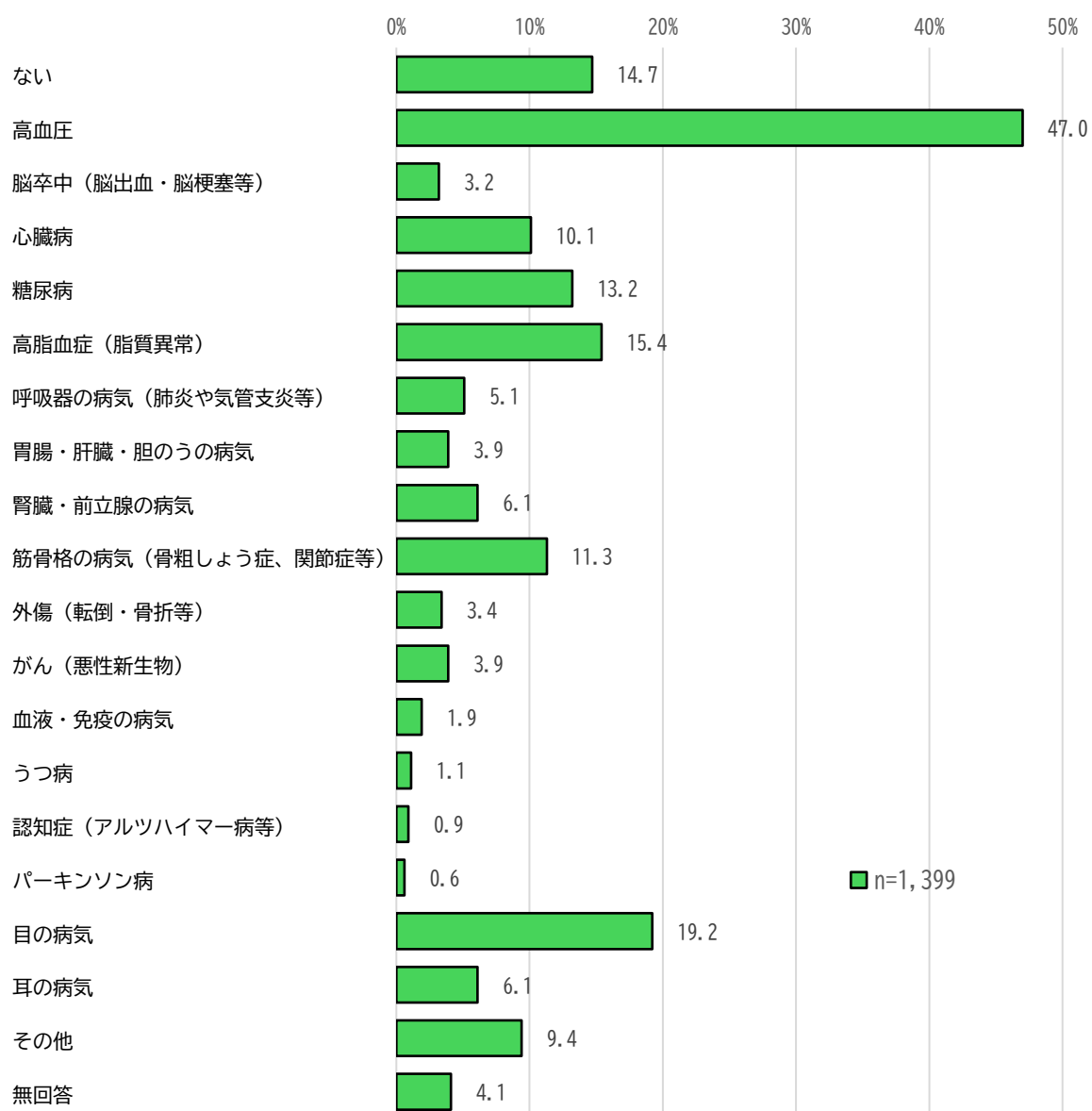
圏域別では、大きな差異はみられません。

□ ほぼ毎日吸っている ■ 時々吸っている ■ 吸っていたがやめた ■ もともと吸っていない □ 無回答



（６）現在治療中、または後遺症のある病気はありますか（〇はいくつでも）

「高血圧」（47.0％）の割合が最も高く、次いで「目の病気」（19.2％）、「高脂血症（脂質異常）」（15.4％）となっています。



【年代別・圏域別】

年代別では、全体的に「高血圧」の割合が高くなっています。

圏域別では、すべての圏域で「高血圧」が最も高くなっています。

単位：％

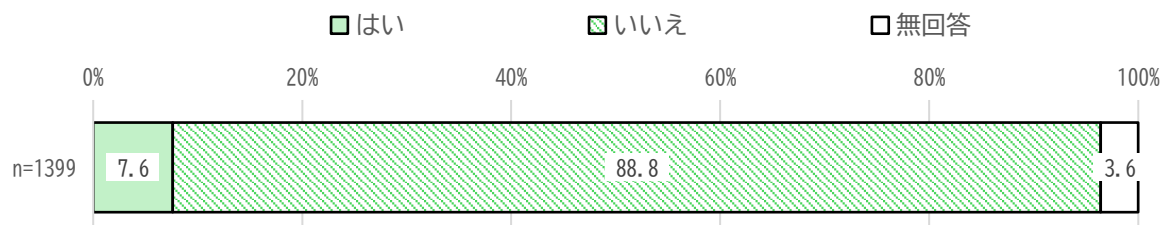
区分	全体 (件数)	ない	高血圧	脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	心臓病	糖尿病	高脂血症 (脂質異常)	呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等)	胃腸・肝臓・胆のうの病	腎臓・前立腺の病気	筋骨格の病気 (骨折、関節症等)
65～69歳	225	29.3	34.7	1.8	4.9	12.4	20.0	4.0	3.1	5.8	3.6
70～74歳	251	20.7	39.4	0.4	6.8	11.6	17.1	4.8	5.2	3.6	9.2
75～79歳	319	11.6	48.6	2.8	12.2	14.4	15.4	6.3	3.8	7.2	10.7
80～84歳	287	9.4	51.9	3.1	11.5	16.4	16.4	5.6	3.1	7.3	13.6
85～89歳	204	7.8	56.4	6.9	10.8	11.8	11.3	5.9	4.4	6.9	14.7
90～94歳	89	9.0	50.6	3.4	15.7	9.0	4.5	3.4	4.5	6.7	22.5
95～98歳	13	0.0	76.9	0.0	30.8	7.7	15.4	0.0	0.0	0.0	30.8
99歳以上	2	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
北部圏域	568	15.1	48.4	2.1	9.9	12.9	15.0	5.3	3.7	6.9	11.6
中部圏域	504	15.1	46.2	4.4	10.9	14.5	16.5	4.0	4.0	5.4	10.7
南部圏域	294	13.6	44.9	3.4	8.8	11.9	15.0	7.5	4.4	6.8	11.6

区分	全体 (件数)	外傷 (転倒・骨折等)	がん (悪性新生物)	血液・免疫の病気	うつ病	認知症 (アルツハイマー病等)	パーキンソン病	目の病気	耳の病気	その他	無回答
65～69歳	225	0.9	3.1	0.4	1.3	0.0	0.0	11.6	2.2	12.4	3.1
70～74歳	251	2.4	4.4	4.4	1.6	0.0	0.0	17.9	4.8	11.2	2.4
75～79歳	319	1.9	3.4	0.3	1.3	0.6	0.3	21.3	4.4	8.2	4.1
80～84歳	287	4.2	3.8	2.4	0.3	1.0	1.0	21.3	7.0	9.8	6.6
85～89歳	204	6.9	5.9	1.5	1.5	2.5	2.0	20.1	10.3	6.9	3.9
90～94歳	89	6.7	3.4	4.5	0.0	2.2	0.0	27.0	12.4	4.5	3.4
95～98歳	13	15.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	7.7	7.7	0.0
99歳以上	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0
北部圏域	568	2.3	4.6	1.9	0.7	0.4	0.4	20.6	7.0	9.0	3.5
中部圏域	504	4.6	4.0	2.0	2.0	1.4	1.0	18.3	5.2	9.1	4.0
南部圏域	294	3.7	2.7	1.7	0.0	1.0	0.3	18.0	5.1	10.5	4.4

8 認知症にかかる相談窓口の把握について

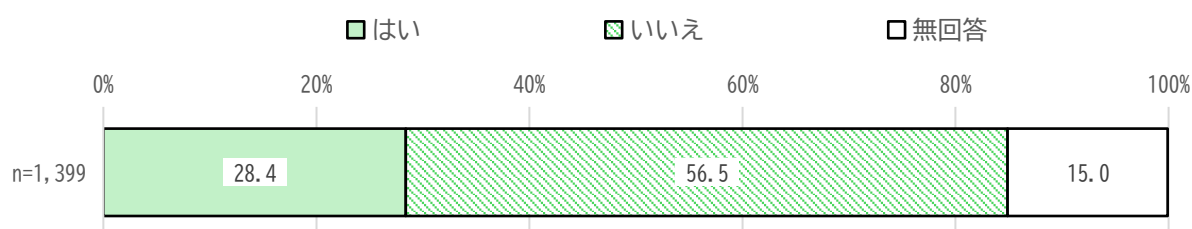
(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか
(○は1つ)

「はい」が7.6%、「いいえ」が88.8%となっています。



(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか (○は1つ)

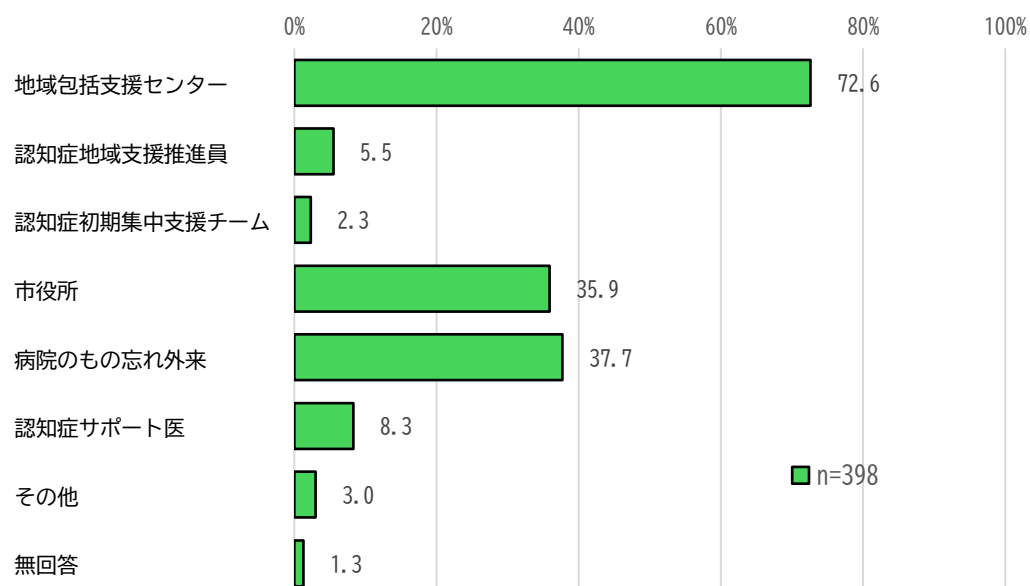
「はい」が28.4%、「いいえ」が56.5%となっています。



(2) で「1. はい」と答えた方のみ以下の質問にお答えください

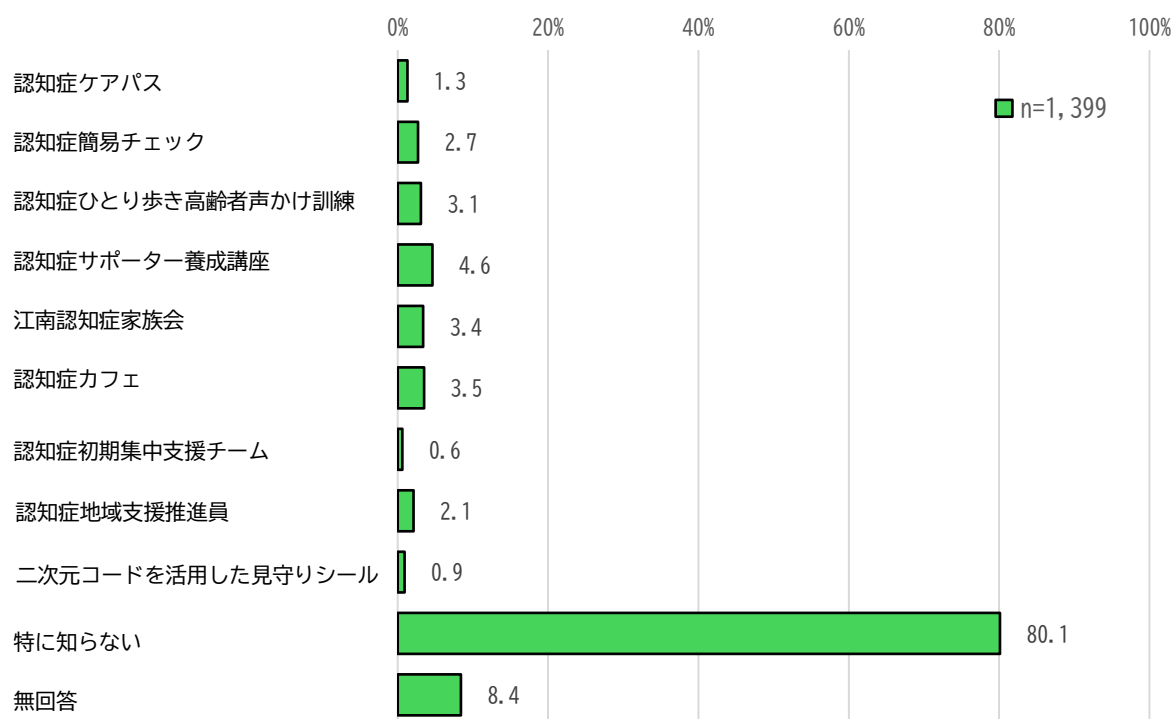
(2) - 1 認知症に関する相談窓口で知っているものを選んでください
(○はいくつでも)

「地域包括支援センター」(72.6%)の割合が最も高く、次いで「病院のもの忘れ外来」(37.7%)、「市役所」(35.9%)となっています。



(3) 江南市で、以下の認知症に対する取組を行っていることを知っていますか（○はい/△はいいえ/×は不知道）

「認知症サポーター養成講座」（4.6%）、次いで「認知症カフェ」（3.5%）、「江南認知症家族会」（3.4%）となっています。一方、「特に知らない」（80.1%）の割合が最も高くなっています。



【圏域別】

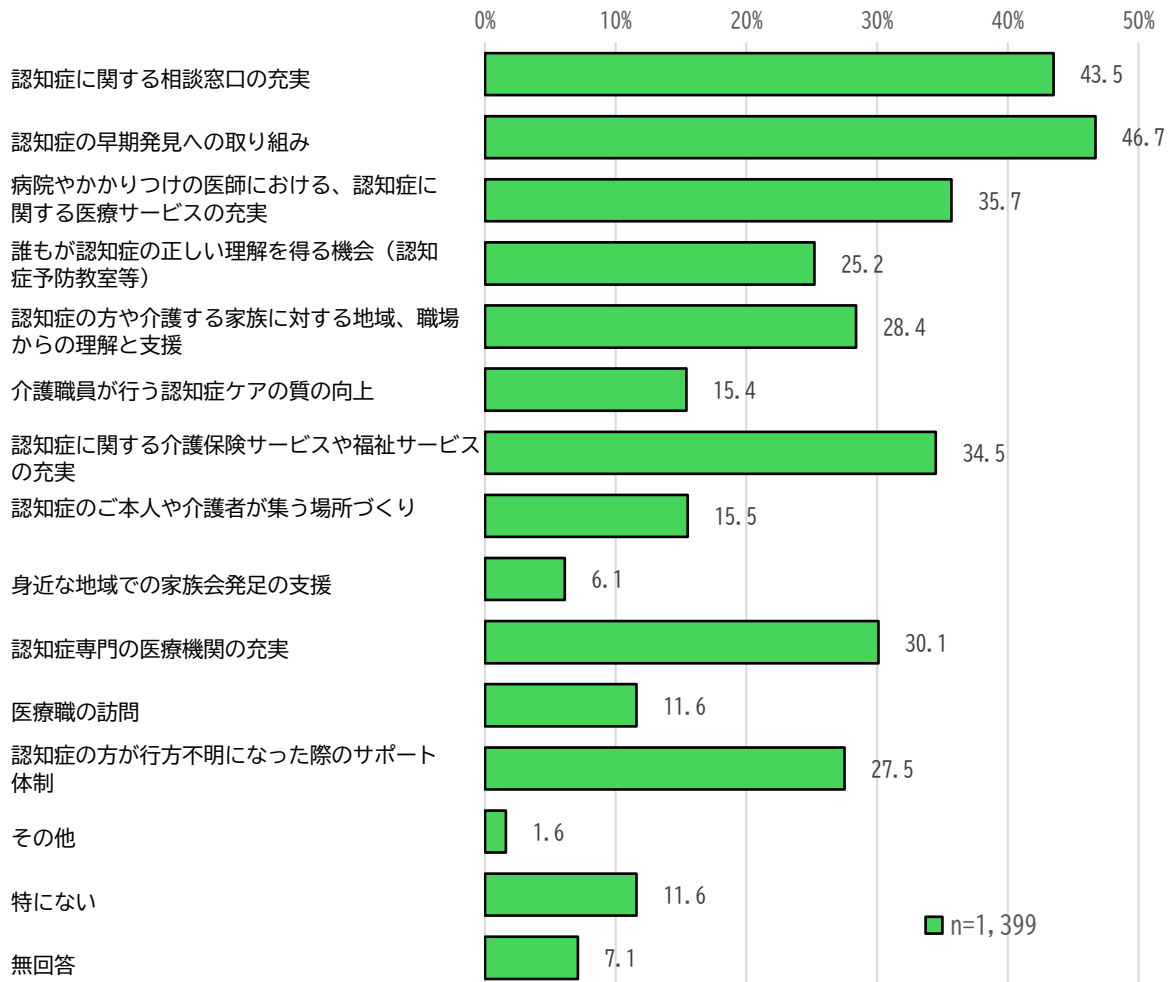
圏域別では、すべての圏域で「特に知らない」の割合が最も高くなっています。

単位：％

区分	全体（件数）	認知症ケアパス	認知症簡易チェック	認知症ひとり歩き高齢者声かけ訓練	認知症サポーター養成講座	江南認知症家族会	認知症カフェ	認知症初期集中支援チーム	認知症地域支援推進員	二次元コードを活用した見守りシール	特に知らない	無回答
北部圏域	568	1.9	3.2	3.7	5.6	3.0	2.8	1.1	2.3	1.1	79.4	7.7
中部圏域	504	1.0	1.8	2.4	3.6	4.0	3.0	0.2	2.6	0.4	81.2	8.5
南部圏域	294	0.7	3.7	3.1	4.4	3.7	5.8	0.3	1.4	1.4	81.3	7.1

(4) 認知症の方の支援に必要なことは何だと思いますか（〇はいくつでも）

「認知症の早期発見への取り組み」（46.7%）の割合が最も高く、次いで「認知症に関する相談窓口の充実」（43.5%）、「病院やかかりつけの医師における、認知症に関する医療サービスの充実」（35.7%）となっています。



【圏域別】

圏域別では、全ての圏域で「認知症の早期発見への取り組み」の割合が高くなっています。

区分	全体（件数）	認知症に関する相談窓口の充実	認知症の早期発見への取り組み	認知症の方や介護する家族に対する地域、職場からの理解と支援	認知症に関する医療サービスの充実	誰もが認知症の正しい理解を得る機会（認知症予防教室等）	認知症の方や介護する家族に対する地域、職場からの理解と支援	認知症に関する介護保険サービスや福祉サービスの充実	認知症のご本人や介護者が集う場所づくり	身近な地域での家族会発足の支援	認知症専門の医療機関の充実	医療職の訪問	認知症の方が行方不明になった際のサポート体制	その他	特になし	無回答
北部圏域	568	42.8	48.1	38.9	27.8	32.7	16.9	35.7	17.8	6.7	32.9	13.9	30.8	1.6	10.4	6.7
中部圏域	504	43.7	44.8	34.1	24.4	27.8	16.3	35.9	14.5	6.3	30.6	11.9	27.2	2.0	12.7	7.1
南部圏域	294	46.9	49.7	33.0	21.8	22.4	11.9	31.3	13.3	4.8	25.9	6.5	22.1	1.0	11.6	4.8

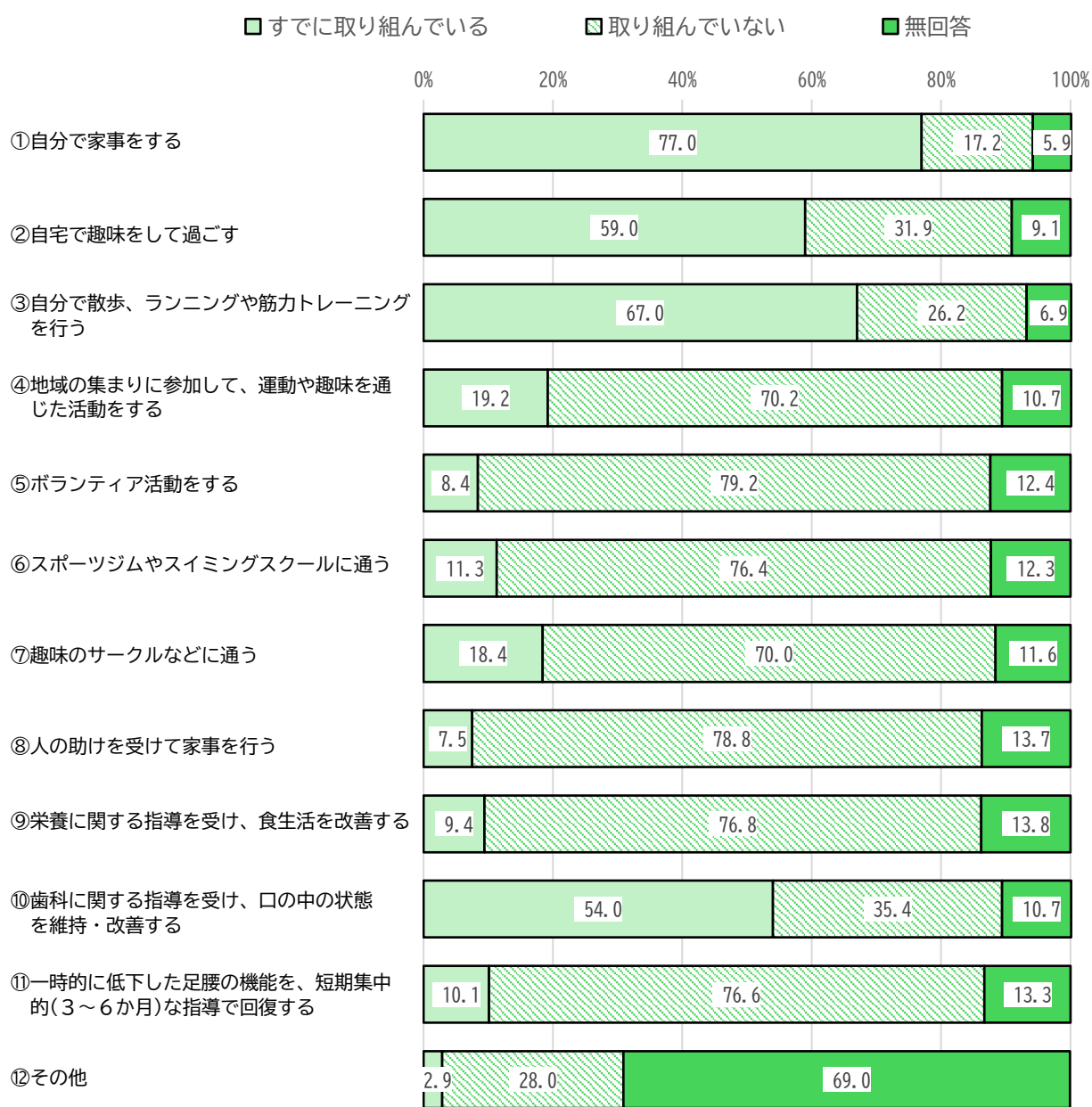
単位：%

9 介護予防・福祉サービスについて

(1) 介護が必要とならないために、どのような予防に取り組んでいますか
(①～⑫それぞれに回答してください) (○はそれぞれに1つ)

【取り組み状況】 (いずれかに○)

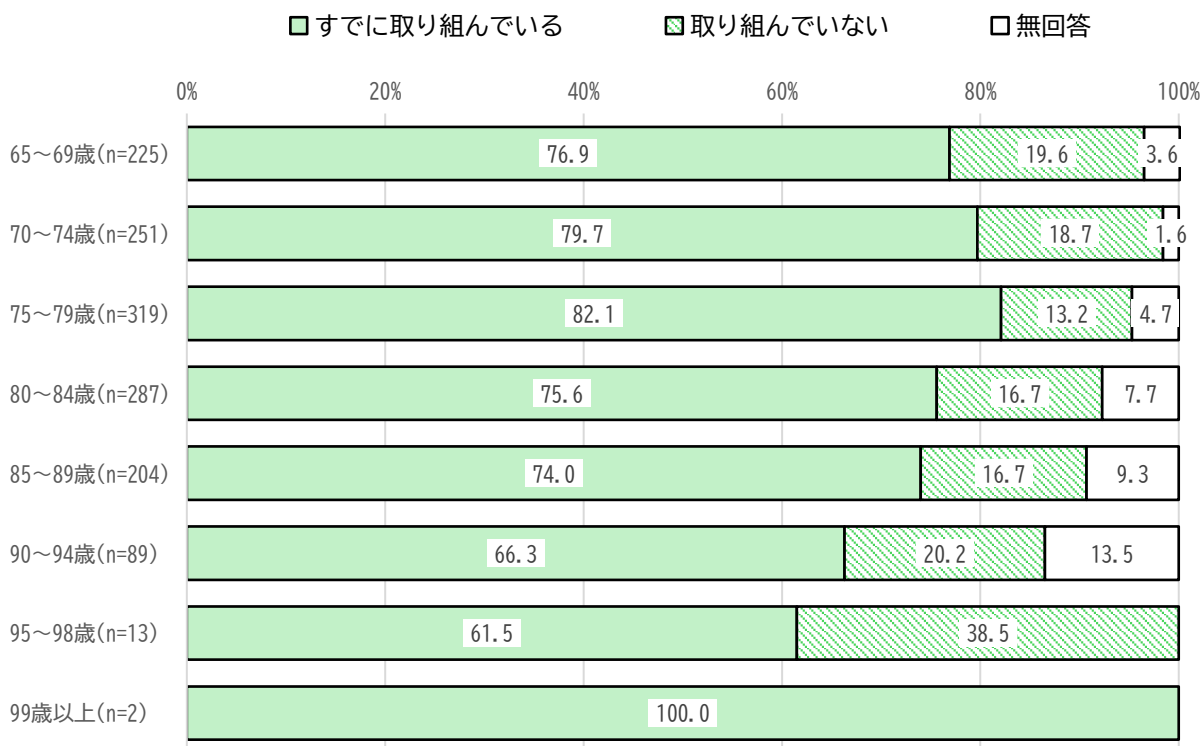
「①自分で家事をする」は、「すでに取り組んでいる」(77.0%)の割合が高くなっています。



①自宅で家事をする

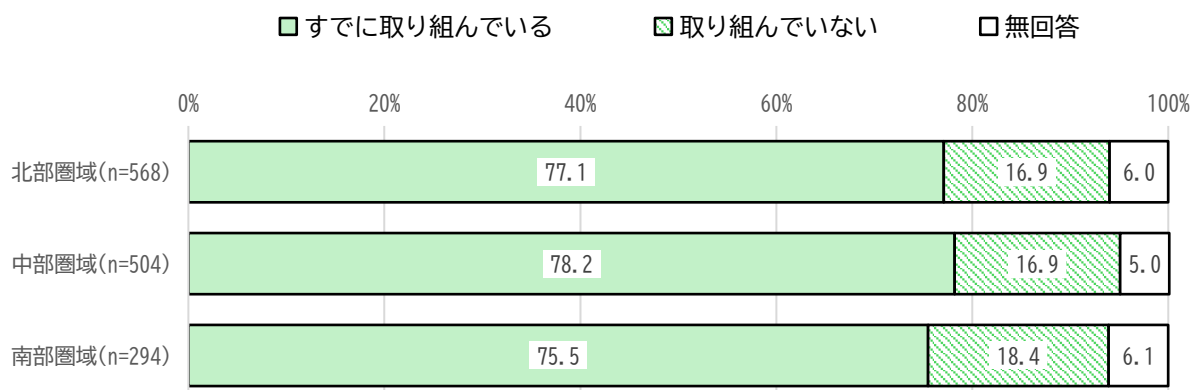
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、75～79 歳で「すでに取り組んでいる」（82.1％）の割合が高くなっています。



【圏域別】

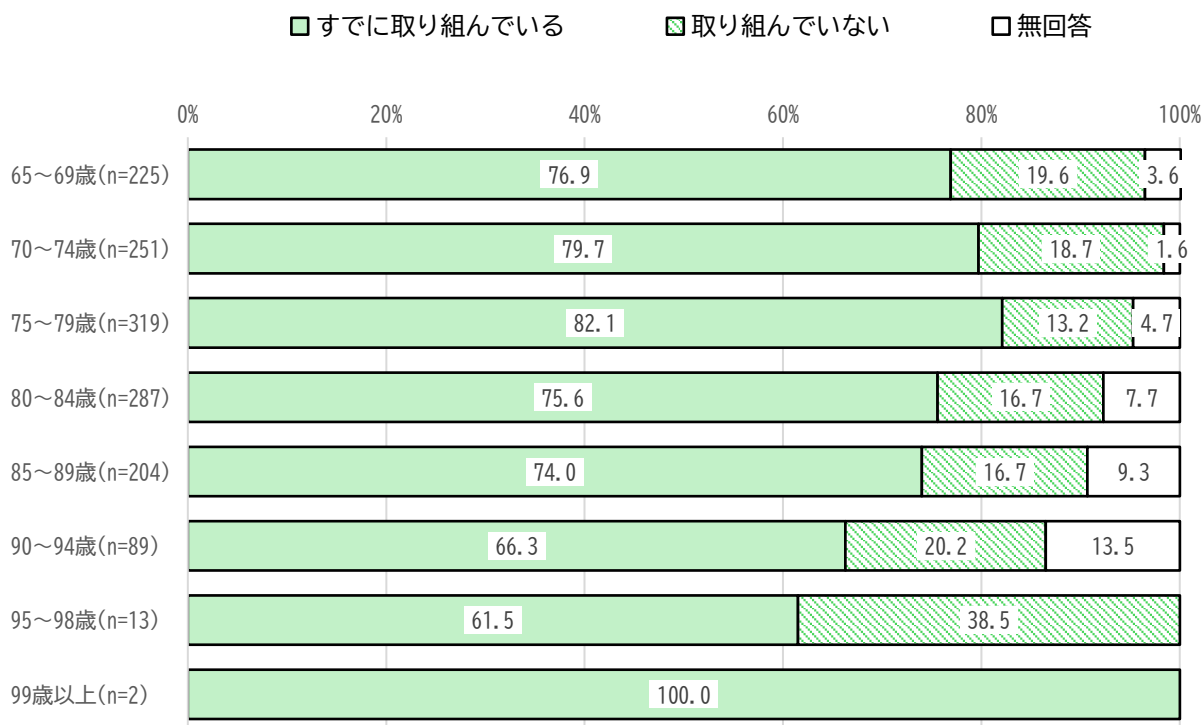
圏域別では、大きな差異はみられません。



②自宅で趣味をして過ごす

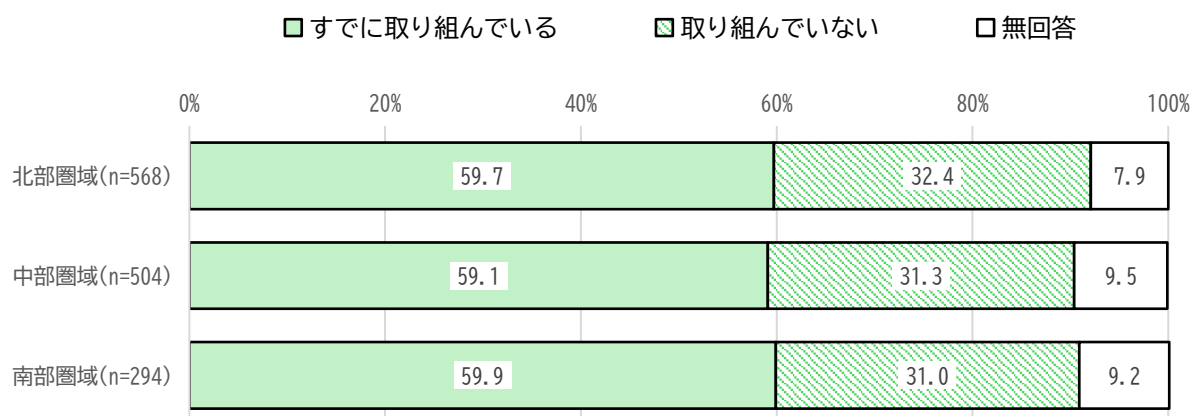
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、75～79 歳で「すでに取り組んでいる」（82.1％）の割合が高くなっています。



【圏域別】

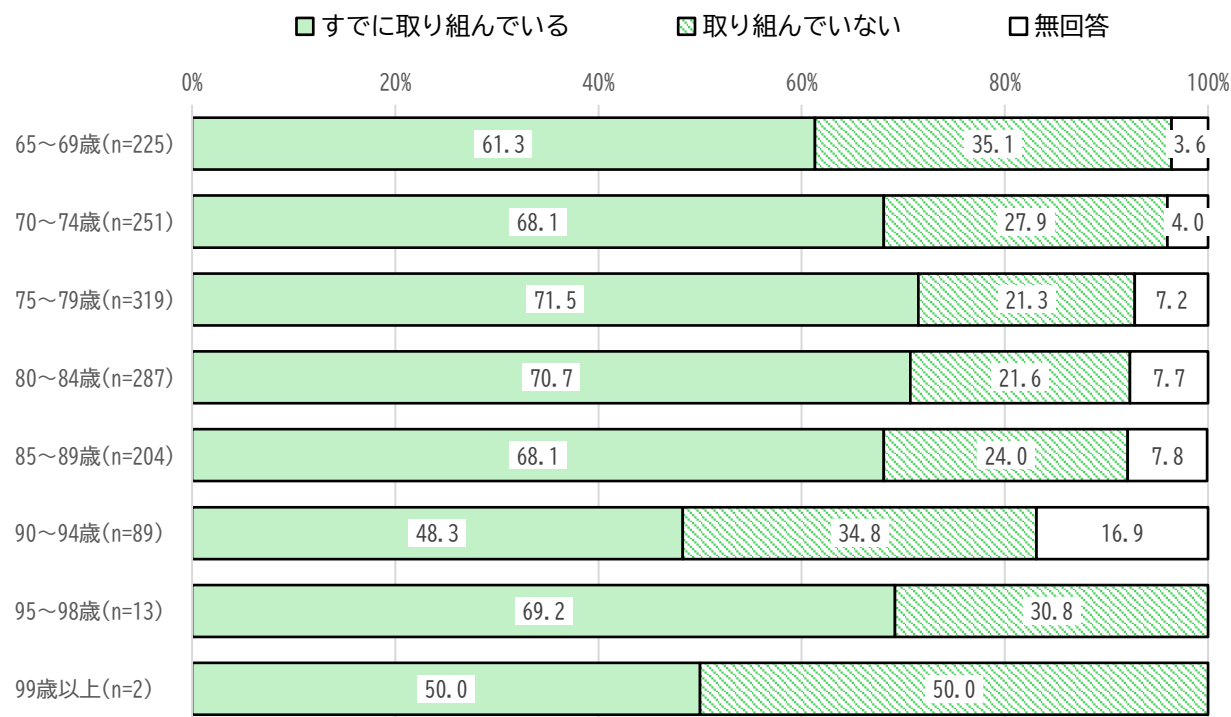
圏域別では、大きな差異はみられません。



③自分で散歩、ランニングや筋力トレーニングを行う

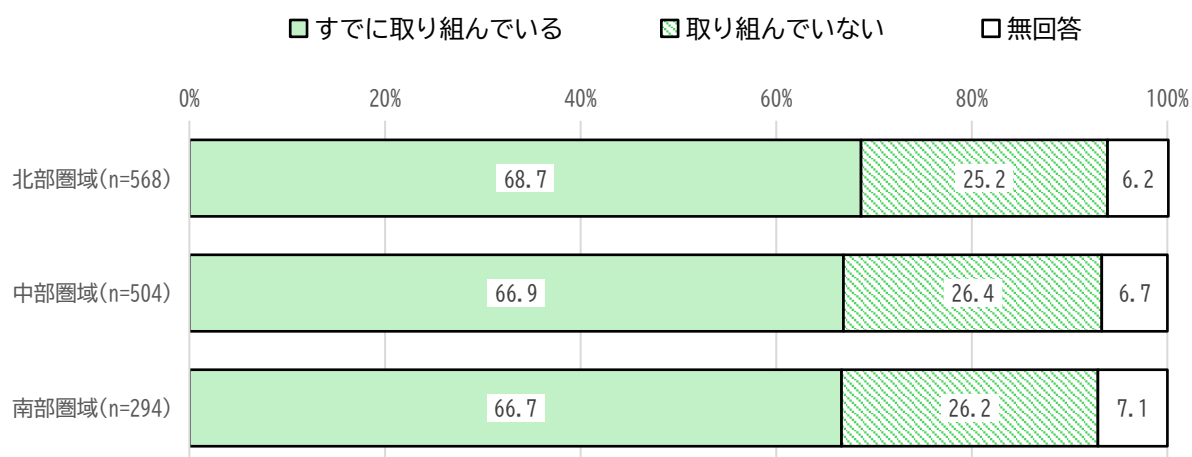
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、75～79 歳で「すでに取り組んでいる」（71.5%）の割合が高くなっています。



【圏域別】

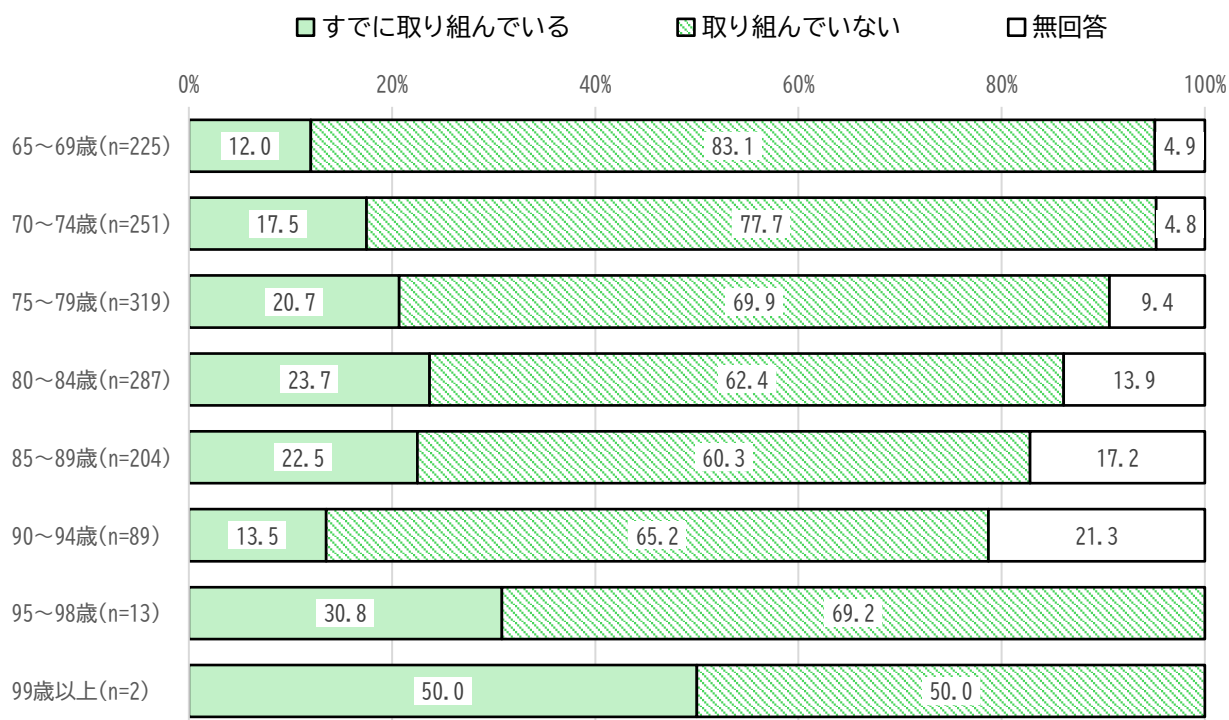
圏域別では、大きな差異はみられません。



④地域の集まりに参加して、運動や趣味を通じた活動をする

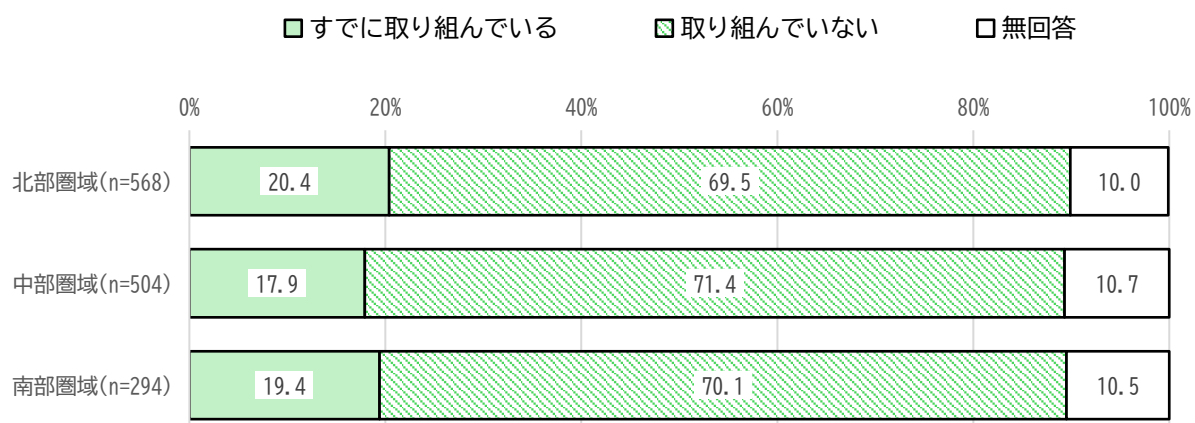
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、95～98 歳で「すでに取り組んでいる」（30.8％）の割合が高くなっています。



【圏域別】

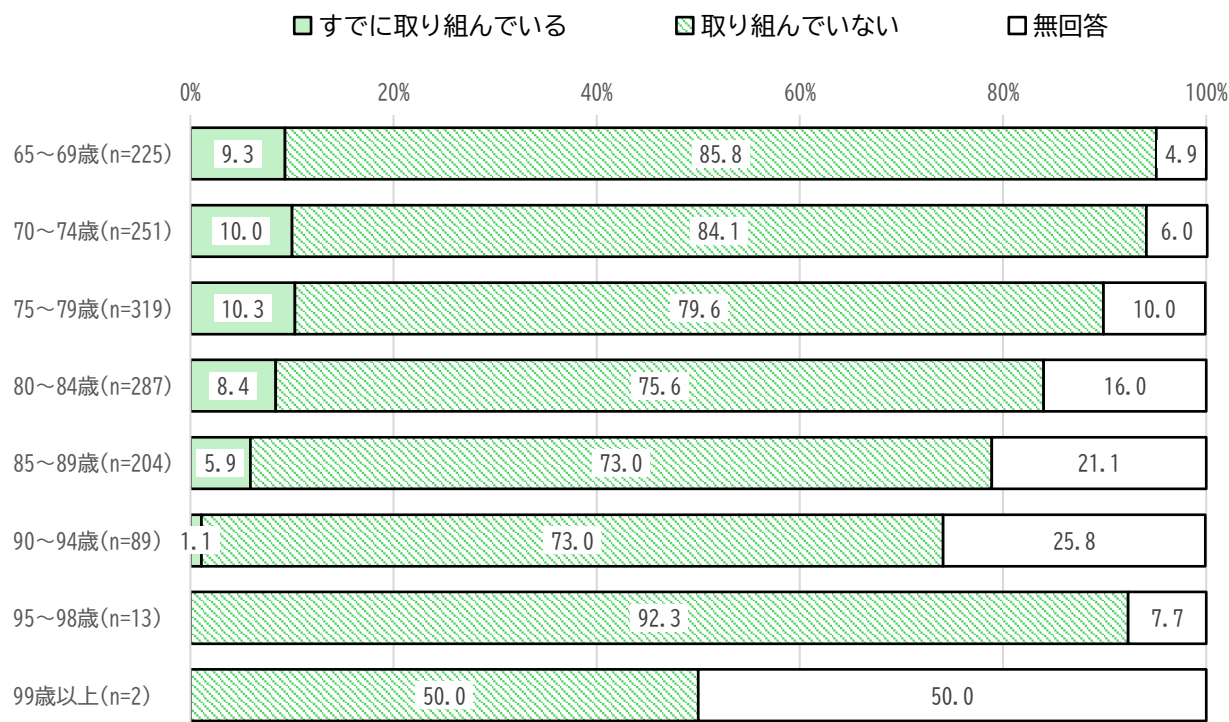
圏域別では、大きな差異はみられません。



⑤ボランティア活動をする

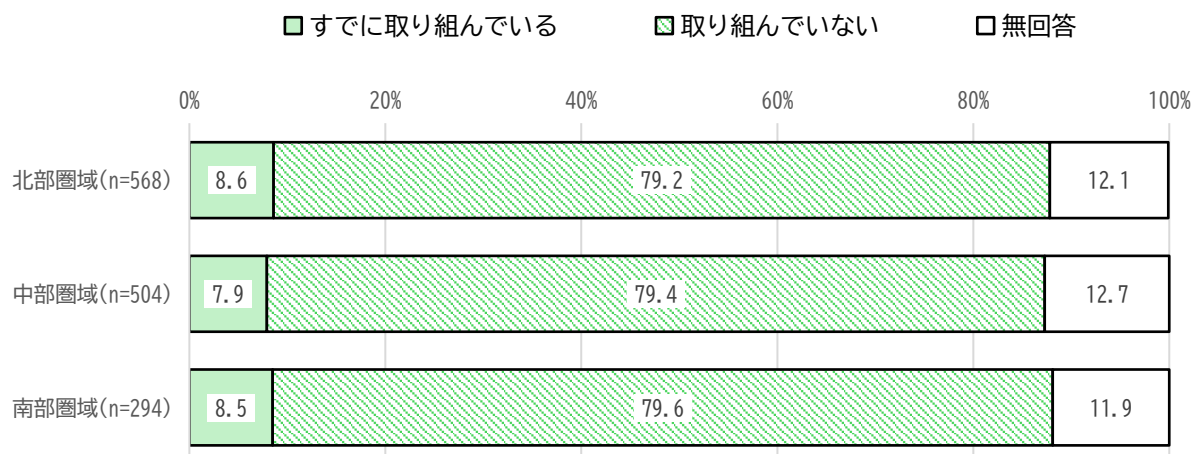
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、75～79 歳で「すでに取り組んでいる」（10.3％）の割合が高くなっています。



【圏域別】

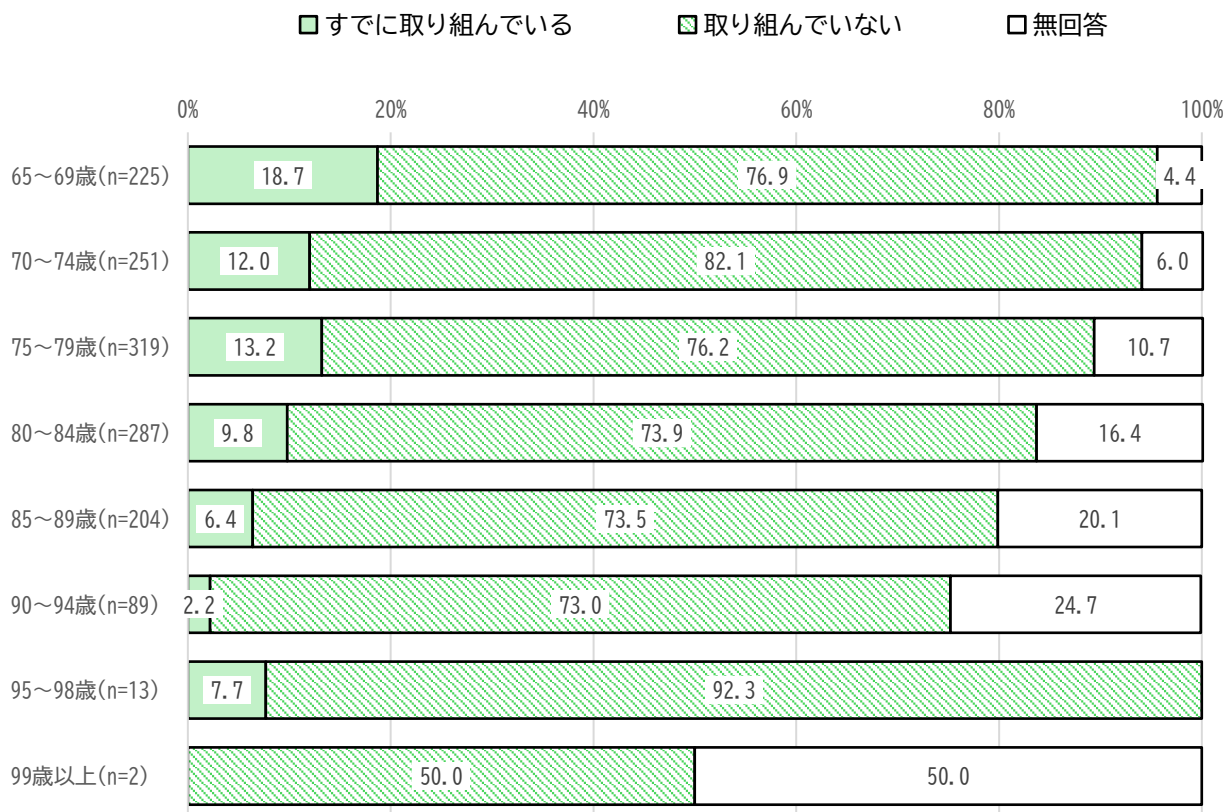
圏域別では、大きな差異はみられません。



⑥スポーツジムやスイミングスクールに通う

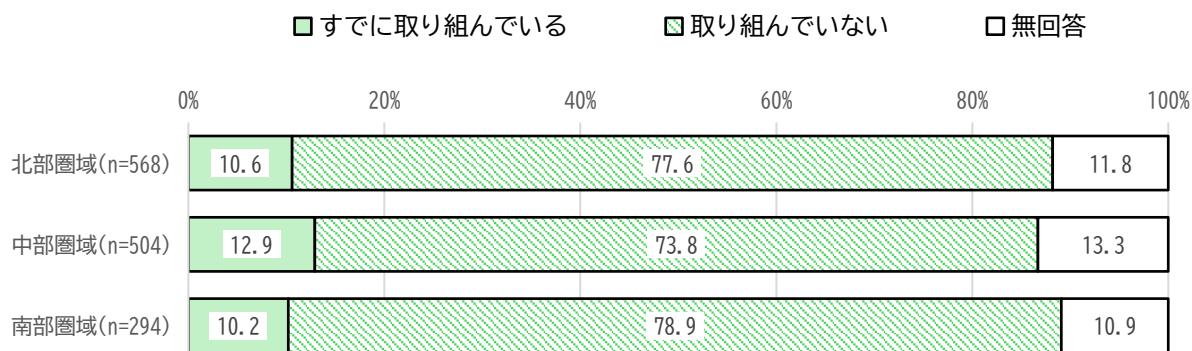
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、65～69歳で「すでに取り組んでいる」（18.7％）の割合が高くなっています。



【圏域別】

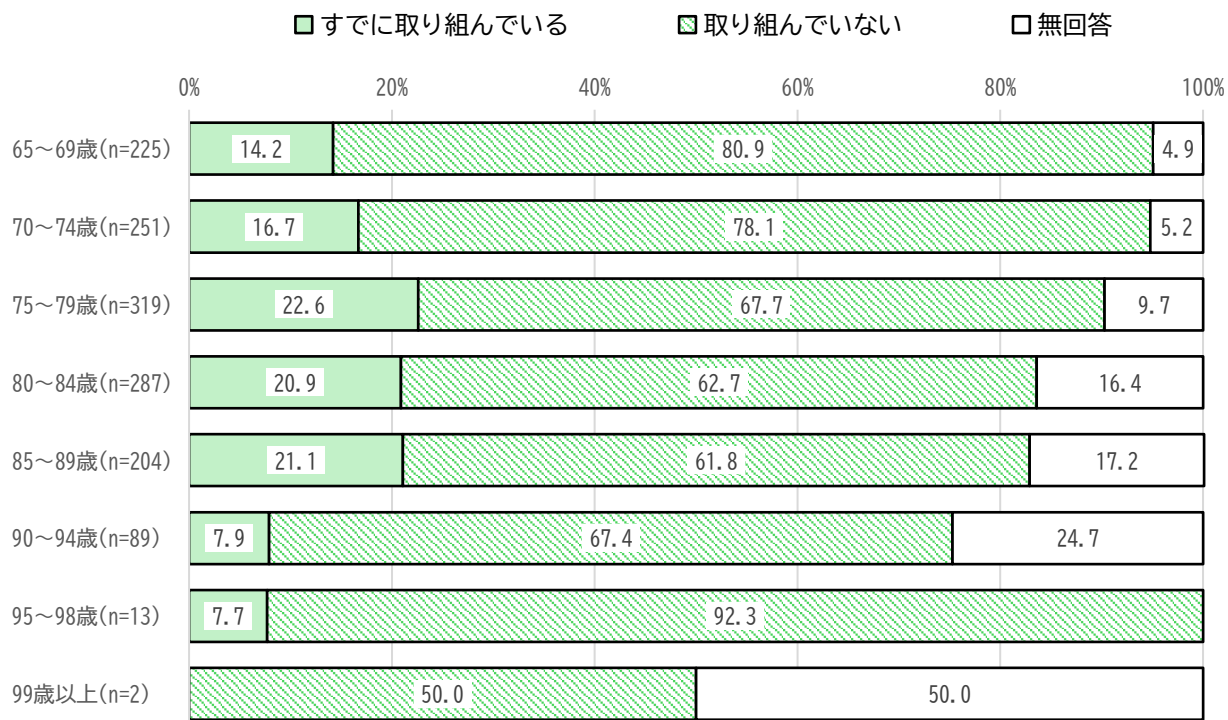
圏域別では、大きな差異はみられません。



⑦趣味のサークルなどに通う

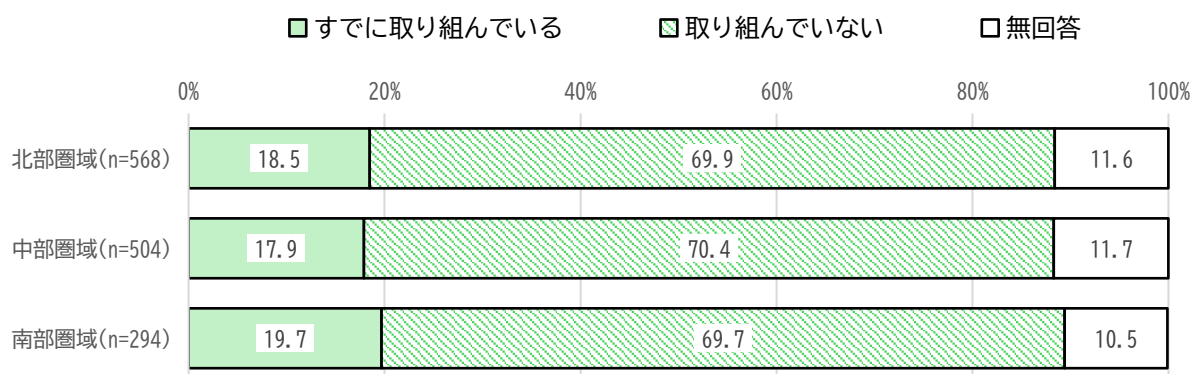
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、75～79 歳で「すでに取り組んでいる」（22.6％）の割合が高くなっています。



【圏域別】

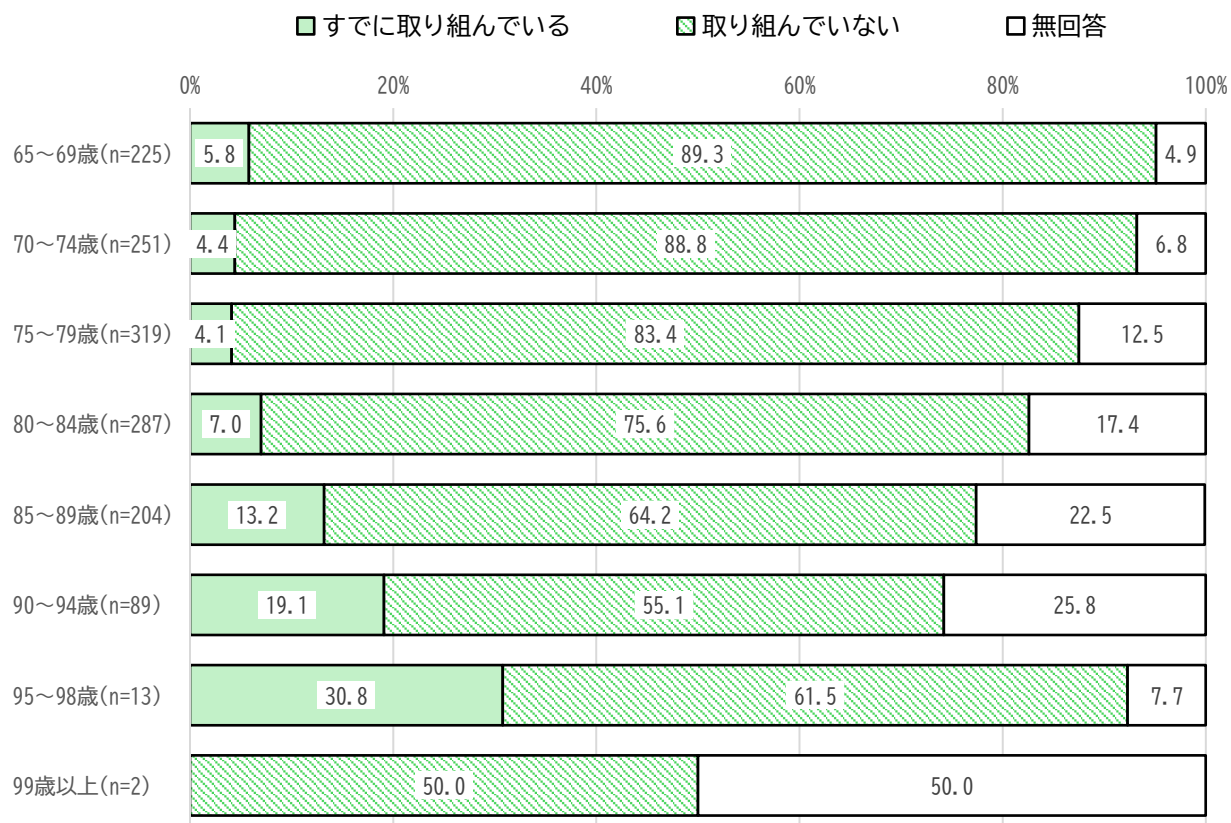
圏域別では、大きな差異はみられません。



⑧人の助けを受けて家事を行う

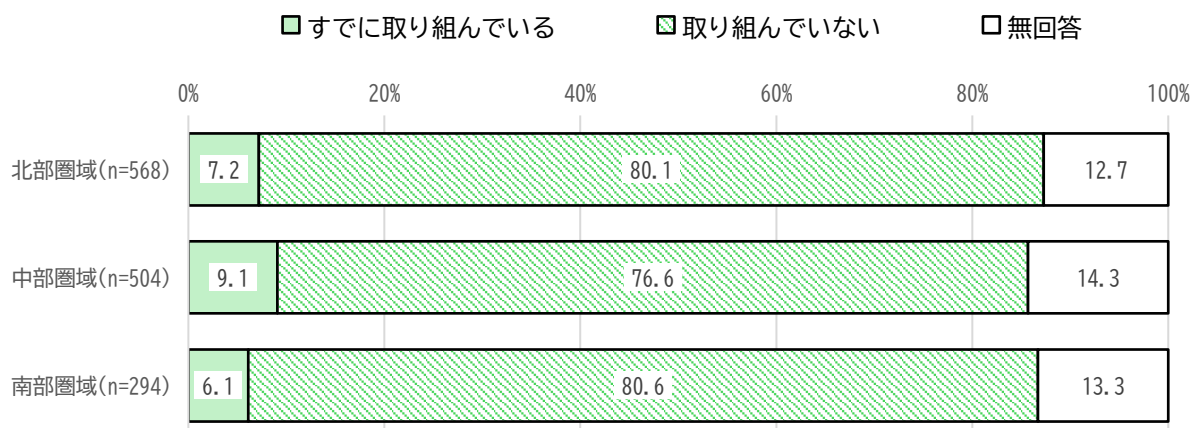
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、65～79 歳で「取り組んでいない」の割合が高くなっています。



【圏域別】

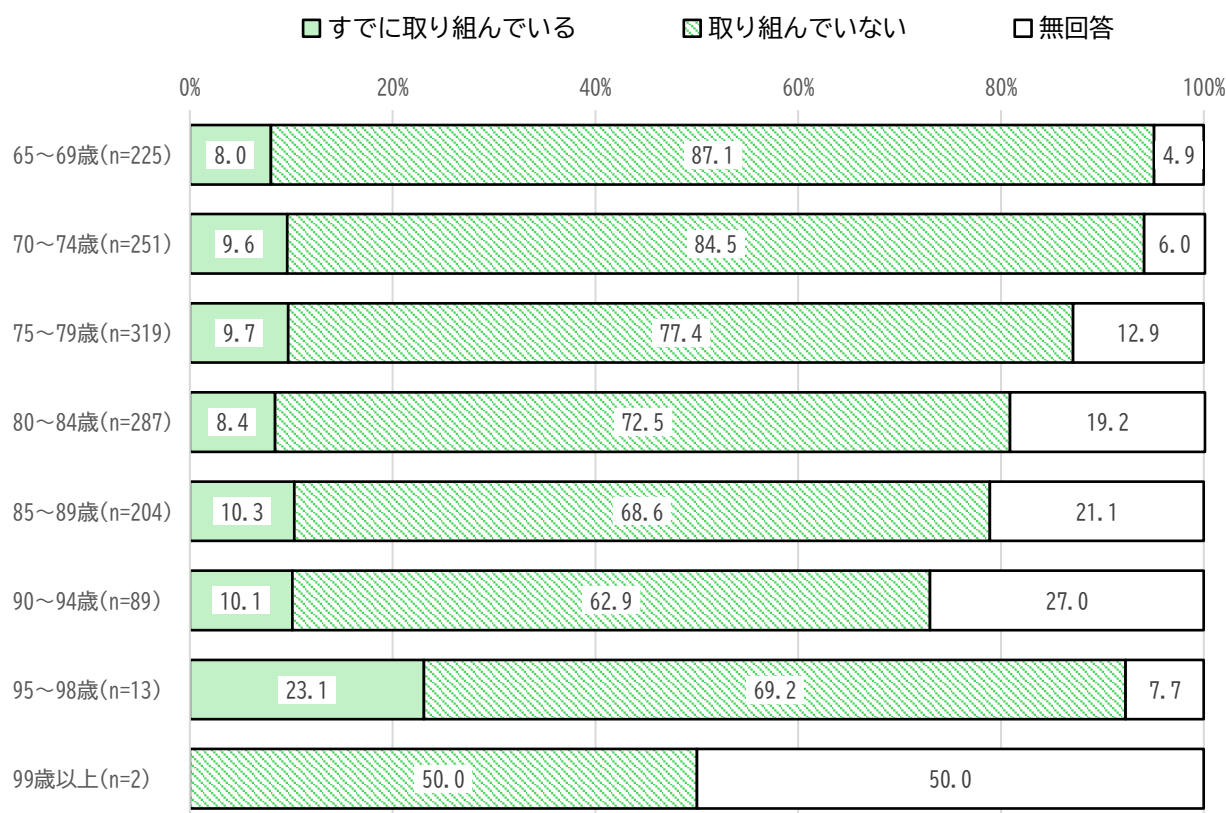
圏域別では、大きな差異はみられません。



⑨栄養に関する指導を受け、食生活を改善する

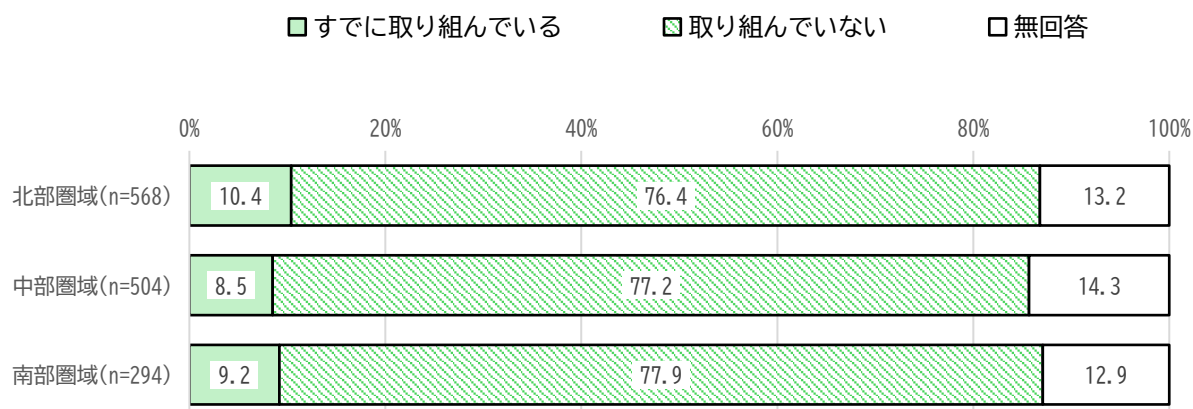
【年代別】

年代別では、年代が上がるにつれ「すでに取り組んでいる」の割合が高くなる傾向が見られます。



【圏域別】

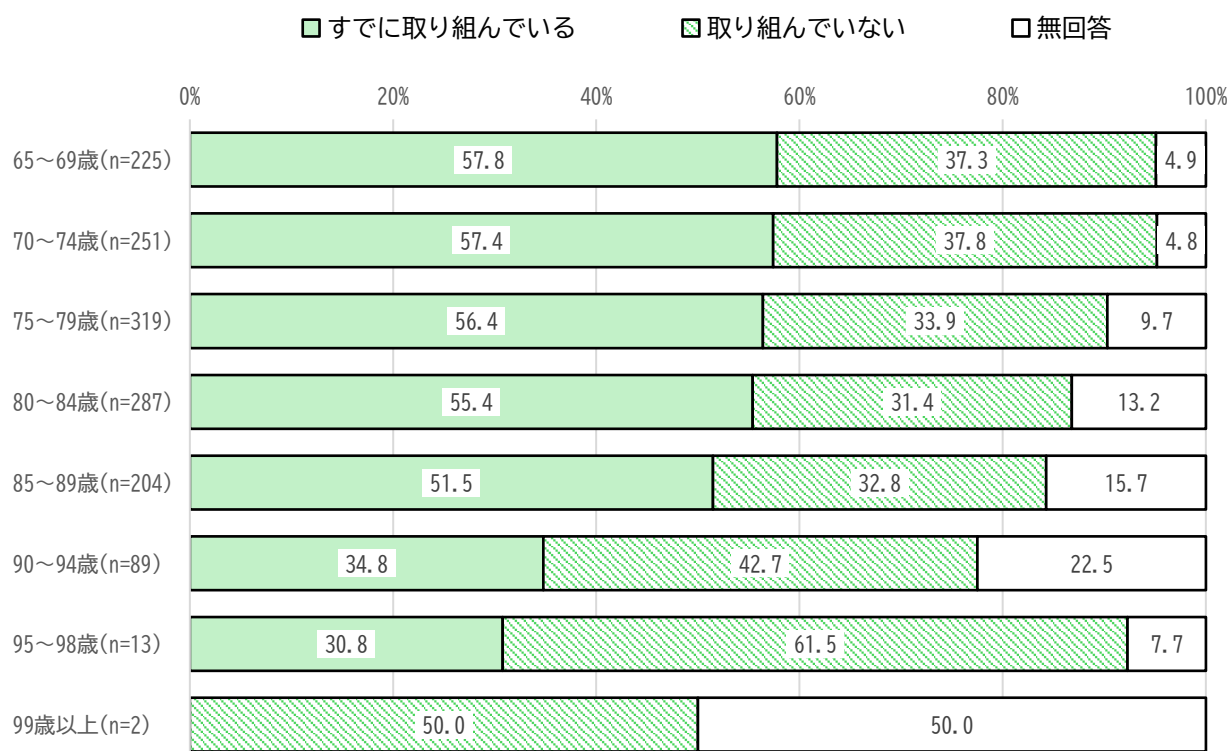
圏域別では、大きな差異はみられません。



⑩歯科に関する指導を受け、口の中の状態を維持・改善する

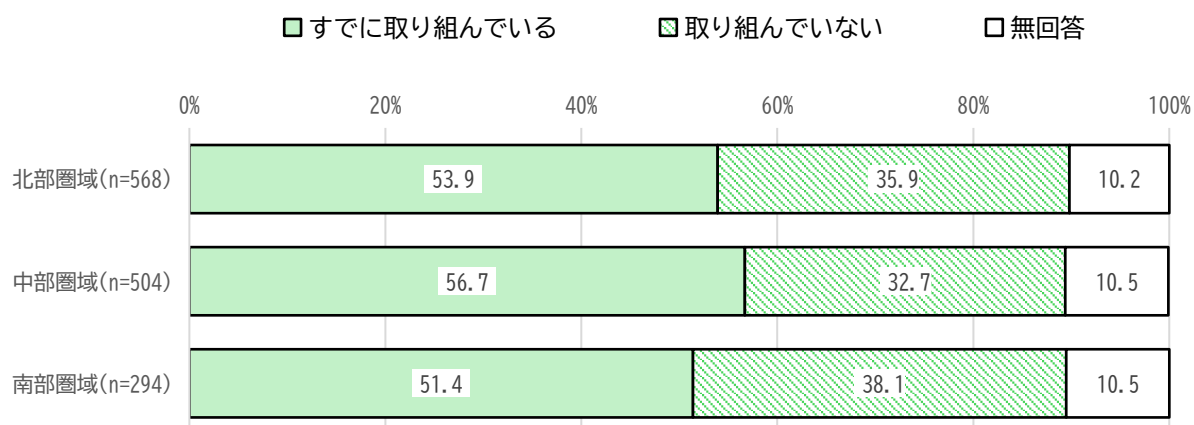
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、65～69 歳で「すでに取り組んでいる」（57.8％）の割合が高くなっています。



【圏域別】

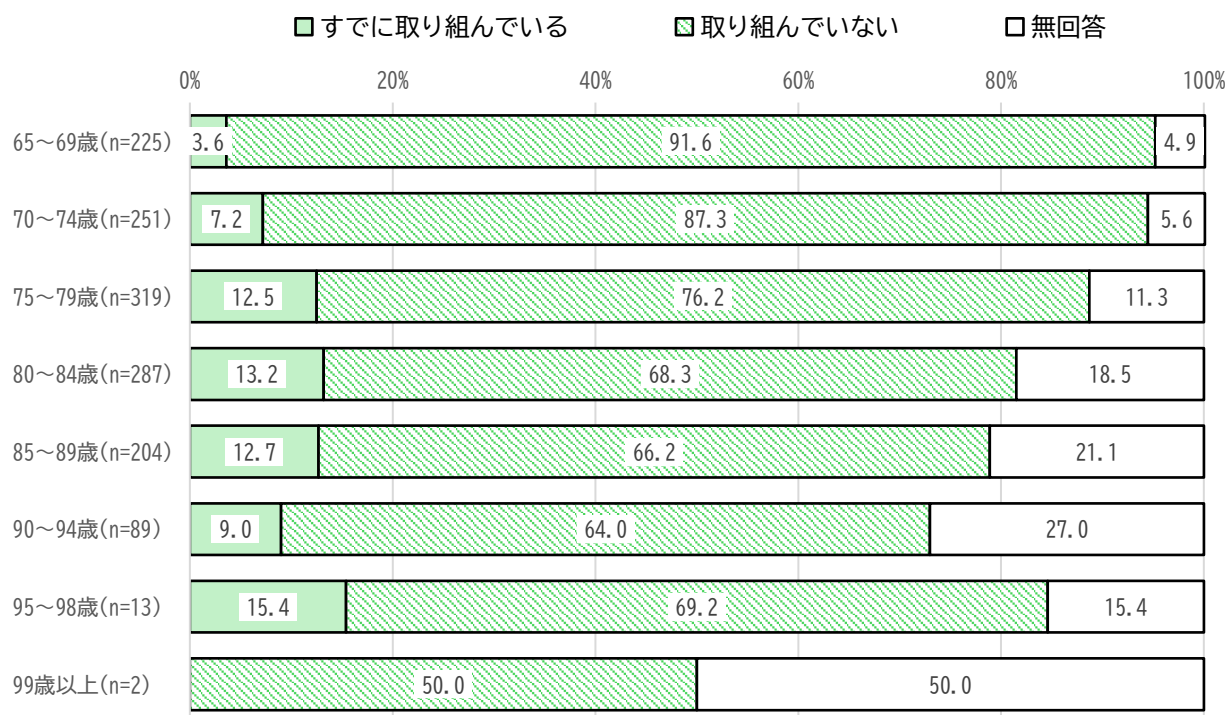
圏域別では、他の圏域と比べ、中部圏域で「すでに取り組んでいる」（56.7％）の割合が高くなっています。



⑪一時的に低下した足腰の機能を、短期集中的(3～6か月)な指導で回復する

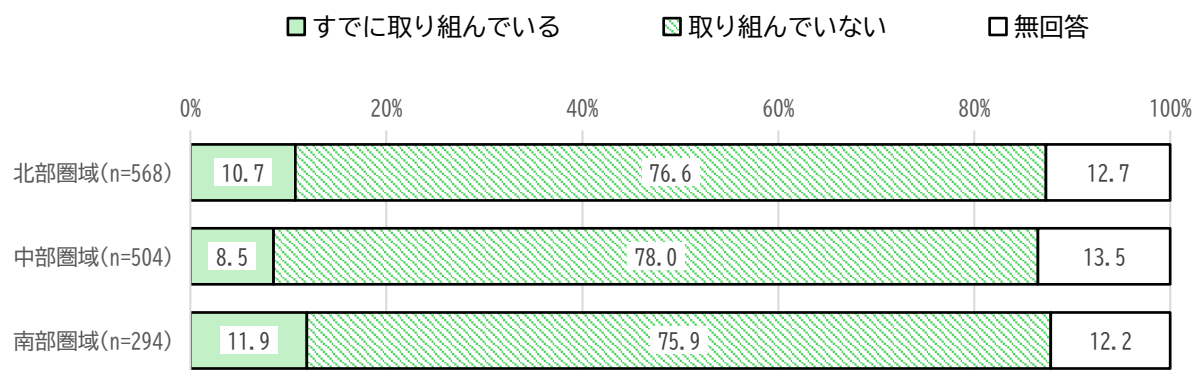
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、65～69歳で「取り組んでいない」(91.6%)の割合が高くなっています。



【圏域別】

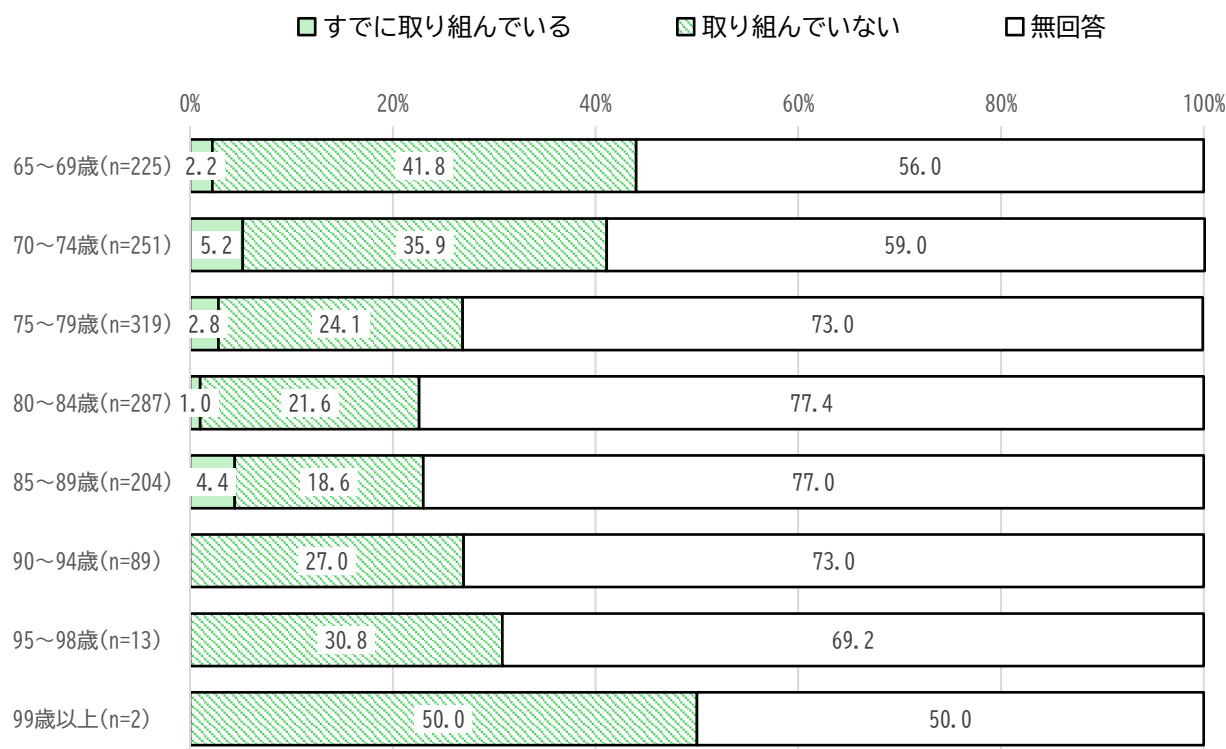
圏域別では、他の圏域と比べ、中部圏域で「取り組んでいない」(78.0%)の割合が高くなっています。



⑫その他

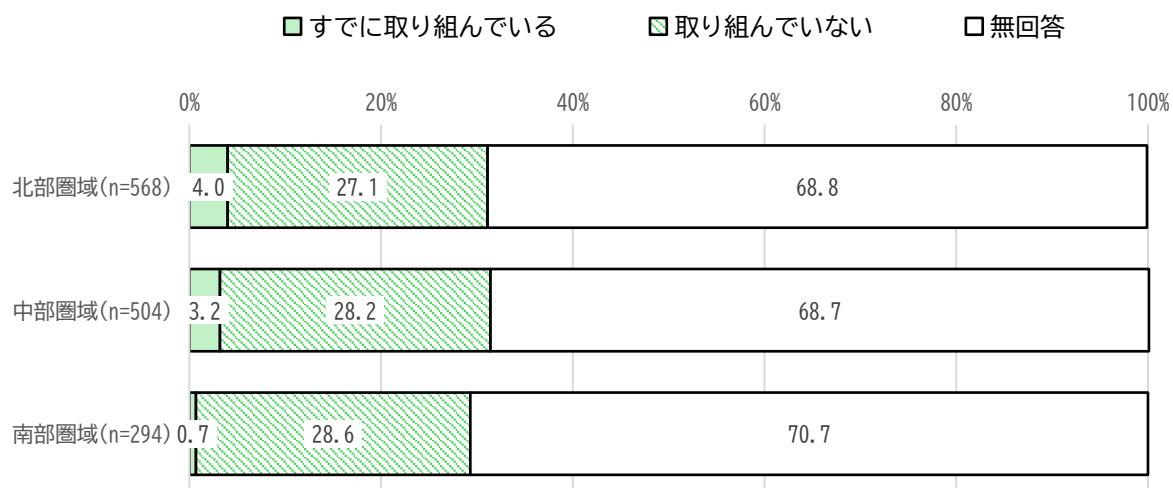
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、65～69歳で「取り組んでいない」（41.8％）の割合が高くなっています。



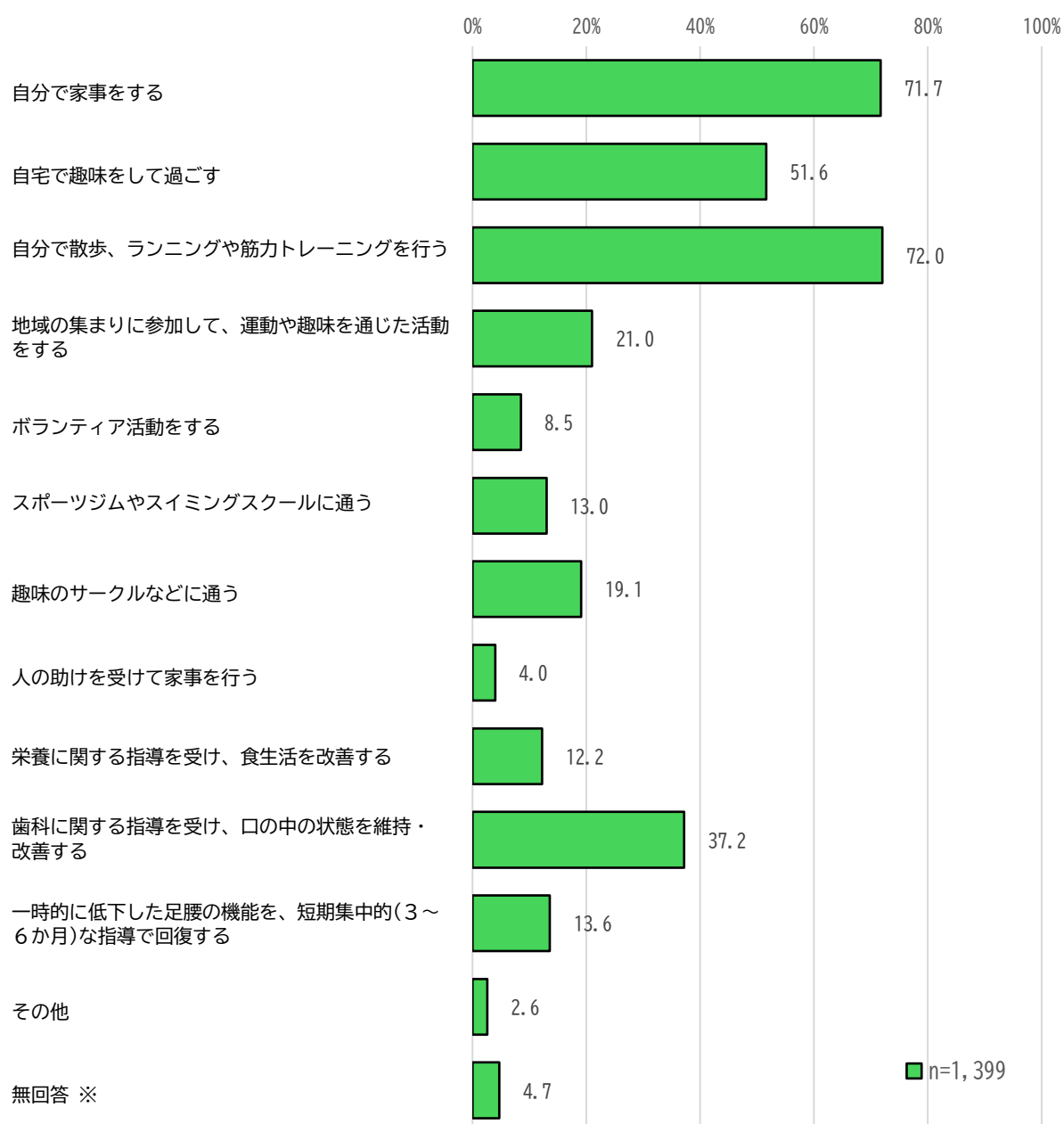
【圏域別】

圏域別では、他の圏域と比べ、南部圏域で「既に取り組んでいる」（0.7％）の割合が低くなっています。



(2) 介護が必要とならないために、今後どのような予防に取り組みたいですか (〇はいくつでも)

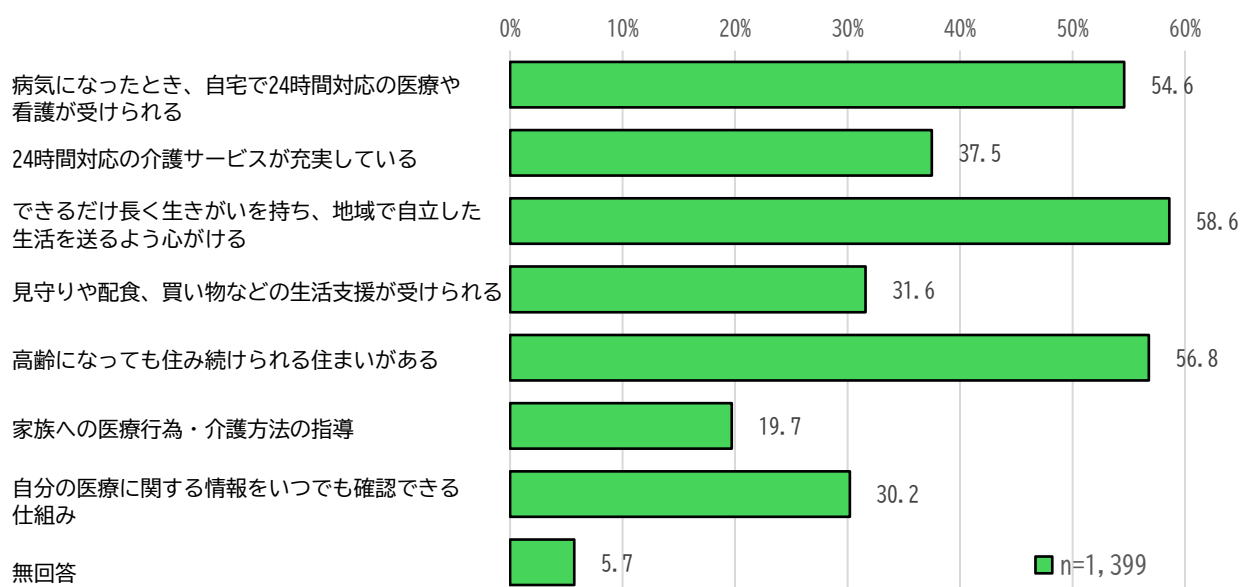
「自分で散歩、ランニングや筋力トレーニングを行う」(72.0%)の割合が最も高く、次いで「自分で家事をする」(71.7%)、「自宅で趣味をして過ごす」(51.6%)となっています。



※今回の調査から、「今後の取り組みの希望」は個別の設問として回答する形式としたため、前回調査より「無回答」が減少しています。

（３）住み慣れた地域・自宅で自分らしい暮らしを続けるために、何が重要だと思いますか。（〇はいくつでも）

「できるだけ長く生きがいを持ち、地域で自立した生活を送るよう心がける」（58.6％）の割合が最も高く、次いで「高齢になっても住み続けられる住まいがある」（56.8％）、「病気になったとき、自宅で24時間対応の医療や看護が受けられる」（54.6％）となっています。



【年代別・圏域別】

年代別では、他の年代と比べ、65～84歳で「できるだけ長く生きがいを持ち、地域で自立した生活を送るよう心がける」と、85～98歳で「高齢になっても住み続けられる住まいがある」の割合が高くなっています。

圏域別では、全ての圏域で、「できるだけ長く生きがいを持ち、地域で自立した生活を送るよう心がける」の割合が最も高くなっています。

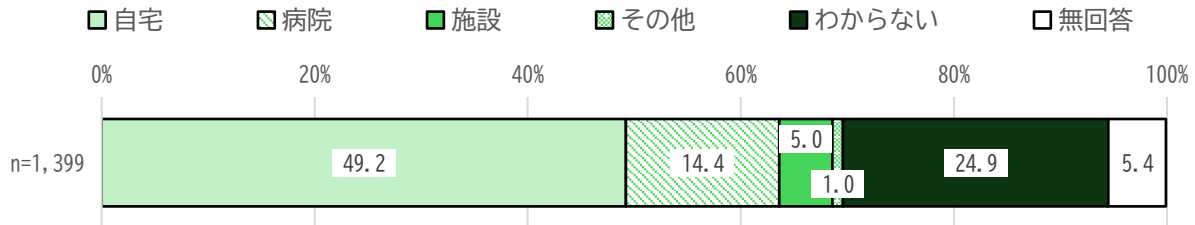
単位：％

区分	全体 (件数)	病気で 24時間 対応し たい	24時間 対応し たい	できるだけ 長く生き がいを 送りたい	見守りや 生活支援 が受け られる	高齢にな るにま つても 住み続 け	家族への 医療行為 ・介護	自分の医 療に関 する情 報	無 回 答
65～69歳	225	55.1	43.1	60.0	36.4	48.4	19.6	29.8	5.8
70～74歳	251	55.8	37.8	63.7	33.5	58.2	19.1	30.7	3.2
75～79歳	319	52.7	39.8	62.1	32.0	58.6	19.1	29.2	5.3
80～84歳	287	54.7	33.4	59.2	25.8	55.7	20.9	31.0	7.7
85～89歳	204	53.4	35.8	49.5	30.4	59.8	23.0	33.8	6.4
90～94歳	89	58.4	31.5	51.7	33.7	62.9	15.7	25.8	5.6
95～98歳	13	61.5	30.8	53.8	38.5	69.2	7.7	7.7	0.0
99歳以上	2	50.0	100.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
北部圏域	568	54.4	38.7	60.0	33.1	59.9	21.8	32.9	5.6
中部圏域	504	56.2	38.5	59.1	32.1	54.2	20.4	29.4	5.6
南部圏域	294	54.1	34.7	56.8	28.6	55.1	14.6	24.5	4.8

10 終末期の考え方について

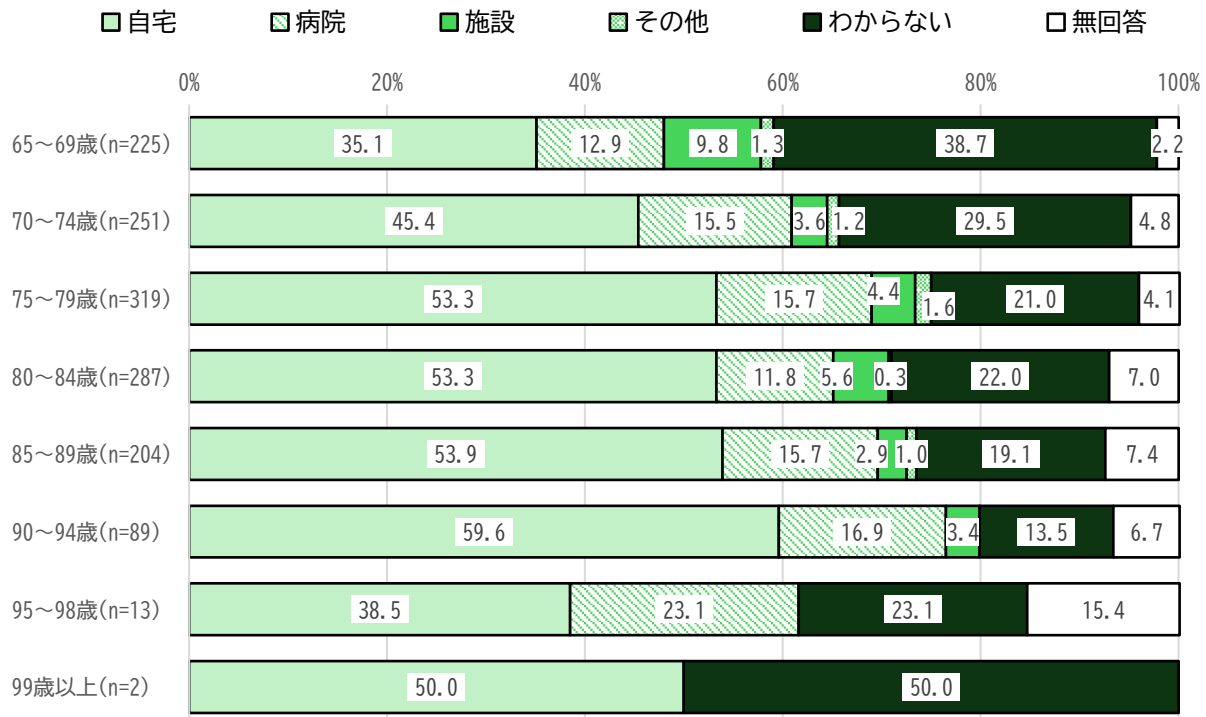
(1) 人生の最期をどこで迎えたいと思いますか（○は1つ）

「自宅」（49.2%）の割合が最も高く、次いで「病院」（14.4%）、施設（5.0%）となっています。一方で、「わからない」が24.9%となっています。



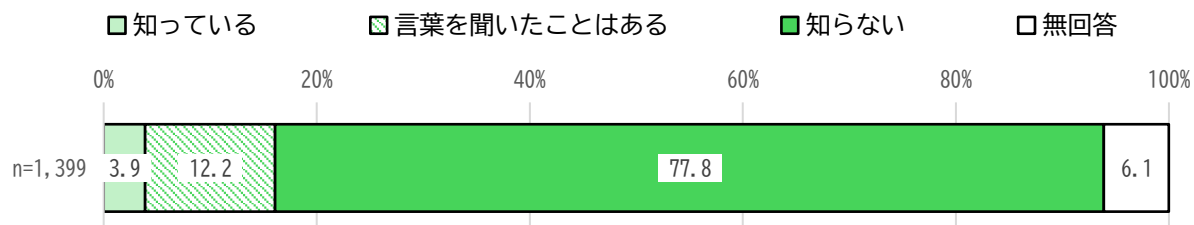
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、90～94 歳で「自宅」（59.6%）の割合が高くなっています。また、65～69 歳で「わからない」（38.7%）の割合が高くなっています。



（２）「人生会議」または「アドバンス・ケア・プランニング（ＡＣＰ）※」について、知っていますか（○は１つ）

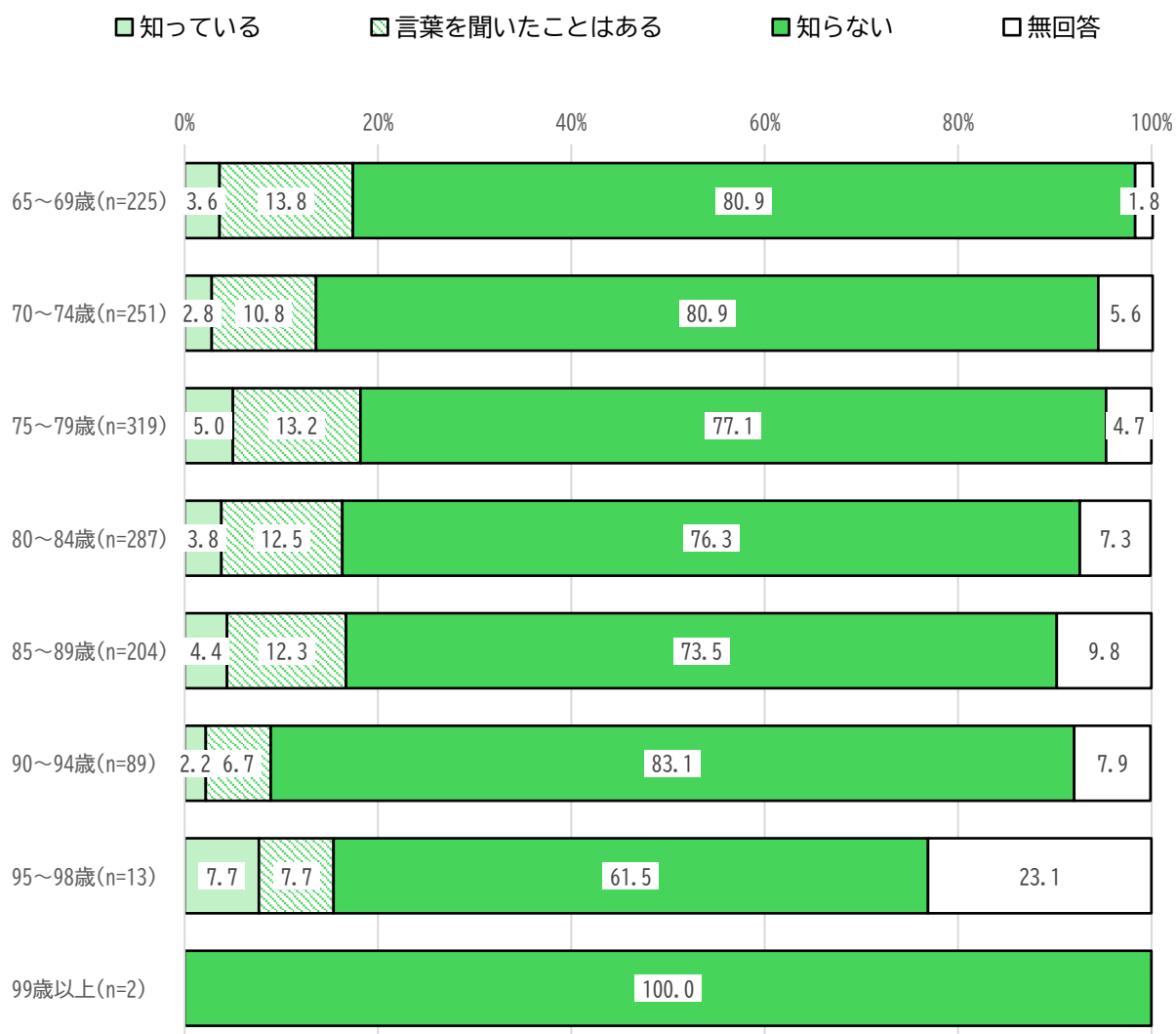
「知らない」（77.8％）の割合が最も高く、次いで「言葉を聞いたことはある」（12.2％）、「知っている」（3.9％）となっています。



※万が一のときに備えて、どのような治療やケアを希望するかについて、家族等やかかりつけ医等と繰り返し話し合うこと

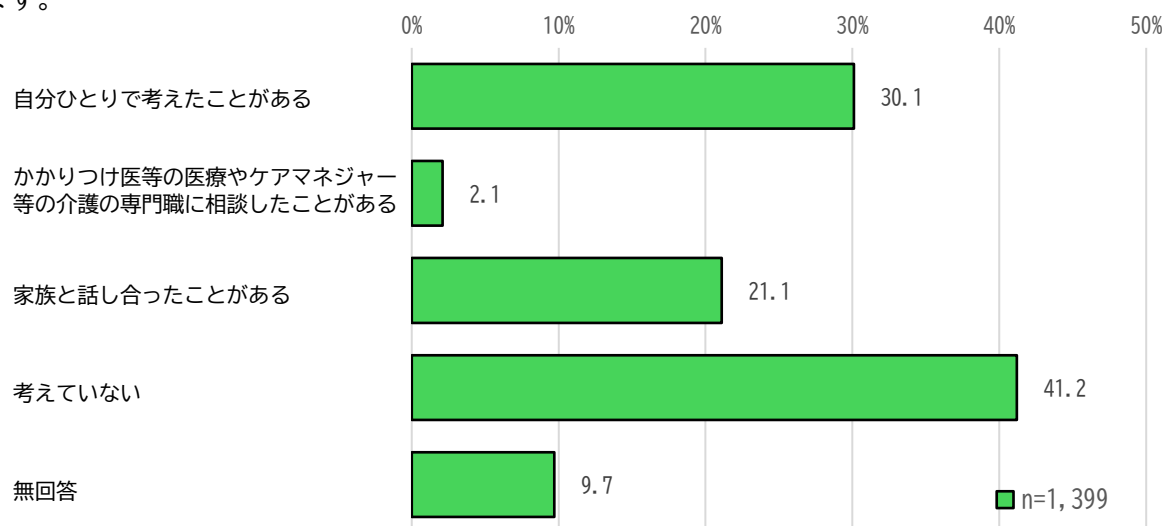
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、65～69 歳で「言葉を聞いたことはある」（13.8％）の割合が高くなっています。



(3) 万が一のときに備えて、どのような治療やケアを希望するかについて、考えていますか（〇はいくつでも）

「自分ひとりで考えたことがある」（30.1%）、次いで「家族と話し合ったことがある」（21.1%）、「かかりつけ医等の医療やケアマネジャー等の介護の専門職に相談したことがある」（2.1%）となっています。一方、「考えていない」（41.2%）の割合が最も高くなっています。



【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、95～98 歳で「家族と話し合ったことがある」（46.2%）の割合が高くなっています。

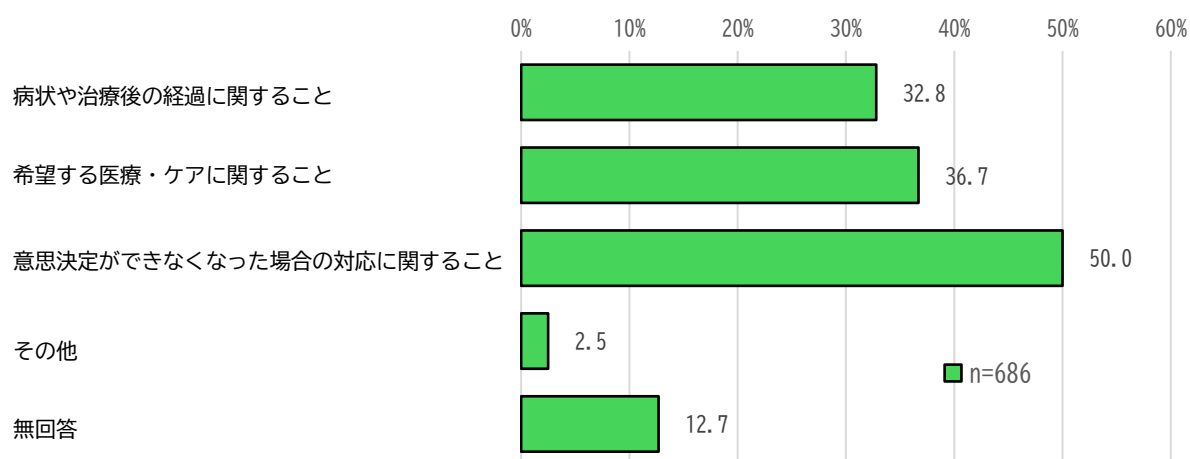
単位：％

区分	全体（件数）	自分ひとりで考えたことがある	専門職に相談したことがある	かかりつけ医等の医療やケアマネジャー等の介護の専門職に相談したことがある	家族と話し合ったことがある	考えていない	無回答
65～69歳	225	29.3	0.9	13.3	54.7	4.0	
70～74歳	251	23.9	1.2	19.9	51.4	6.4	
75～79歳	319	32.0	1.3	22.3	39.5	8.2	
80～84歳	287	32.1	1.7	23.0	33.8	13.9	
85～89歳	204	31.4	5.9	25.0	31.4	15.7	
90～94歳	89	34.8	2.2	19.1	37.1	10.1	
95～98歳	13	30.8	7.7	46.2	15.4	15.4	
99歳以上	2	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	

(3) で「1」～「3」いずれかを答えた方のみ以下の質問にお答えください

(3) - 1 どのような内容を考えましたか、または話しましたか (〇はいくつでも)

「意思決定ができなくなった場合の対応に関すること」(50.0%)の割合が最も高く、次いで「希望する医療・ケアに関すること」(36.7%)、「症状や治療後の経過に関すること」(32.8%)となっています。



【年代別】

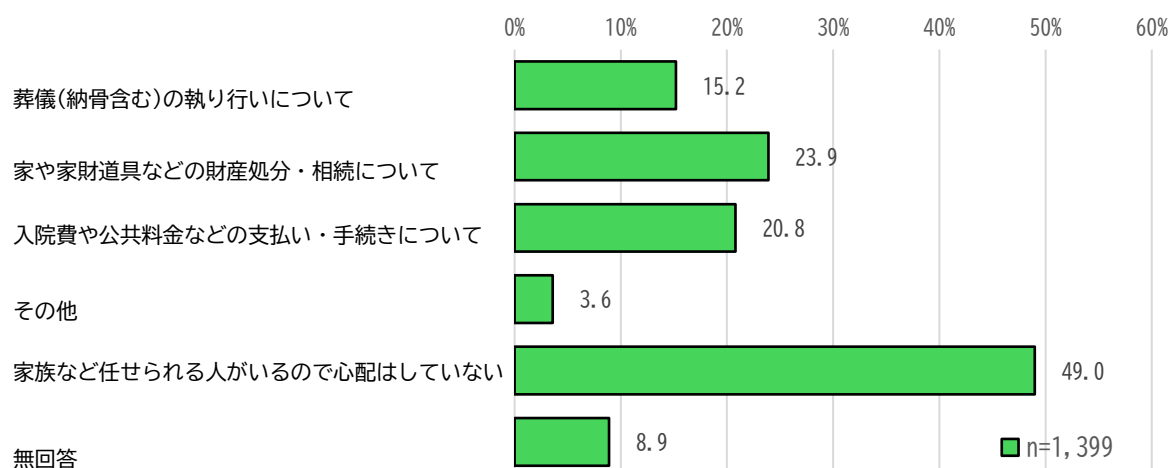
年代別では、他の年代と比べ、65～69 歳で「意思決定ができなくなった場合の対応に関すること」(67.7%)の割合が高くなっています。

単位：%

区分	全体 (件数)	病状や 治療後の 経過に関 するこ と	希望する 医療・ケ アに関 するこ と	意思決定 ができな くなるこ と	その他	無回 答
65～69歳	225	35.5	47.3	67.7	0.0	2.2
70～74歳	251	31.1	36.8	52.8	3.8	6.6
75～79歳	319	33.5	35.9	49.1	3.6	15.0
80～84歳	287	28.0	34.7	50.7	1.3	14.0
85～89歳	204	38.9	35.2	39.8	2.8	17.6
90～94歳	89	31.9	27.7	44.7	2.1	19.1
95～98歳	13	22.2	44.4	22.2	0.0	22.2
99歳以上	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(4) 万が一の場合、不安に感じていることは何ですか(○はいくつでも)

「家や家財道具などの財産処分・相続について」(23.9%)、次いで「入院費や公共料金などの支払い・手続きについて」(20.8%)、「葬儀(納骨含む)の執り行いについて」(15.2%)となっています。一方、「家族など任せられる人がいるので心配はしていない」(49.0%)の割合が最も高くなっています。



【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、65～94歳で「家や家財道具などの財産処分・相続について」の割合が高くなっています。一方、全ての年代で「家族など任せられる人がいるので心配はしていない」が最も高くなっています。

単位：%

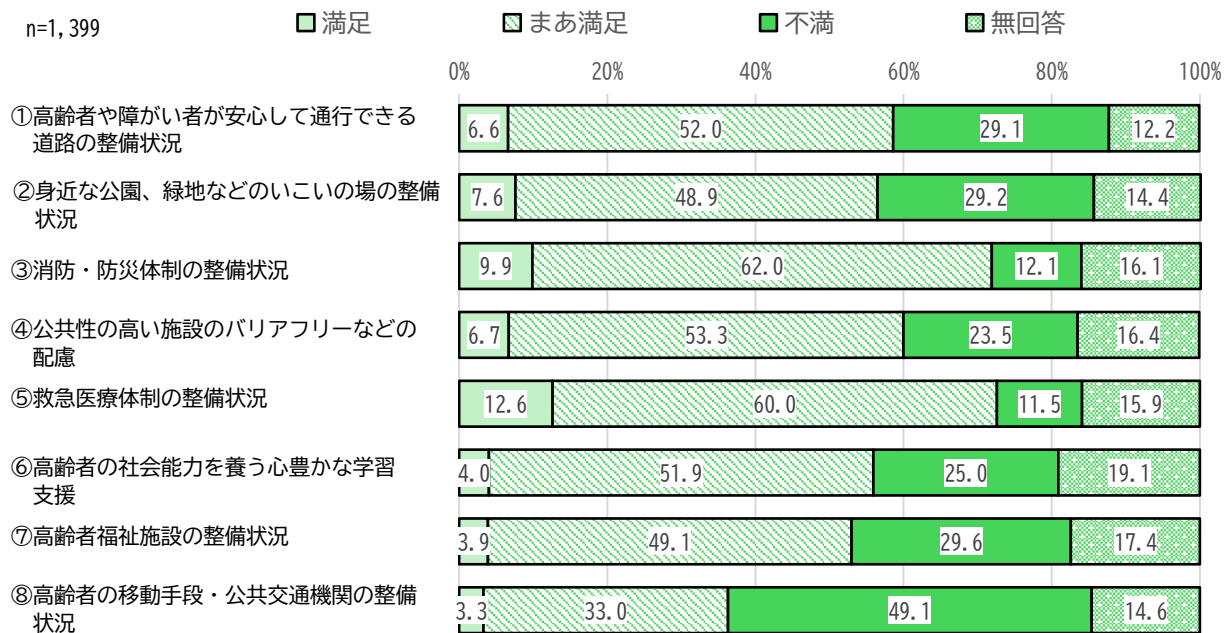
区分	全体 (件数)	葬儀 (納骨 含む) の執 り行	家 ・ 家 財 道 具 な ど の 財 産 処 分・ 相 続	入 院 費 ・ 手 続 き に 公 共 料 金 な ど の 支 払	そ の 他	家 族 な ど 心 配 は せ ら れ る 人 が い る の で 心 配 は し て い な い	無 回 答
65～69歳	225	17.3	32.9	28.4	4.9	41.3	4.4
70～74歳	251	20.3	28.3	25.1	3.6	41.8	7.2
75～79歳	319	16.9	24.8	22.6	4.1	45.8	7.5
80～84歳	287	12.5	17.4	17.4	2.4	56.8	10.5
85～89歳	204	11.3	21.6	13.2	4.9	53.4	12.7
90～94歳	89	11.2	15.7	13.5	1.1	60.7	12.4
95～98歳	13	0.0	7.7	0.0	0.0	76.9	15.4
99歳以上	2	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

11 高齢社会への対応について

(1) 自宅周辺の生活環境についてどのように感じていますか

※①～⑧それぞれに回答してください（それぞれ1つに○）

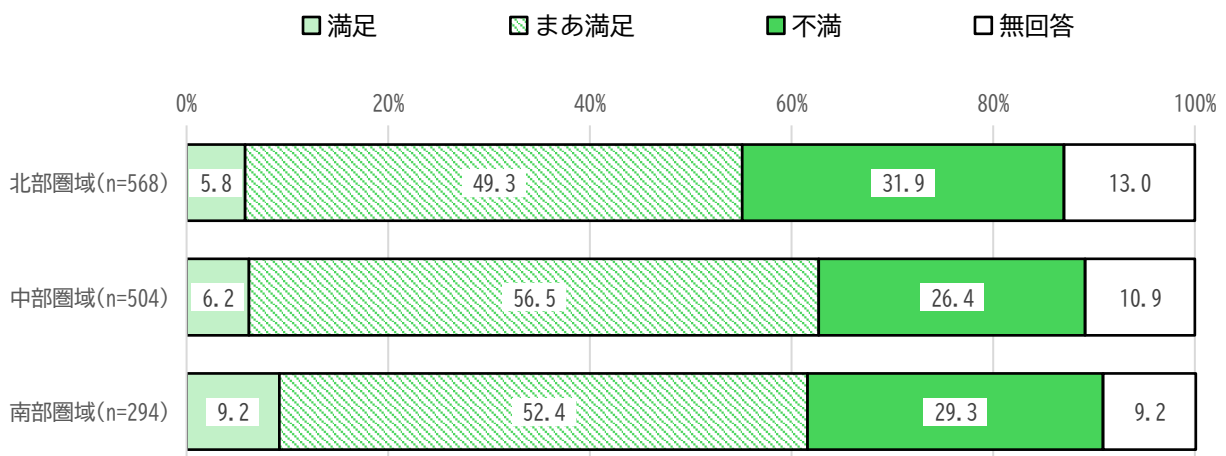
「③消防・防災体制の整備状況」、「⑤救急医療体制の整備状況」は、「満足」と「まあ満足」を合わせた『満足』の割合が高くなっています。一方、「⑧高齢者の移動手段・公共交通機関の整備状況」では「不満」（49.1%）の割合が最も高くなっています。



①高齢者や障がい者が安心して通行できる道路の整備状況

【圏域別】

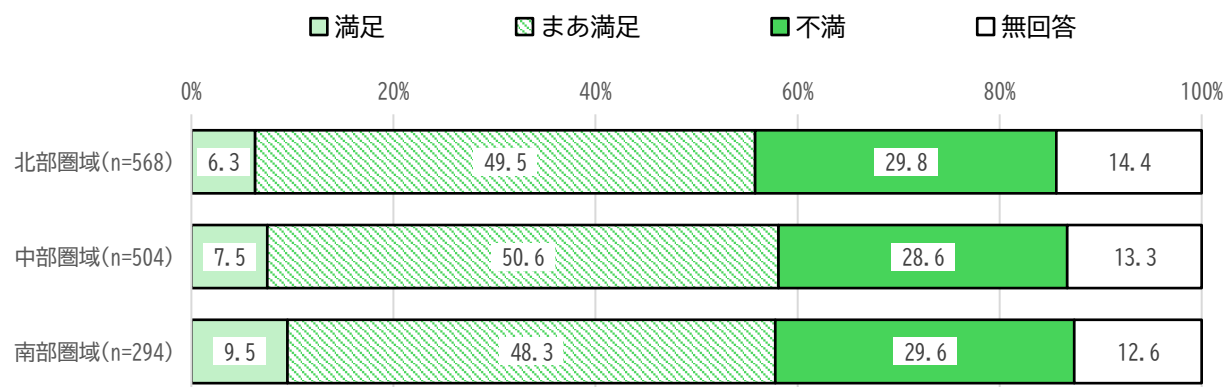
圏域別では、他の圏域と比べ、中部圏域で『満足』（62.7%）の割合が高くなっています。



②身近な公園、緑地などのいこいの場の整備状況

【圏域別】

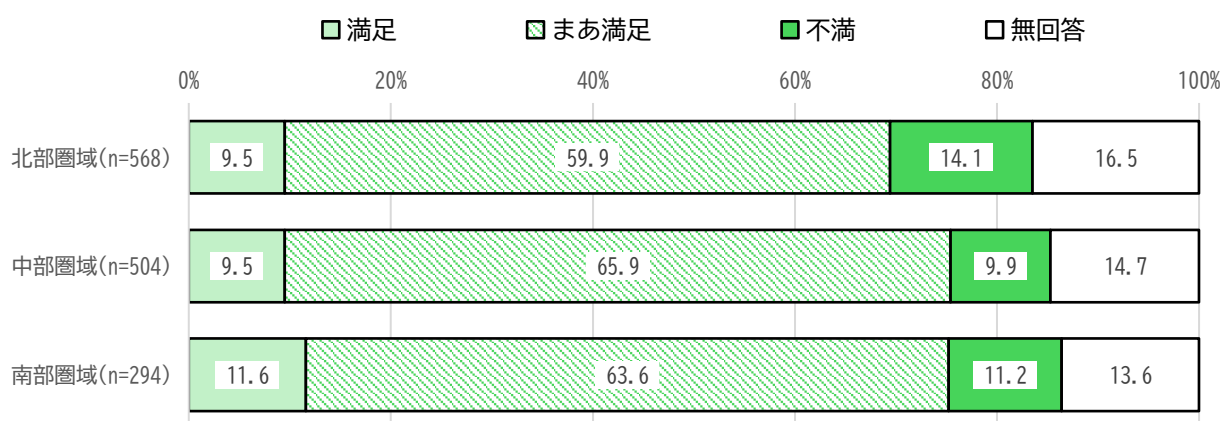
圏域別では、他の圏域と比べ、北部圏域で『満足』（55.8%）の割合が低くなっています。



③消防・防災体制の整備状況

【圏域別】

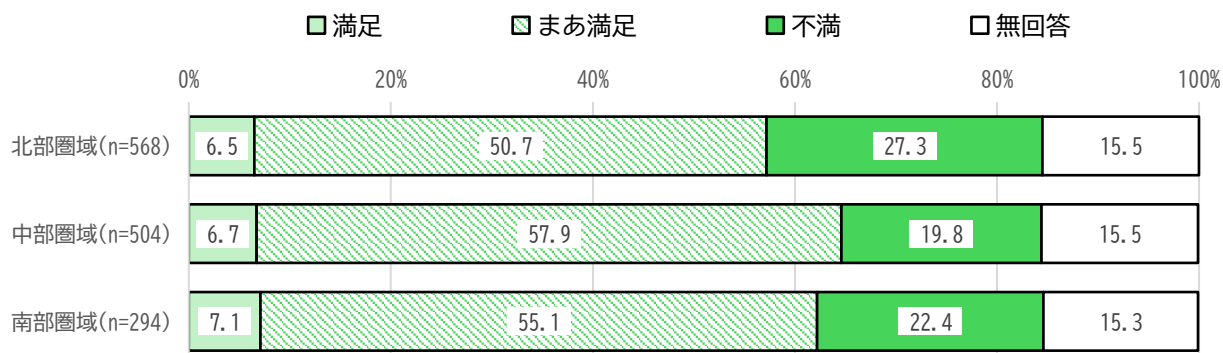
圏域別では、他の圏域と比べ、北部圏域で『満足』（69.4%）の割合が低くなっています。



④公共性の高い施設のバリアフリーなどの配慮

【圏域別】

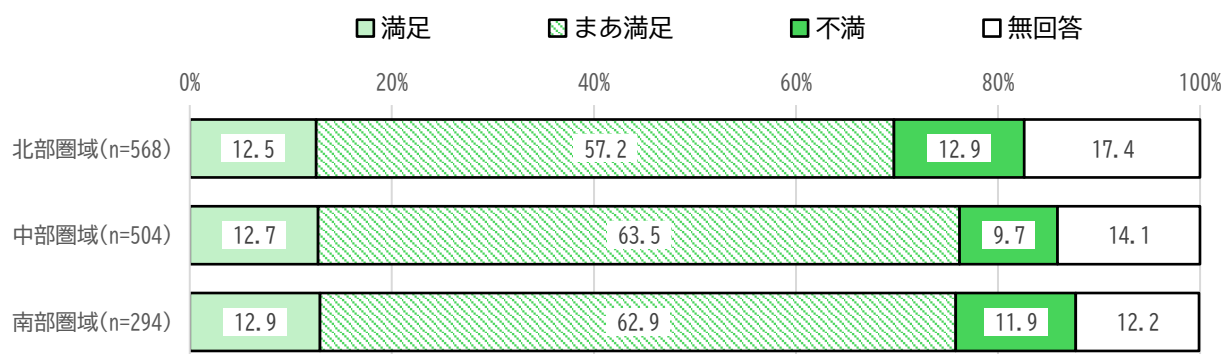
圏域別では、他の圏域と比べ、中部圏域で『満足』（64.6%）の割合が高くなっています。



⑤救急医療体制の整備状況

【圏域別】

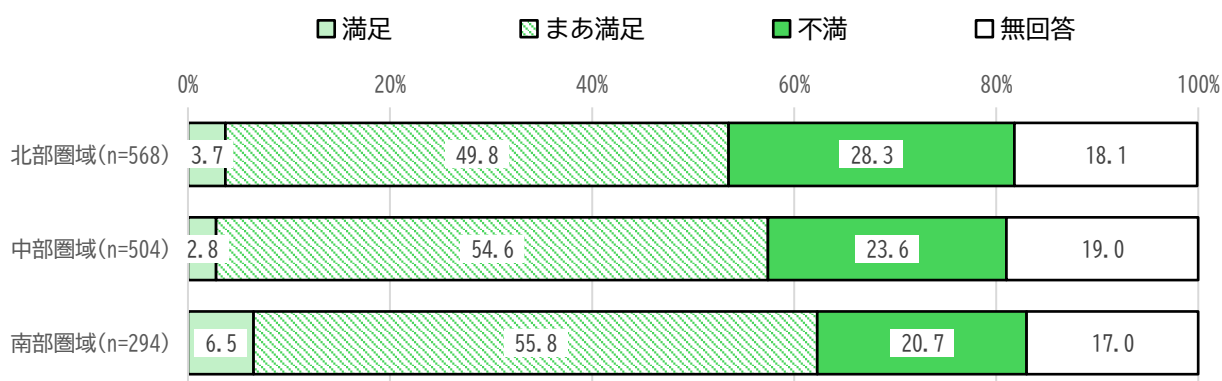
圏域別では、他の圏域と比べ、北部圏域で『満足』（69.7%）の割合が低くなっています。



⑥高齢者の社会能力を養う心豊かな学習支援

【圏域別】

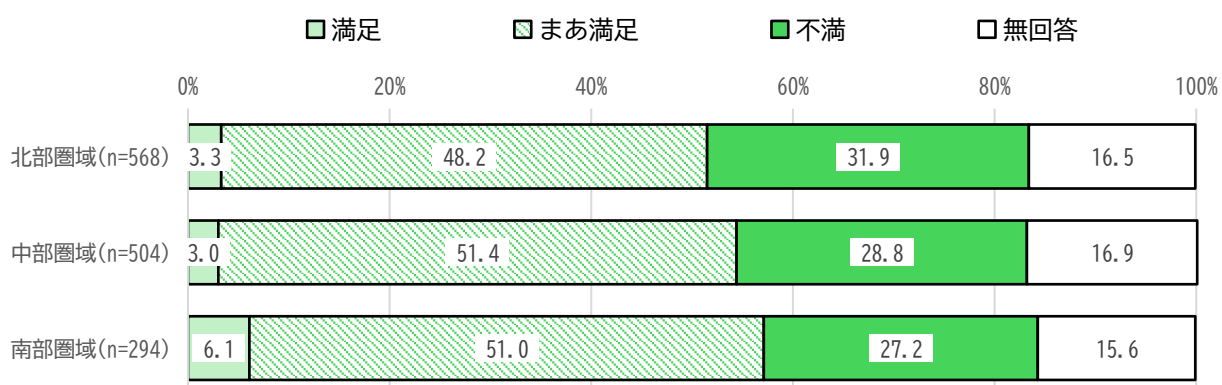
圏域別では、他の圏域と比べ、南部圏域で『満足』（62.3%）の割合が高くなっています。



⑦高齢者福祉施設の整備状況

【圏域別】

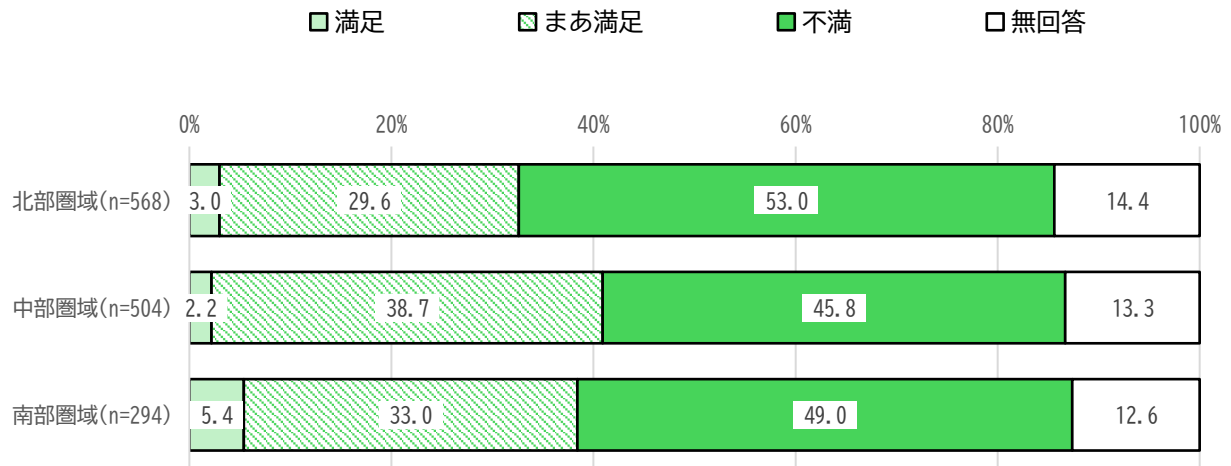
圏域別では、他の圏域と比べ、南部圏域で『満足』（57.1%）の割合が高くなっています。



⑧高齢者の移動手段・公共交通機関の整備状況

【圏域別】

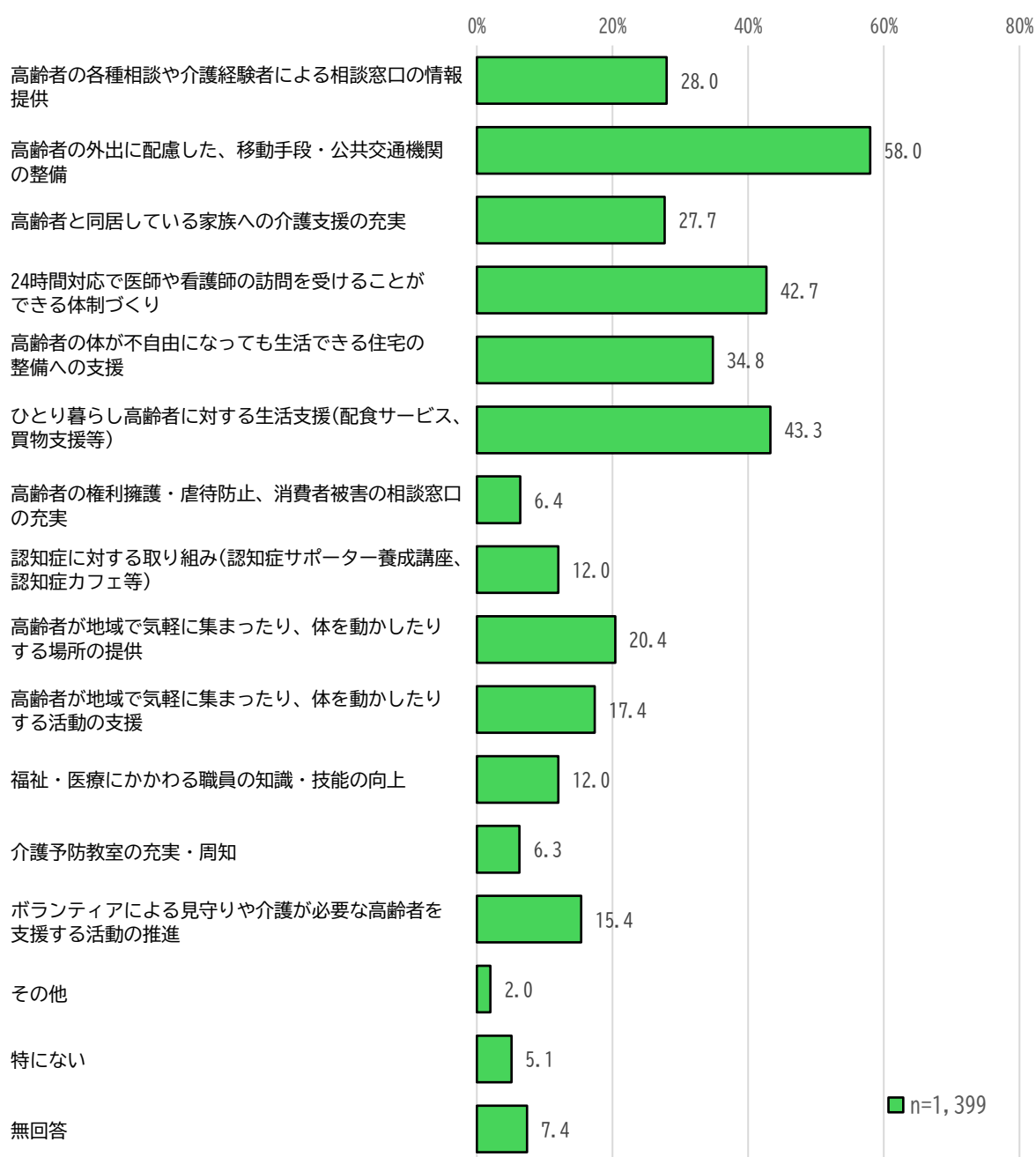
圏域別では、他の圏域と比べ、中部圏域で『満足』（40.9%）の割合が高くなっています。



（２）高齢社会に対して、今後、市に力を入れてほしいことは何ですか

（〇は５つまで）

「高齢者の外出に配慮した、移動手段・公共交通機関の整備」（58.0％）の割合が最も高く、次いで「ひとり暮らし高齢者に対する生活支援（配食サービス、買物支援等）」（43.3％）、「24 時間対応で医師や看護師の訪問を受けることができる体制づくり」（42.7％）、「高齢者の体が不自由になっても生活できる住宅の整備への支援」（34.8％）、「高齢者の各種相談や介護経験者による相談窓口の情報提供」（28.0％）、「高齢者と同居している家族への介護支援の充実」（27.7％）となっています。



【年代別・圏域別】

年代別では、他の年代と比べ、65～79 歳で「高齢者の外出に配慮した、移動手段・公共交通機関の整備」の割合が高くなっています。

圏域別では、全ての圏域で、「高齢者の外出に配慮した、移動手段・公共交通機関の整備」が最も高くなっています。

単位：％

区分	全体 （件数）	高齢者の各種相談窓口の介護情報提供	高齢者の外出に配慮した、移動手段・公共交通機関の整備	高齢者と同居している家族への介護支援の充実	24時間対応できる医師や看護師の訪問を受けることができ体制づくり	高齢者の体が不自由になっても生活できる住宅の整備への支援	ひとり暮らしの高齢者に対する生活支援（配食サービス、買い物支援等）	高齢者の権利擁護・虐待防止、消費者被害の相談窓口の充実	認知症に対する取り組み（認知症サポーター養成講座、認知症カフェ等）
65～69歳	225	32.9	64.9	34.2	47.1	36.4	51.1	7.6	17.3
70～74歳	251	29.5	64.1	28.3	44.6	42.2	48.6	5.6	11.2
75～79歳	319	26.3	58.3	27.3	43.6	32.9	44.8	6.0	12.9
80～84歳	287	31.4	55.7	20.6	40.4	36.9	37.6	6.6	9.8
85～89歳	204	23.5	50.0	27.0	36.8	25.5	37.3	5.4	9.3
90～94歳	89	21.3	51.7	34.8	44.9	32.6	39.3	10.1	13.5
95～98歳	13	15.4	61.5	38.5	38.5	23.1	30.8	0.0	0.0
99歳以上	2	0.0	0.0	50.0	100.0	0.0	0.0	50.0	50.0
北部圏域	568	28.5	61.1	28.9	44.7	37.9	44.9	6.5	12.9
中部圏域	504	30.4	55.6	27.2	44.4	35.1	45.2	5.6	11.7
南部圏域	294	25.2	60.9	27.9	39.1	29.6	39.5	8.2	12.2

区分	全体 (件数)	高齢者の活動の場、地域の提供	高齢者の活動の場、地域の提供	福祉・医療にかかわる職員の知識・技能の向上	介護予防教室の充実・周知	ボランティアの活動の推進	その他	特にない	無回答
65～69歳	225	17.8	16.4	18.7	4.4	15.1	2.7	4.0	2.7
70～74歳	251	18.7	15.5	15.5	6.4	12.4	2.0	4.4	6.8
75～79歳	319	21.6	17.9	10.7	4.7	16.0	1.9	3.4	6.6
80～84歳	287	23.7	21.6	8.0	9.8	16.4	1.4	6.3	8.7
85～89歳	204	20.6	16.2	9.8	5.9	15.7	2.9	8.8	10.8
90～94歳	89	18.0	11.2	9.0	6.7	16.9	1.1	2.2	10.1
95～98歳	13	7.7	23.1	7.7	7.7	23.1	0.0	7.7	15.4
99歳以上	2	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
北部圏域	568	22.4	18.0	11.8	6.7	16.5	2.1	2.3	8.1
中部圏域	504	22.2	18.7	13.1	6.9	14.1	0.6	7.1	6.2
南部圏域	294	14.6	14.6	10.5	5.1	15.3	3.7	6.1	5.8

Ⅲ 生活機能評価等に関する分析（介護予防・日常生活圏域二エズ調査）

1 複数の機能リスク該当者割合の分析

調査票の以下の設問を抽出し、市の指標に基づき 20 項目のうち 10 項目以上に該当する人を複数の機能リスク該当者と判定しました。

【判定設問】

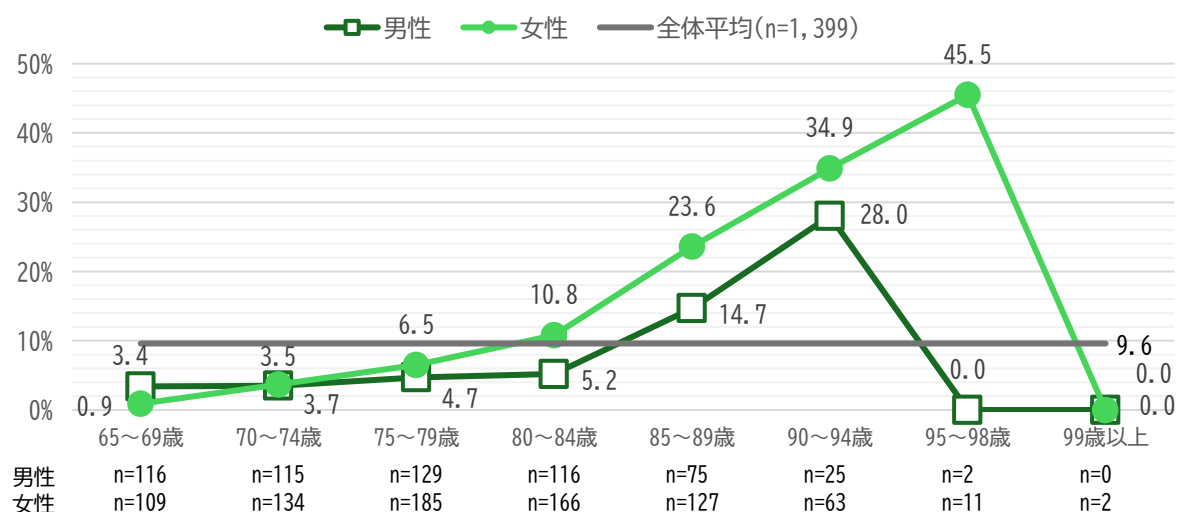
問番号	設問	該当する選択肢
問2（1）	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	3. できない
問2（2）	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	3. できない
問2（3）	15 分くらい続けて歩いていますか	3. できない
問2（4）	過去 1 年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1 度ある
問2（5）	転倒に対する不安は大きいですか	1. とても不安である 2. やや不安である
問2（6）	週に 1 回以上は外出していますか	1. ほとんど外出しない
問2（7）	昨年と比べて外出の回数が減っていますか	1. とても減っている 2. 減っている
問3（1）	身長・体重	BMI 18.5 未満
問3（2）	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい
問3（3）	お茶や汁物等でむせることがありますか	1. はい
問3（4）	口の渇きが気になりますか	1. はい
問3（7）	6 か月間で 2 ～ 3 kg 以上の体重減少がありましたか	1. はい
問4（1）	物忘れが多いと感じますか	1. はい
問4（2）	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	2. いいえ
問4（3）	今日が何月何日かわからない時がありますか	1. はい
問4（4）	バスや電車を使って 1 人で外出していますか（自家用車でも可）	3. できない
問4（5）	自分で食品・日用品の買物をしていますか	3. できない
問4（8）	自分で預貯金の出し入れをしていますか	3. できない
問4（9）	友人の家を訪ねていますか	2. いいえ
問4（10）	家族や友人の相談にのっていますか	2. いいえ

【リスク該当状況】

複数の機能の評価結果をみると、全体平均で 9.6%が複数の機能低下リスク該当者となっています。

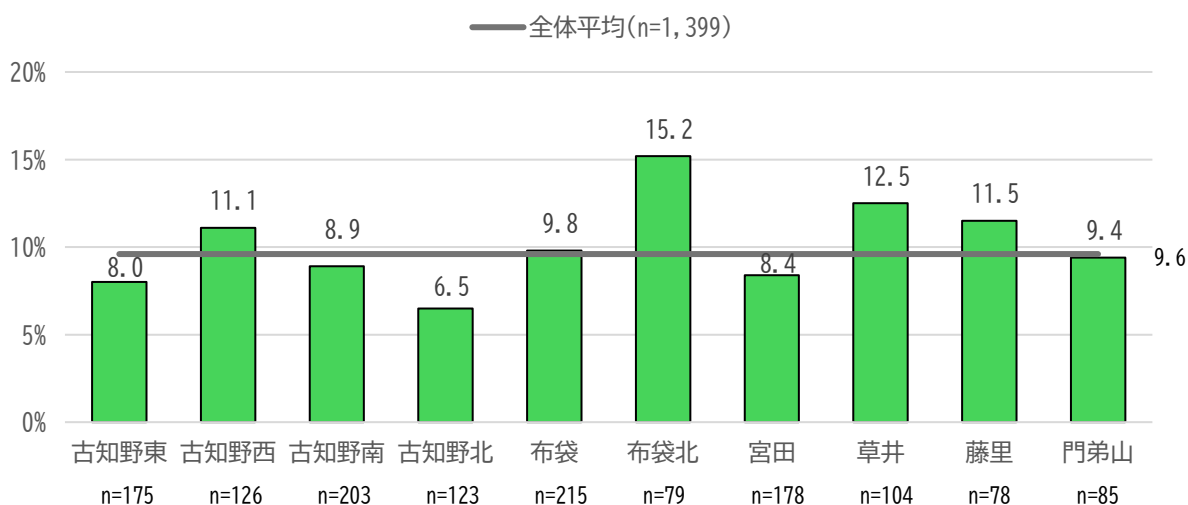
性別・年代別では、女性は 65～69 歳を除くすべての年代で男性に比べ該当者割合が高く、80～84 歳から全体平均を上回っています。また、85～89 歳で 23.6%と 80～84 歳に比べ 12.8 ポイントと大きく増加しています。一方、男性は 85～89 歳と 90～94 歳で全体平均を上回っています。

【性別・年代別】



小学校区別では、古知野西、布袋、布袋北、草井、藤里で該当者割合が全体平均の 9.6%を超えています。また、最も高い小学校区は布袋北で 15.2%、最も低い小学校区は古知野北で 6.5%となっており、8.7 ポイントの差となっています。

【小学校区別】



2 機能別リスク該当者割合の分析

市の指標に基づき分析した内容は次のとおりです。

(1) 運動器

調査票の以下の設問を抽出し、5項目のうち3項目以上に該当する人を運動器の機能低下のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

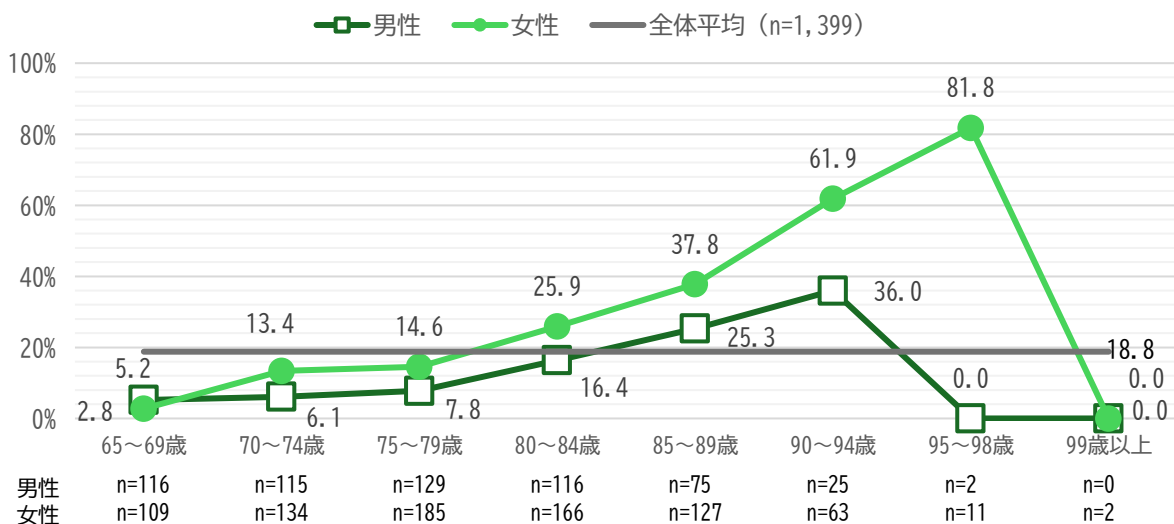
問番号	設問	該当する選択肢
問2(1)	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	3. できない
問2(2)	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	3. できない
問2(3)	15分くらい続けて歩いていますか	3. できない
問2(4)	過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある
問2(5)	転倒に対する不安は大きいですか	1. とても不安である 2. やや不安である

【リスク該当状況】

運動器の評価結果をみると、全体平均で18.8%が運動器の機能低下のリスク該当者となっています。

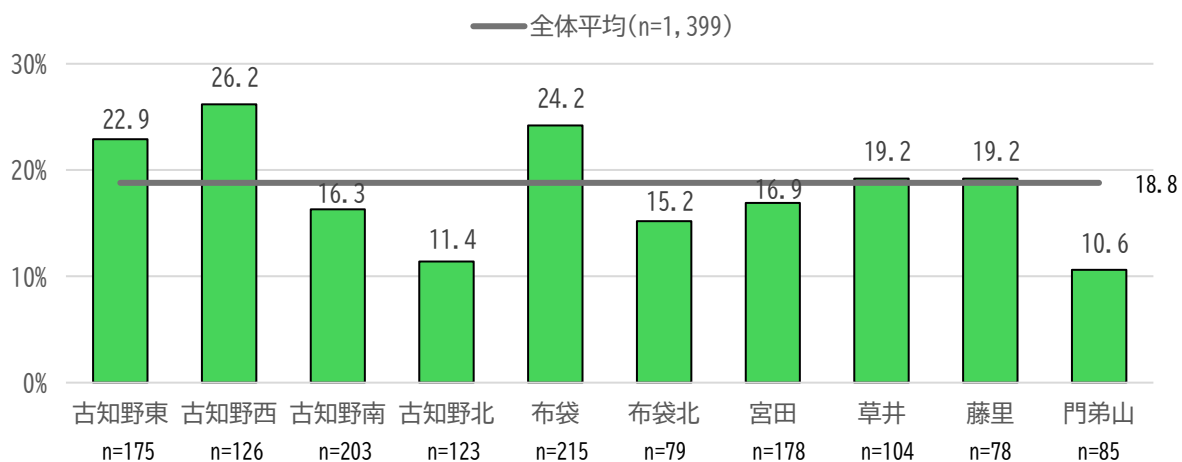
性別・年代別では、女性は65～69歳を除くすべての年代で男性に比べ該当者割合が高く、80～84歳で全体平均を上回り、その後増加し続けています。また、90～94歳で61.9%と85～89歳に比べ24.1ポイント増加しています。男性は85～89歳で25.3%と全体平均を上回り、80～84歳に比べ8.9ポイント増加しています。

【性別・年代別】



小学校区別では、古知野東、古知野西、布袋、草井、藤里で該当者割合が全体平均の 18.8% を超えています。また、最も高い小学校区は古知野西で 26.2%、最も低い小学校区は門弟山で 10.6% となっており、15.6 ポイントの差となっています。

【小学校区別】



(2) 栄養

調査票の以下の設問を抽出し、2項目のすべてに該当する人を低栄養のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

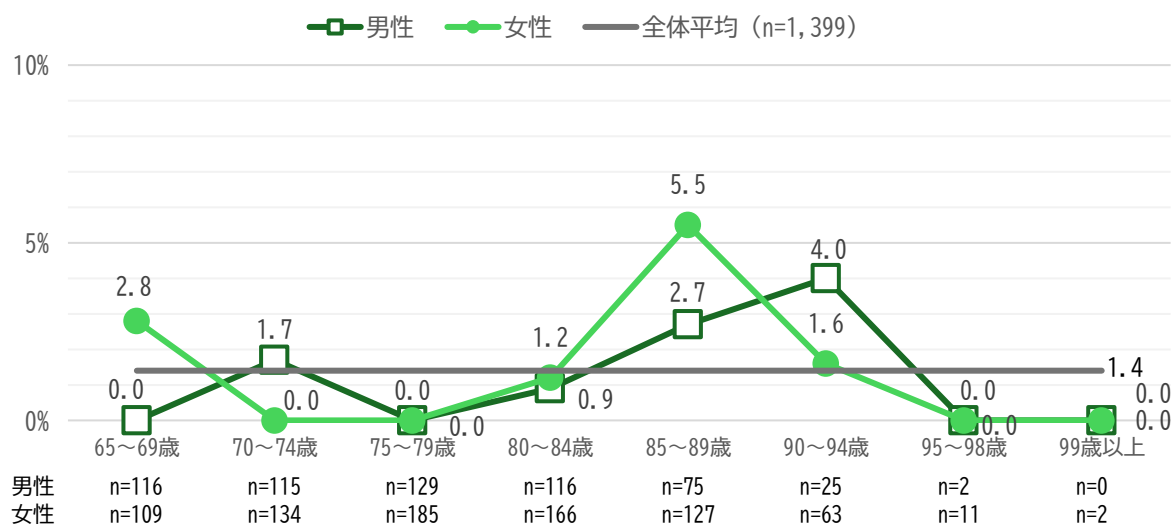
問番号	設問	該当する選択肢
問3 (1)	身長・体重	BMI 18.5未満
問3 (7)	6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	1. はい

【リスク該当状況】

栄養の評価結果をみると、全体平均で1.4%が低栄養のリスク該当者となっています。

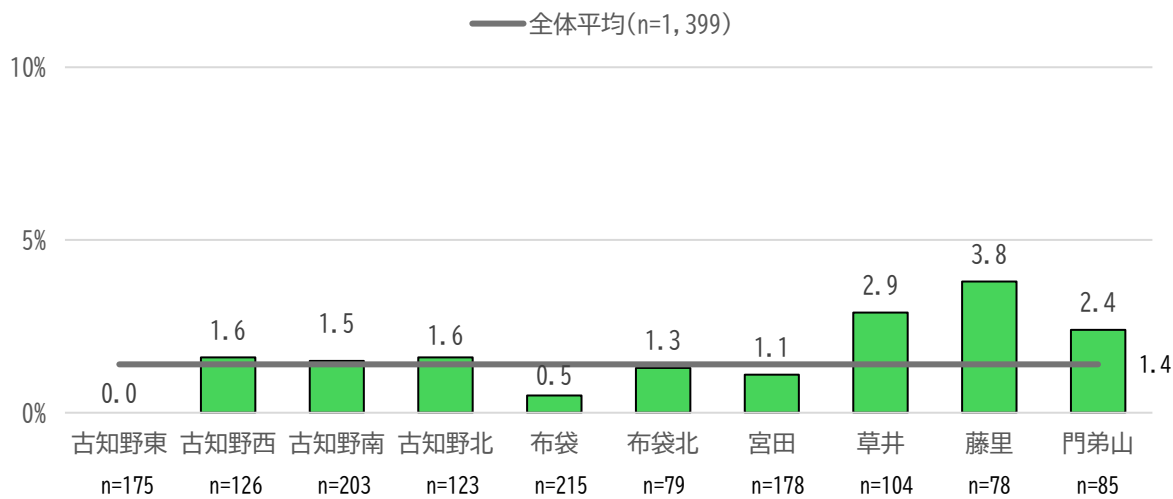
性別・年代別では、男性では90～94歳が4.0%で最も高くなっており、女性では85～89歳が5.5%で最も高くなっています。また、他と比べて男女差は65～69歳と85～89歳が2.8ポイント差と最も広がっています。

【性別・年代別】



小学校区別では、古知野西、古知野南、古知野北、草井、藤里、門弟山で該当者割合が全体平均の 1.4%を超えています。また、最も高い小学校区は藤里で 3.8%、最も低い小学校区は古知野東で 0.0%となっており、3.8 ポイントの差となっています。

【小学校区別】



(3) 口腔

調査票の以下の設問を抽出し、3項目のすべてに該当する人を口腔機能低下のリスク該当者と判定しました。

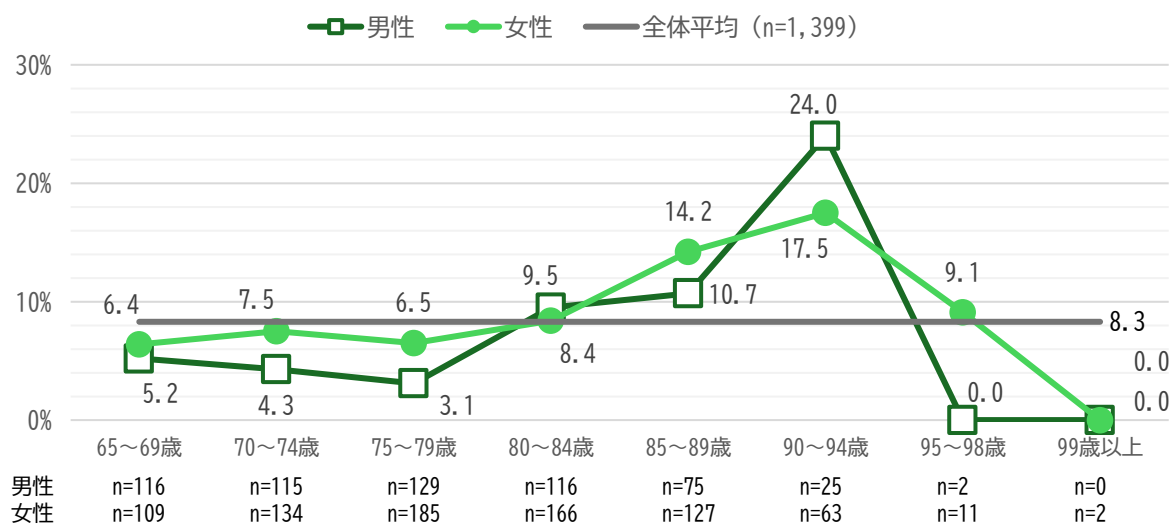
【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問3(2)	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい
問3(3)	お茶や汁物等でむせることがありますか	1. はい
問3(4)	口の渇きが気になりますか	1. はい

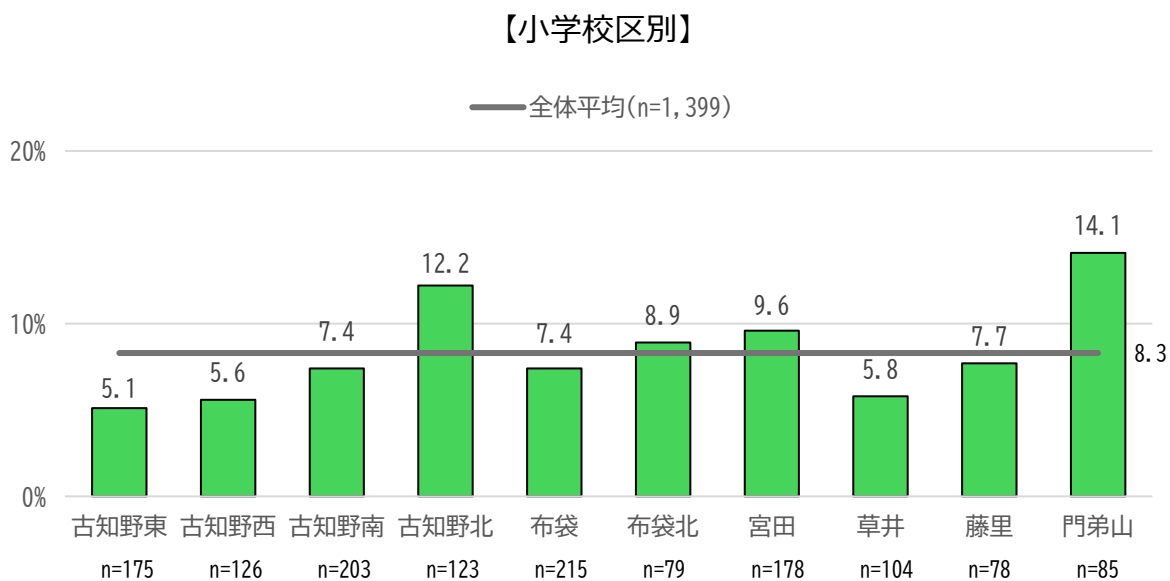
【リスク該当状況】

口腔の評価結果をみると、全体平均で8.3%が口腔機能低下のリスク該当者となっています。性別・年代別では、女性は80～94歳で全体平均を上回り、90～94歳が17.5%と最も高くなっています。一方、男性は80～94歳で全体平均を上回り、90～94歳が24.0%と最も高くなっています。

【性別・年代別】



小学校区別では、古知野北、布袋北、宮田、門弟山で該当者割合が全体平均の 8.3%を超えています。また、最も高い小学校区は門弟山で 14.1%、最も低い小学校区は古知野東で 5.1%となっており、9.0 ポイントの差となっています。



(4) 閉じこもり

調査票の以下の設問を抽出し、下記項目に該当する人を閉じこもりのリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

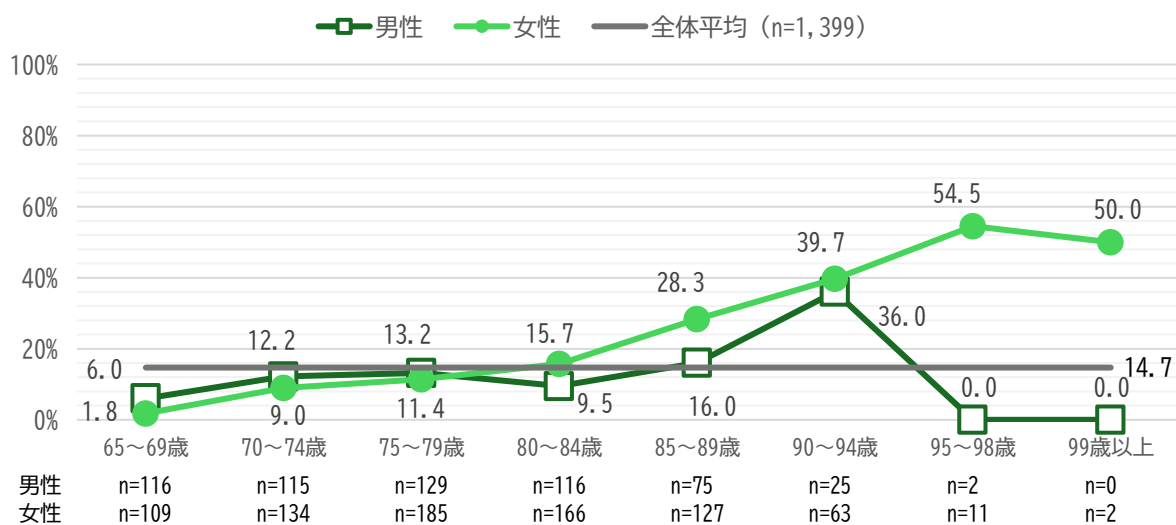
問番号	設問	該当する選択肢
問2 (6)	週に1回以上は外出していますか	1. ほとんど外出しない 2. 週1回

【リスク該当状況】

閉じこもりの評価結果をみると、全体平均で 14.7%が閉じこもりのリスク該当者となっています。

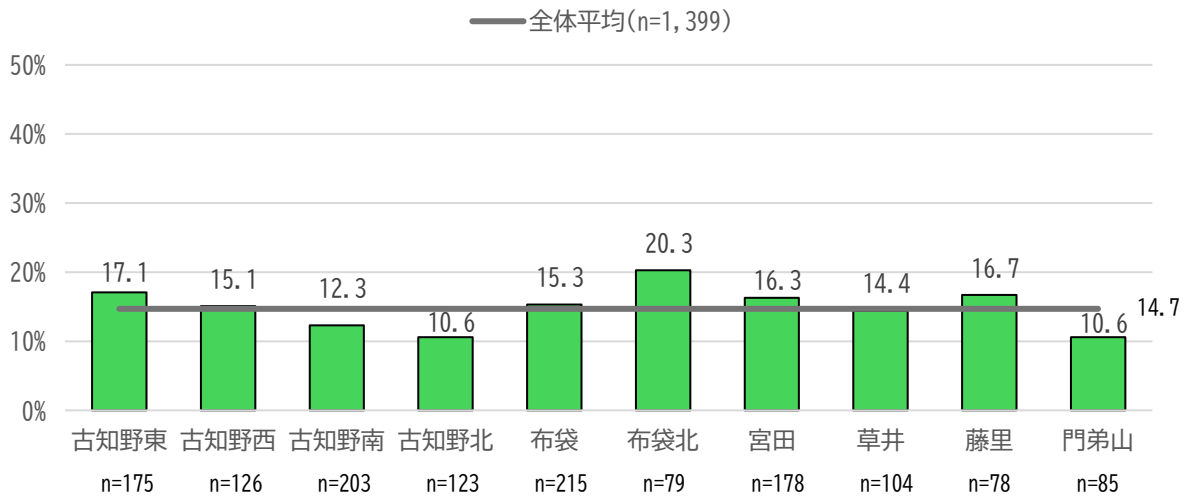
性別・年代別では、女性は、年代が高くなるにつれて該当者割合が増加し、80～84 歳で平均を上回ります。特に、80 歳以上の年代で男性に比べ該当者割合が高くなっています。一方、男性は 85～94 歳で全体平均を上回っています。

【性別・年代別】



小学校区別では、古知野東、古知野西、布袋、布袋北、宮田、藤里で該当者割合が全体平均の 14.7%を超えています。また、最も高い小学校区は布袋北で 20.3%、最も低い小学校区は古知野北と門弟山で 10.6%となっており、9.7 ポイントの差となっています。

【小学校区別】



（５）認知機能

調査票の以下の設問を抽出し、３項目のうち１項目でも該当する人を認知機能低下のリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

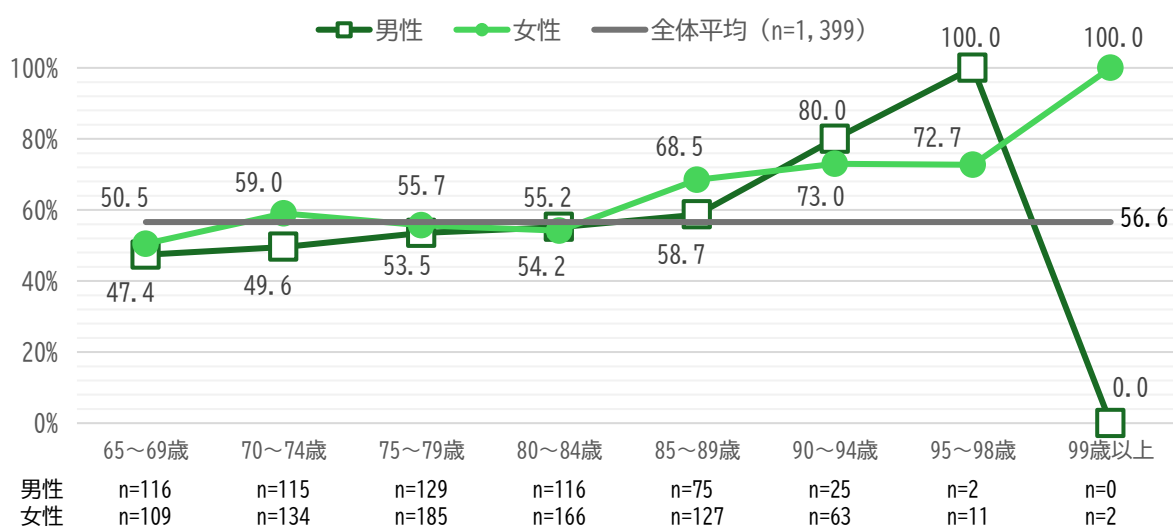
問番号	設問	該当する選択肢
問４（１）	物忘れが多いと感じますか	１．はい
問４（２）	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	２．いいえ
問４（３）	今日が何月何日かわからない時がありますか	１．はい

【リスク該当状況】

認知機能の評価結果をみると、全体平均で 56.6%が認知機能低下のリスク該当者となっています。

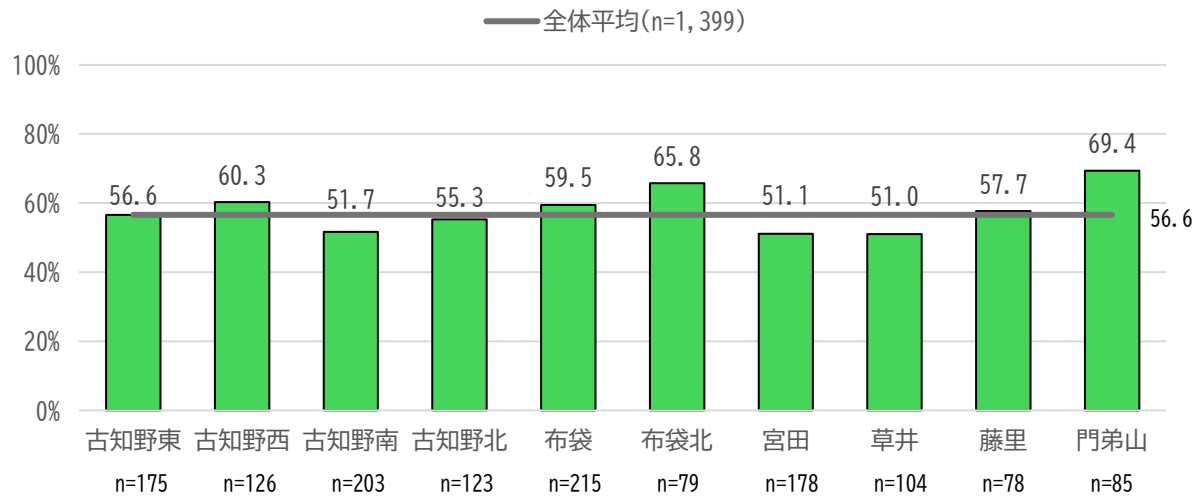
性別・年代別では、男女ともに 85～89 歳で全体平均を上回り、女性は 90～94 歳が 73.0%、男性は 90～94 歳以上が 80.0%と、リスクが高くなっています。

【性別・年代別】



小学校区別では、古知野西、布袋、布袋北、藤里、門弟山で該当者割合が全体平均の 56.6% を超えています。また、最も高い小学校区は門弟山で 69.4%、最も低い小学校区は草井で 51.0%となっており、18.4 ポイントの差となっています。

【小学校区別】



(6) うつ

調査票の以下の設問を抽出し、2項目のうち1項目でも該当する人をうつのリスク該当者と判定しました。

【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問7(3)	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	1. はい
問7(4)	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	1. はい

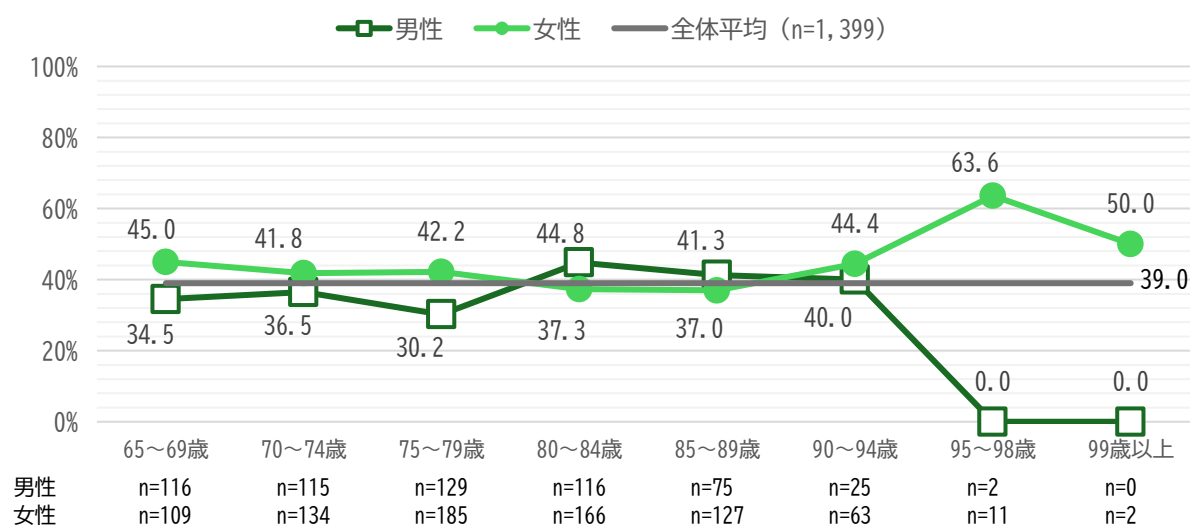
【リスク該当状況】

うつの評価結果をみると、全体平均で39.0%がうつのリスク該当者となっています。

性別・年代別では、女性は80～84歳と85～89歳を除くすべての年代で男性に比べ該当者割合が高くなっています。

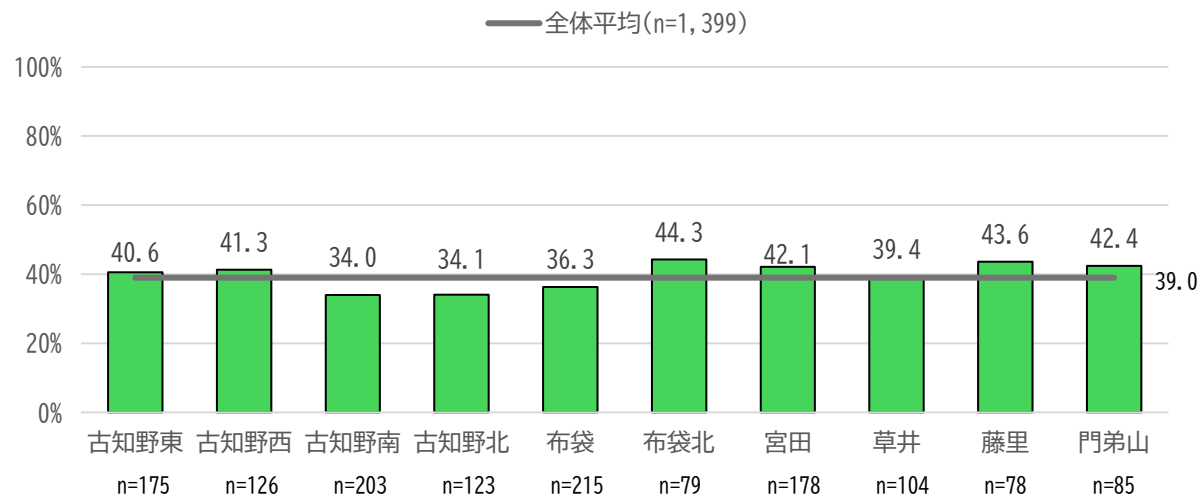
また、男女差は75～79歳が12.0ポイントと広がっています。

【性別・年代別】



小学校区別では、古知野東、古知野西、布袋北、宮田、草井、藤里、門弟山で該当者割合が全体平均の 39.0%を超えています。また、最も高い小学校区は布袋北で 44.3%、最も低い小学校区は古知野南で 34.0%となっており、10.3 ポイントの差となっています。

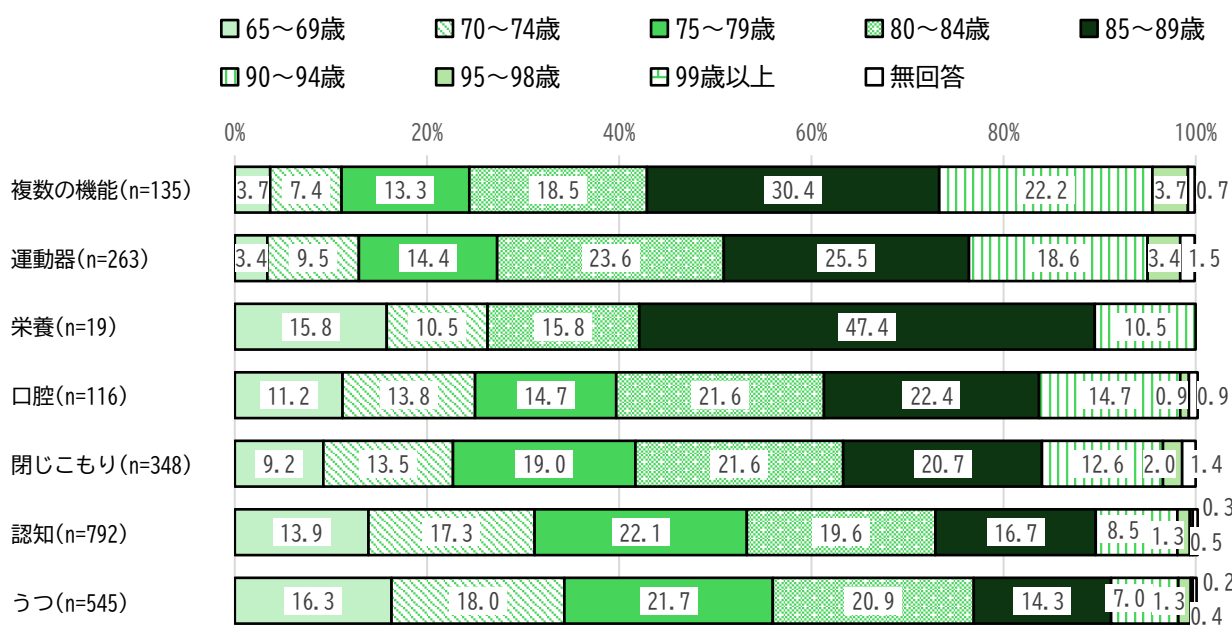
【小学校区別】



(7) 潜在的事業対象者

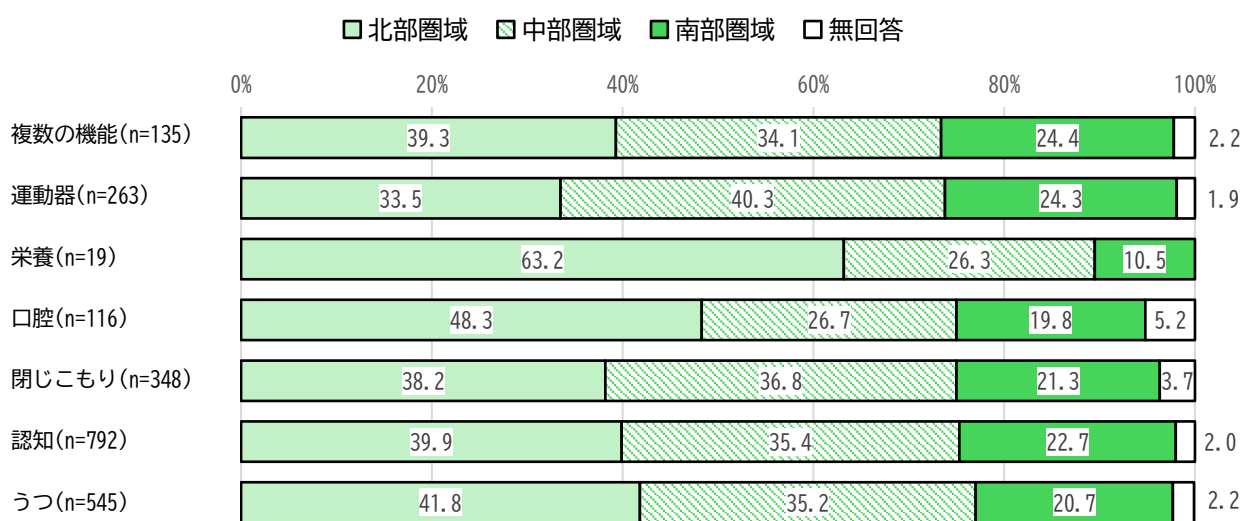
【年代別】

年代別では、複数の機能で 85～89 歳の割合が 30.4%と最も高く、次いで 90～94 歳の割合が 22.2%、80～84 歳の割合が 18.5%となっています。



【圏域別】

圏域別では、複数の機能で北部圏域の割合が 39.3%と最も高く、次いで中部圏域の割合が 34.1%、南部圏域の割合が 24.4%となっています。

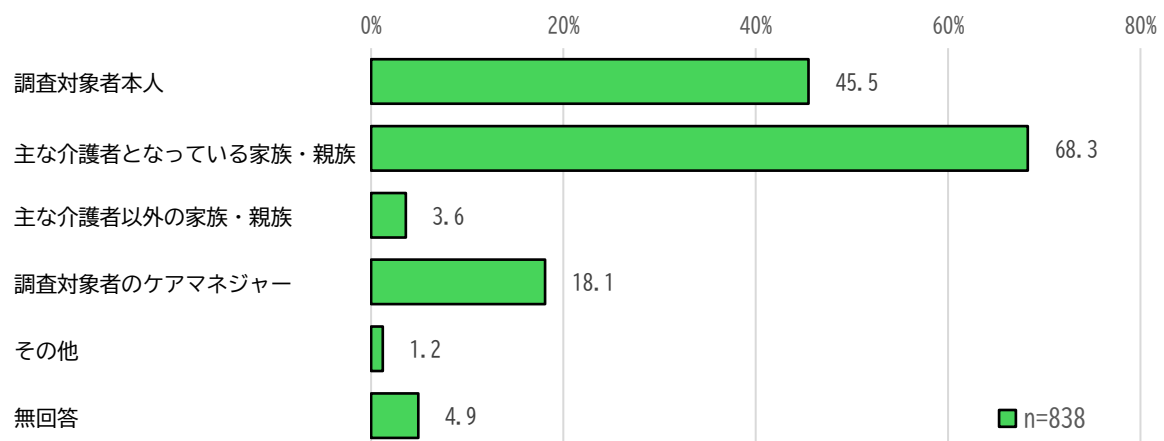


Ⅳ 在宅介護実態調査結果

○調査対象者の属性

現在、この調査票にご回答を頂いているのはどなたですか（○はいくつでも）

「主な介護者となっている家族・親族」が 68.3%で最も高く、次いで「調査対象者本人」が 45.5%、「調査対象者のケアマネジャー」が 18.1%となっています。



【年代別】

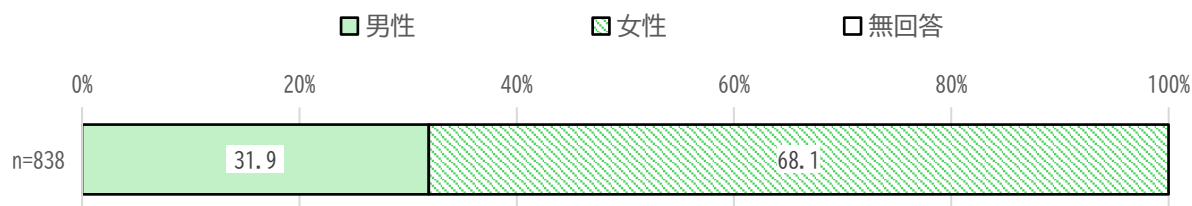
年代別では、全年代で「主な介護者となっている家族・親族」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	全体 (件数)	調査 対象 者本 人	主 な 介 護 者 と な っ て い る 家 族 ・ 親 族	親 主 な 介 護 者 以 外 の 家 族 ・ 親 族	ジ ヤ ー 調 査 対 象 者 の ケ ア マ ネ	そ の 他	無 回 答
40～64歳	15	46.7	73.3	0.0	0.0	0.0	0.0
65～69歳	18	55.6	72.2	0.0	44.4	0.0	5.6
70～74歳	46	45.7	73.9	0.0	21.7	2.2	6.5
75～79歳	95	51.6	54.7	4.2	13.7	2.1	6.3
80～84歳	194	44.3	66.0	5.7	20.6	1.5	7.2
85～89歳	224	46.9	67.9	4.0	17.0	0.4	4.0
90歳以上	246	41.9	74.0	2.4	17.5	1.2	3.3

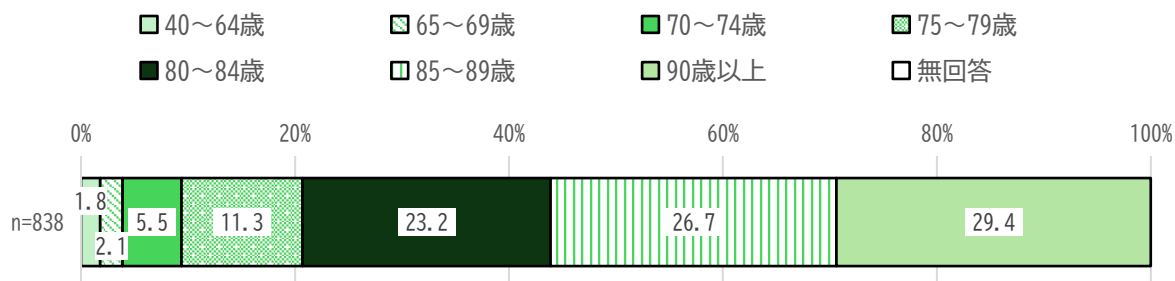
調査対象者の性別

「男性」が31.9%、「女性」が68.1%となっています。



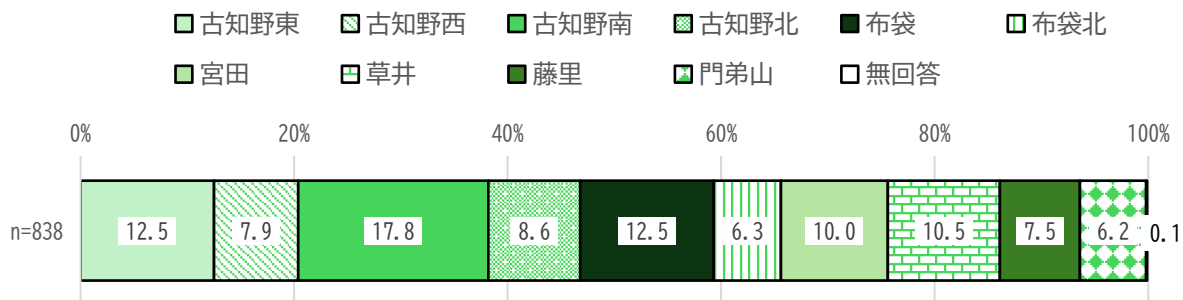
調査対象者の年齢

「90歳以上」が29.4%で最も高く、次いで「85～89歳」が26.7%、「80～84歳」が23.2%となっています。



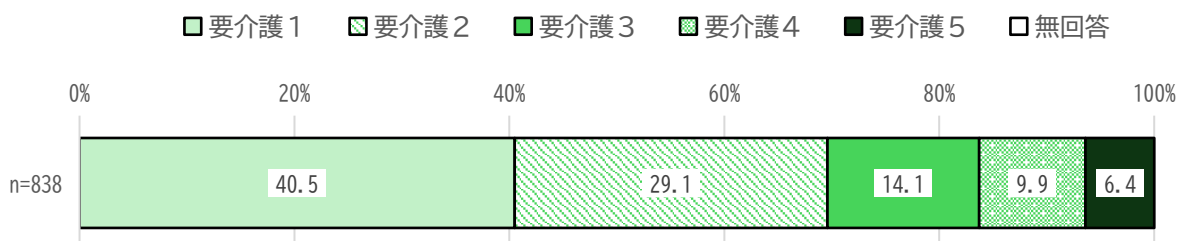
調査対象者の小学校区

「古知野南」が17.8%で最も高く、次いで「布袋」と「古知野東」が12.5%となっています。



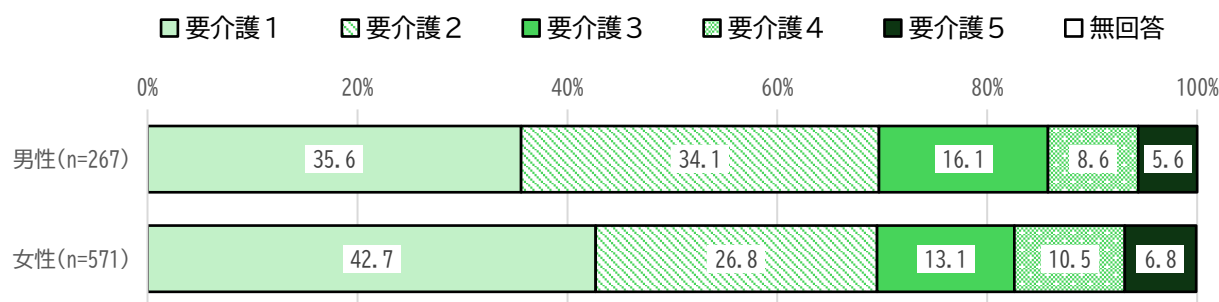
調査対象者の要介護度

「要介護1」が40.5%で最も高く、次いで「要介護2」が29.1%、「要介護3」が14.1%となっています。



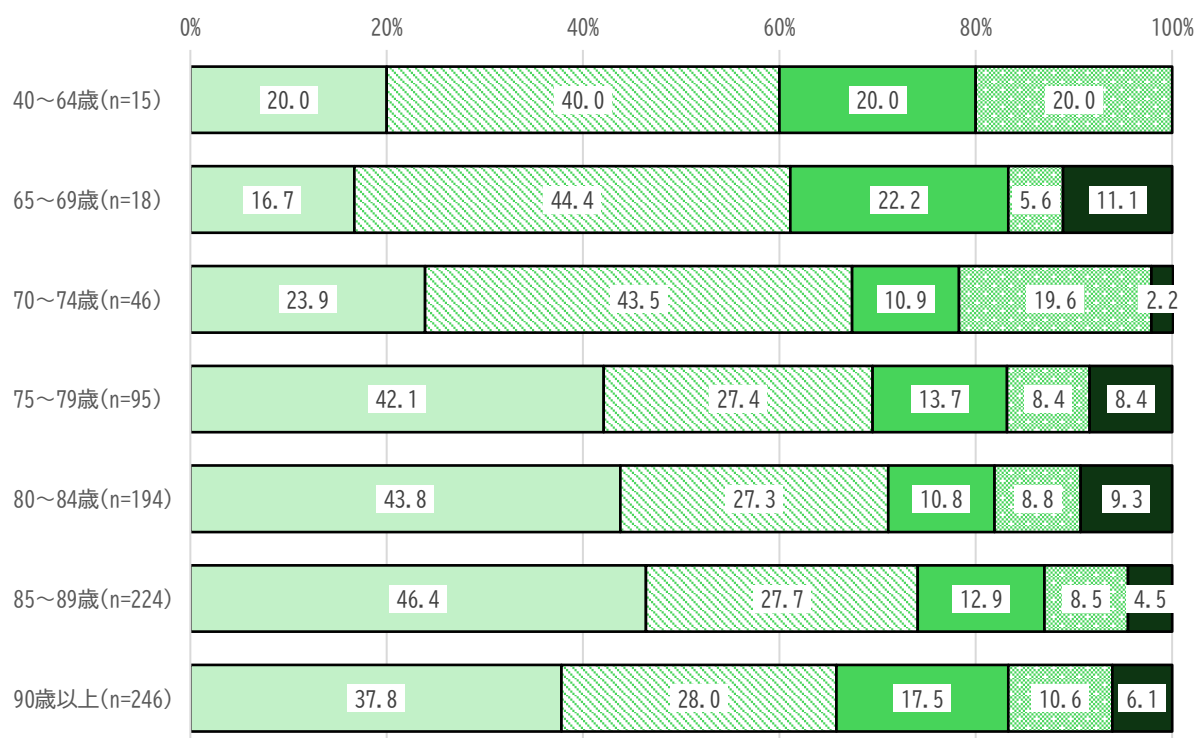
【性別】

性別では、男性と比べ、女性で「要介護1」（42.7％）が7.1％高くなっています。



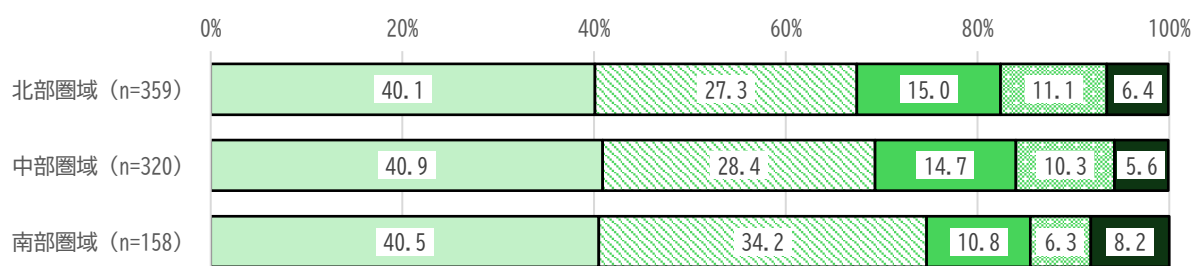
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、40～64 歳で「要介護4」（20.0％）の割合が高くなっています。



【圏域別】

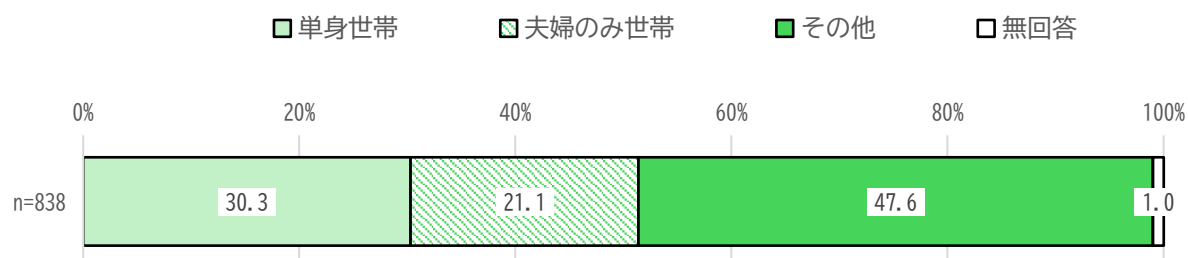
圏域別では、他の圏域と比べ、南部圏域で「要介護2」（34.2％）の割合が高くなっています。



1 調査対象者様ご本人について（A票）

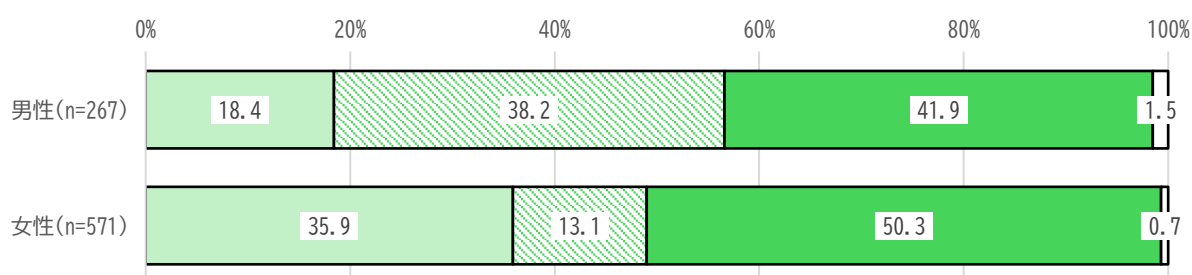
問1 世帯類型について、ご回答ください（○は1つ）

「単身世帯」が30.3%、「夫婦のみ世帯」が21.1%となっています。



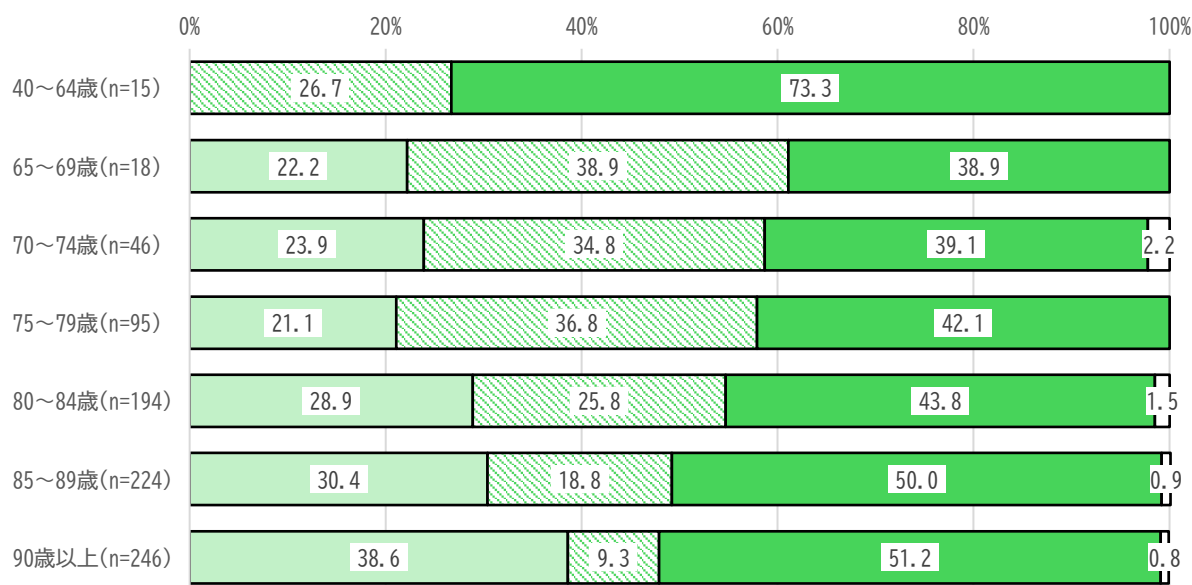
【性別】

性別では、女性と比べ、男性で「夫婦のみ世帯」（38.2%）の割合が高くなっています。



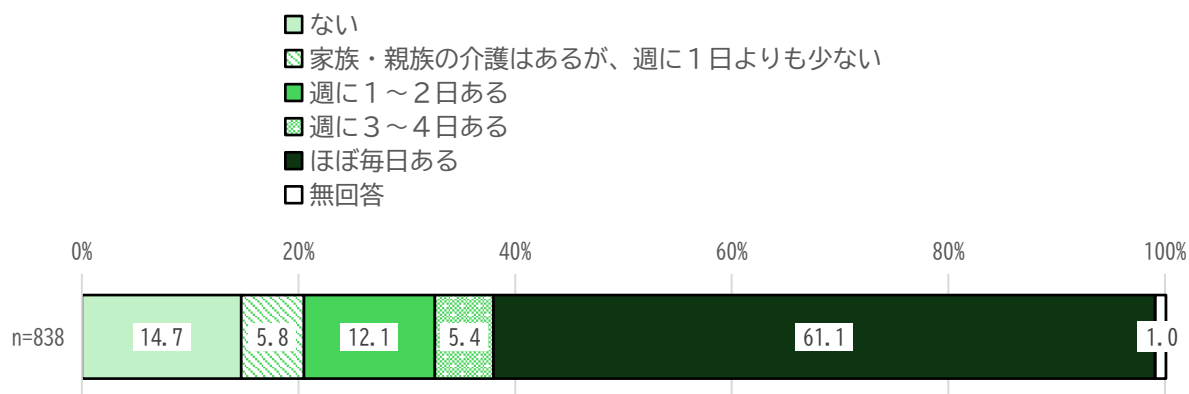
【年代別】

年代別では、「単身世帯」の割合は75～79歳で一旦低下するものの、全体としては年代が上がるにつれて高くなる傾向がみられ、「夫婦のみ世帯」の割合は65歳以上で年代が上がるにつれて低くなる傾向があります。



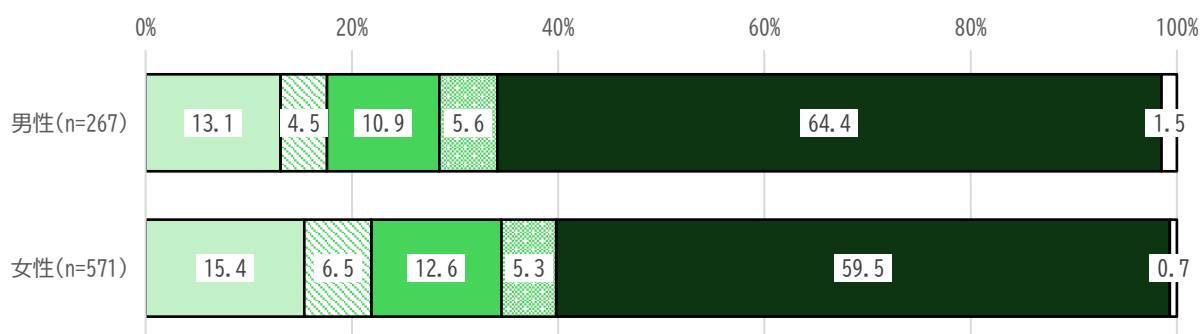
問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。
(同居していない子どもや親族等からの介護を含む) (〇は1つ)

「ほぼ毎日ある」(61.1%)の割合が最も高く、「週に1～2日ある」が12.1%、「家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない」が5.8%、「週に3～4日ある」が5.4%となっています。一方、「ない」は14.7%となっています。



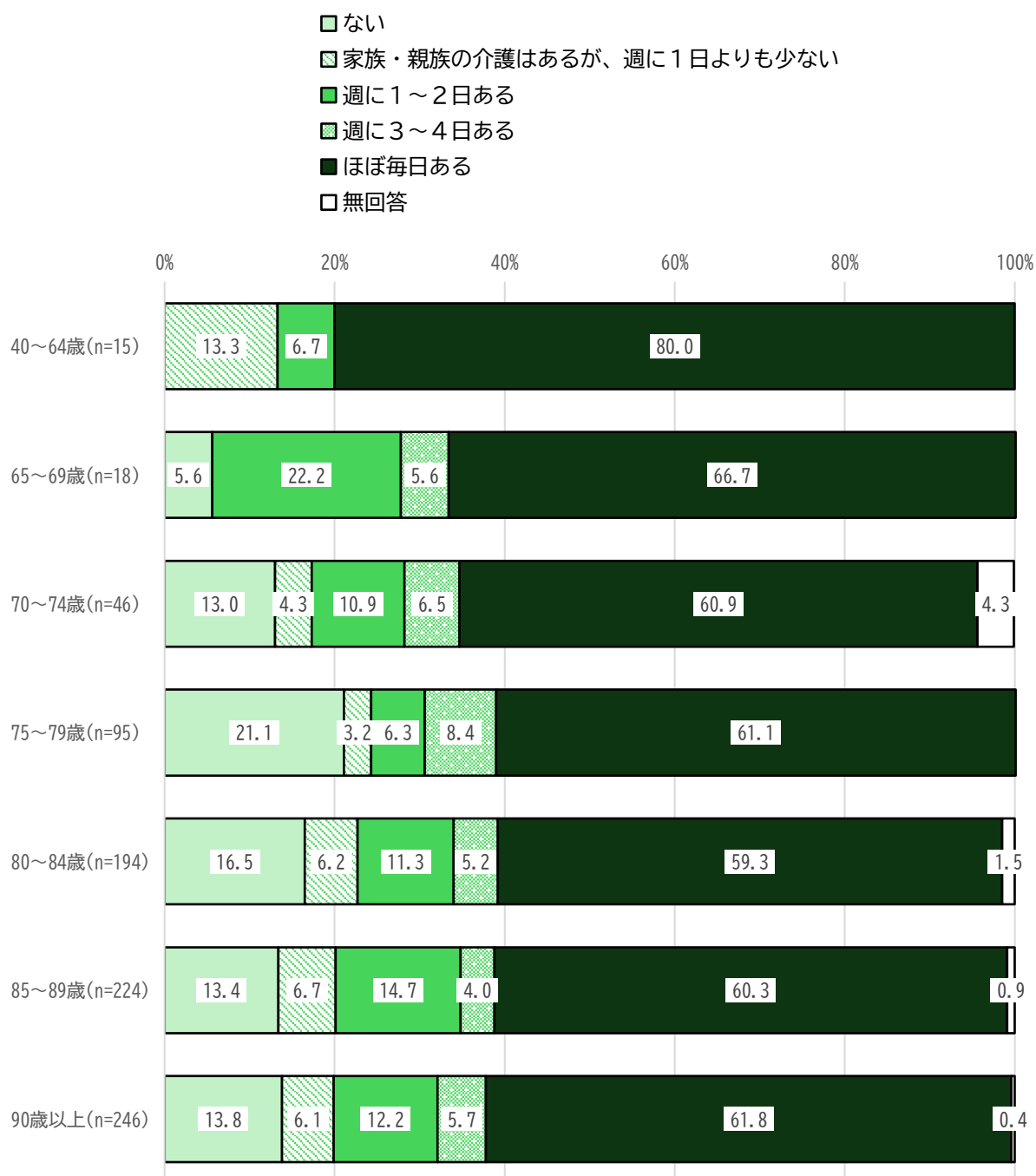
【性別】

性別では、女性と比べ、男性で「ほぼ毎日ある」(64.4%)の割合が高くなっています。



【年代別】

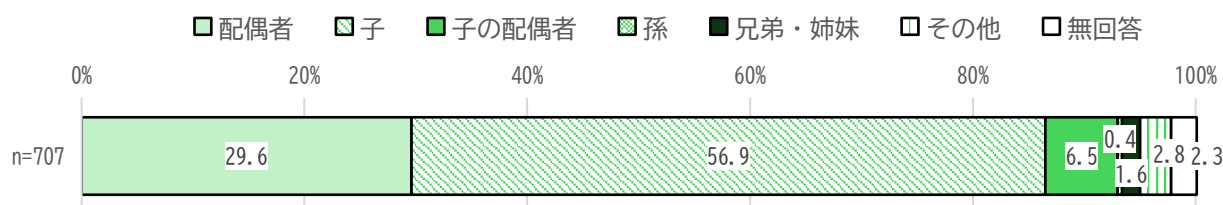
年代別では、他の年代と比べ、75～79歳で「ない」（21.1％）の割合が高くなっています。また、40～64歳で「家族・親族の介護はあるが、週に1日より少ない」（13.3％）の割合が高くなっています。



問3～問8は主な介護者がいる方が回答の対象者です。

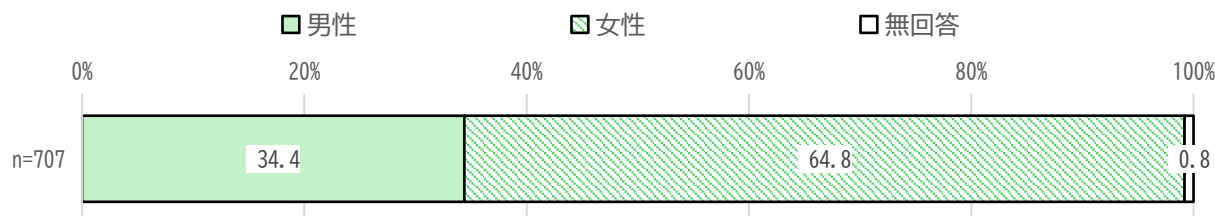
問3 主な介護者の方は、どなたですか。（○は1つ）

「子」（56.9％）の割合が最も高く、次いで「配偶者」（29.6％）、「子の配偶者」（6.5％）となっています。



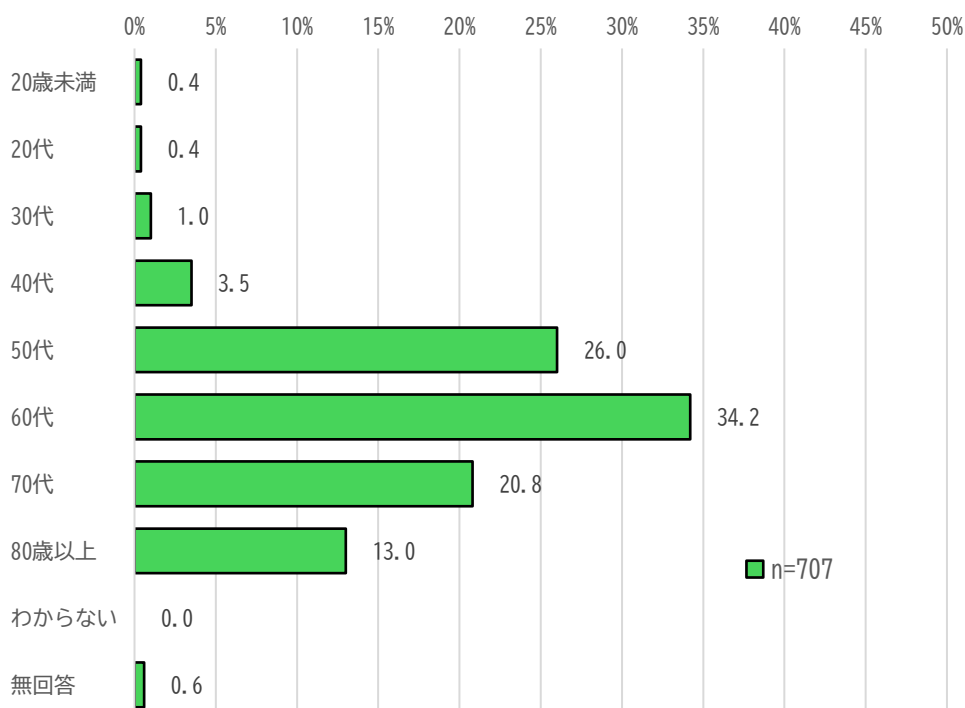
問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください。（○は1つ）

「男性」が34.4％、「女性」が64.8％となっています。



問5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。（○は1つ）

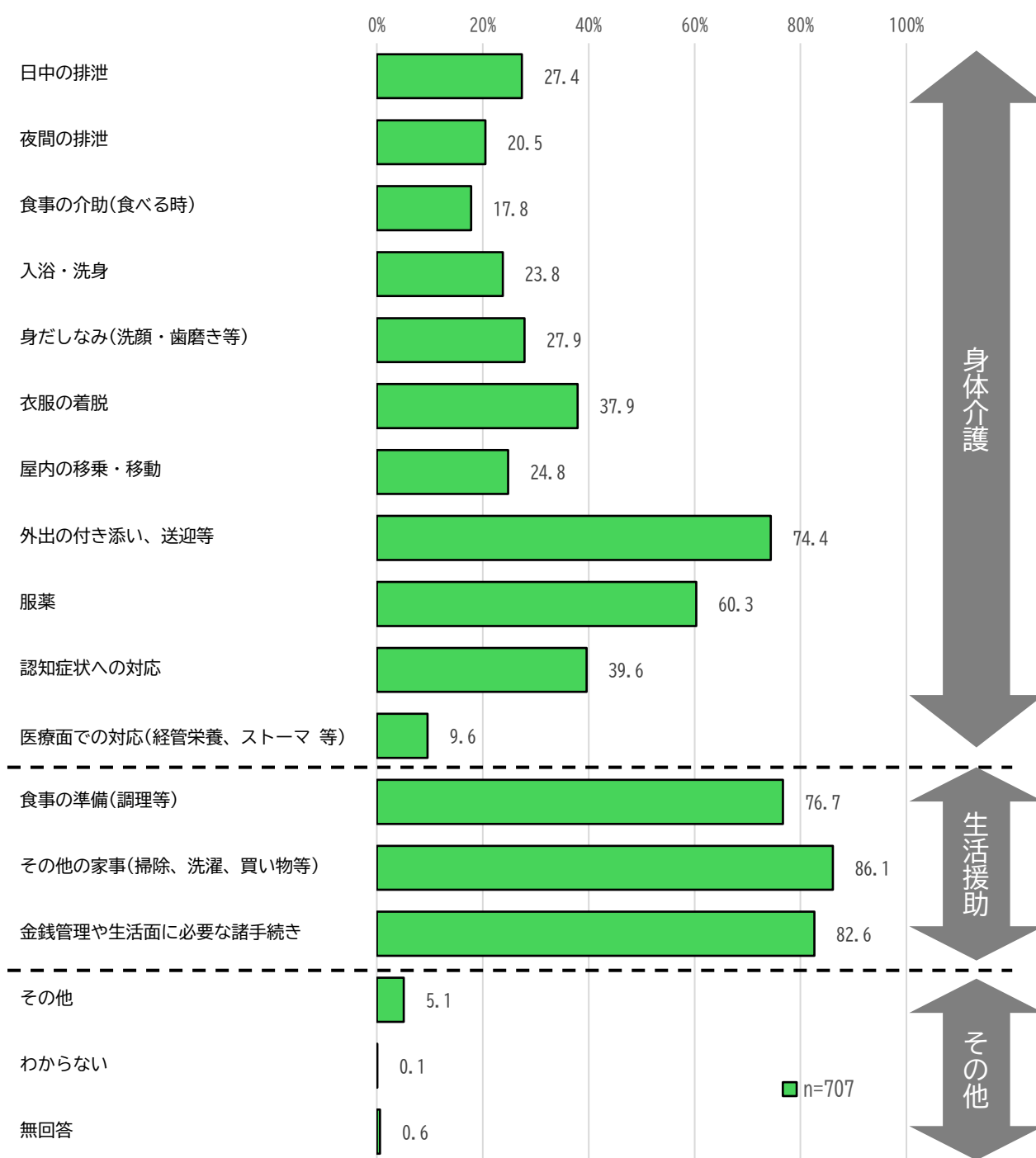
「60代」（34.2％）の割合が最も高く、次いで「50代」（26.0％）、「70代」（20.8％）となっています。



問6 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。

(○はいくつでも)

「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」（86.1％）の割合が最も高く、次いで「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」（82.6％）、「食事の準備（調理等）」（76.7％）となっています。



【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、40～64 歳で「食事の準備（調理等）」（93.3％）の割合が高くなっています。また、40～64 歳を除くすべての年代で、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」の割合が最も高くなっています。

単位：％

区分	全体 （件数）	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助 （食べる時）	入浴・洗身	身だしなみ （洗顔・歯磨き等）	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等
40～64歳	15	26.7	26.7	33.3	53.3	40.0	46.7	40.0	80.0
65～69歳	17	11.8	17.6	11.8	41.2	17.6	47.1	17.6	82.4
70～74歳	38	31.6	26.3	18.4	34.2	21.1	44.7	39.5	73.7
75～79歳	75	34.7	21.3	13.3	21.3	30.7	41.3	30.7	77.3
80～84歳	159	26.4	18.2	17.0	26.4	24.5	37.1	18.9	69.8
85～89歳	192	26.0	17.2	16.7	18.8	27.6	30.7	22.9	75.5
90歳以上	211	27.5	23.7	20.4	21.8	30.8	41.2	25.6	74.9

区分	全体 （件数）	服薬	認知症状への対応	医療面での対応 （ストーマ等）	食事の準備（調理等）	その他の家事 （掃除、洗濯、買い物等）	金銭管理や生活面に必要な手続き	その他	わからない	無回答
40～64歳	15	60.0	13.3	13.3	93.3	80.0	80.0	20.0	0.0	0.0
65～69歳	17	52.9	11.8	11.8	70.6	88.2	82.4	0.0	5.9	0.0
70～74歳	38	68.4	36.8	13.2	73.7	89.5	89.5	5.3	0.0	0.0
75～79歳	75	66.7	38.7	10.7	74.7	89.3	81.3	2.7	0.0	0.0
80～84歳	159	55.3	42.1	9.4	69.8	80.5	78.6	6.9	0.0	2.5
85～89歳	192	62.5	41.1	11.5	77.1	89.1	81.8	4.2	0.0	0.0
90歳以上	211	58.8	41.2	6.6	82.0	86.3	85.8	4.7	0.0	0.0

【要介護度別】

要介護度別では、他の要介護度と比べ、要介護5で「食事の介助（食べる時）」（56.8%）と「医療面での対応（経管栄養、ストーマ 等）」（21.6%）の割合が高くなっています。

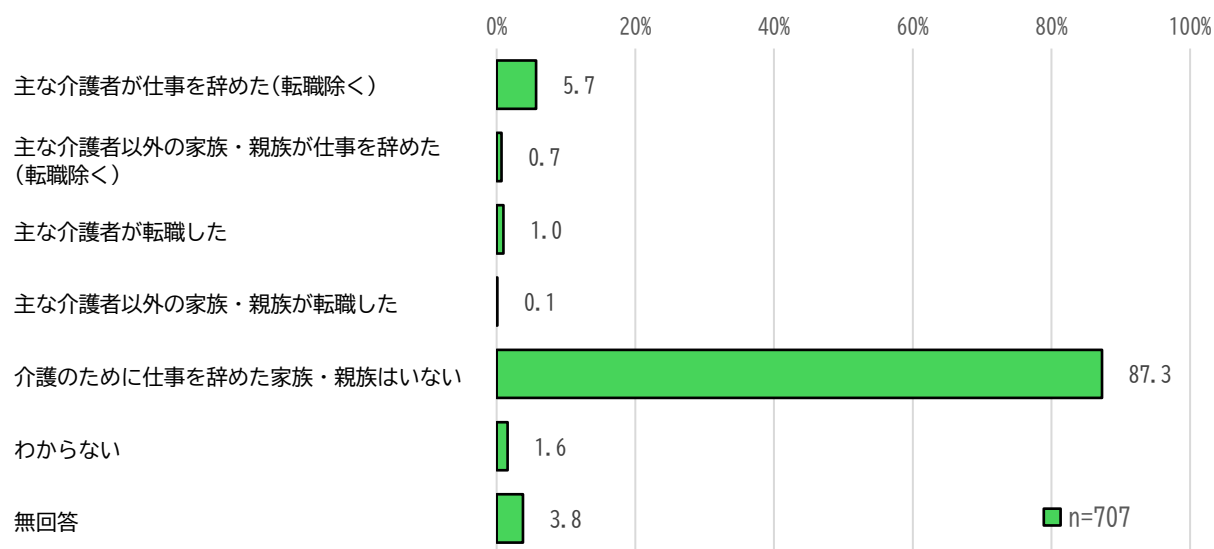
単位：％

区分	全体 （件数）	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助 （食べる時）	入浴・洗身	身だしなみ （洗顔・歯磨き等）	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等
要介護1	289	15.9	11.1	8.3	18.3	18.7	24.2	13.1	77.5
要介護2	215	19.1	15.3	14.0	25.1	21.9	37.2	22.8	80.9
要介護3	98	46.9	38.8	25.5	36.7	45.9	59.2	38.8	71.4
要介護4	68	55.9	35.3	38.2	23.5	42.6	52.9	50.0	57.4
要介護5	37	62.2	48.6	56.8	24.3	59.5	64.9	43.2	51.4

区分	全体 （件数）	服薬	認知症状への対応	医療面での対応 （経管栄養、ストーマ等）	食事の準備（調理等）	その他の家事 （掃除、洗濯、買い物等）	金銭管理や生活面に必要な手続き	その他	わからない	無回答
要介護1	289	59.5	43.9	8.0	75.1	88.2	86.5	3.5	0.0	0.0
要介護2	215	59.5	36.3	7.4	78.1	88.4	79.1	5.6	0.0	0.9
要介護3	98	59.2	36.7	11.2	82.7	80.6	82.7	3.1	1.0	0.0
要介護4	68	63.2	33.8	14.7	70.6	79.4	75.0	8.8	0.0	1.5
要介護5	37	67.6	43.2	21.6	75.7	83.8	86.5	13.5	0.0	2.7

問7 ご家族やご親族の中で、ご本人（調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか。（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（〇はいくつでも）

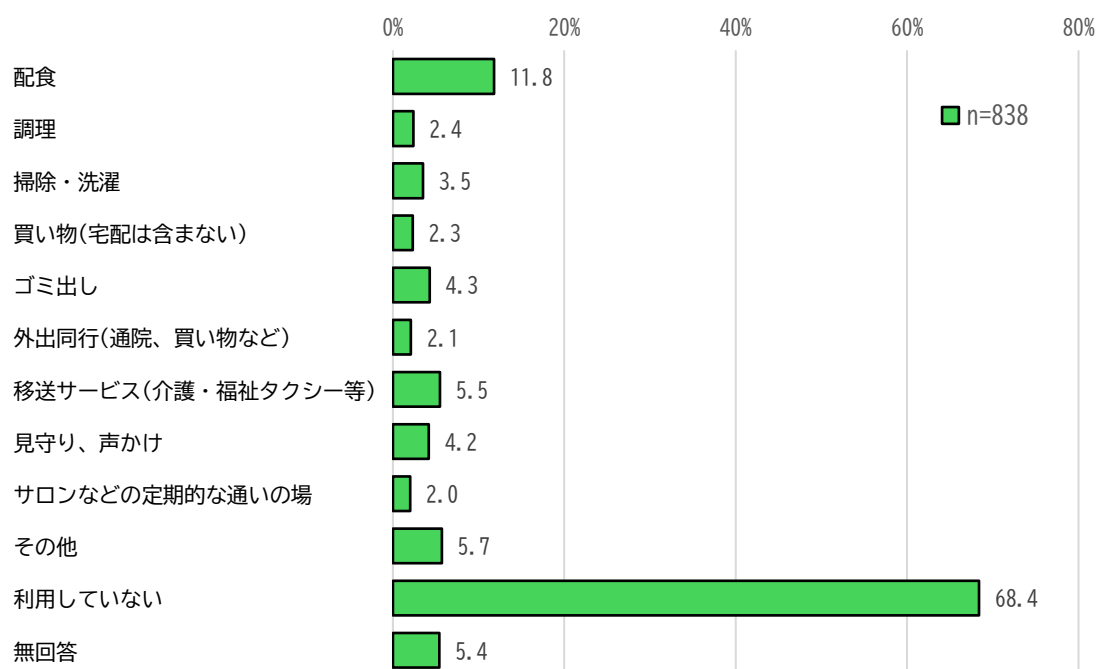
「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」（87.3％）の割合が最も高く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」（5.7％）、「主な介護者転職した」（1.0％）となっています。一方、「わからない」が1.6％となっています。



●ここから再び、全員の方にお伺いします。

問8 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。（〇はいくつでも）

「配食」（11.8%）、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」（5.5%）、「ゴミ出し」（4.3%）となっています。一方、「利用していない」が68.4%で最も高くなっています。



【性別・年代別】

性別では、男性と女性で「配食」の割合が最も高くなっています。

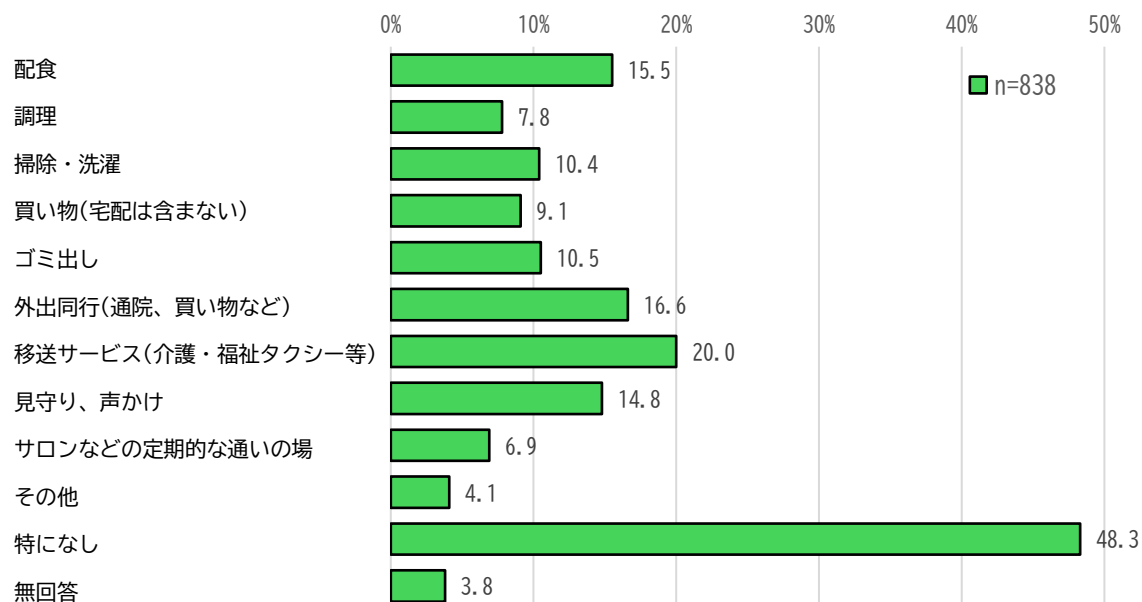
年代別では、他の年代と比べ、40～64歳で「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」（13.3%）の割合が高くなっています。

単位：％

区分	全体 (件数)	配食	調理	掃除・洗濯	買い物 (宅配は含まない)	ゴミ出し	外出同行 (通院、買い物など)	移送サービス (介護・福祉タクシー等)	見守り、声かけ	サロンの場 などの定期的な通	その他	利用していない	無回答
男性	267	10.9	2.2	3.7	3.0	4.1	3.0	5.2	4.1	1.1	4.5	70.4	6.4
女性	571	12.3	2.5	3.3	1.9	4.4	1.8	5.6	4.2	2.5	6.3	67.4	4.9
40～64歳	15	6.7	6.7	6.7	0.0	6.7	6.7	13.3	0.0	0.0	13.3	60.0	13.3
65～69歳	18	11.1	0.0	0.0	5.6	5.6	5.6	0.0	0.0	0.0	5.6	83.3	0.0
70～74歳	46	17.4	0.0	4.3	0.0	4.3	0.0	6.5	4.3	0.0	6.5	63.0	6.5
75～79歳	95	10.5	2.1	2.1	2.1	4.2	3.2	8.4	4.2	3.2	6.3	70.5	4.2
80～84歳	194	11.9	1.0	1.0	1.5	3.1	1.0	3.6	2.1	2.1	7.7	68.6	5.2
85～89歳	224	12.9	2.7	4.9	2.7	4.9	0.9	6.3	3.6	3.1	5.4	66.5	4.5
90歳以上	246	10.6	3.7	4.5	2.8	4.5	3.7	4.9	6.9	1.2	3.7	69.5	6.5

問9 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください。（〇はいくつでも）

「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」（20.0%）、次いで「外出同行（通院、買い物など）」（16.6%）、「配食」（15.5%）となっています。一方、「特になし」（48.3%）の割合が最も高くなっています。



【性別・年代別】

性別では、男性と女性で「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」の割合が最も高くなっています。

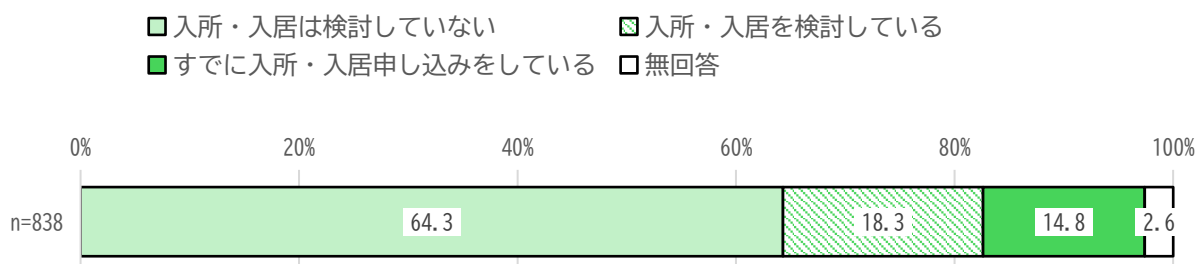
年代別では、他の年代と比べ、85～89歳で「見守り、声かけ」（21.0%）の割合が高くなっています。

単位：%

区分	全体 (件数)	配食	調理	掃除・洗濯	買い物 (宅配は含まない)	ゴミ出し	外出同行 (通院、買い物など)	移送サービス (介護・福祉タクシー等)	見守り、声かけ	サロンの場 などの定期的な通い	その他	特になし	無回答
男性	267	15.7	6.7	10.5	8.6	9.7	16.5	23.2	12.7	5.2	3.4	46.1	4.9
女性	571	15.4	8.2	10.3	9.3	10.9	16.6	18.6	15.8	7.7	4.4	49.4	3.3
40～64歳	15	13.3	6.7	13.3	6.7	6.7	26.7	33.3	6.7	0.0	6.7	46.7	0.0
65～69歳	18	5.6	0.0	5.6	5.6	5.6	11.1	16.7	0.0	0.0	5.6	66.7	0.0
70～74歳	46	13.0	8.7	10.9	10.9	13.0	26.1	34.8	15.2	2.2	2.2	43.5	2.2
75～79歳	95	14.7	7.4	9.5	8.4	9.5	22.1	26.3	11.6	7.4	4.2	48.4	3.2
80～84歳	194	20.1	8.8	10.8	10.8	10.8	20.1	22.2	12.4	7.2	4.1	49.0	3.6
85～89歳	224	18.3	10.7	12.9	10.7	13.8	14.7	17.0	21.0	8.0	4.0	42.4	4.5
90歳以上	246	11.0	4.9	8.1	6.5	7.7	11.4	15.4	13.8	7.3	4.1	52.8	4.5

問10 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。
(○は1つ)

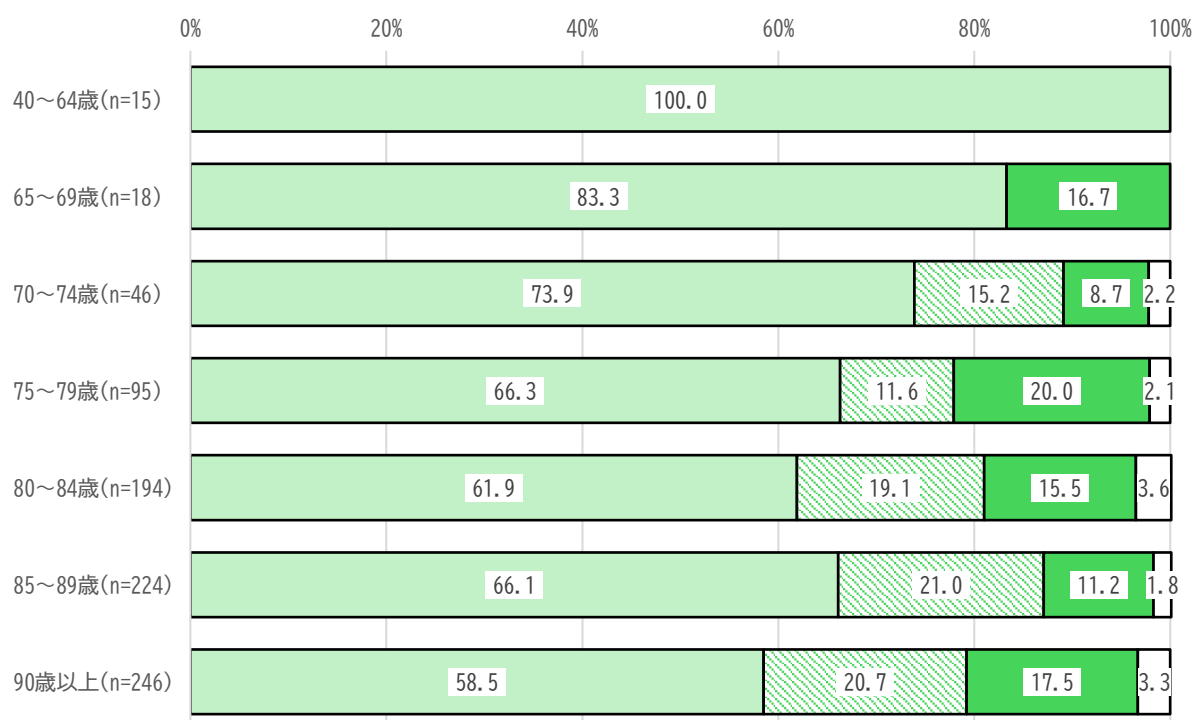
「入所・入居は検討していない」(64.3%)の割合が最も高く、次いで「入所・入居を検討している」(18.3%)、「すでに入所・入居申し込みをしている」(14.8%)となっています。



※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護医療院、特定施設（有料老人ホーム等）、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

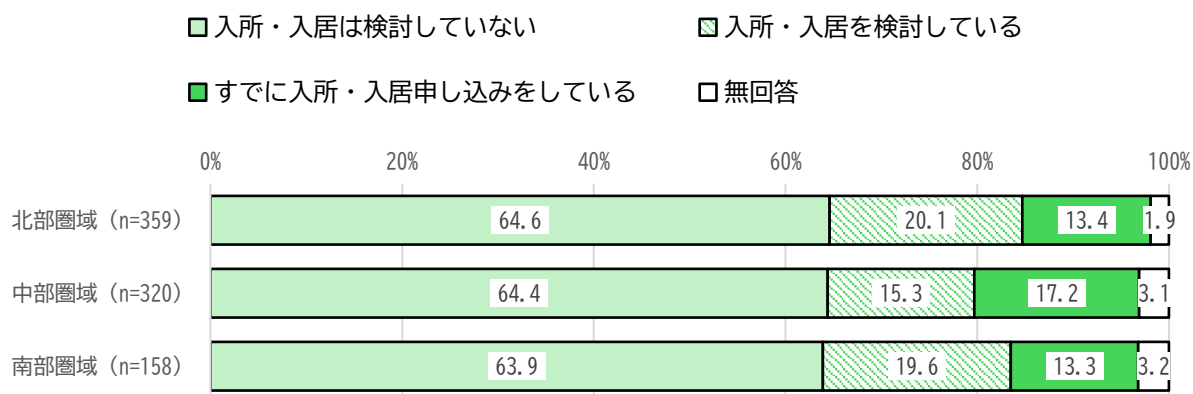
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、75～79歳で「すでに入所・入居申し込みをしている」の割合が高くなっています。



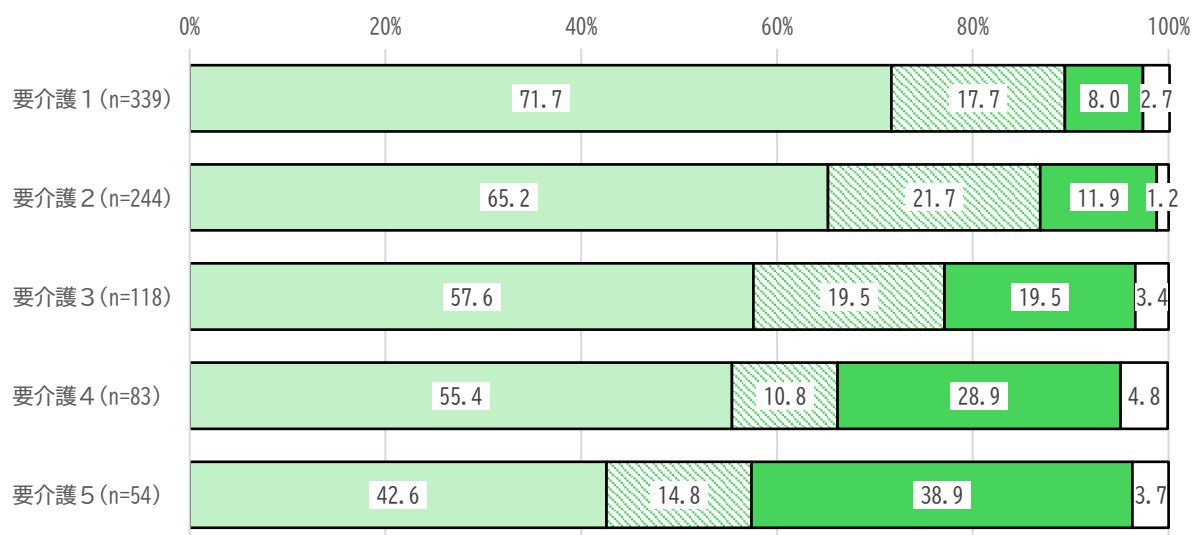
【圏域別】

圏域別では、他の圏域と比べ、中部圏域で「すでに入所・入居申し込みをしている」(17.2%)の割合が高くなっています。



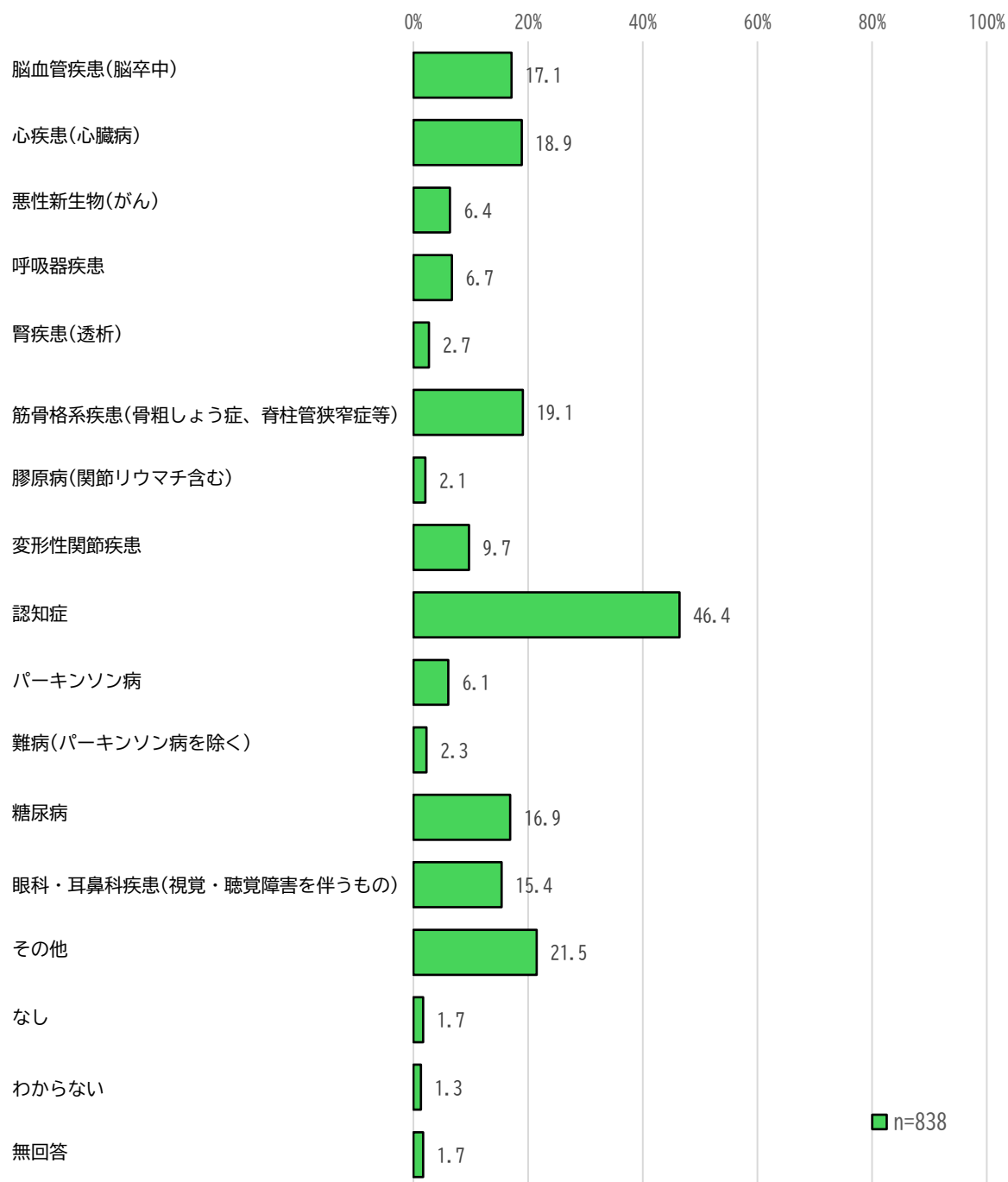
【要介護度別】

要介護度別では、要介護度が上がるにつれて「すでに入所・入居申し込みをしている」の割合が高くなっており、要介護度5 (38.9%)の割合が最も高くなっています。



問11 ご本人（調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください。
（〇はいくつでも）

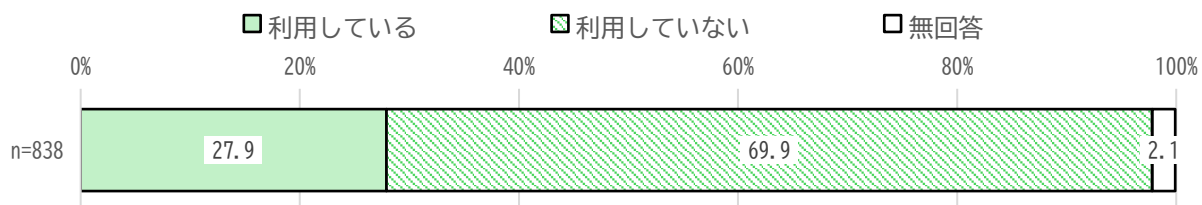
「認知症」（46.4％）の割合が最も高く、次いで「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」（19.1％）、「心疾患（心臓病）」（18.9％）となっています。



問12 ご本人（調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか。

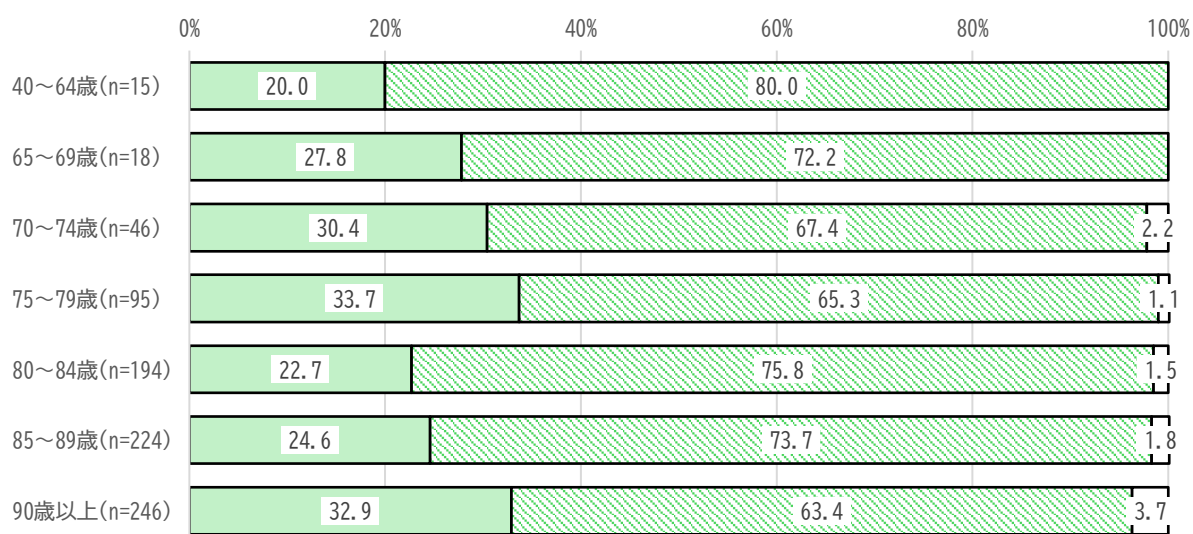
（○は1つ）

「利用していない」が69.9%、「利用している」が27.9%となっています。



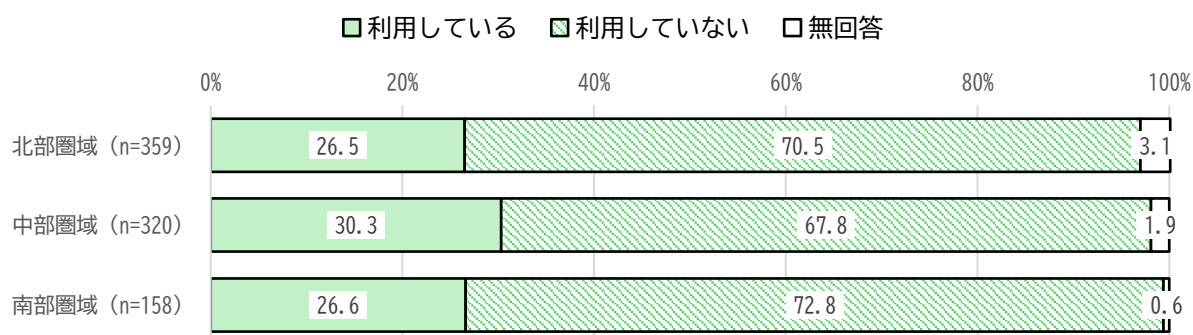
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、75～79歳と90歳以上で「利用している」の割合が高くなっています。



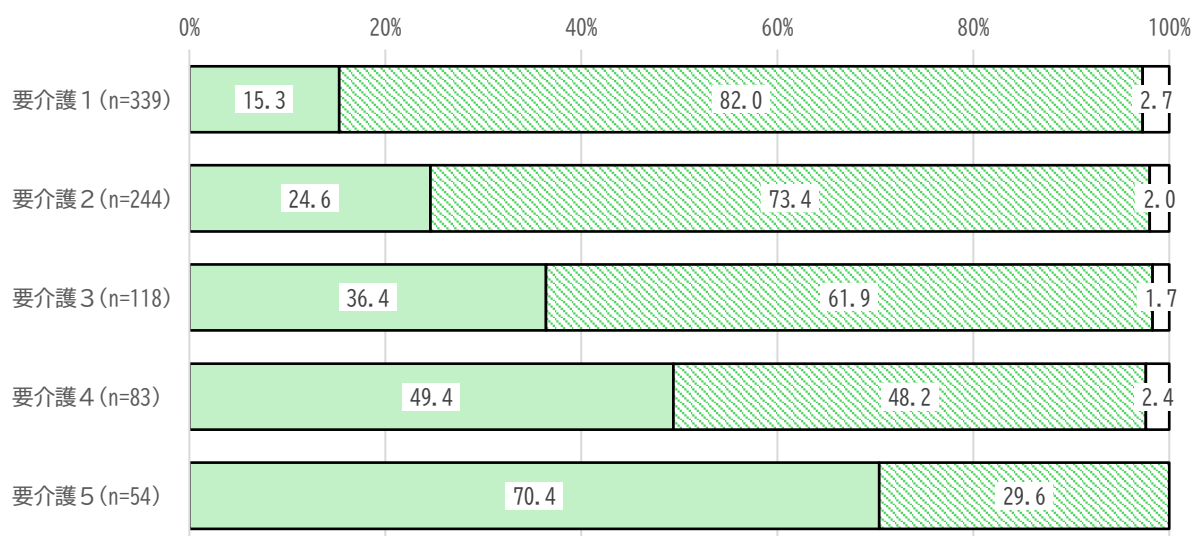
【圏域別】

圏域別では、他の圏域と比べ、中部圏域で「利用している」（30.3％）の割合が高くなっています。



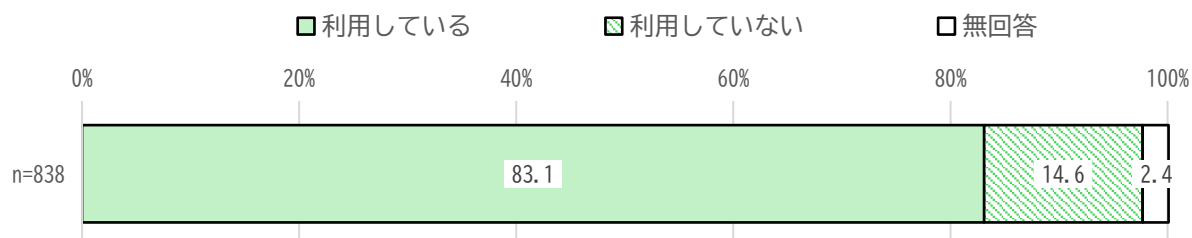
【要介護度別】

要介護度別では、他の要介護と比べ、要介護5で「利用している」（70.4％）の割合が高くなっています。



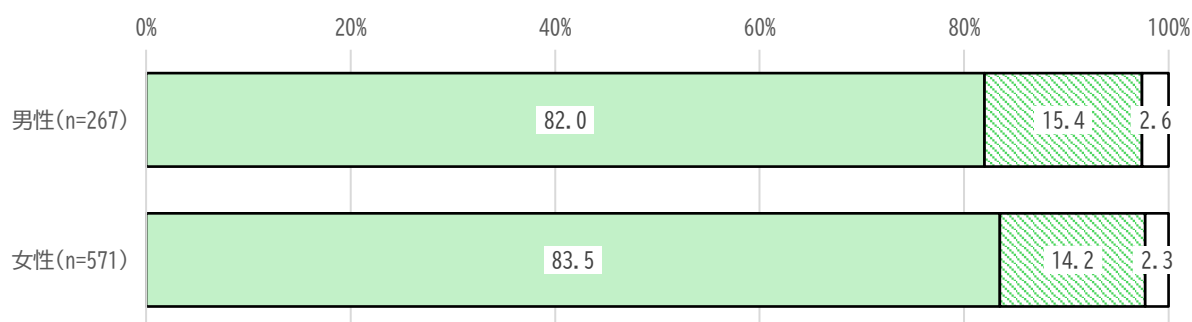
問13 現在、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用していますか。（○は1つ）

「利用している」が83.1%、「利用していない」が14.6%となっています。



【性別】

性別では、大きな差異はみられません。



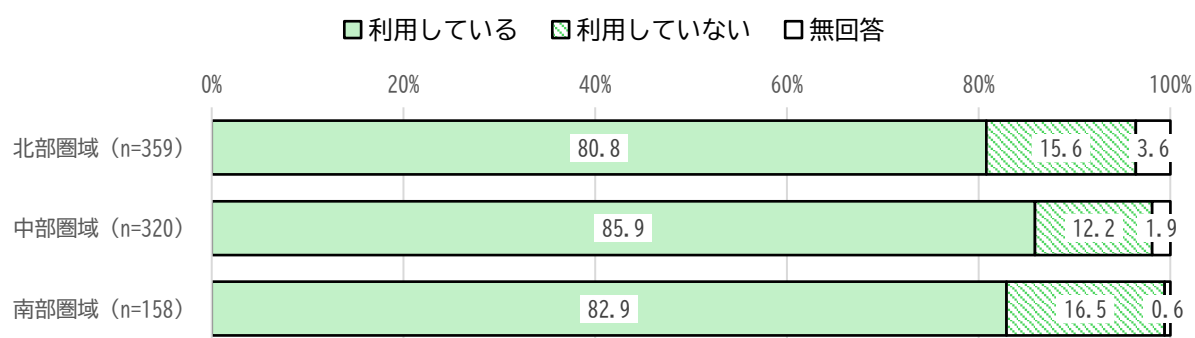
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、70～74 歳で「利用している」（73.9%）の割合が低くなっています。



【圏域別】

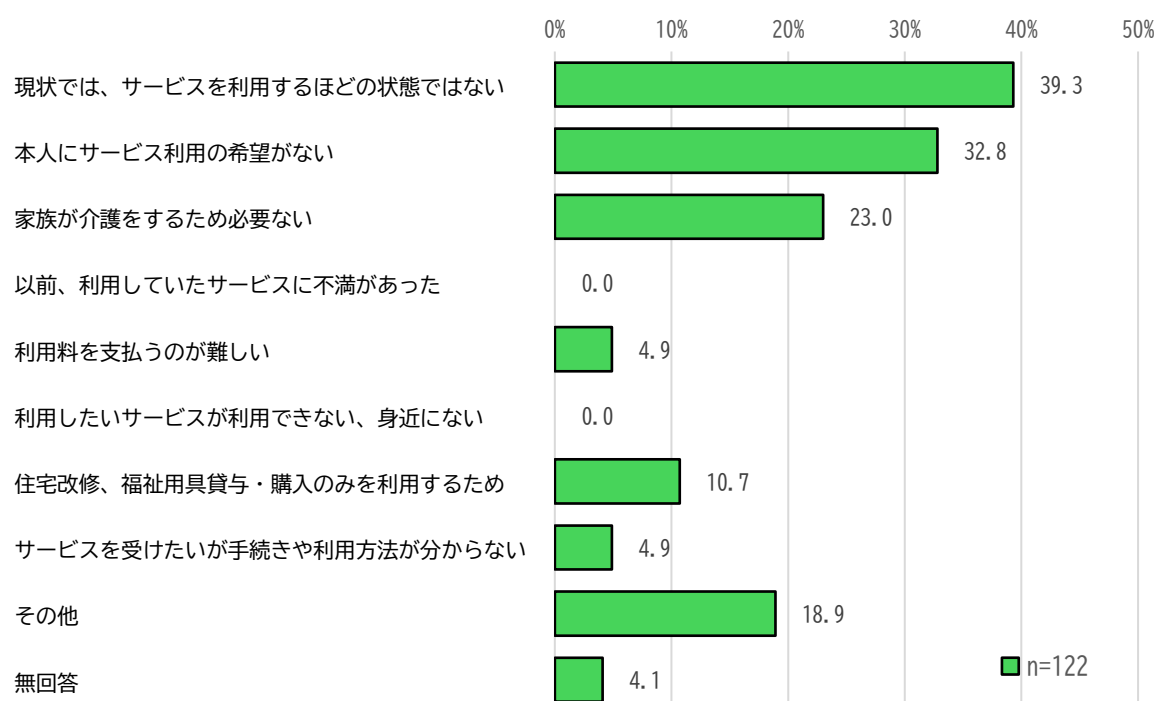
圏域別では、他の圏域と比べ、中部圏域で「利用している」（85.9％）の割合が高くなっています。



問13で「2. 利用していない」と答えた方のみ以下の質問にお答えください。

問14 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。（○はいくつでも）

「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」（39.3％）の割合が最も高く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」（32.8％）、「家族が介護をするため必要ない」（23.0％）となっています。



【性別・年代別・圏域別】

性別では、男性と比べ女性で「本人にサービス利用の希望がない」（38.3％）の割合が高くなっています。

年代別では、他の年代と比べ、75～79 歳で「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」（50.0％）の割合が高くなっています。

圏域別では、他の圏域と比べ、中部圏域で「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」（20.5％）の割合が高くなっています。

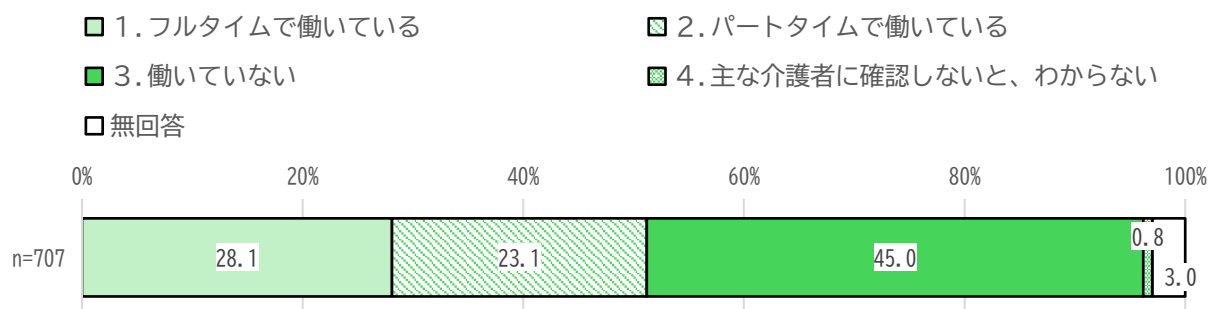
単位：％

	全体 （件数）	現状では、 サービス利用 の希望がない	本人にサービス 利用の希望 がない	家族が介護を するため必要 ない	以前、利用し ていたサービス に不満があった	利用料を支払 うのが難しい	利用できない 、身近にない	利用できない 、福祉用具貸 与のみを利用 するため	住宅改修、福 祉用具貸与 のみを利用す る	サービスを受け たいが分から ない	その他	無 回 答
男性	41	53.7	22.0	17.1	0.0	4.9	0.0	12.2	2.4	17.1	7.3	
女性	81	32.1	38.3	25.9	0.0	4.9	0.0	9.9	6.2	19.8	2.5	
40～64歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
65～69歳	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
70～74歳	8	37.5	25.0	12.5	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	37.5	0.0	0.0
75～79歳	16	50.0	31.3	31.3	0.0	0.0	0.0	18.8	0.0	18.8	6.3	6.3
80～84歳	29	27.6	27.6	17.2	0.0	10.3	0.0	10.3	10.3	31.0	6.9	6.9
85～89歳	37	45.9	40.5	21.6	0.0	2.7	0.0	5.4	5.4	10.8	2.7	2.7
90歳以上	31	35.5	32.3	29.0	0.0	6.5	0.0	9.7	3.2	12.9	3.2	3.2
北部圏域	56	39.3	32.1	19.6	0.0	5.4	0.0	5.4	5.4	23.2	1.8	1.8
中部圏域	39	41.0	30.8	23.1	0.0	7.7	0.0	20.5	5.1	15.4	5.1	5.1
南部圏域	26	34.6	38.5	30.8	0.0	0.0	0.0	7.7	3.8	15.4	7.7	7.7

2 主な介護者の方について（B票）

問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（○は1つ）

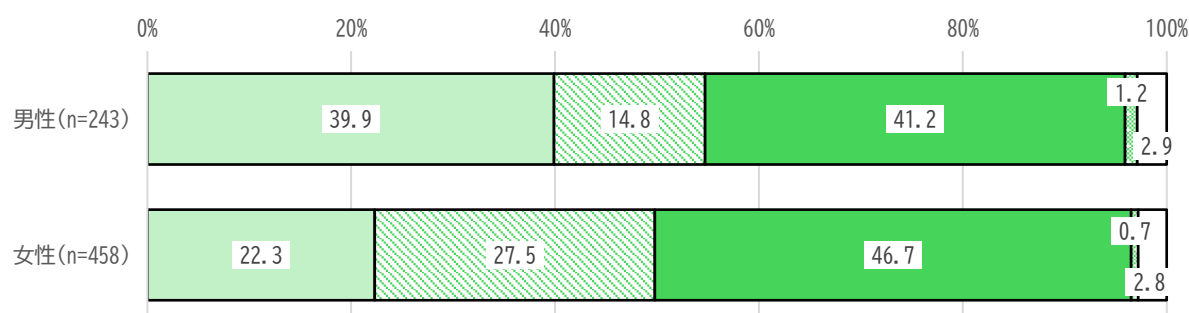
「働いていない」（45.0％）の割合が最も高く、次いで「フルタイムで働いている」（28.1％）、「パートタイムで働いている」（23.1％）となっています。



※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択してください。

【介護者の性別】

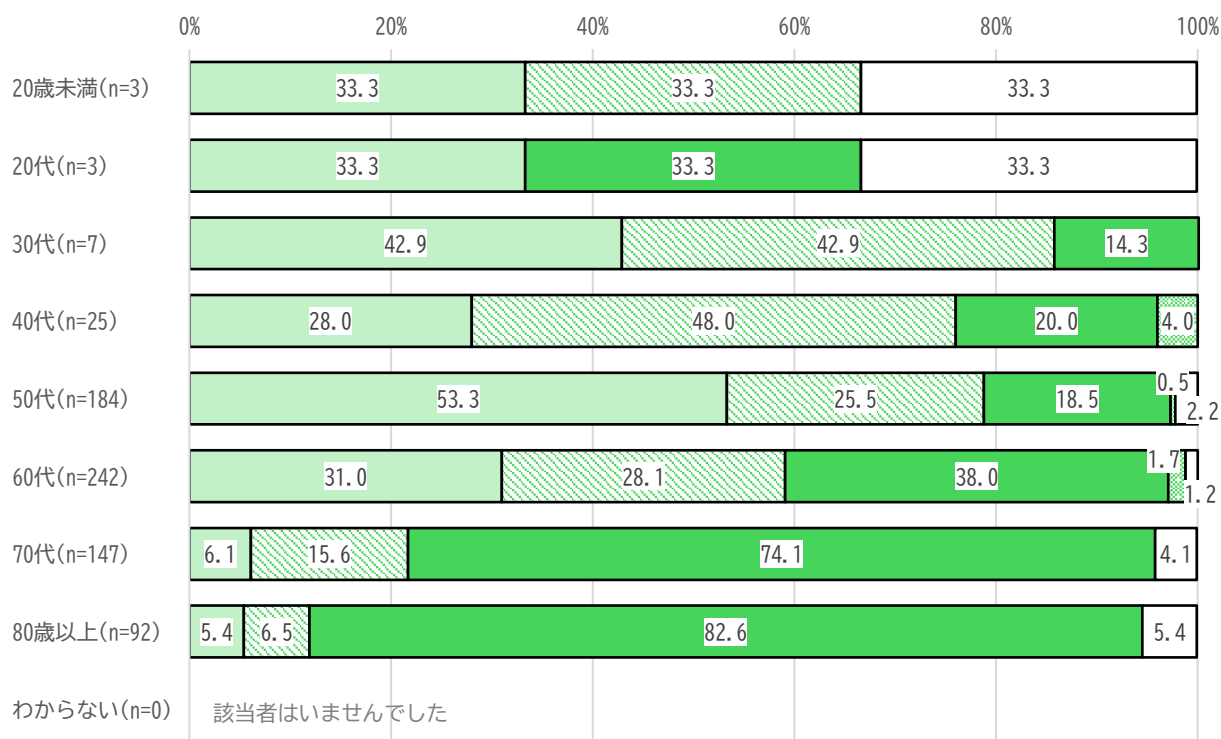
性別では、女性と比べ、男性で「フルタイムで働いている」（39.9％）の割合が高くなっています。一方、男性と比べ、女性で「パートタイムで働いている」（27.5％）の割合が高くなっています。



【介護者の年代別】

年代別では、他の年代と比べ、50代で「フルタイムで働いている」（53.3％）の割合が高くなっています。

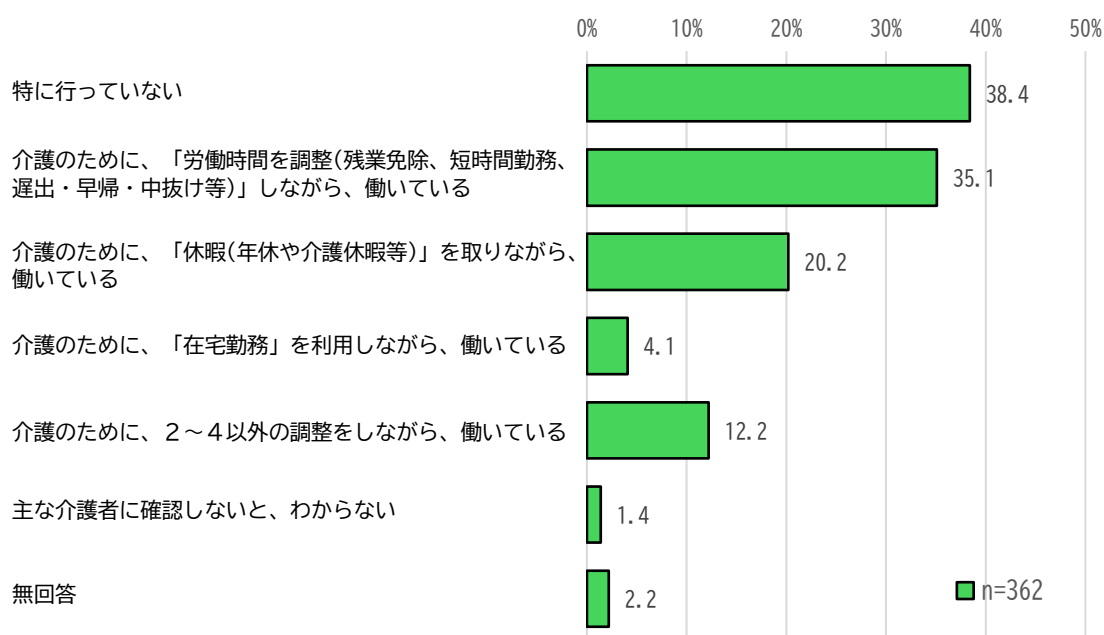
- ☐ 1. フルタイムで働いている
 ☐ 2. パートタイムで働いている
- ☐ 3. 働いていない
 ☐ 4. 主な介護者に確認しないと、わからない
- ☐ 無回答



問1で「1.」または「2.」と答えた方のみ以下の質問にお答えください

問2 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。（〇はいくつでも）

「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」（35.1%）、次いで「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」（20.2%）、「介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている」（12.2%）となっています。一方、「特に行っていない」（38.4%）の割合が最も高くなっています。



【介護者の性別・介護者の年代別】

性別では、男性と女性で「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」の割合が高くなっています。一方、男性と女性で「特に行っていない」の割合が最も高くなっています。

年代別では、他の年代と比べ、60代で「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」（43.4%）の割合が高くなっています。

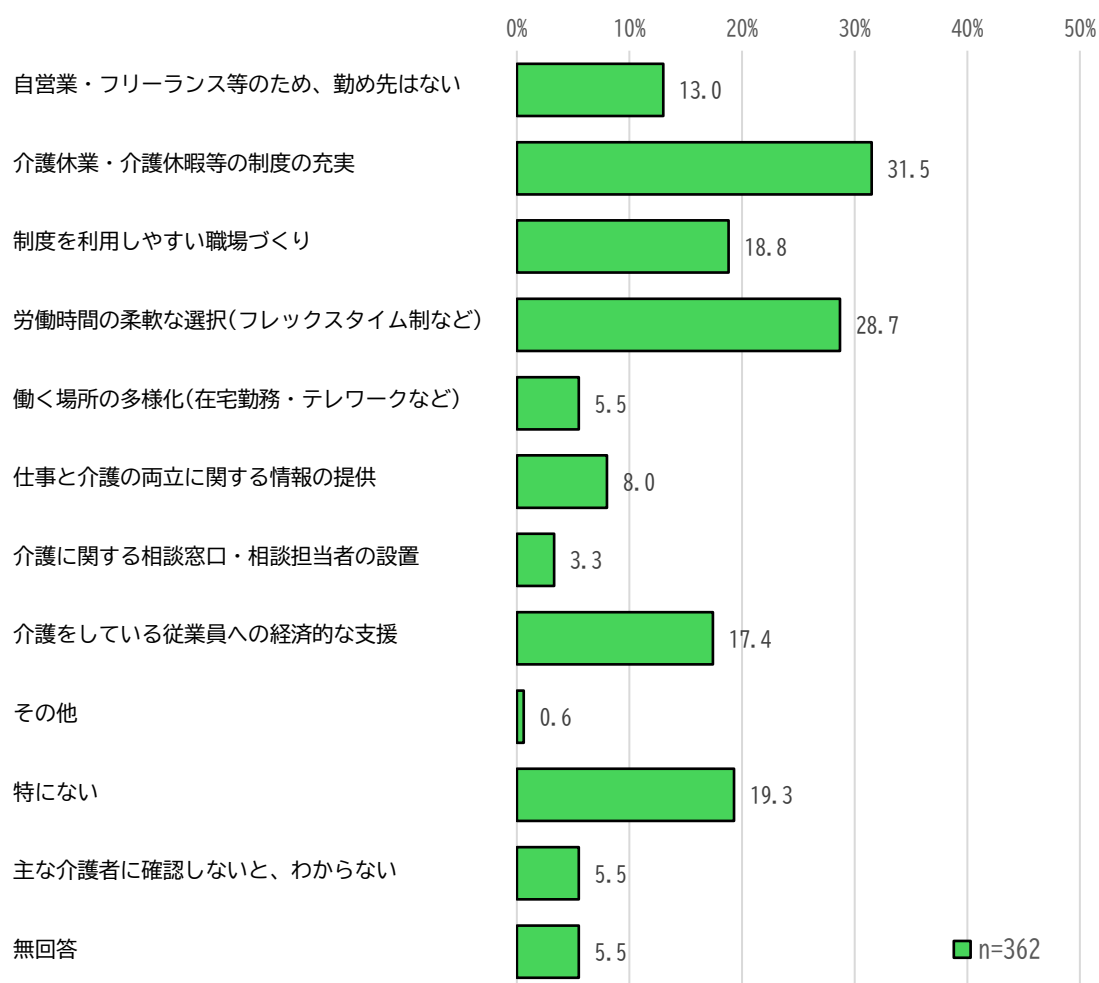
単位：％

区分	全体 (件数)	特に行っていない	介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている	介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている	介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている	介護のために、2～4以外の調整をしている	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
男性	133	42.1	33.1	20.3	6.0	12.8	0.8	2.3
女性	228	36.4	36.0	19.7	3.1	11.8	1.8	2.2
20歳未満	2	0.0	100.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
20代	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
30代	6	50.0	0.0	33.3	0.0	16.7	0.0	0.0
40代	19	36.8	36.8	15.8	0.0	21.1	0.0	0.0
50代	145	40.0	29.0	21.4	6.2	11.7	1.4	3.4
60代	143	35.7	43.4	23.1	3.5	10.5	1.4	0.0
70代	32	37.5	31.3	9.4	0.0	18.8	0.0	6.3
80歳以上	11	54.5	27.3	0.0	0.0	9.1	0.0	9.1
わからない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問1で「1.」または「2.」と答えた方のみ以下の質問にお答えください

問3 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。（〇は3つまで）

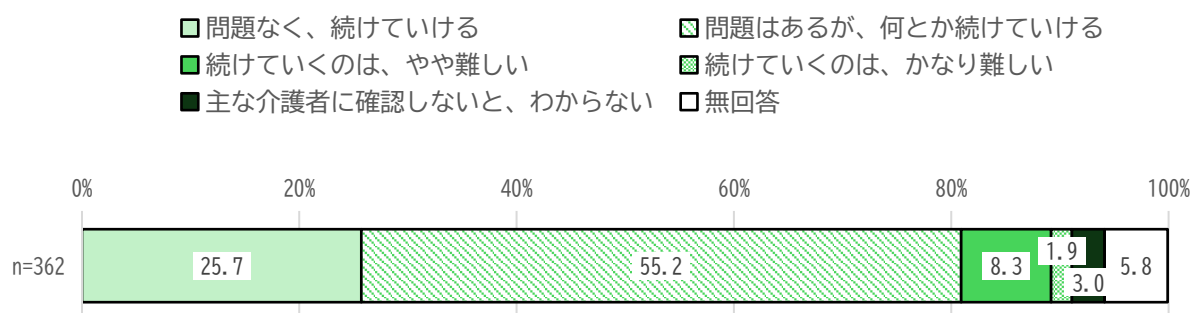
「介護休業・介護休暇等の制度の充実」（31.5％）の割合が最も高く、次いで「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」（28.7％）、「制度を利用しやすい職場づくり」（18.8％）となっています。一方、「特にない」が19.3％となっています。



問1で「1.」または「2.」と答えた方のみ以下の質問にお答えください

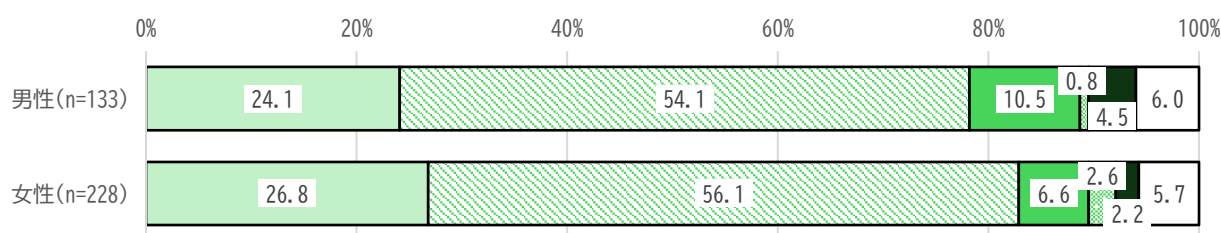
問4 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。（○は1つ）

「問題なく、続けていける」と「問題はあるが、何とか続けていける」を合わせた「続けていける」が 80.9%、「続けていくのは、やや難しい」と「続けていくのは、かなり難しい」を合わせた「続けていくのは、難しい」が 10.2%となっています。



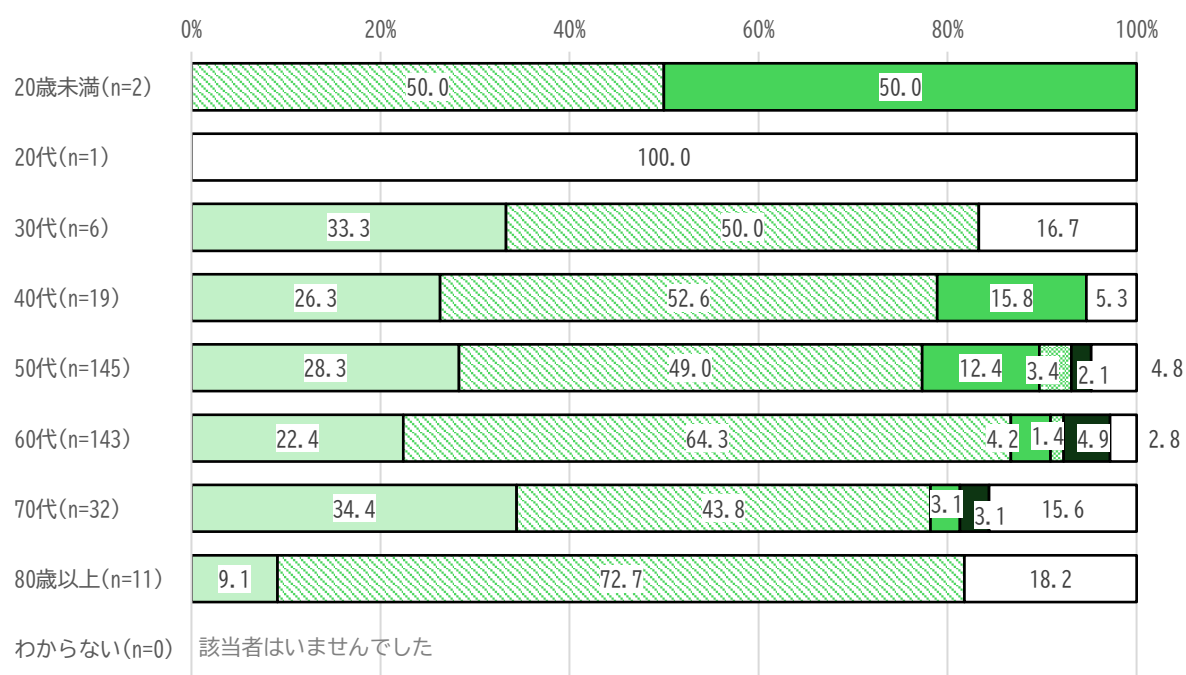
【介護者の性別】

性別では、男性と比べ、女性で「続けていける」の割合が高くなっています。



【介護者の年代別】

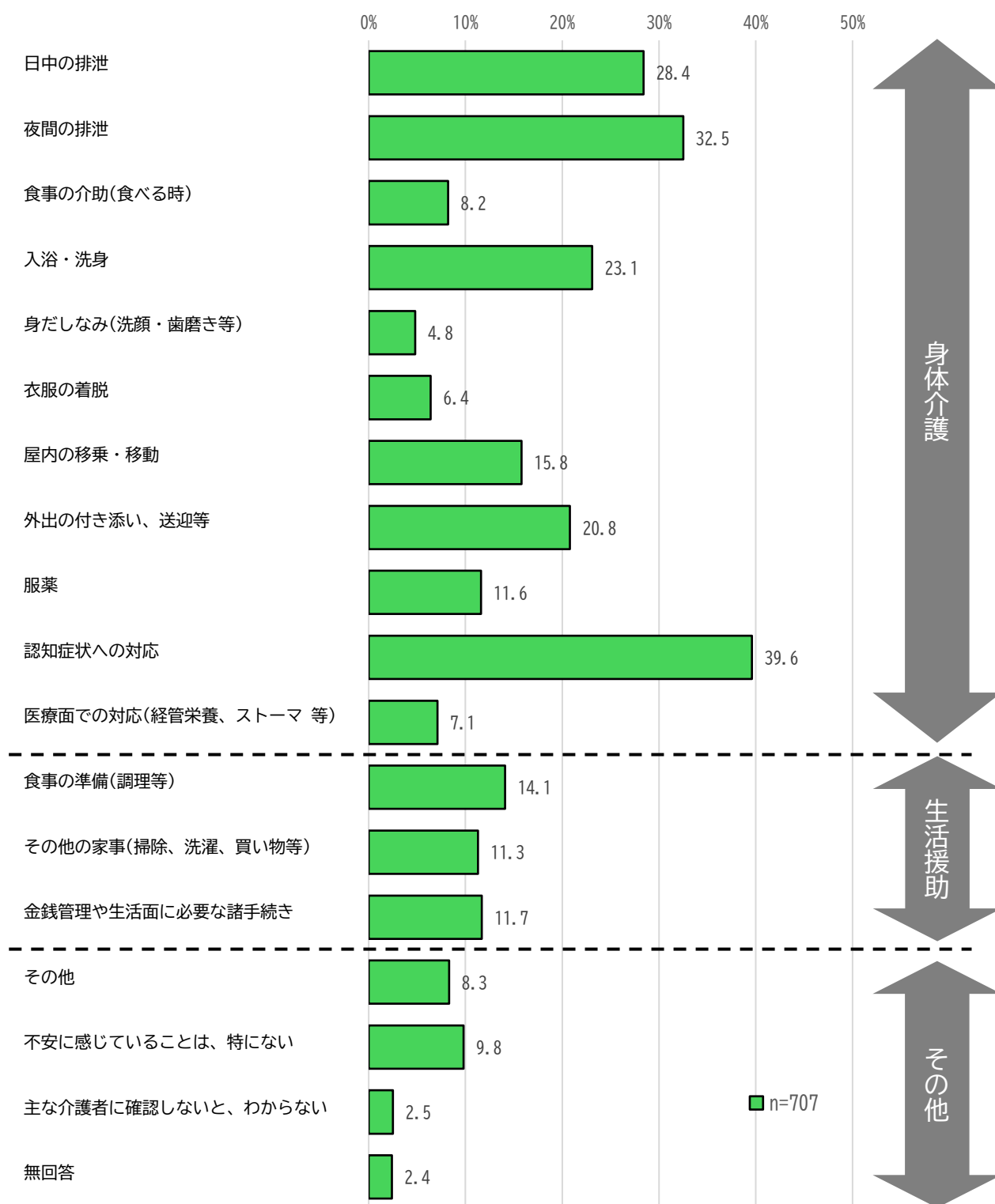
年代別では、他の年代と比べ、60代で「続けていける」の割合が高くなっています。



わからない (n=0) 該当者はいませんでした

問5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください。（現状で行っているか否かは問いません）
（3つまで選択可）

「認知症への対応」（39.6％）の割合が最も高く、次いで「夜間の排泄」（32.5％）、「日中の排泄」（28.4％）となっています。



【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、40～64 歳で「入浴・洗身」（40.0％）の割合が高くなっています。また、70 歳以上では「認知症状への対応」の割合が高くなっています。一方、65～69 歳では「不安に感じていることは、特にない」（35.3％）の割合が最も高くなっています。

単位：％

区分	全体 （件数）	日中の 排泄	夜間の 排泄	食事の 介助 （食べる時）	入浴・ 洗身	身だしなみ （洗顔・ 歯磨き等）	衣服の 着脱	屋内の 移乗・ 移動	外出の 付き添い、 送迎等	服薬
40～64歳	15	20.0	26.7	13.3	40.0	6.7	13.3	6.7	13.3	0.0
65～69歳	17	17.6	11.8	0.0	23.5	0.0	0.0	17.6	23.5	0.0
70～74歳	38	18.4	21.1	10.5	31.6	2.6	5.3	15.8	31.6	10.5
75～79歳	75	32.0	32.0	5.3	24.0	2.7	8.0	24.0	29.3	16.0
80～84歳	159	31.4	33.3	7.5	22.6	6.3	7.5	13.2	23.3	16.4
85～89歳	192	26.6	29.7	8.3	24.0	5.7	4.7	16.1	20.3	10.4
90歳以上	211	29.9	38.9	9.5	19.4	4.3	6.6	15.2	14.7	9.5

区分	全体 （件数）	認知 症状への 対応	医療面 での対応 （経管 栄養、 ストーマ 等）	食事の 準備（調 理等）	その他の 家事（掃 除、洗濯、 買い物等）	金銭管理 や生活面 に必要な 諸手続き	その他	不安に 感じている ことは、特 にない	主な介護 者には確認 しない	無回答
40～64歳	15	13.3	0.0	20.0	13.3	6.7	13.3	0.0	0.0	0.0
65～69歳	17	5.9	5.9	5.9	0.0	11.8	11.8	35.3	0.0	17.6
70～74歳	38	34.2	5.3	7.9	15.8	15.8	7.9	10.5	2.6	2.6
75～79歳	75	42.7	4.0	18.7	13.3	12.0	9.3	5.3	4.0	1.3
80～84歳	159	36.5	7.5	15.7	12.6	11.3	10.7	9.4	1.3	2.5
85～89歳	192	45.3	10.9	14.1	12.0	14.6	7.3	9.9	2.6	1.6
90歳以上	211	41.2	5.2	12.8	9.0	9.0	6.6	10.0	3.3	2.4

【圏域別】

圏域別では、全圏域で、「認知症状への対応」の割合が最も高くなっています。また、他の圏域と比べ、中部圏域で「外出の付き添い、送迎等」（23.5％）の割合が高くなっています。

単位：％

区分	全体 （件数）	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助 （食べる時）	入浴・洗身	身だしなみ （洗顔・歯磨き等）	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	服薬
北部圏域	293	28.7	32.4	10.2	20.5	2.7	5.8	17.1	19.1	13.0
中部圏域	277	27.4	33.6	6.1	25.3	4.7	6.5	15.9	23.5	11.9
南部圏域	136	29.4	30.9	7.4	23.5	9.6	7.4	13.2	19.1	8.1

区分	全体 （件数）	認知症状への対応	医療面での対応 （経管栄養、ストーマ等）	食事の準備（調理等）	その他の家事 （掃除、洗濯、買い物等）	金銭管理や生活面に必要な手続き	その他	不安に感じていることは、特にない	主な介護者に確認しないとわからない	無回答
北部圏域	293	38.9	5.8	14.7	10.9	14.0	8.2	10.2	2.4	2.4
中部圏域	277	40.1	8.3	12.3	11.9	11.2	10.1	7.6	3.2	2.5
南部圏域	136	40.4	7.4	16.9	11.0	8.1	5.1	13.2	1.5	2.2

【要介護度別】

要介護度別では、他の要介護度と比べ、要介護5で「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」(24.3%)の割合が高くなっています。

単位：％

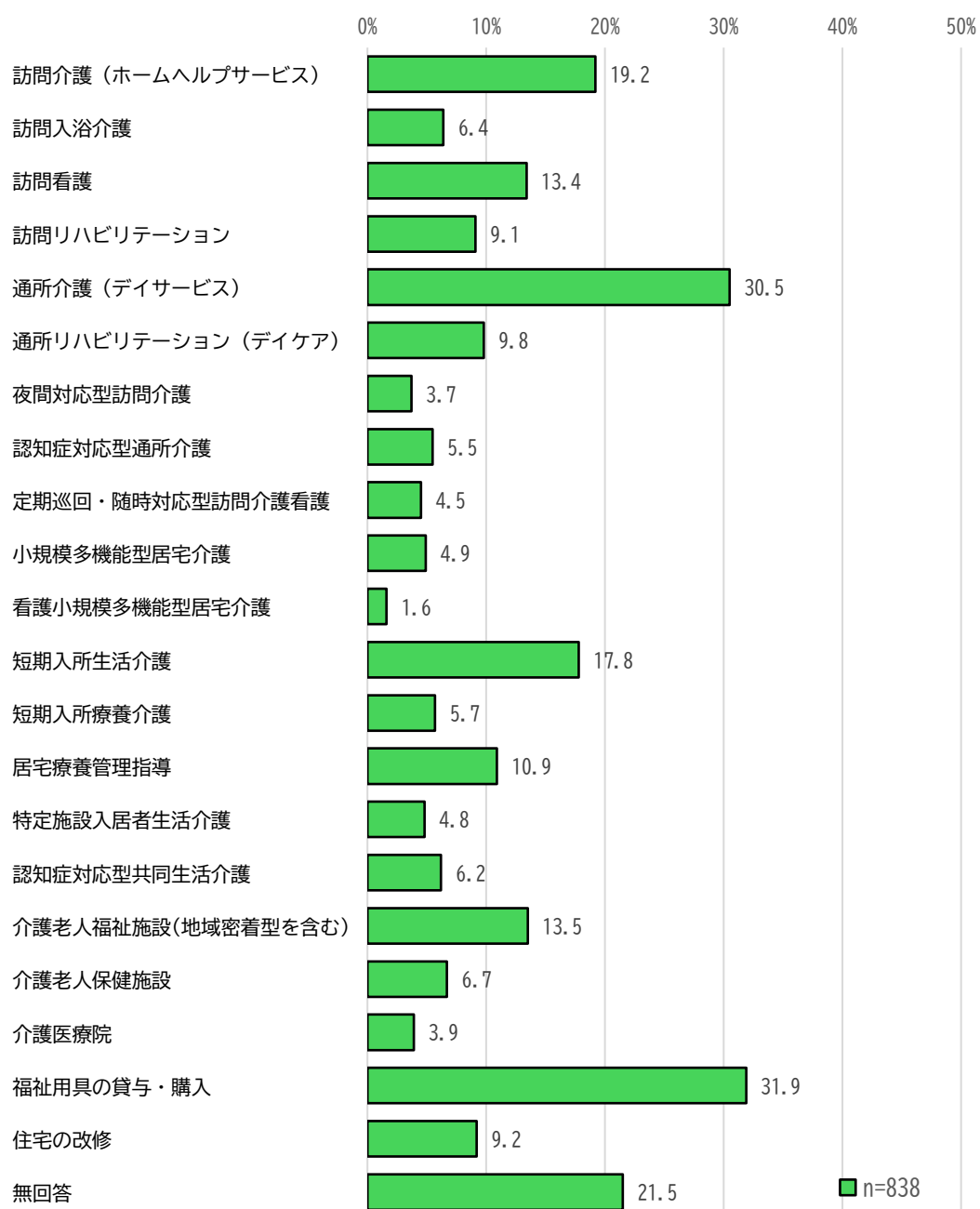
区分	全体 (件数)	日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助 (食べる時)	入浴・洗身	身だしなみ (洗顔・歯磨き等)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	外出の付き添い、送迎等	服薬
要介護1	289	32.5	32.5	5.9	24.9	5.9	5.9	12.8	22.1	14.5
要介護2	215	25.1	32.6	9.8	25.1	2.8	5.6	22.8	21.4	12.1
要介護3	98	28.6	35.7	9.2	20.4	5.1	8.2	14.3	18.4	10.2
要介護4	68	25.0	35.3	8.8	20.6	2.9	7.4	11.8	22.1	2.9
要介護5	37	21.6	18.9	13.5	8.1	10.8	8.1	10.8	10.8	5.4

区分	全体 (件数)	認知症状への対応	医療面での対応 (経管栄養、ストーマ等)	食事の準備 (調理等)	その他の家事 (掃除、洗濯、買い物等)	金銭管理や生活面に必要な諸手続き	その他	不安に感じていることは、特にない	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
要介護1	289	42.6	4.8	14.2	13.8	11.8	9.0	10.0	2.1	2.4
要介護2	215	40.0	5.6	13.5	8.8	9.8	6.5	8.8	2.8	1.4
要介護3	98	37.8	11.2	16.3	9.2	10.2	5.1	10.2	2.0	4.1
要介護4	68	38.2	10.3	14.7	10.3	13.2	8.8	4.4	5.9	2.9
要介護5	37	21.6	16.2	10.8	13.5	24.3	21.6	21.6	0.0	2.7

3 介護保険サービスについて（C票）

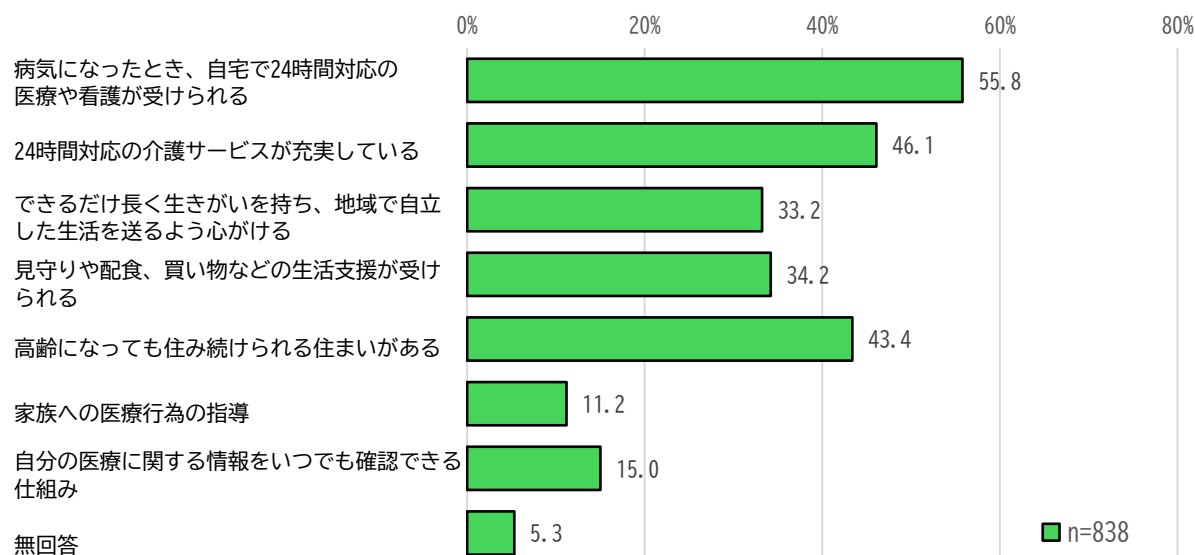
問1 以下の介護保険サービスについて、今後利用してみたいサービスを選択してください（○はいくつでも）

「福祉用具の貸与・購入」（31.9%）の割合が最も高く、次いで「通所介護（デイサービス）」（30.5%）、「訪問介護（ホームヘルプサービス）」（19.2%）となっています。



問2 あなたが住み慣れた地域・自宅で自分らしい暮らしを続けるために、何が重要だと思いますか（〇はいくつでも）

「病気になったとき、自宅で24時間対応の医療や看護が受けられる」（55.8%）の割合が最も高く、次いで「24時間対応の介護サービスが充実している」（46.1%）、「高齢になっても住み続けられる住まいがある」（43.4%）となっています。



【年代別・圏域別】

年代別では、他の年代と比べ、40～64歳で「家族への医療行為の指導」（33.3%）の割合が高くなっています。

圏域別では、全ての圏域で「病気になったとき、自宅で24時間対応の医療や看護が受けられる」の割合が最も高くなっています。

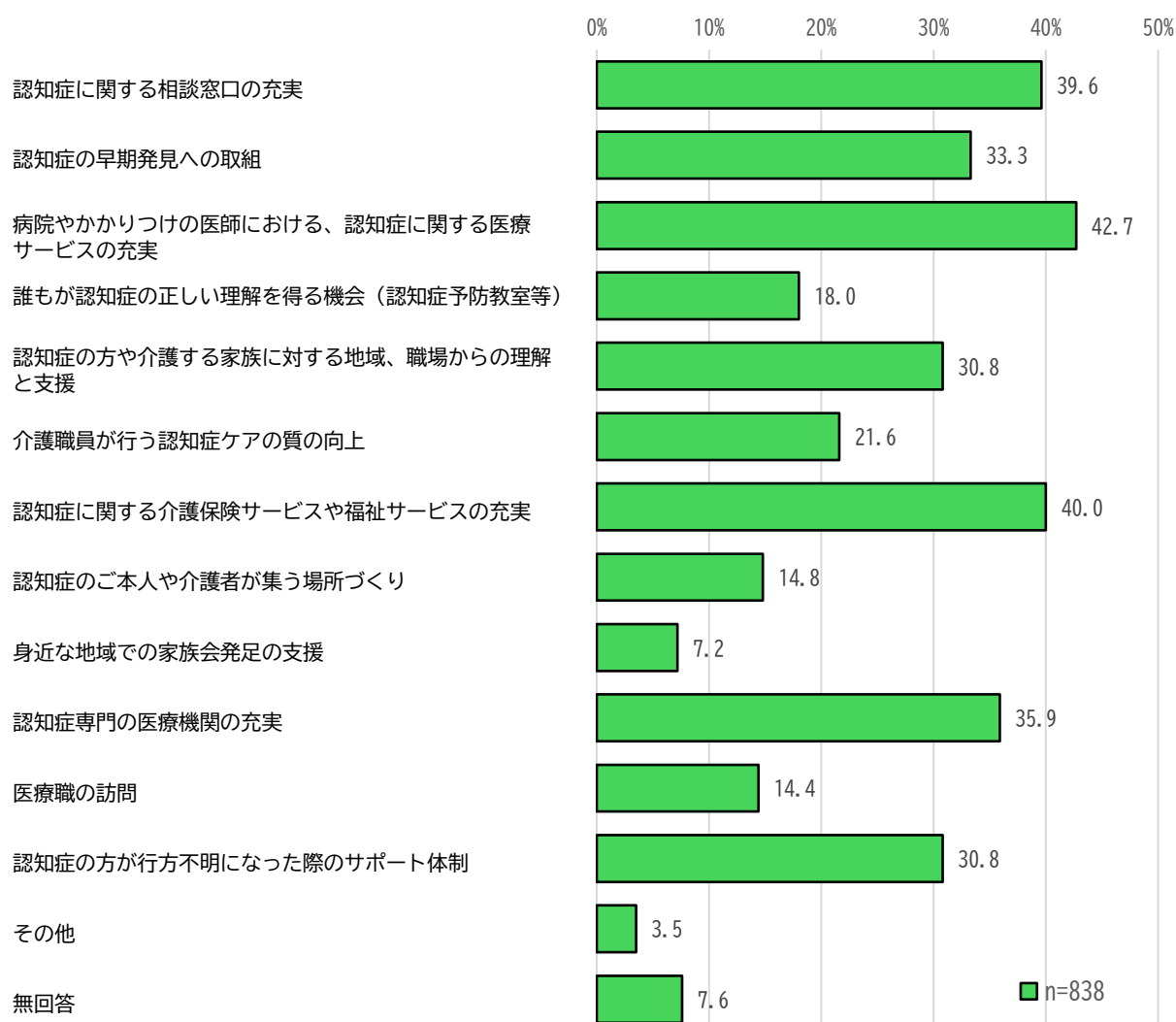
単位：％

区分	全体 (件数)	の病 医 気 に な っ た と き 、 自 宅 で 2 4 時 間 対 応 の 医 療 や 看 護 が 受 け ら れ る	い る 2 4 時 間 対 応 の 介 護 サ ー ビ ス が 充 実 し て	で で 自 立 し た け だ け 生 活 を 送 る が い い を 心 が ち 、 地 域	が 見 守 り や 配 食 、 買 い 物 な ど の 生 活 支 援	が 高 齢 に な っ て も 住 み 続 け ら れ る 住 ま い	家 族 へ の 医 療 行 為 の 指 導	認 自 分 の 医 療 に 関 する 情 報 を い つ で も 確	無 回 答
40～64歳	15	66.7	53.3	53.3	46.7	53.3	33.3	26.7	0.0
65～69歳	18	44.4	55.6	22.2	33.3	38.9	11.1	38.9	11.1
70～74歳	46	54.3	54.3	41.3	37.0	47.8	19.6	30.4	6.5
75～79歳	95	63.2	43.2	30.5	34.7	41.1	8.4	13.7	2.1
80～84歳	194	53.1	43.8	37.1	33.0	44.8	13.9	18.0	4.1
85～89歳	224	54.9	42.4	31.3	43.3	48.7	9.4	12.5	5.4
90歳以上	246	56.5	49.6	30.9	25.6	37.4	8.9	10.2	6.9
北部圏域	359	56.8	46.8	32.9	36.8	43.7	10.9	17.3	5.6
中部圏域	320	56.3	45.0	35.3	32.8	44.1	12.8	14.7	5.0
南部圏域	158	53.2	46.8	29.1	31.6	41.8	8.9	10.8	5.1

問3 認知症の方に対する支援として、どのようなことが必要だと思いますか。

(〇はいくつでも)

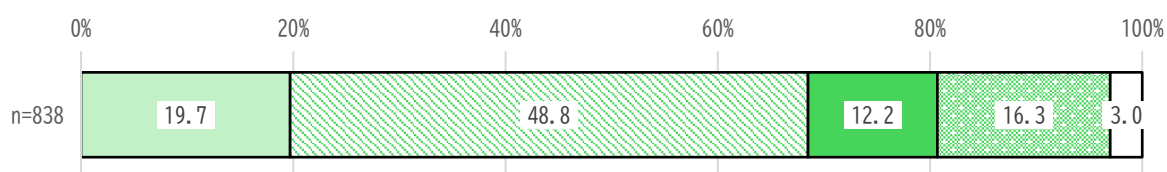
「病院やかかりつけの医師における、認知症に関する医療サービスの充実」(42.7%)の割合が最も高く、次いで「認知症に関する介護保険サービスや福祉サービスの充実」(40.0%)、「認知症に関する相談窓口の充実」(39.6%)となっています。



問4 あなたは今後、どのような介護を受けたいですか。（○は1つ）

「介護保険制度のサービス（ホームヘルパー等）や福祉サービスを活用しながら自宅で介護してもらいたい」（48.8％）の割合が最も高く、次いで「なるべく家族のみで、自宅で介護してもらいたい」（19.7％）、「施設に入所したい」（12.2％）となっています。一方、「わからない」は16.3％となっています。

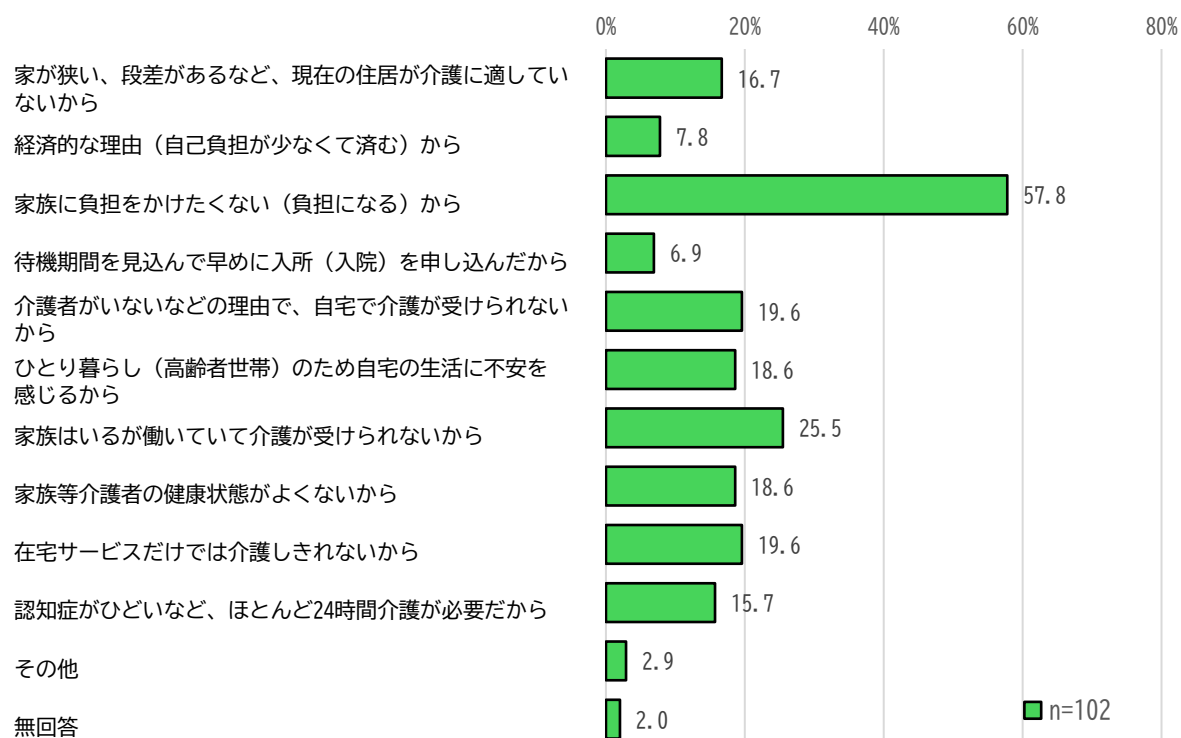
- ☐ なるべく家族のみで、自宅で介護してもらいたい
- ☒ 介護保険制度のサービス（ホームヘルパー等）や福祉サービスを活用しながら自宅で介護してもらいたい
- ☐ 施設に入所したい
- ☐ わからない
- ☐ 無回答



問4で「3. 施設に入所したい」と答えた方のみ以下の質問にお答えください。

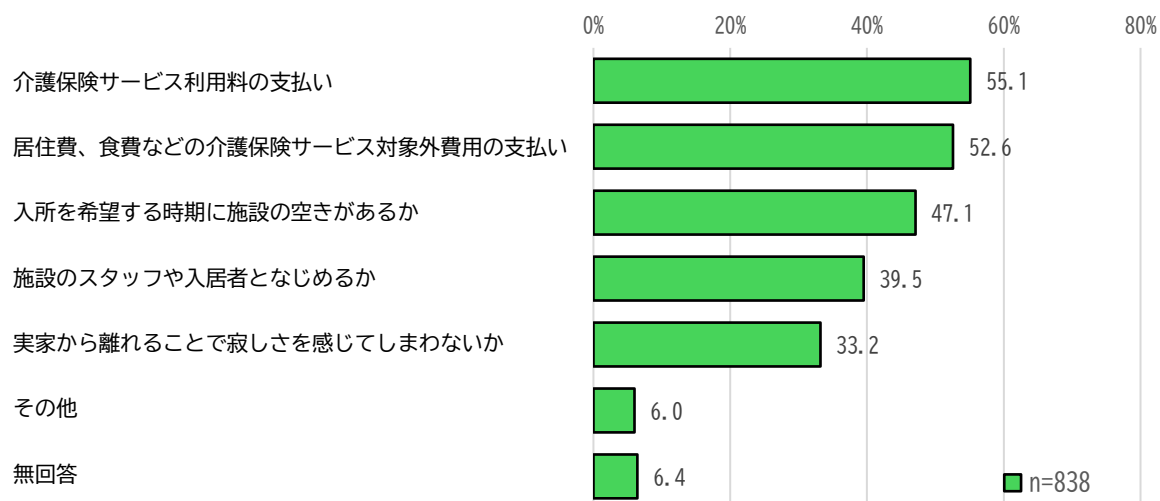
問4-1 その理由は何ですか。（○はいくつでも）

「家族に負担をかけたくない（負担になる）から」（57.8％）の割合が最も高く、次いで「家族はいるが働いていて介護が受けられないから」（25.5％）、「介護者がいないなどの理由で、自宅で介護が受けられないから」（19.6％）、「在宅サービスだけでは介護しきれないから」（19.6％）となっています。



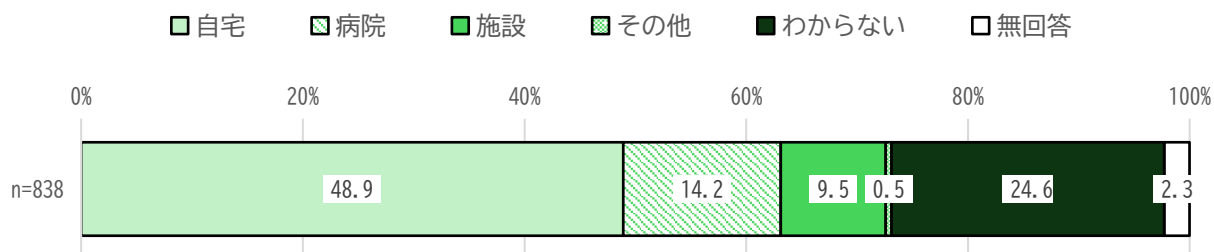
問4-2 今後、施設への入所を検討することになった場合、心配な事は何ですか。
(〇はいくつでも)

「介護保険サービス利用料の支払い」（55.1％）の割合が最も高く、次いで「居住費、食費などの介護保険サービス対象外費用の支払い」（52.6％）、「入所を希望する時期に施設の空きがあるか」（47.1％）となっています。



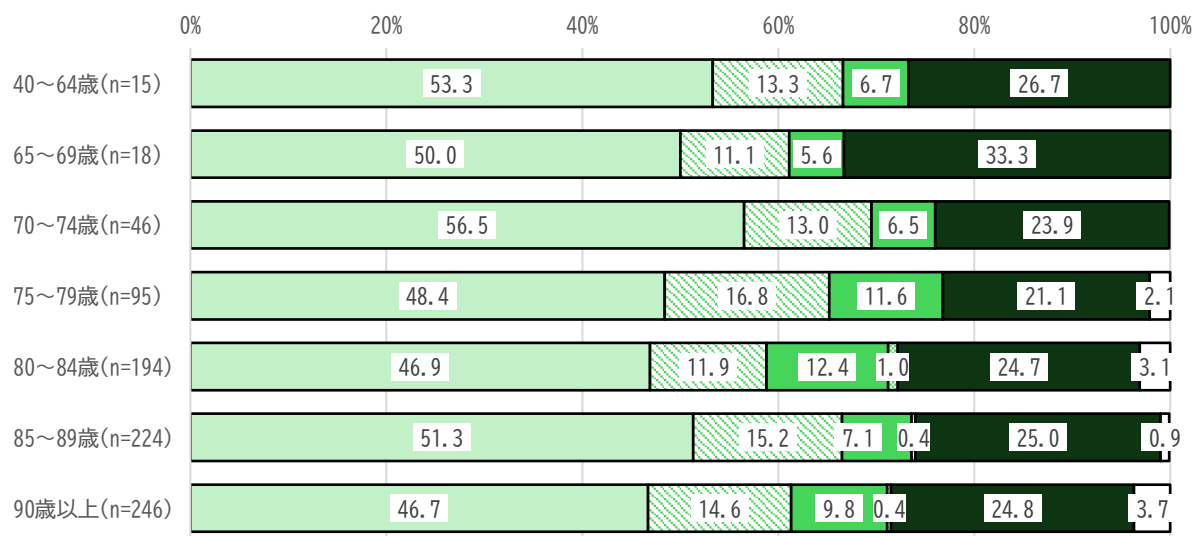
問5 終末期の考え方について、あなたは人生の最期をどこで迎えたいと思いますか
(○は1つ)

「自宅」(48.9%)の割合が最も高く、「病院」(14.2%)、「施設」(9.5%)となっています。一方、「わからない」が24.6%となっています。



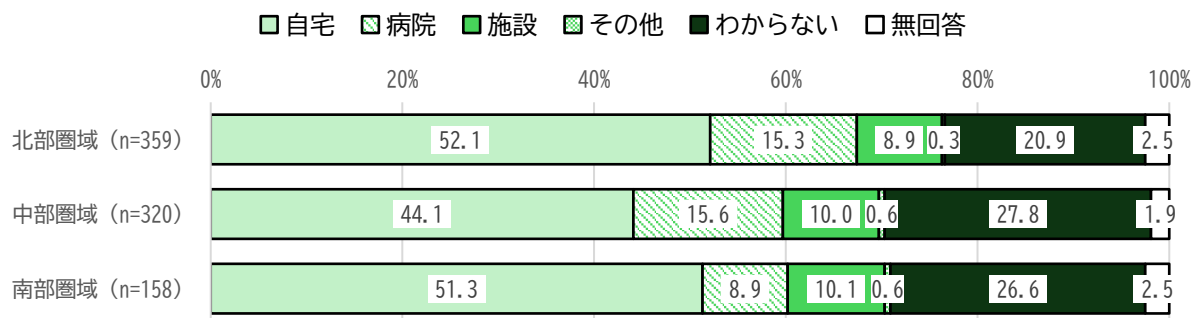
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、70～74歳で「自宅」(56.5%)の割合が高くなっています。



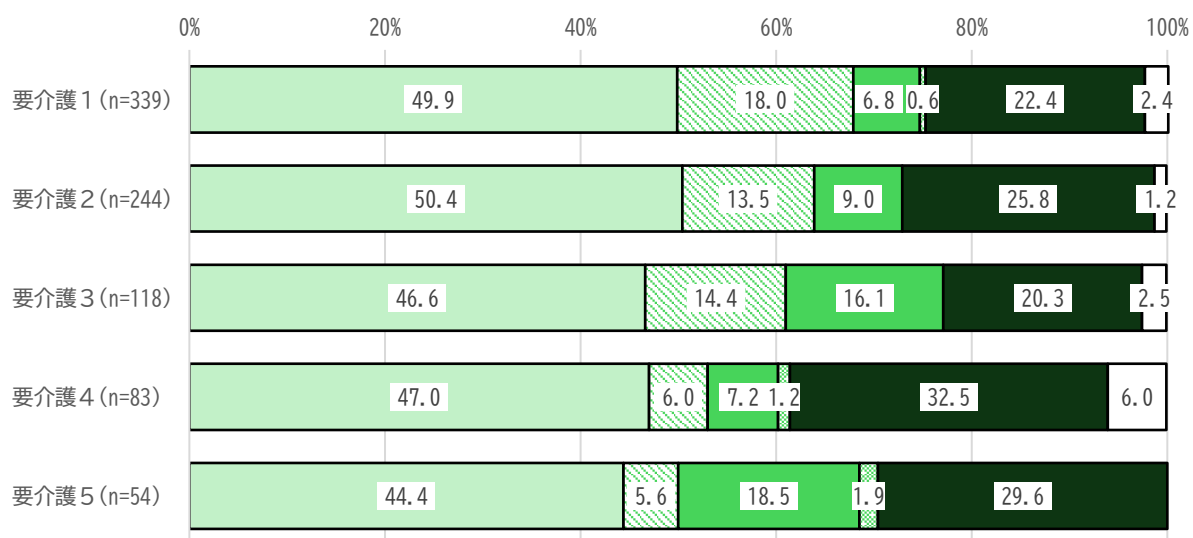
【圏域別】

圏域別では、他の圏域と比べ、中部圏域で「自宅」（44.1％）の割合が低くなっています。



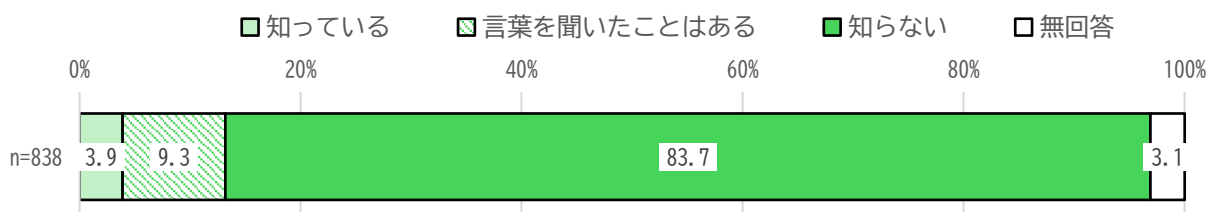
【要介護度別】

要介護度別では、他の要介護度と比べ、要介護1、要介護2及び要介護3で「病院」の割合が高くなっています。



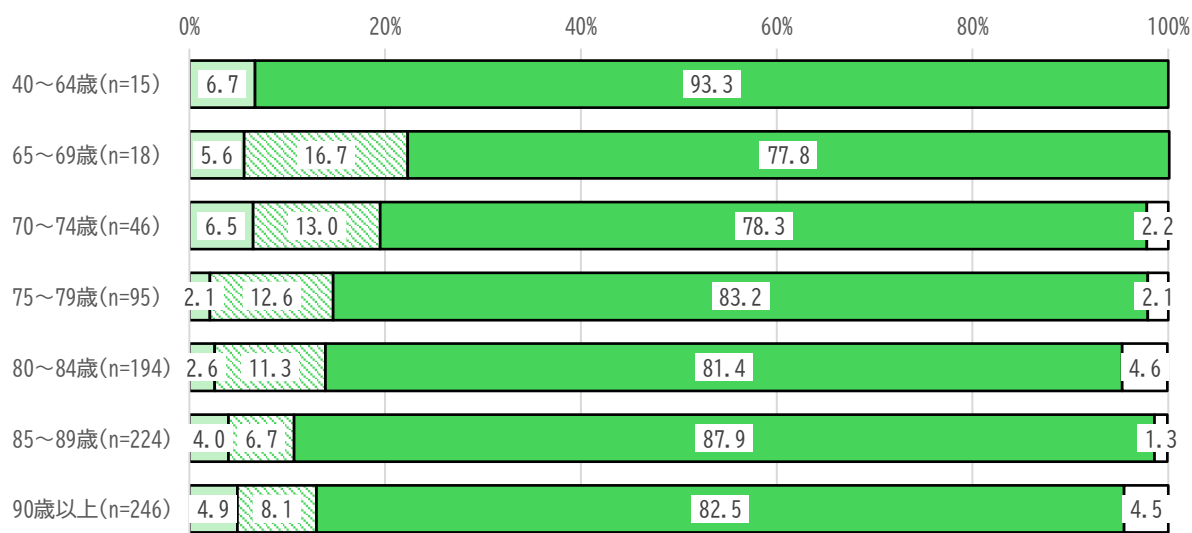
問5－1 「人生会議」または「アドバンス・ケア・プランニング(ACP)」(※万が一のときに備えて、どのような治療やケアを希望するかについて、家族等やかかりつけ医等と繰り返し話し合うこと)について、知っていますか。(○は1つ)

「知らない」(83.7%)の割合が最も高く、次いで「言葉を聞いたことはある」(9.3%)、「知っている」(3.9%)となっています。



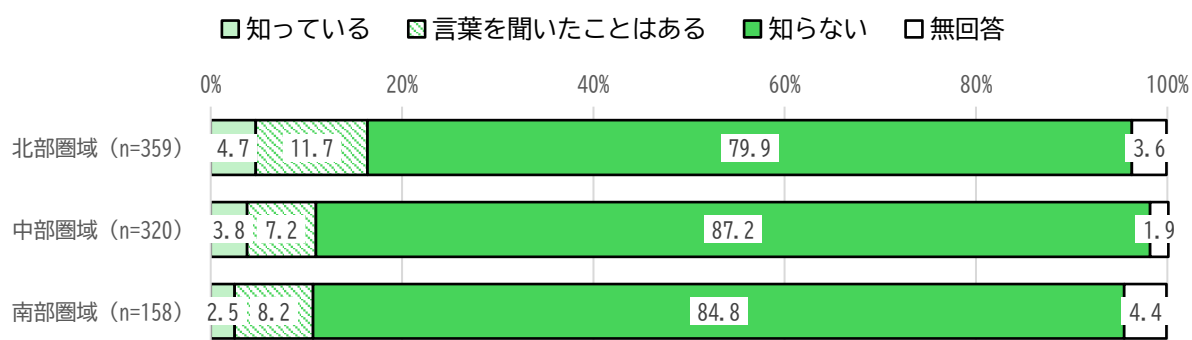
【年代別】

年代別では、他の年代と比べ、40～64歳で「知らない」(93.3%)の割合が高くなっています。



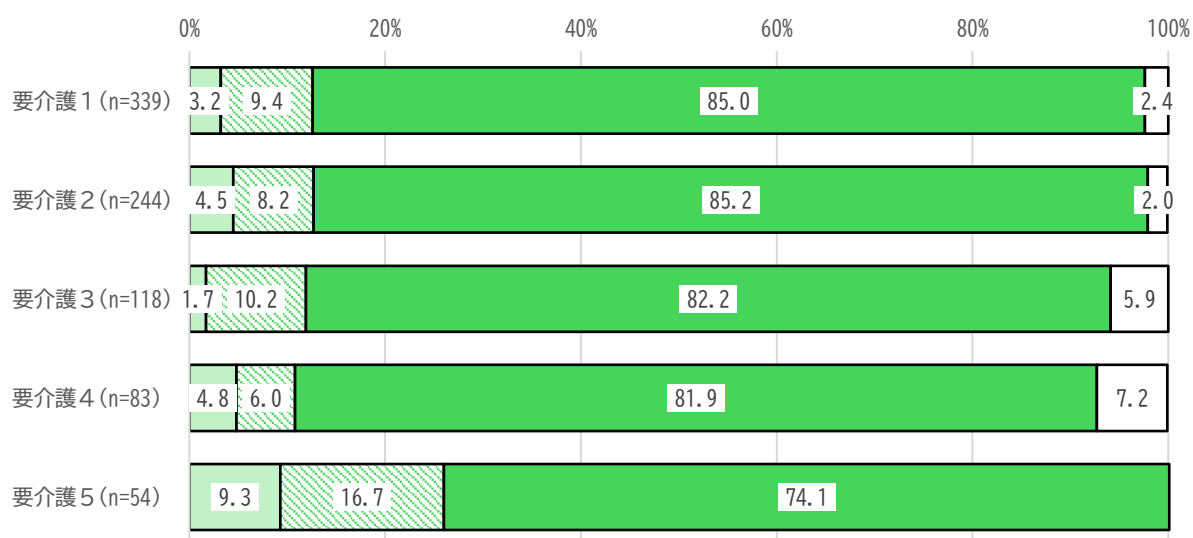
【圏域別】

圏域別では、他の圏域と比べ、北部圏域で「言葉を聞いたことはある」（11.7％）の割合が高くなっています。



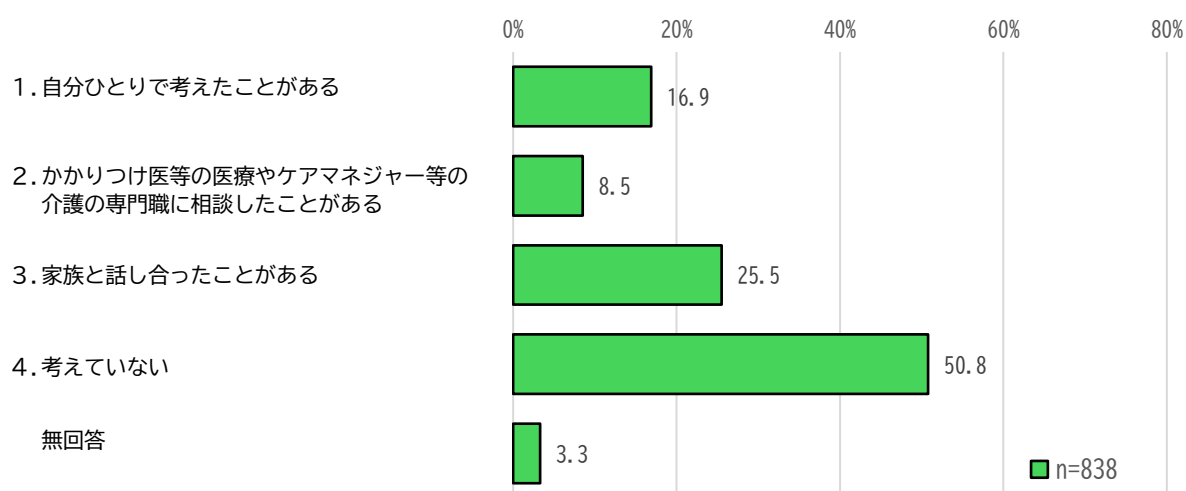
【要介護度別】

要介護度別では、他の要介護度と比べ、要介護5で「知っている」（9.3％）の割合が高くなっています。



問5－2 あなたは、万が一のときに備えて、どのような治療やケアを希望するかについて、考えていますか。（〇はいくつでも）

「考えていない」（50.8％）の割合が最も高く、次いで「家族と話し合ったことがある」（25.5％）、「自分ひとりで考えたことがある」（16.9％）、「かかりつけ医等の医療やケアマネジャー等の介護の専門職に相談したことがある」（8.5％）となっています。



【年代別・圏域別・要介護度別】

年代別では、他の年代と比べ、70～74 歳で「自分ひとりで考えたことがある」（28.3％）の割合が高くなっています。

圏域別では、他の圏域と比べ、北部圏域で「自分ひとりで考えたことがある」（20.6％）の割合が高くなっています。

要介護度別では、他の要介護と比べ、要介護4で「自分ひとりで考えたことがある」（9.6％）の割合が低くなっています。

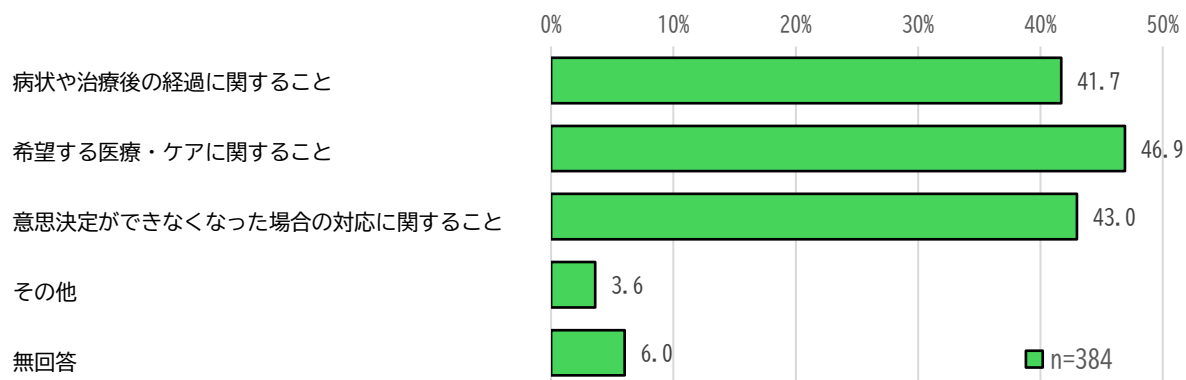
また、全ての年代・圏域・要介護で「考えていない」の割合が最も高くなっています。

単位：％

区分	全体 （件数）	自分 ひと りで 考 え た こ と が あ る	か の 介 護 の 専 門 職 に 相 談 し た こ と が あ る	家 族 と 話 し 合 っ た こ と が あ る	考 え て い な い	無 回 答
40～64歳	15	6.7	13.3	20.0	60.0	0.0
65～69歳	18	11.1	0.0	16.7	72.2	0.0
70～74歳	46	28.3	15.2	21.7	39.1	4.3
75～79歳	95	16.8	7.4	21.1	56.8	1.1
80～84歳	194	14.9	12.9	29.9	47.9	2.6
85～89歳	224	13.4	7.1	24.6	54.0	3.1
90歳以上	246	20.7	5.7	26.4	48.0	5.3
北部圏域	359	20.6	10.6	27.3	44.8	3.3
中部圏域	320	13.8	8.1	24.4	55.0	3.1
南部圏域	158	15.2	4.4	24.1	55.7	3.8
要介護1	339	16.8	7.4	24.5	51.0	4.1
要介護2	244	16.8	8.6	27.9	51.6	1.2
要介護3	118	22.9	9.3	24.6	47.5	5.1
要介護4	83	9.6	10.8	22.9	53.0	6.0
要介護5	54	16.7	9.3	27.8	50.0	0.0

問5－3 問5－2で「1.」「2.」「3.」と回答した方にお伺いします。どのような内容を考えましたか、または話しましたか。（〇はいくつでも）

「希望する医療・ケアに関すること」（46.9％）の割合が最も高く、次いで「意思決定ができなくなった場合の対応に関すること」（43.0％）、「病状や治療後の経過に関すること」（41.7％）となっています。



【年代別・圏域別・要介護度別】

年代別では、他の年代と比べ、75～79 歳で「病状や治療後の経緯に関すること」（57.5％）の割合が高くなっています。

圏域別では、他の圏域と比べ、中部圏域で「希望する医療・ケアに関すること」（50.7％）の割合が高くなっています。

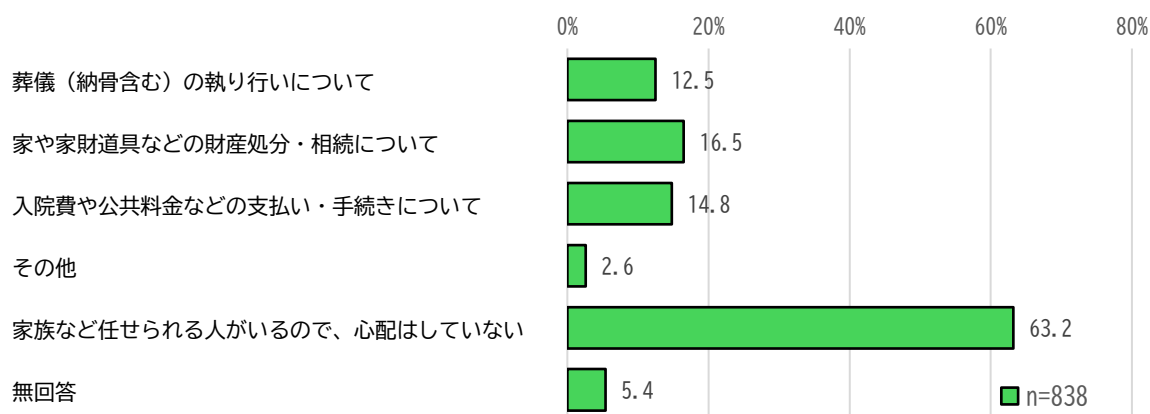
要介護度別では、他の要介護と比べ、要介護4で「意思決定ができなくなった場合の対応に関すること」（52.9％）の割合が高くなっています。

単位：％

区分	全体 （件数）	病 状 と や 治 療 後 の 経 過 に 関 す る	希 望 す る 医 療 ・ ケ ア に 関 す る	場 合 意 思 決 定 が 対 応 に で き な く な っ た	そ の 他	無 回 答
40～64歳	6	33.3	50.0	16.7	33.3	0.0
65～69歳	5	0.0	60.0	80.0	0.0	0.0
70～74歳	26	30.8	57.7	50.0	0.0	0.0
75～79歳	40	57.5	37.5	40.0	0.0	10.0
80～84歳	96	45.8	56.3	42.7	2.1	5.2
85～89歳	96	37.5	42.7	41.7	4.2	5.2
90歳以上	115	40.9	42.6	43.5	5.2	7.8
北部圏域	186	41.9	43.5	38.2	4.3	6.5
中部圏域	134	38.1	50.7	47.8	3.7	5.2
南部圏域	64	48.4	48.4	46.9	1.6	6.3
要介護1	152	39.5	48.7	38.8	3.3	7.2
要介護2	115	45.2	47.8	46.1	1.7	3.5
要介護3	56	37.5	37.5	44.6	5.4	8.9
要介護4	34	47.1	41.2	52.9	8.8	5.9
要介護5	27	40.7	59.3	37.0	3.7	3.7

問5－4 万が一の場合、不安に感じていることは何ですか（〇はいくつでも）

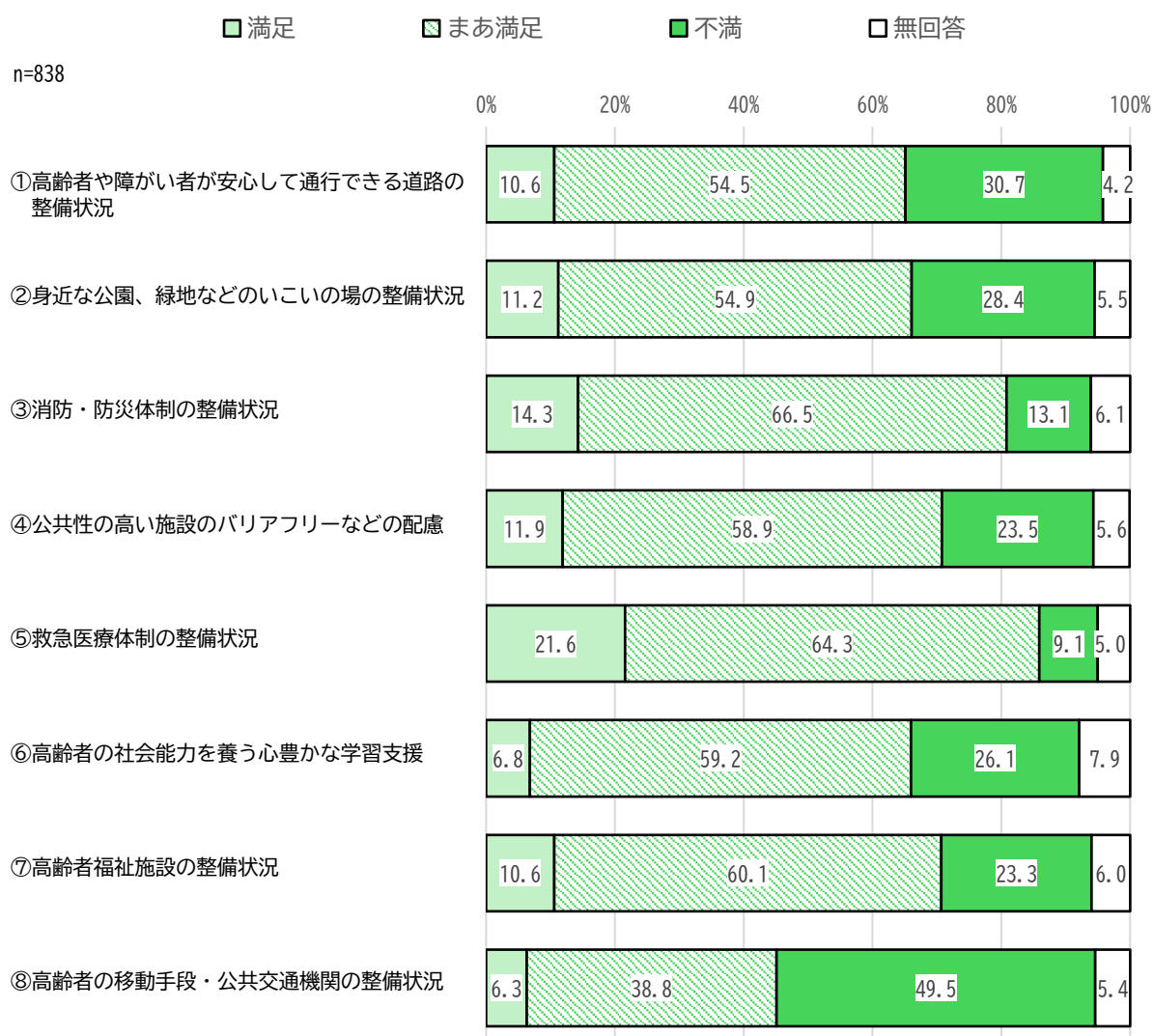
「家や家財道具などの財産処分・相続について」（16.5%）、次いで「入院費や公共料金などの支払い・手続きについて」（14.8%）、「葬儀（納骨含む）の執り行いについて」（12.5%）となっています。一方、「家族など任せられる人がいるので、心配はしていない」（63.2%）の割合が最も高くなっています。



問6 高齢者社会への対応について、自宅周辺の生活環境についてどのように感じていますか

(①～⑧それぞれに回答してください) (〇はそれぞれに1つ)

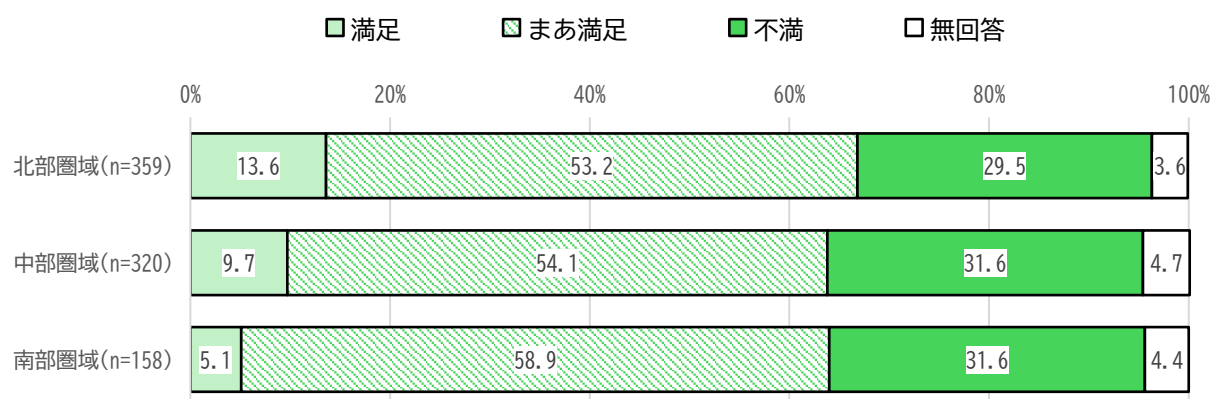
他と比べて、「⑤救急医療体制の整備状況」で「満足」(21.6%)の割合が高くなっています。全体的に「満足」と「まあ満足」の合計が「不満」を上回っていますが、「⑧高齢者の移動手段・公共交通機関の整備状況」では「不満」(49.5%)を感じている人の方が多くなっています。



①高齢者や障がい者が安心して通行できる道路の整備状況

【圏域別】

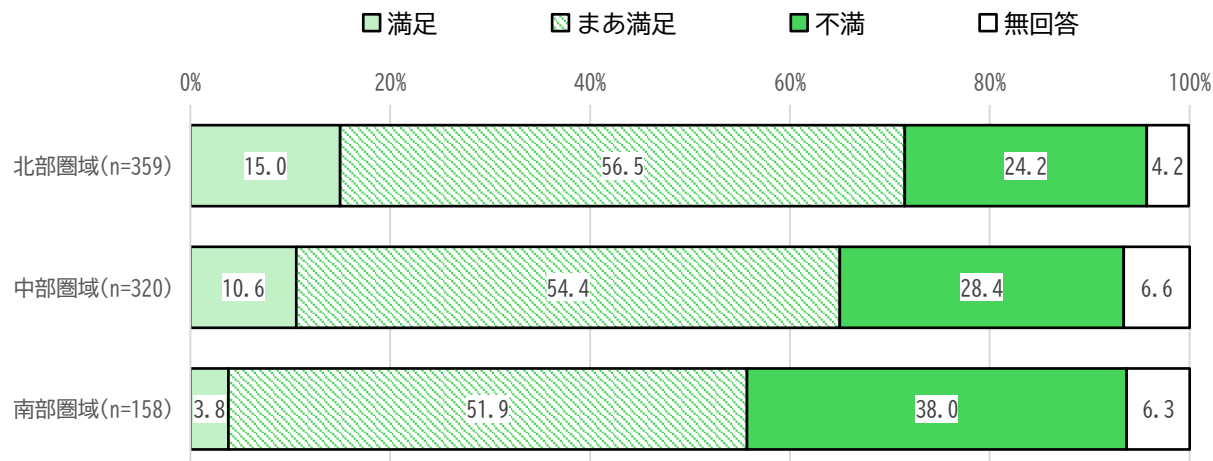
圏域別では、他の圏域と比べ、北部圏域で「満足」（66.8%）の割合が高くなっています。



②身近な公園、緑地などのいこいの場の整備状況

【圏域別】

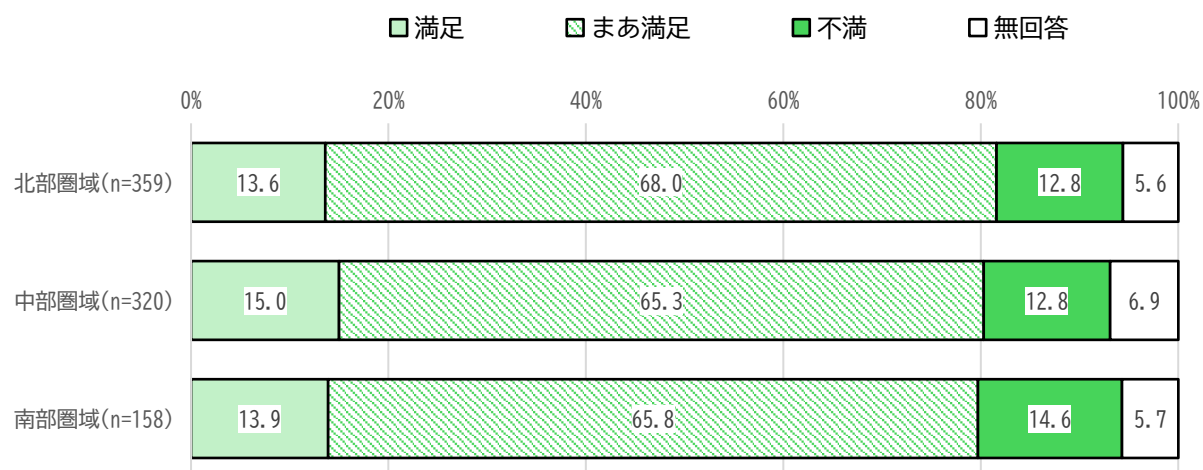
圏域別では、他の圏域と比べ、北部圏域で「満足」（71.5%）の割合が高くなっています。



③消防・防災体制の整備状況

【圏域別】

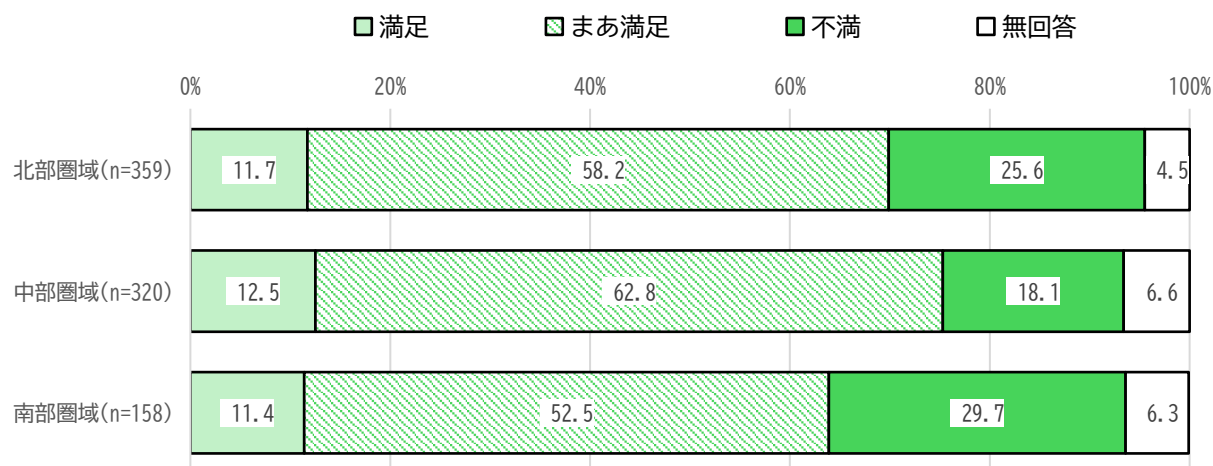
圏域別では、他の圏域と比べ、北部圏域で「満足」（81.6%）の割合が高くなっています。



④公共性の高い施設のバリアフリーなどの配慮

【圏域別】

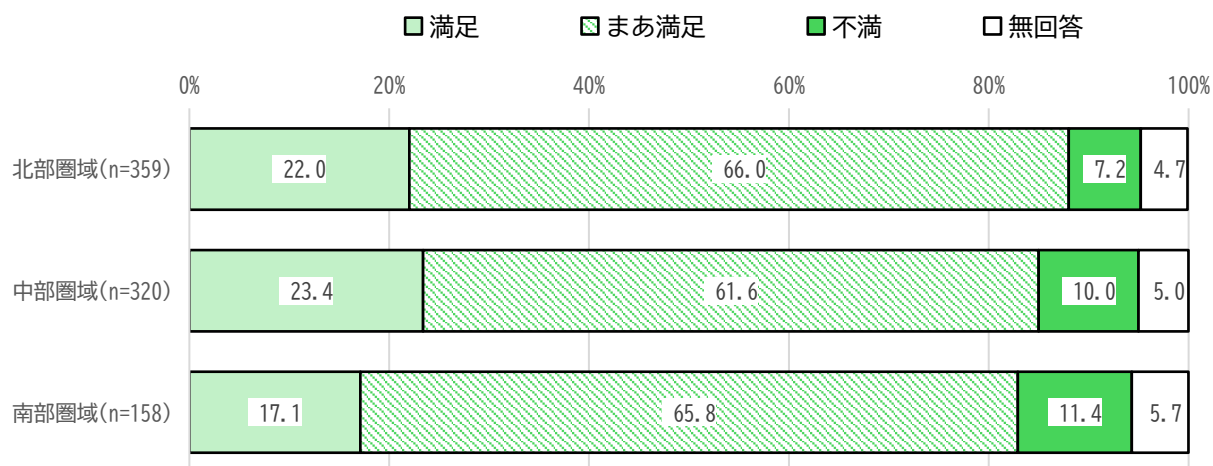
圏域別では、他の圏域と比べ、中部圏域で「満足」（75.3%）の割合が高くなっています。



⑤救急医療体制の整備状況

【圏域別】

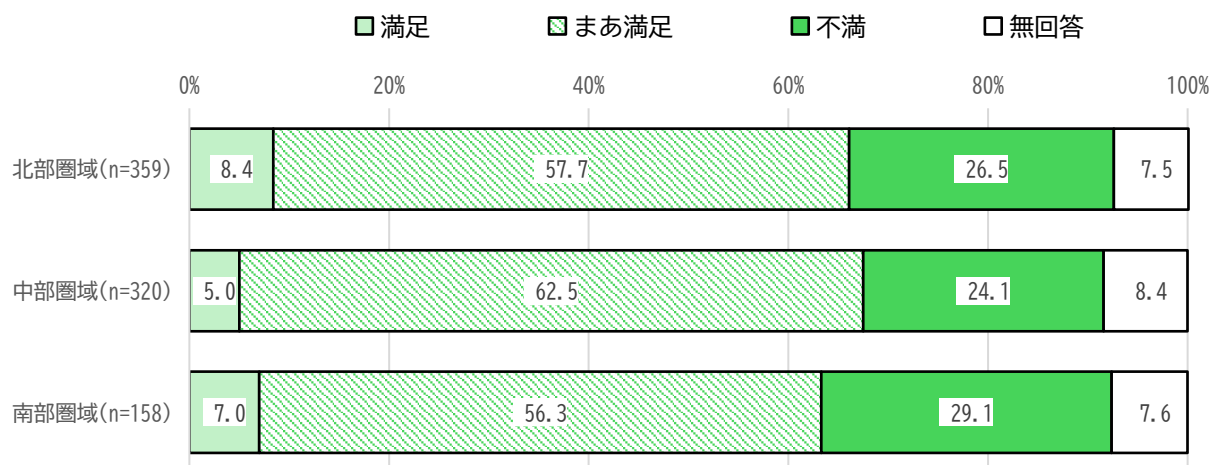
圏域別では、他の圏域と比べ、北部圏域で「満足」（88.0%）の割合が高くなっています。



⑥高齢者の社会能力を養う心豊かな学習支援

【圏域別】

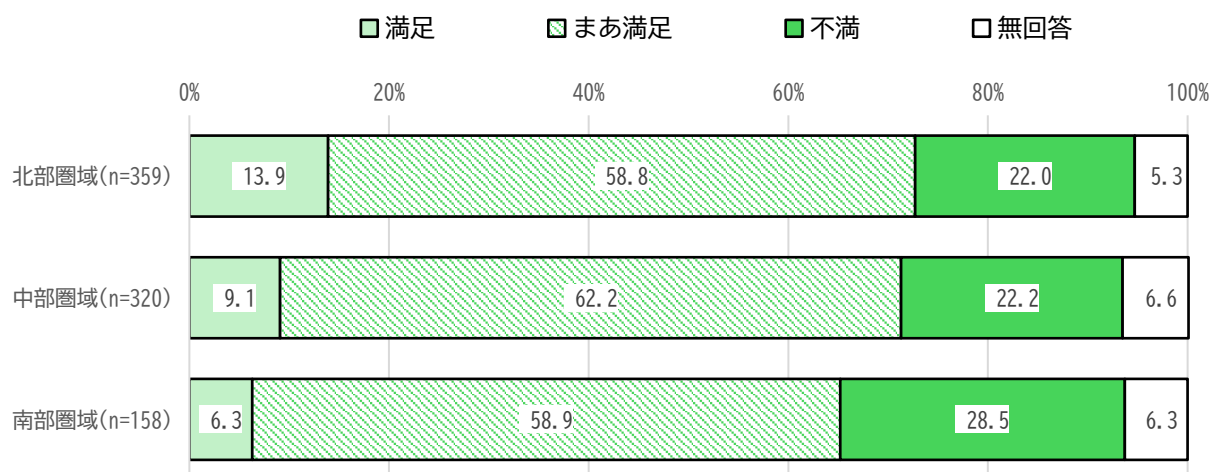
圏域別では、他の圏域と比べ、中部圏域で「満足」（67.5%）の割合が高くなっています。



⑦高齢者福祉施設の整備状況

【圏域別】

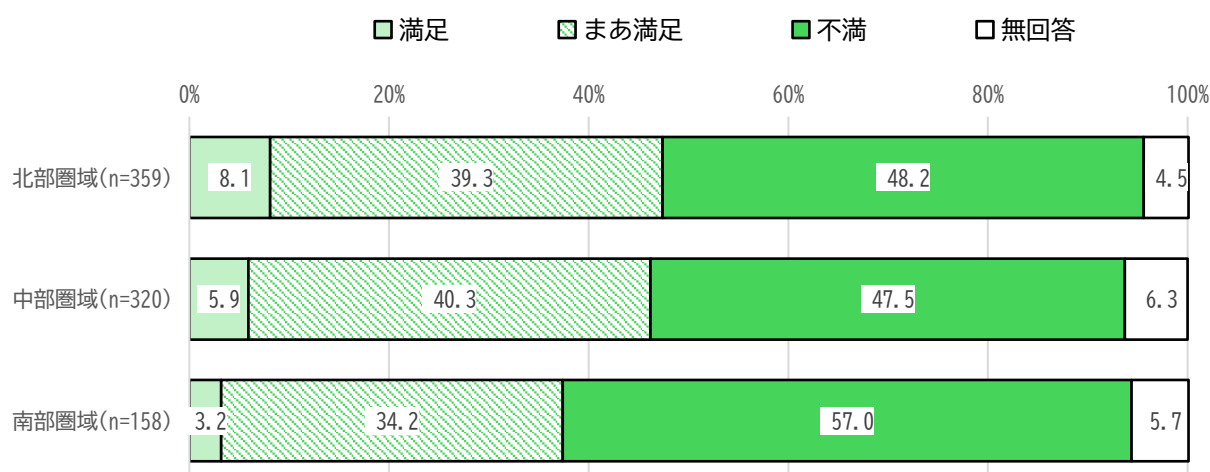
圏域別では、他の圏域と比べ、北部圏域で「満足」（72.7%）の割合が高くなっています。



⑧高齢者の移動手段・公共交通機関の整備状況

【圏域別】

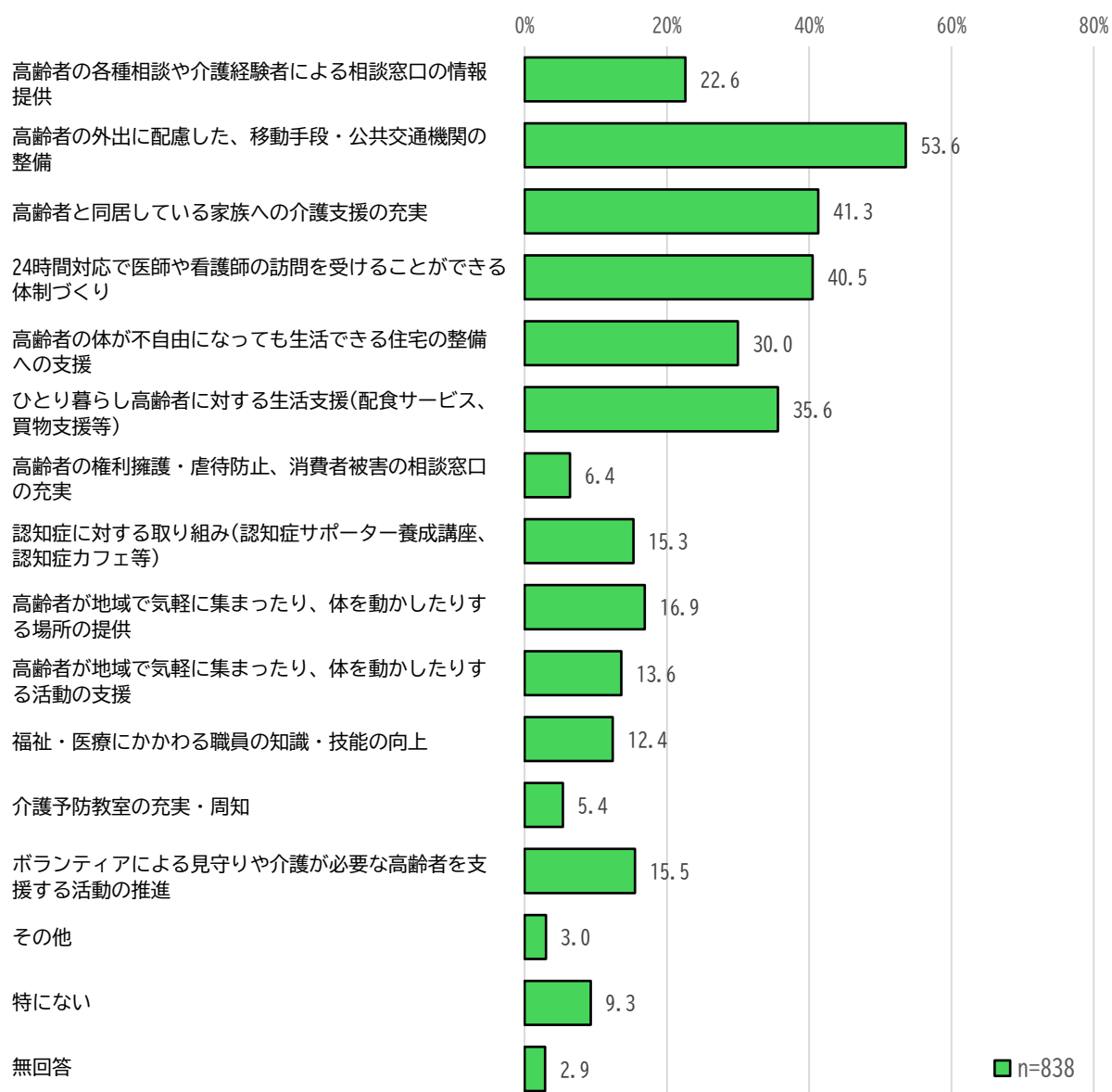
圏域別では、他の圏域と比べ、南部圏域で「不満」（57.0%）の割合が高くなっています。



問6－1 高齢社会に対して、今後、市に力を入れてほしいことは何ですか。

(〇は5つまで)

「高齢者の外出に配慮した、移動手段・公共交通機関の整備」(53.6%)の割合が最も高くなっており、次いで「高齢者と同居している家族への介護支援の充実」(41.3%)、「24時間対応で医師や看護師の訪問を受けることができる体制づくり」(40.5%)、「ひとり暮らし高齢者に対する生活支援(配食サービス、買物支援等)」(35.6%)、「高齢者の体が不自由になっても生活できる住宅の整備への支援」(30.0%)となっています。

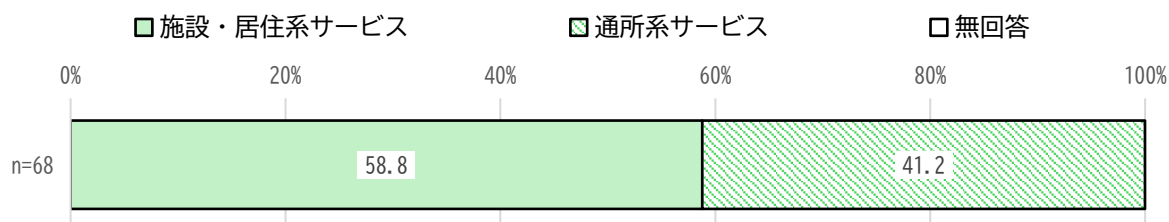


V 事業所調査結果

介護人材実態調査【事業所票】施設・通所系

問1 該当するサービス種別（介護予防を含む）を、ご回答ください。（1つに○）

「施設・居住系サービス」が58.8%、「通所系サービス」が41.2%となっています。

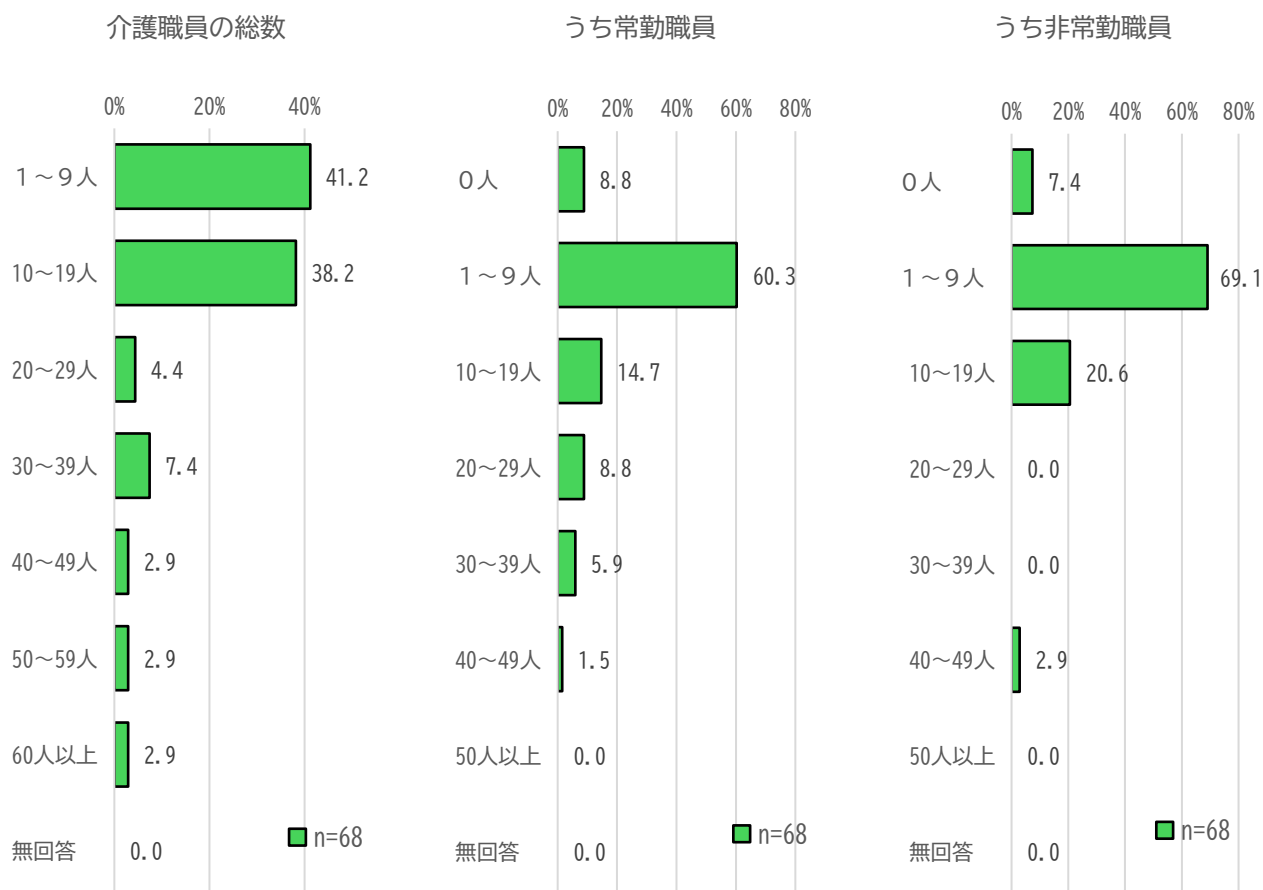


問2-1 介護職員の人数を、ご回答ください。（数値を入力）

介護職員の総数は、「1～9人」（41.2%）の割合が最も高くなっており、次いで「10～19人」（38.2%）、「30～39人」（7.4%）となっています。

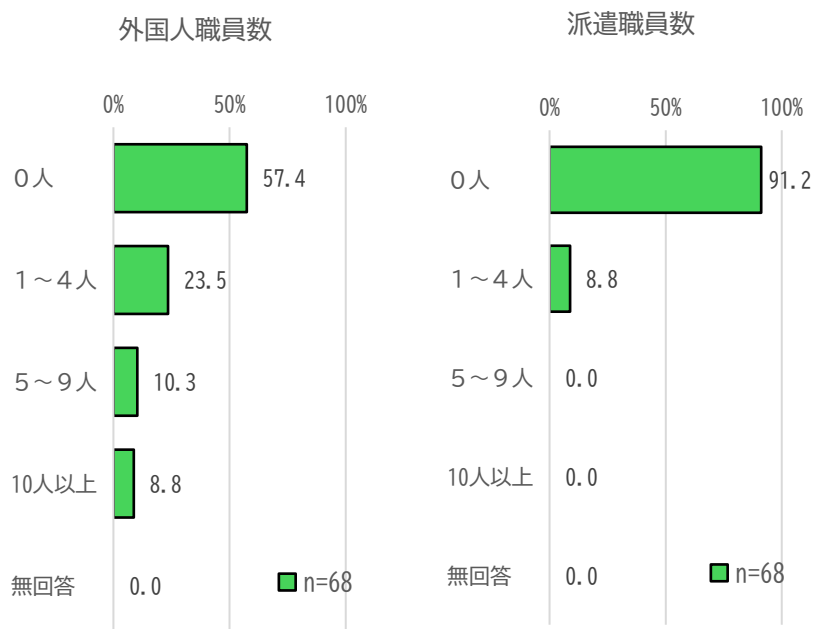
うち常勤職員は「1～9人」（60.3%）の割合が最も高くなっており、次いで「10～19人」（14.7%）、「0人」「20～29人」（各8.8%）となっています。

うち非常勤職員は「1～9人」（69.1%）の割合が最も高くなっており、次いで「10～19人」（20.6%）、「0人」（7.4%）となっています。



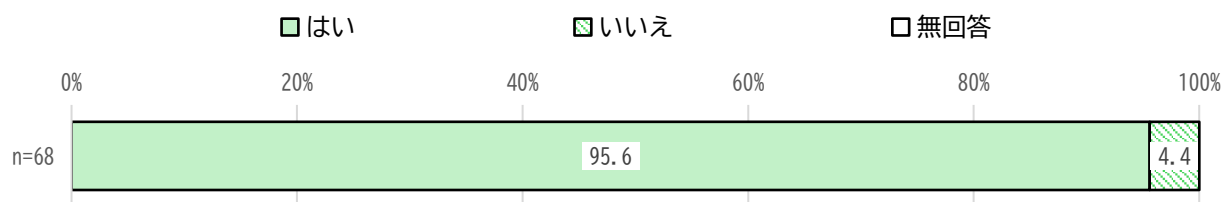
外国人職員数は「0人」（57.4％）の割合が最も高くなっており、次いで「1～4人」（23.5％）、「5～9人」（10.3％）となっています。

派遣職員数は「0人」（91.2％）の割合が最も高くなっており、次いで「1～4人」（8.8％）となっています。



問2-2 貴事業所は開設から1年以上経過していますか。（○は1つ）

「はい」が95.6％、「いいえ」が4.4％となっています。

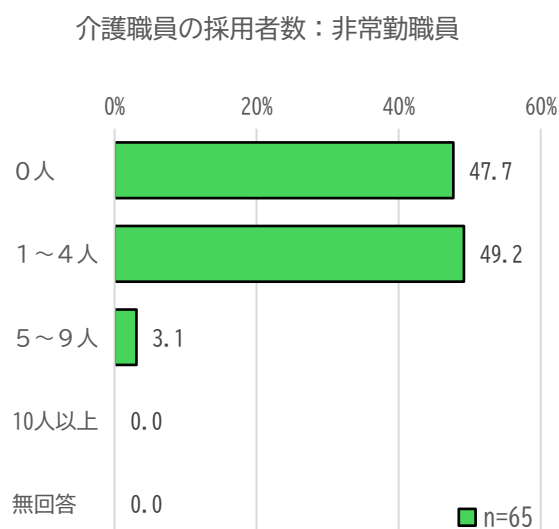
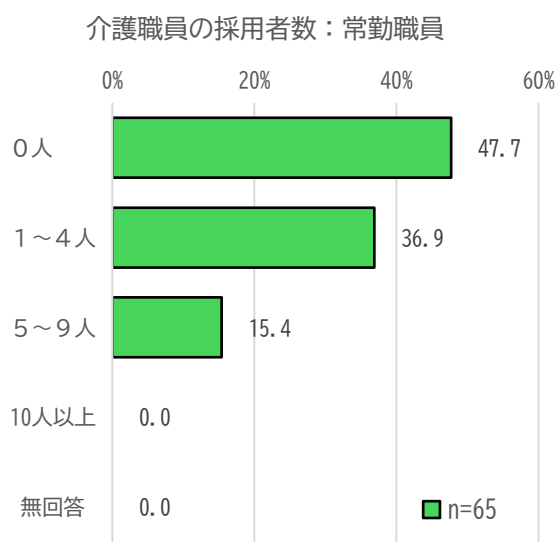


問2-3 R8年1月1日時点で、開設から1年以上を経過している事業所にお伺いします。過去1年間（R7年1月1日～R7年12月31日）の介護職員の採用者数と離職者数を、常勤・非常勤別にご記入ください。外国人人材も含めてご回答ください。（数値を入力）

【採用者数】

常勤職員の採用者数は、「0人」（47.7％）の割合が最も高くなっており、次いで「1～4人」（36.9％）、「5～9人」（15.4％）となっています。

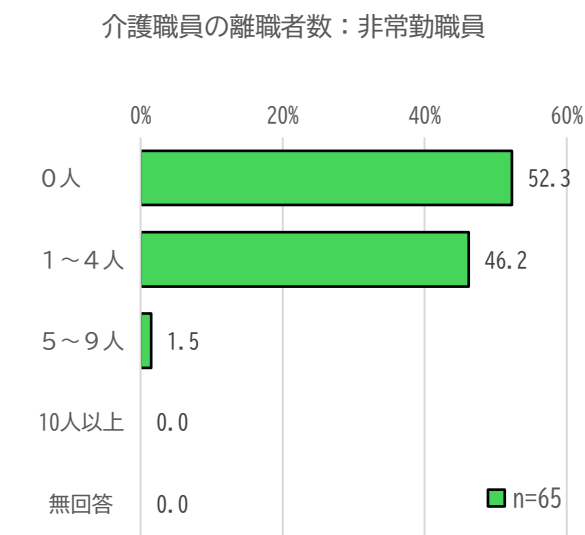
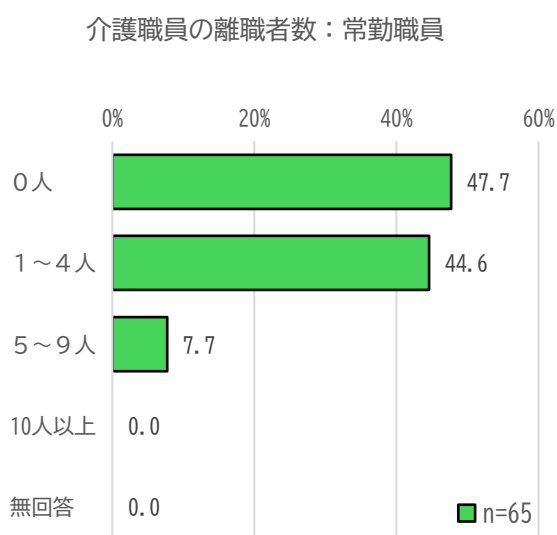
非常勤職員の採用者数は、「1～4人」（49.2％）の割合が最も高くなっており、次いで「0人」（47.7％）、「5～9人」（3.1％）となっています。



【離職者数】

常勤職員の離職者数は、「0人」（47.7％）の割合が最も高くなっており、次いで「1～4人」（44.6％）、「5～9人」（7.7％）となっています。

非常勤職員の離職者数は、「0人」（52.3％）の割合が最も高くなっており、次いで「1～4人」（46.2％）、「5～9人」（1.5％）となっています。



問3 採用や人材定着に関する課題をご回答ください。（自由記述）

- ・人材採用にコストをかけているが、求人の反応が良くない。採用して辞退されることも多い。常勤、日本人、若い人等求める人材の採用が困難です。
- ・経験者が少なくなっており、介護職員の募集が集まらないです。
- ・人材育成に時間を要することができないです。
- ・業務が嫌になって退職する方はほぼいないですが、賃金面、体調面の不安により退職する方が多いです。
- ・体力を要する仕事のため、やりがいで仕事を続けることが難しいです。
- ・離職率が低く勤続年数の長い職員がほとんどで人間関係も良好のため、問題はないです。
- ・人材定着のため、法人の取組として、資格取得、研修等に力を入れています。また、託児所等を設置して子育て世代も安心して働く環境を整えています。
- ・利用者からのハラスメント対策をする必要があります。

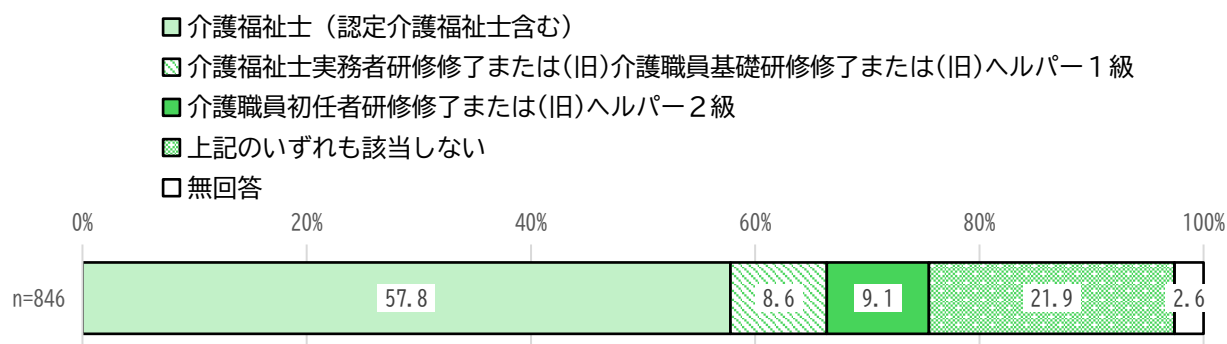
問4 人材確保に関して市町村に期待するサポートがあれば、ご回答ください。（自由記述）

- ・在職職員の給与を上げるために有料の人材紹介に頼らずに人材確保できるよう支援をして欲しいです。
- ・市職員に認知症のことを理解してもらい、介護職の大変さを実感してもらい支援して欲しいです。
- ・地元高校生や大学生と接点を持てるよう、地元開催のハローワーク等で相談会等を開催して欲しいです。
- ・介護職への転職、新規挑戦する方々が現場を見学できる機会等を作って欲しいです。
- ・介護業界全体の人材不足に対する支援や介護業界のイメージアップに協力して欲しいです。
- ・子どもたちが福祉の仕事に触れる機会を増やし、介護の仕事のイメージアップを図って欲しいです。
- ・外国人職員が住居を確保しやすくする等の地域における受入れ体制を整えて欲しいです。
- ・介護職の研修、職業紹介、ハローワーク等からの職業体験をする機会を作ってもらい、介護に対する考え方が変わって介護人材が増えて欲しいです。
- ・介護人材確保への支援金、人材育成等の支援をして欲しいです。

問5 貴施設等に所属している介護職員全員（非常勤含む。ボランティアの方を除く）について、お答えください。

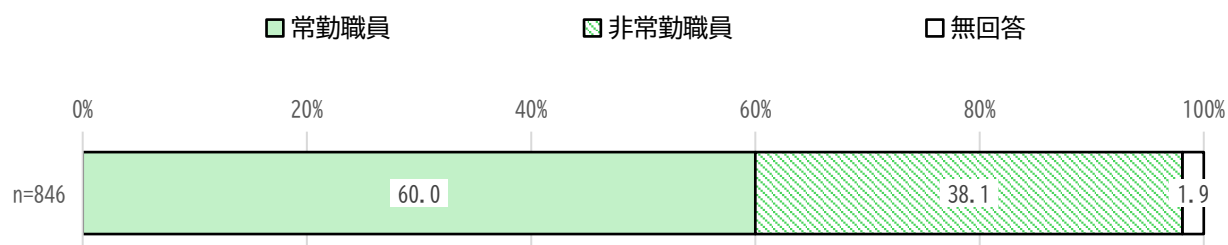
(1) 資格の取得、研修の修了の状況

資格の取得、研修の修了の状況では、「介護福祉士（認定介護福祉士含む）」（57.8%）の割合が最も高くなっており、次いで「介護職員初任者研修修了または(旧)ヘルパー2級」（9.1%）、「介護福祉士実務者研修修了または(旧)介護職員基礎研修修了または(旧)ヘルパー1級」（8.6%）となっています。



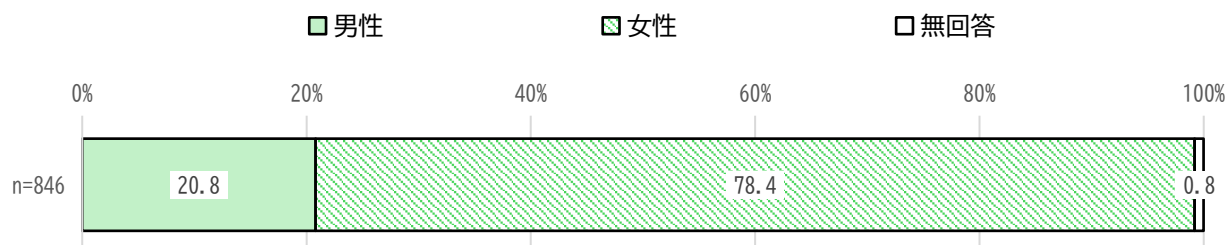
(2) 雇用形態

雇用形態では、「常勤職員」が60.0%、「非常勤職員」が38.1%となっています。



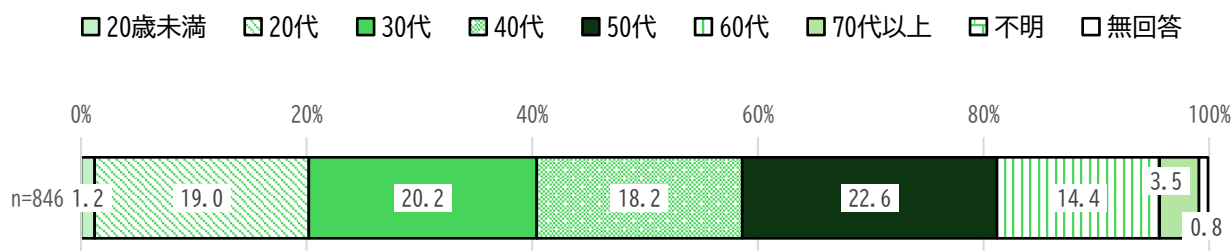
(3) 性別

性別では、「男性」が20.8%、「女性」が78.4%となっています。



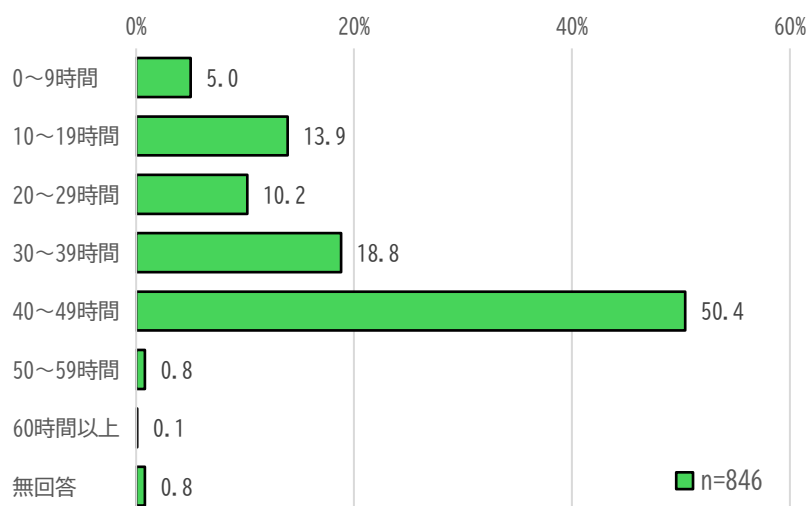
(4) 年齢

年齢では、「50 代」(22.6%)の割合が最も高く、次いで「30 代」(20.2%)、「20 代」(19.0%)となっています。



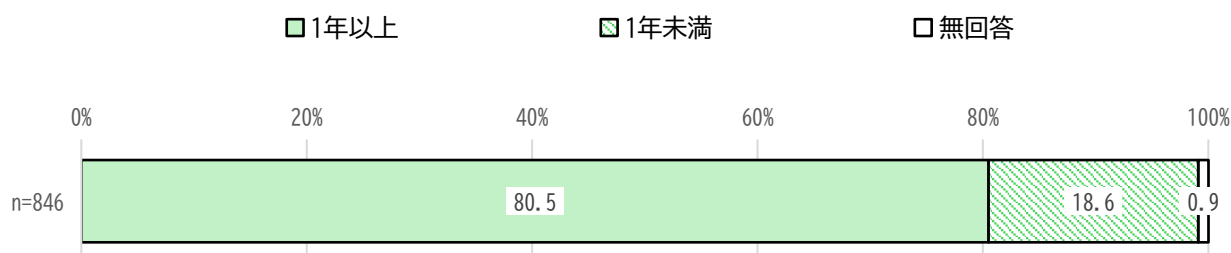
(5) 過去 1 週間の勤務時間

過去 1 週間の勤務時間では、「40～49 時間」(50.4%)の割合が最も高く、次いで「30～39 時間」(18.8%)、「10～19 時間」(13.9%)となっています。



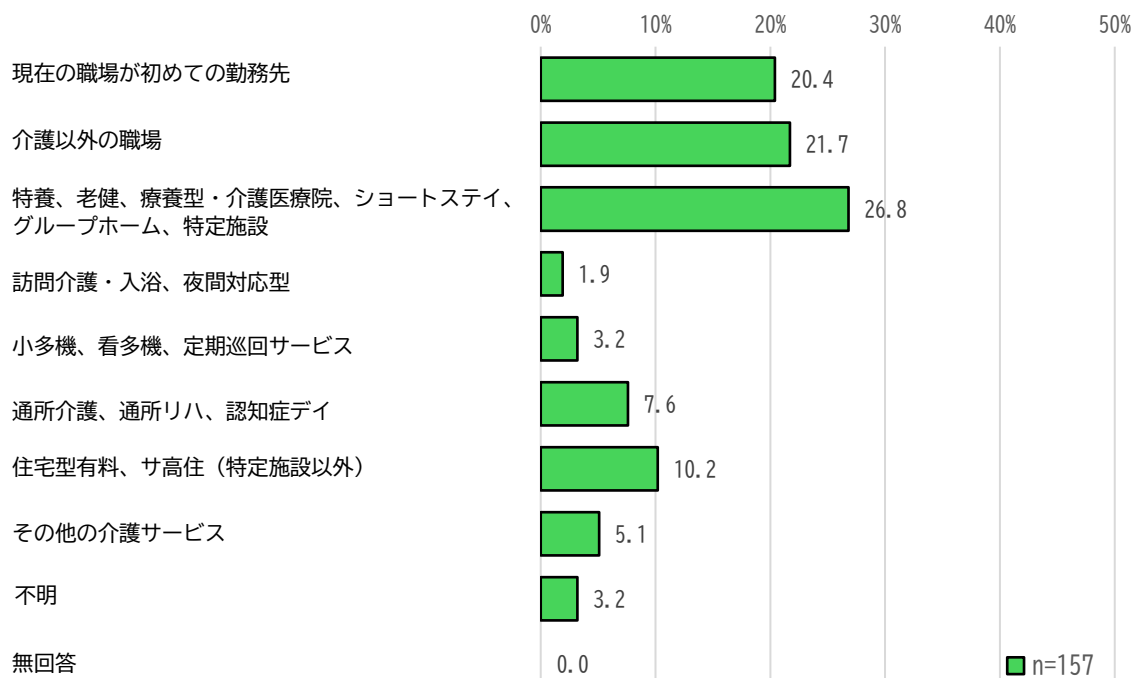
(6) 現在の施設等での勤務年数

現在の施設等での勤務年数では、「1 年以上」が 80.5%、「1 年未満」が 18.6%となっています。



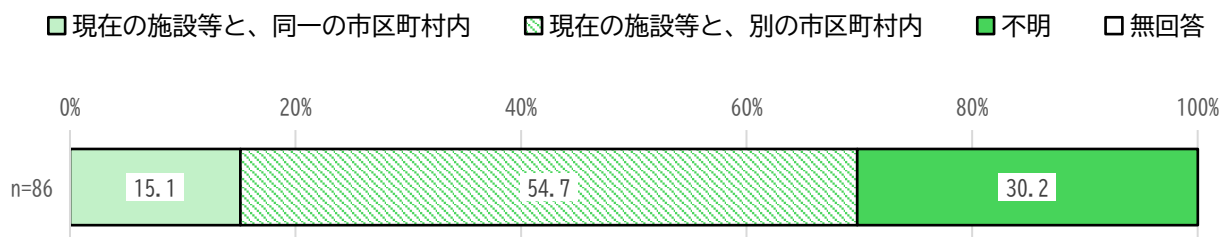
(7) 現在の施設等に勤務する直前の職場

現在の施設等に勤務する直前の職場では、「特養、老健、療養型・介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設」(26.8%)の割合が最も高く、次いで「介護以外の職場」(21.7%)、「現在の職場が初めての勤務先」(20.4%)となっています。



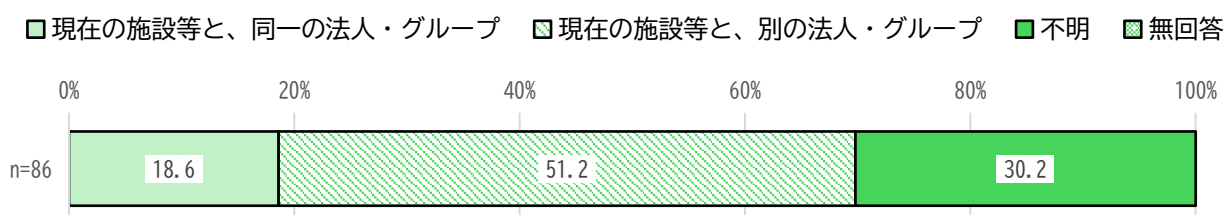
(8) 【場所】直前の職場について

直前の職場の場所については、「現在の施設等と、同一の市区町村内」が 15.1%、「現在の施設等と、別の市区町村内」が 54.7%となっています。



(8) 【法人・グループ】直前の職場について

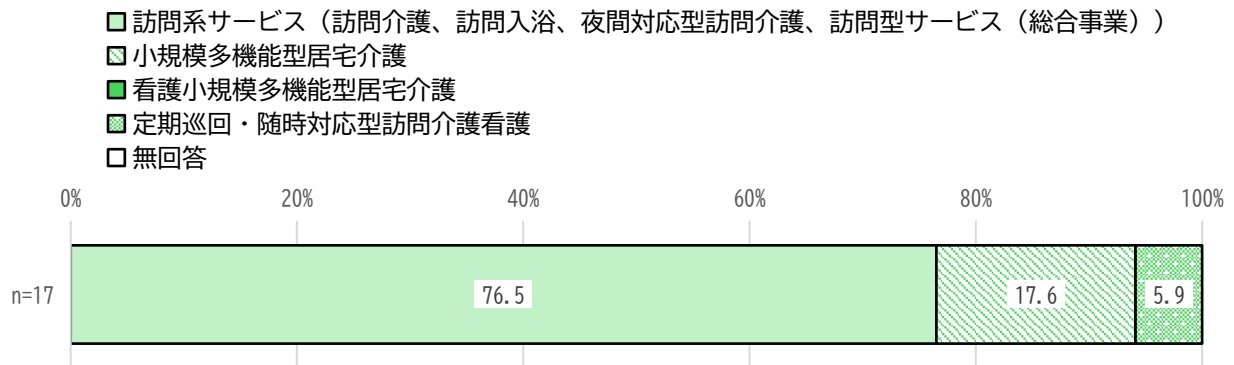
直前の職場の法人・グループについては、「現在の施設等と、同一の法人・グループ」が 18.6%、「現在の施設等と、別の法人・グループ」が 51.2%となっています。



介護人材実態調査【事業所票】訪問系

問1 該当するサービス種別（介護予防を含む）を、ご回答ください。（1つに○）

「訪問系サービス」（76.5%）の割合が最も高くなっており、次いで「小規模多機能型居宅介護」（17.6%）、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」（5.9%）となっています。

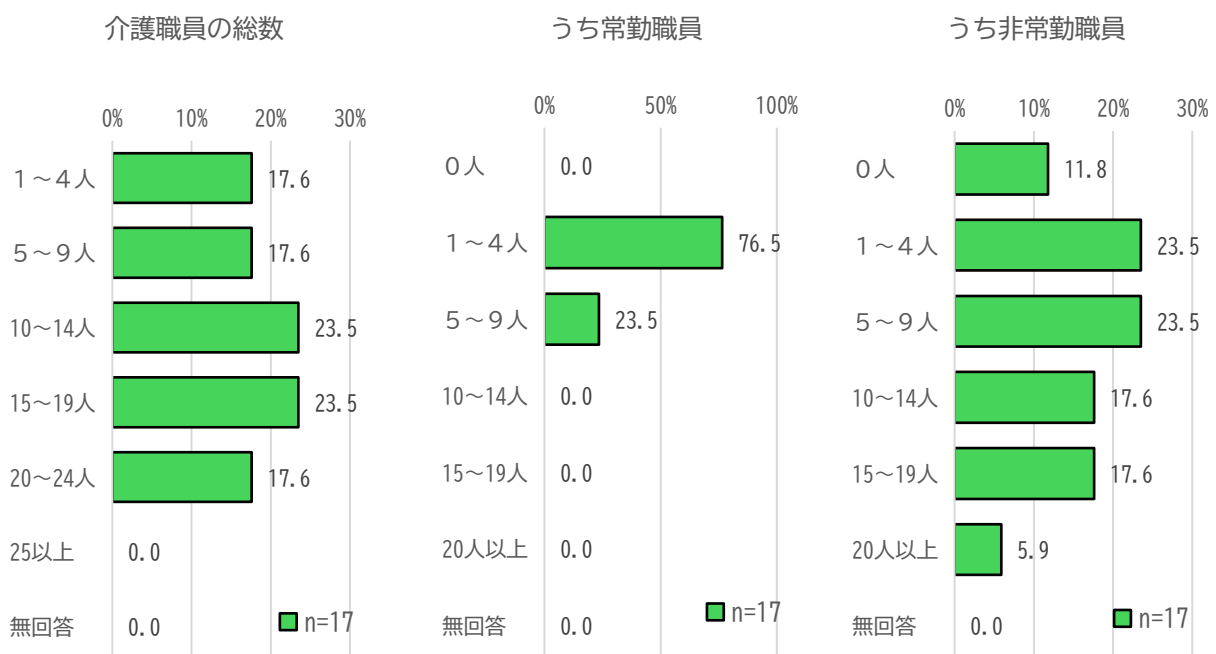


問2-1 介護職員の人数を、ご回答ください。（数値を入力）

介護職員の総数は、「10～14人」「15～19人」（23.5%）の割合が最も高くなっています。

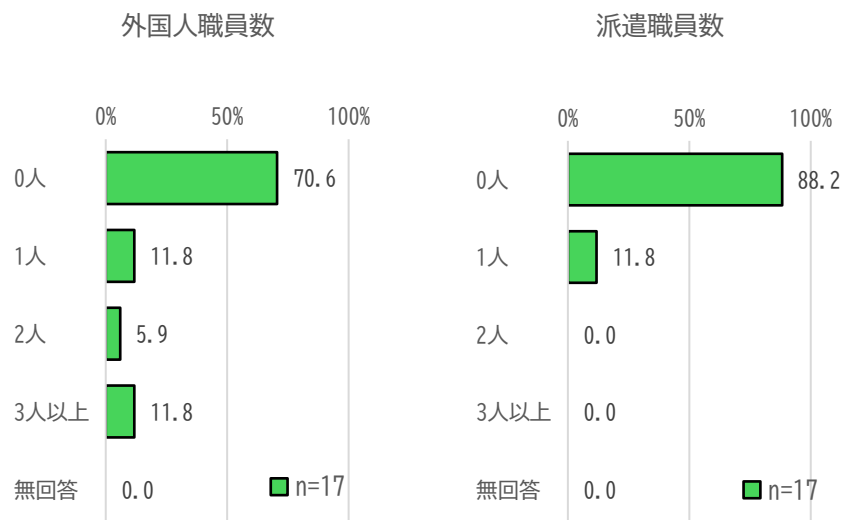
うち常勤職員は「1～4人」（76.5%）の割合が最も高くなっており、次いで「5～9人」（23.5%）となっています。

うち非常勤職員は「1～4人」「5～9人」（23.5%）の割合が最も高くなっており、次いで「10～14人」「15～19人」（17.6%）となっています。



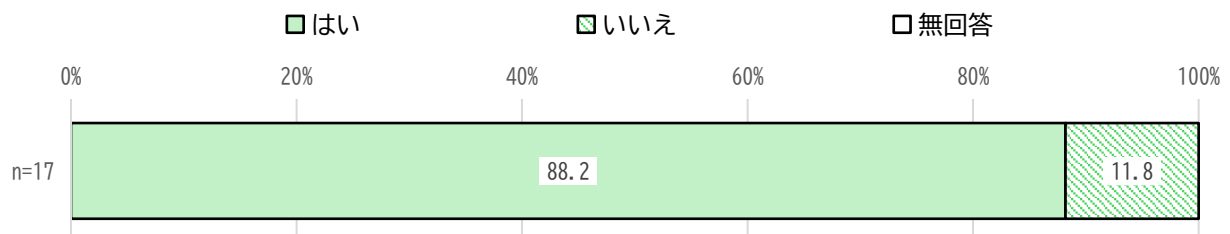
外国人職員数は「0人」（70.6％）の割合が最も高くなっており、次いで「1人」「3人以上」（11.8％）となっています。

派遣職員数は「0人」（88.2％）の割合が最も高くなっており、次いで「1人」（11.8％）となっています。



問2-2 貴事業所は開設から1年以上経過していますか。（1つに○）

「はい」が88.2％、「いいえ」が11.8％となっています。

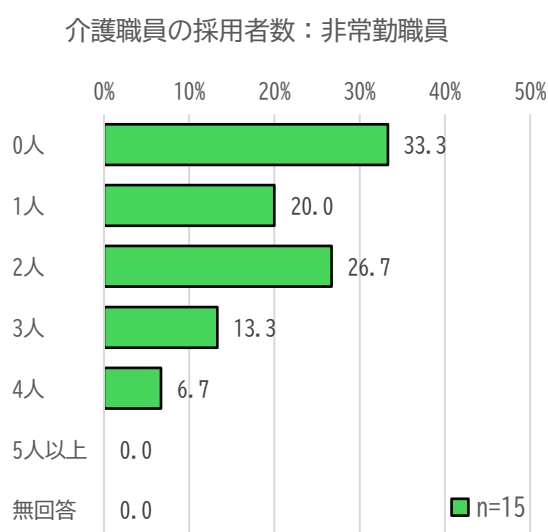
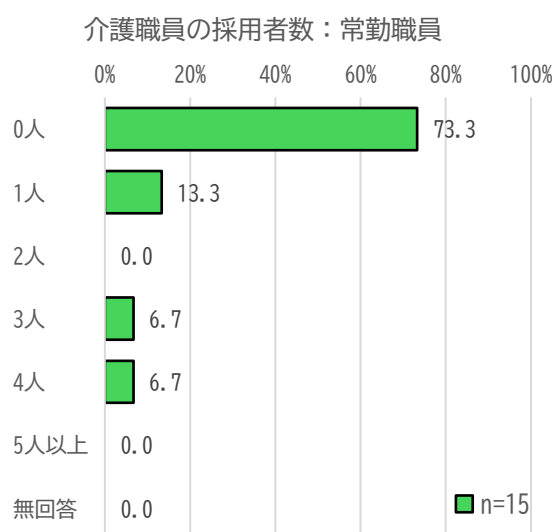


問2-3 R8年1月1日時点で、開設から1年以上を経過している事業所にお伺いします。過去1年間（R7年1月1日～R7年12月31日）の介護職員の採用者数と離職者数を、常勤・非常勤別にご回答ください。外国人人材も含めてご回答ください。（数値を入力）

【採用者数】

常勤職員の採用者数は、「0人」（73.3%）の割合が最も高くなっており、次いで「1人」（13.3%）、「3人」「4人」（6.7%）となっています。

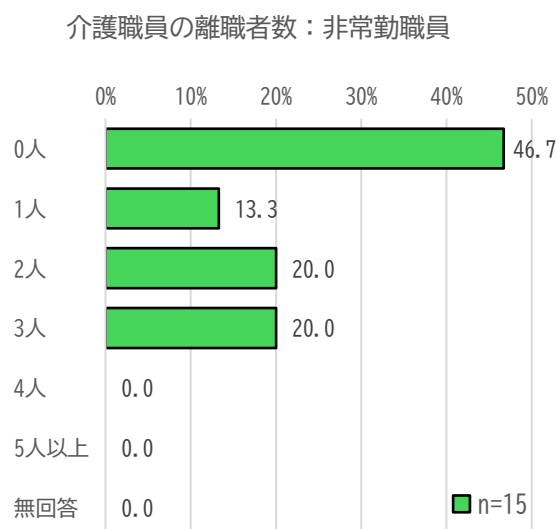
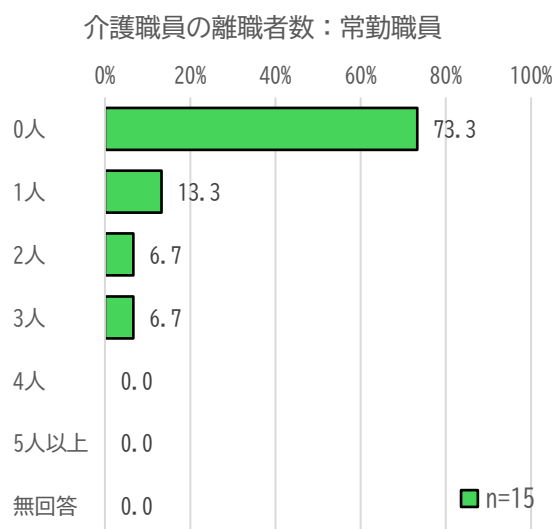
非常勤職員の採用者数は、「0人」（33.3%）の割合が最も高くなっており、次いで「2人」（26.7%）、「1人」（20.0%）となっています。



【離職者数】

常勤職員の離職者数は、「0人」（73.3%）の割合が最も高くなっており、次いで「1人」（13.3%）、「2人」「3人」（6.7%）となっています。

非常勤職員の離職者数は、「0人」（46.7%）の割合が最も高くなっており、次いで「2人」「3人」（20.0%）となっています。



問3 採用や人材定着に関する課題をご回答ください。（自由記述）

- ・ハローワーク等に求人募集を掲載しても応募者が少ないです。特に即戦力、若年層、日本人、車を運転できる人材の応募が少ないです。
- ・少子高齢化の進行により介護人材の確保が困難となっており、採用活動を行っても必要な人材が十分に集まらない状況が続いています。加えて、業務負担の大きさや処遇面への不安から、採用後の早期離職が発生しやすく、人材の定着が大きな課題となっています。
- ・訪問サービスが認知症特有の問題から、一遍通りでは行うことが難しく、介護経験がないもしくは経験が浅い新規採用職員がすぐに行うのは難しいです。
- ・利用者を同乗して送迎することに対して「何かあったら心配」という思いが強く配属に難色を示されます。
- ・送迎の際に訪問サービスを同時に提供する場合に、通常のデイサービス感覚で考えるドライバー（ドライバーは運転のみが仕事）や介護経験がないもしくは経験が浅い職員が行うのは難しいです。
- ・人材定着していますが、感染症が蔓延した場合にはスタッフの人数に不安があります。
- ・資格取得に費用がかかります。
- ・ヘルパーがどのような仕事か知らない人が多いです。
- ・非常勤職員の時給を上げたいですが、扶養や社会保険料への加入を考慮するとサービス提供時間を減らす必要があり、時給を上げることができないため、良い人材を確保することができないです。
- ・定期巡回と訪問の業務内容等の違いが分からず応募してくることが多く、面談の際に業務内容を理解することに時間を要します。

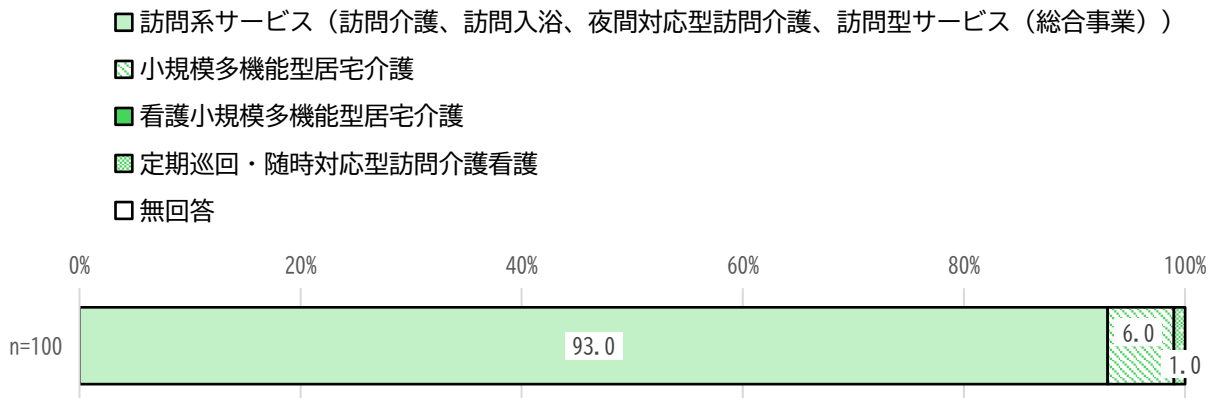
問4 人材確保に関して市町村に期待するサポートがあれば、ご回答ください。（自由記述）

- ・市内就職者への就職支援金制度等を検討して欲しいです。
- ・市主催の合同就職説明会を開催して欲しいです。
- ・求職者と事業所のマッチングする機会を増やして欲しいです。
- ・ハローワーク以外の無料で人材紹介をできるコミュニティ等が設置されることを期待します。
- ・研修費、資格取得支援制度等のさらなる充実を期待します。
- ・介護の仕事の意義や魅力を地域全体で伝える広報・啓発活動への継続的な支援を期待します。
- ・介護従事職員への物品支給・金銭的な補助・厚生年金の軽減による生活支援などを望みます。
- ・特定技能実習生の訪問サービスを可能として欲しいです。
- ・特定技能実習生から介護ビザへ変更となった介護福祉士の運転免許取得補助、全職員数における特定技能実習生の受け入れ割合による処遇改善を望みます。
- ・ケアマネをはじめルールに則った厳格なケアを受ける体制を指導して欲しいです。

介護人材実態調査【職員票】訪問系

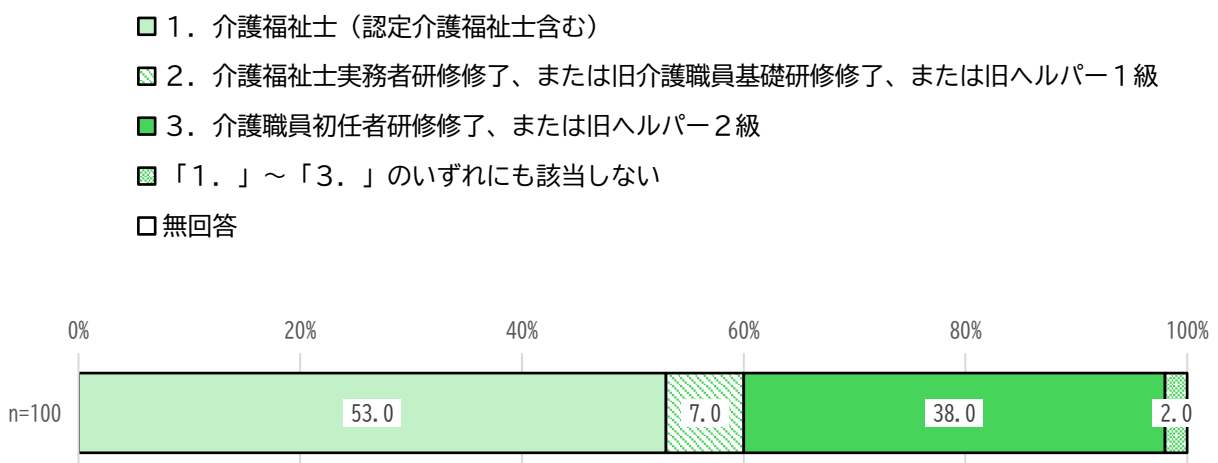
問1 あなたが、本調査票を受け取った事業所で提供するサービス種別（介護予防を含む）について、ご回答ください。（1つ選択）

「訪問系サービス」（93.0%）の割合が最も高くなっており、次いで「小規模多機能型居宅介護」（6.0%）、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」（1.0%）となっています。



問2 あなたの資格の取得、研修の修了の状況について、ご回答ください。（1つ選択）

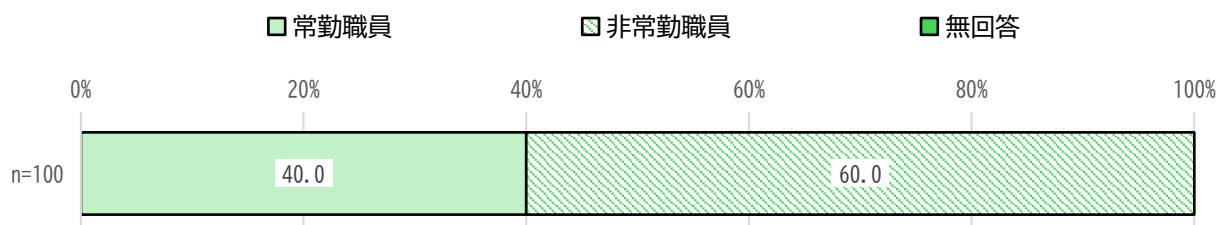
「介護福祉士（認定介護福祉士含む）」（53.0%）の割合が最も高くなっており、次いで「介護職員初任者研修修了、または旧ヘルパー2級」（38.0%）、「介護福祉士実務者研修修了、または旧介護職員基礎研修修了、または旧ヘルパー1級」（7.0%）となっています。



問3 あなたの雇用形態、性別、年齢、過去1週間の勤務時間等について、ご回答ください。

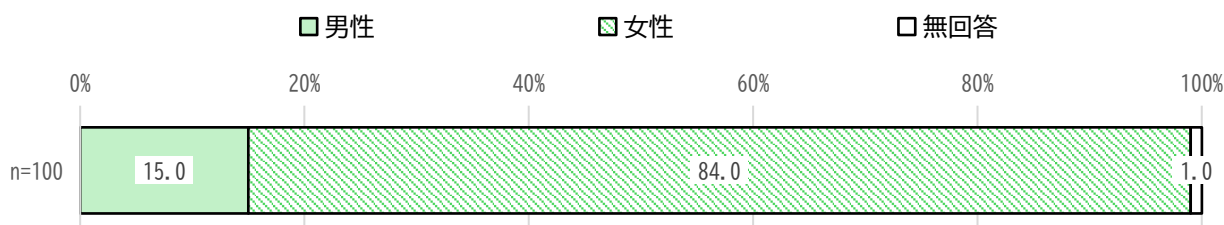
(1) 雇用形態

「常勤職員」が40.0%、「非常勤職員」が60.0%となっています。



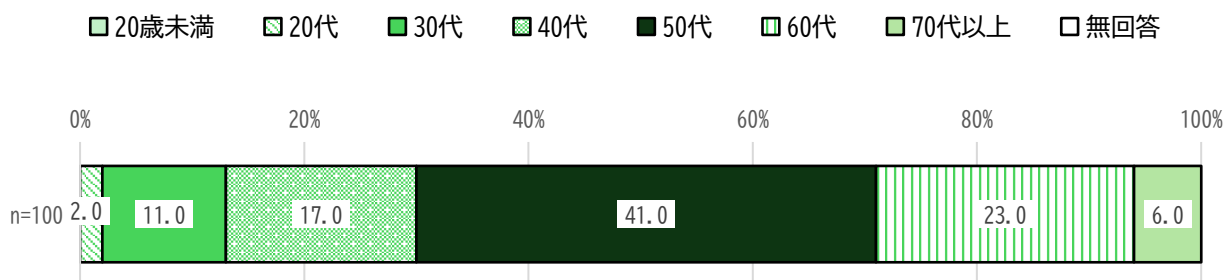
(2) 性別

「男性」が15.0%、「女性」が84.0%となっています。



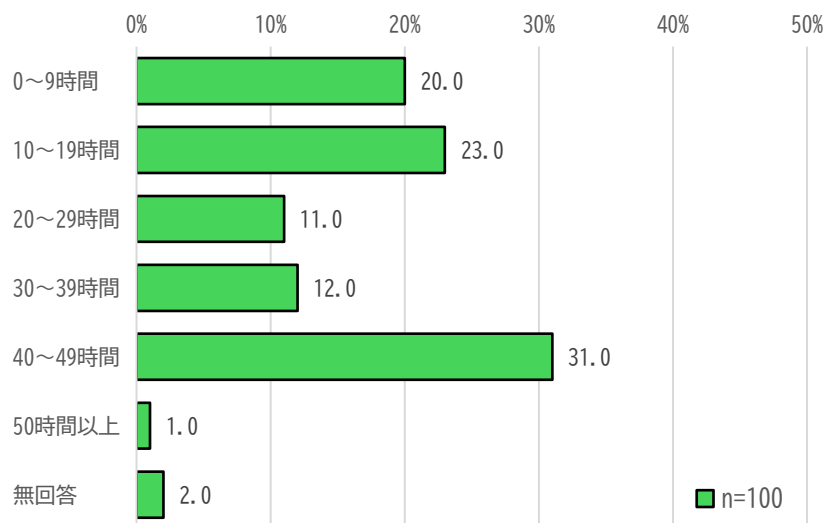
(3) 年齢

「50代」(41.0%)の割合が最も高くなっており、次いで「60代」(23.0%)、「40代」(17.0%)となっています。



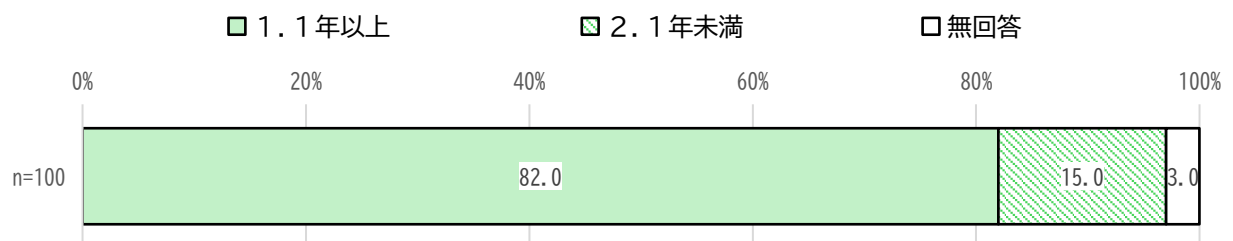
(4) 過去 1 週間の勤務時間

「40～49 時間」(31.0%)の割合が最も高くなっており、次いで「10～19 時間」(23.0%)、「0～9 時間」(20.0%)となっています。



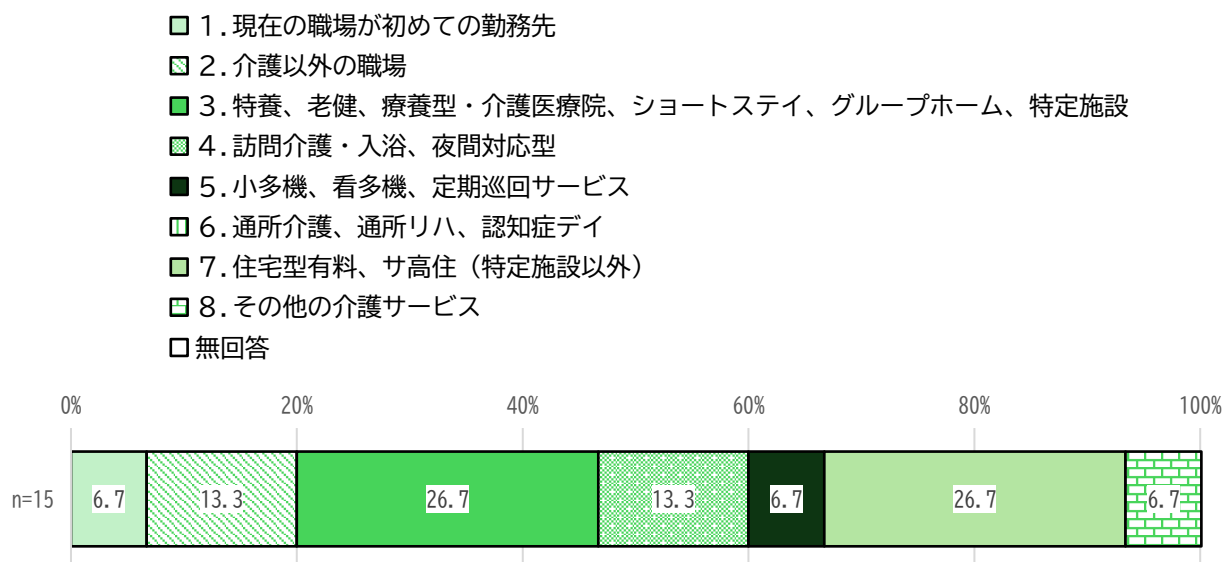
(5) 現在の事業所での勤務年数

「1 年以上」が 82.0%、「1 年未満」が 15.0%となっています。



問4【問3の（5）で「2.」と回答された方】現在の事業所に勤務する直前の職場について、以下にご回答ください。

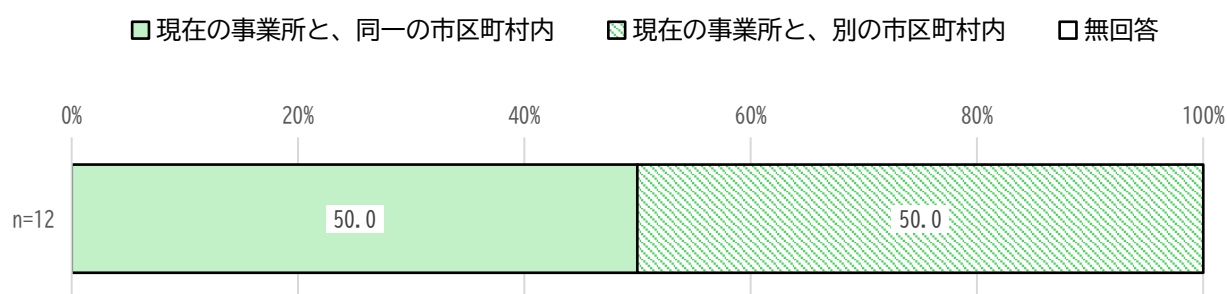
「特養、老健、療養型・介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設」「住宅型有料、サ高住（特定施設以外）」（各 26.7%）の割合が最も高くなっており、次いで「介護以外の職場」「訪問介護・入浴、夜間対応型」（各 13.3%）となっています。



問5【問4で「3.」～「8.」と回答された方】ご回答いただいた直前の職場について、以下にご回答ください。

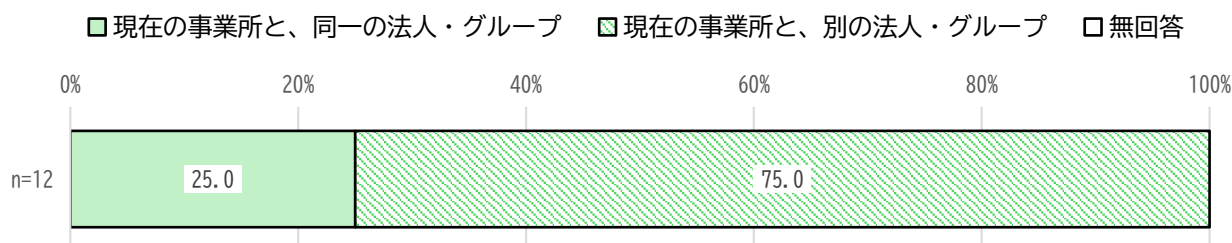
（問 5-1）直前の職場について①場所

「現在の事業所と、同一の市区町村内」「現在の事業所と、別の市区町村内」がそれぞれ 50.0%となっています



（問 5-2）直前の職場について②法人

「現在の事業所と、同一の法人・グループ」が 25.0%、「現在の事業所と、別の法人・グループ」が 75.0%となっています。

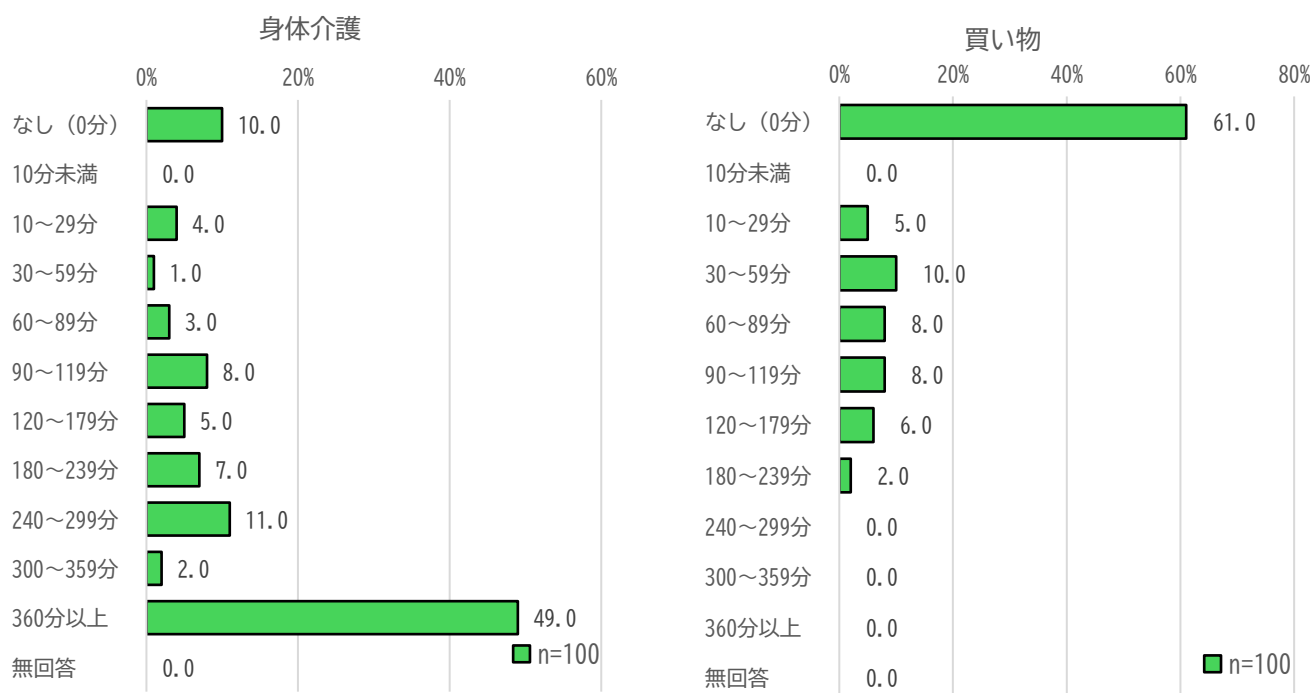


問 6 この調査は、「訪問介護員」を対象とした調査です。「訪問介護」、「訪問入浴」、「夜間対応型訪問介護」、「訪問型サービス（総合事業）」、「定期巡回サービス」、「小規模多機能型居宅介護」、「看護小規模多機能型居宅介護」に従事されている方にお聞きします。

（1）7 日間の勤務で、介護給付による訪問で費やした時間

身体介護では「360分以上」（49.0%）の割合が最も高くなっており、次いで「240～299分」（11.0%）、「90～119分」（8.0%）となっています。一方、「なし（0分）」が 10.0%となっています。

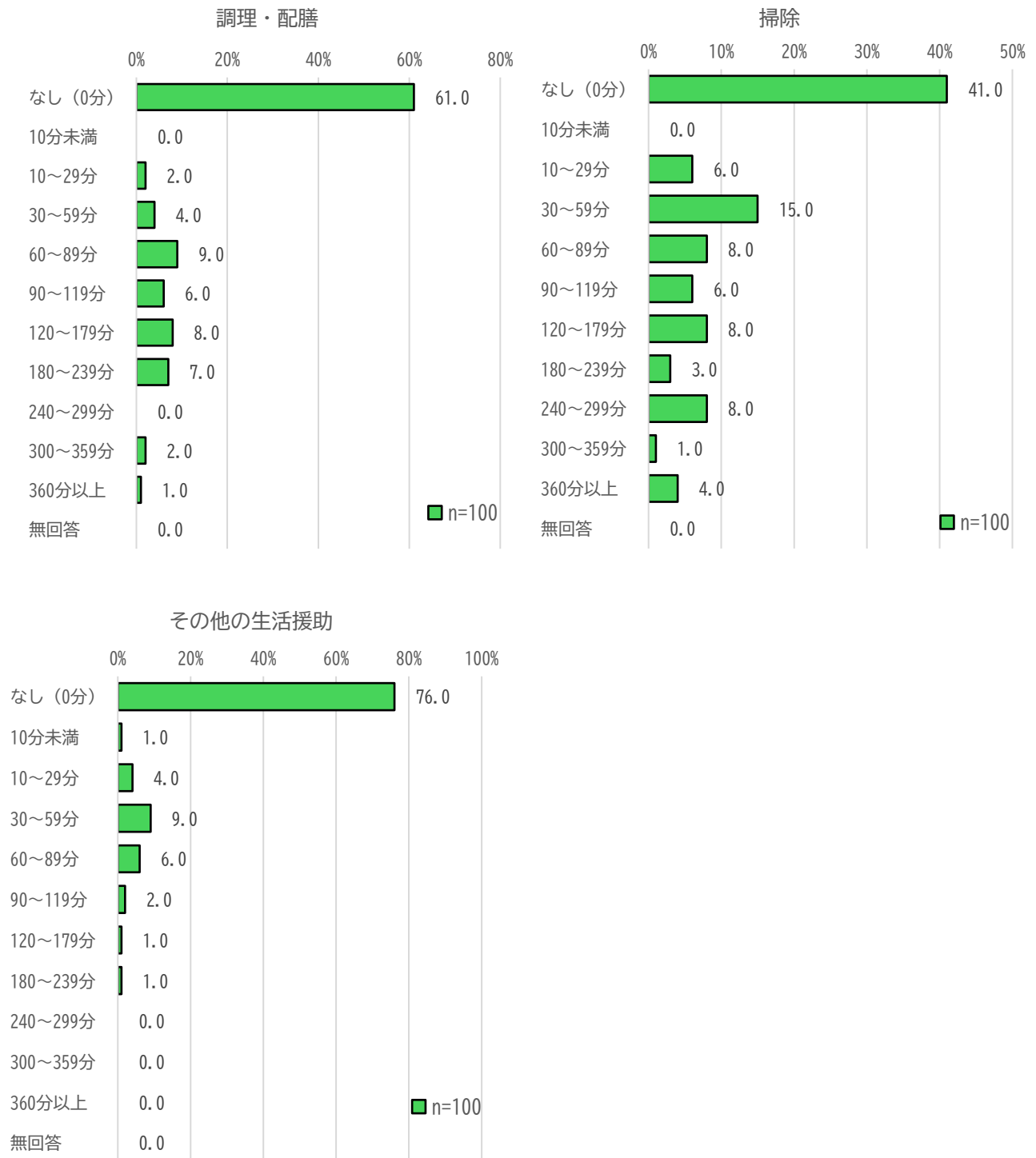
買い物では「30～59分」（10.0%）、次いで「60～89分」「90～119分」（各 8.0%）となっています。一方、「なし（0分）」（61.0%）の割合が最も高くなっています。



調理・配膳では「60～89分」（9.0%）、次いで「120～179分」（8.0%）、「180～239分」（7.0%）となっています。一方、「なし（0分）」（61.0%）の割合が最も高くなっています。

掃除では「30～59分」（15.0%）、次いで「60～89分」「120～179分」「240～299分」（各8.0%）となっています。一方、「なし（0分）」（41.0%）の割合が最も高くなっています。

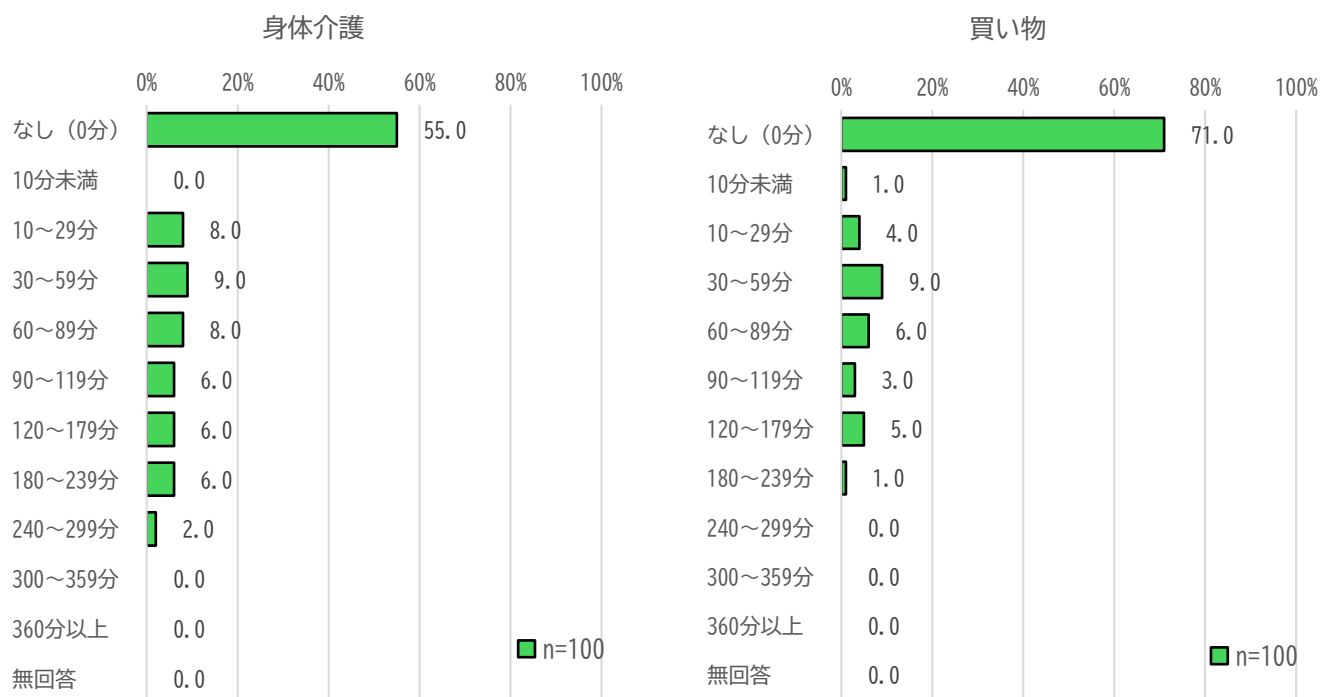
その他の生活援助では「30～59分」（9.0%）、次いで「60～89分」（6.0%）、「10～29分」（4.0%）となっています。一方、「なし（0分）」（76.0%）の割合が最も高くなっています。



(2) 7日間の勤務で、介護予防給付・総合事業による訪問で費やした時間

身体介護では「30～59分」（9.0%）、次いで「10～29分」「60～89分」（各8.0%）となっています。一方、「なし（0分）」（55.0%）の割合が最も高くなっています。

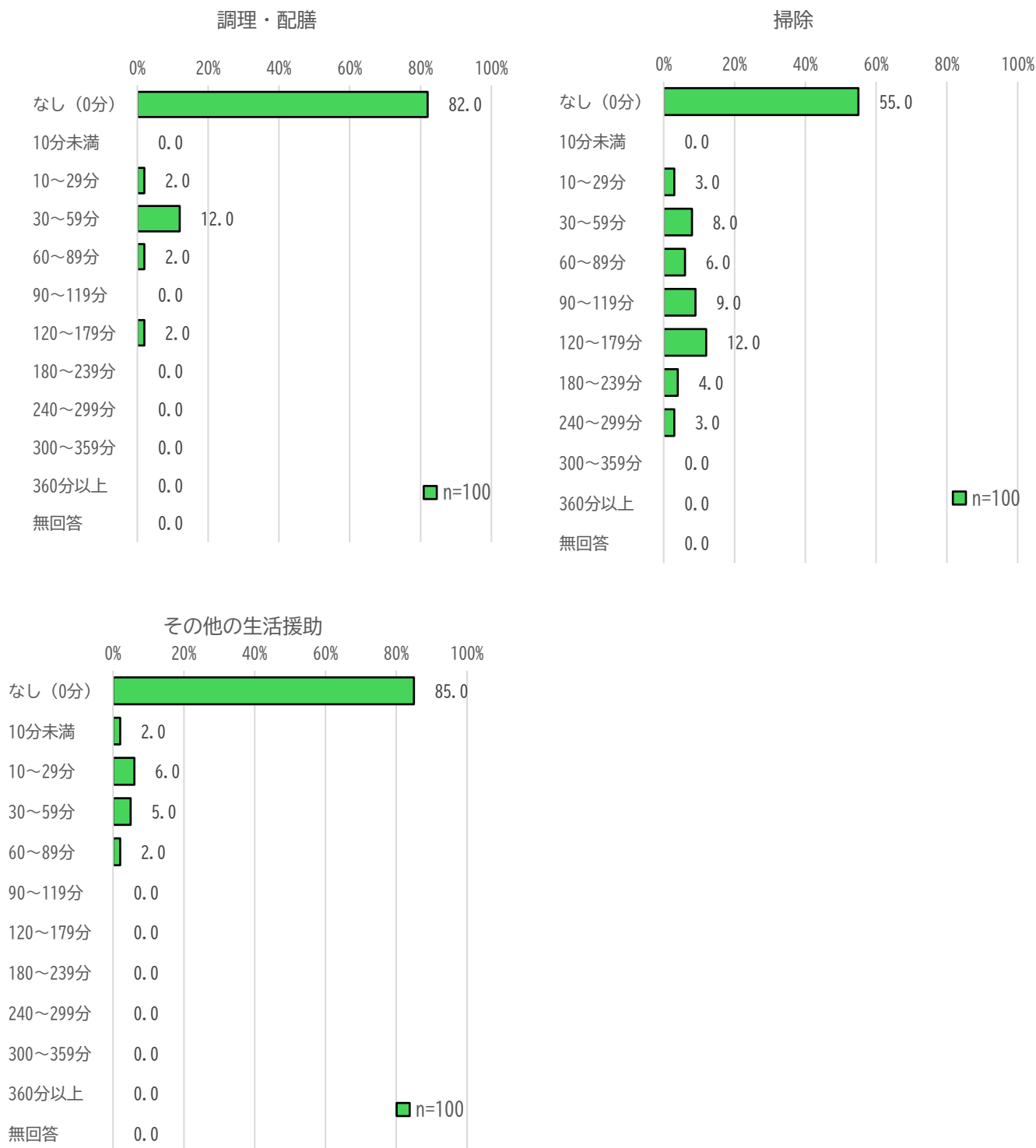
買い物では「30～59分」（9.0%）、次いで「60～89分」（6.0%）、「120～179分」（5.0%）となっています。一方、「なし（0分）」（71.0%）の割合が最も高くなっています。



調理・配膳では「30～59分」（12.0%）、次いで「10～29分」「60～89分」「120～179分」（各 2.0%）となっています。一方、「なし（0分）」が82.0%となっています。

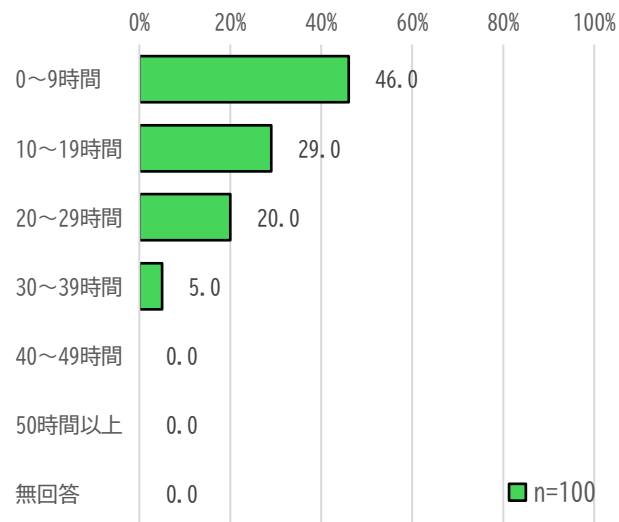
掃除では「120～179分」（12.0%）、次いで「90～119分」（9.0%）、「30～59分」（8.0%）となっています。一方、「なし（0分）」（55.0%）の割合が最も高くなっています。

その他の生活援助では「10～29分」（6.0%）、次いで「30～59分」（5.0%）、「10分未満」「60～89分」（各 2.0%）となっています。一方、「なし（0分）」（85.0%）の割合が最も高くなっています。



(3) 7日間の勤務で、費やした時間の合計

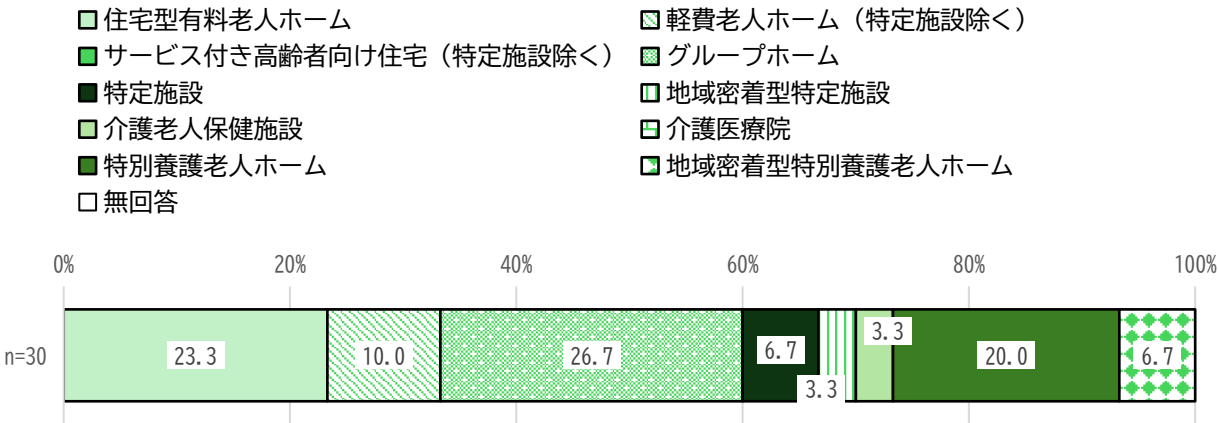
7日間の勤務で費やした時間の合計では「0～9時間」（46.0％）の割合が最も高くなり、次いで「10～19時間」（29.0％）、「20～29時間」（20.0％）となっています。



居所変更実態調査【施設等票】

問1 該当するサービス種別をご回答ください。（1つに○）

「グループホーム」（26.7%）の割合が最も高くなっており、次いで「住宅型有料老人ホーム」（23.3%）、「特別養護老人ホーム」（20.0%）となっています。



問2 貴施設等の概要について、以下にご回答ください。

定員の合計は1,132（人・戸・室）、入所・入居者数の合計は1,058人となっています。
 サービス種別で見ると、地域密着型特定施設を除くいずれの施設等でも入所・入居率は8割以上となっています。

	件数	定員（人・戸・室）		入所・入居者数（人）		入所・入居率（%）
		合計	平均	合計	平均	
住宅型有料老人ホーム	7	198	28.3	172	24.6	86.9
軽費老人ホーム	3	170	56.7	160	53.3	94.1
サービス付き高齢者向け住宅	0	0	0.0	0	0.0	0.0
グループホーム	8	108	13.5	108	13.5	100.0
特定施設	2	64	32.0	64	32.0	100.0
地域密着型特定施設	1	10	10.0	0	0.0	0.0
介護老人保健施設	1	100	100.0	87	87.0	87.0
介護医療院	0	0	0.0	0	0.0	0.0
特別養護老人ホーム	6	424	70.7	410	68.3	96.7
地域密着型特別養護老人ホーム	2	58	29.0	57	28.5	98.3
合計	30	1,132	37.7	1,058	35.3	93.5

待機者数の合計は148人、入所・入居者のうち特別養護老人ホームの待機者数（申込者数）の合計は10人となっています。

サービス種別で見ると、待機者数では「特別養護老人ホーム」（75人）が最も多く、次いで「グループホーム」（31人）、「軽費老人ホーム」（25人）となっています。

特別養護老人ホームの申込者数では、「グループホーム」「特定施設」（各3人）が最も多くなっており、次いで「住宅型有料老人ホーム」「介護老人保健施設」（各2人）となっています。

	件数	当該施設の待機者数（人）		当該施設入所・入居者のうち特養の待機者数（申込者数）（人）	
		合計	平均	合計	平均
住宅型有料老人ホーム	7	9	1.3	2	0.3
軽費老人ホーム	3	25	8.3	0	0.0
サービス付き高齢者向け住宅	0	0	0.0	0	0.0
グループホーム	8	31	3.9	3	0.4
特定施設	2	2	1.0	3	1.5
地域密着型特定施設	1	0	0.0	0	0.0
介護老人保健施設	1	0	0.0	2	2.0
介護医療院	0	0	0.0	0	0.0
特別養護老人ホーム	6	75	12.5		
地域密着型特別養護老人ホーム	2	6	3.0		
合計	30	148	4.9	10	0.5

問3 現在の入所・入居者の要支援・要介護度別の人数について、ご回答ください。
（数値を入力）

全体では、「要介護3」（254人）が最も多くなっており、次いで「要介護4」（253人）、「要介護5」（182人）となっています。

サービス種別では、住宅型有料老人ホームでは「要介護5」、軽費老人ホームでは「自立」、グループホームでは「要介護1」、特定施設・地域密着型特定施設・介護老人保健施設では「要介護2」、特別養護老人ホームでは「要介護3」、地域密着型特別養護老人ホームでは「要介護4」の人数がそれぞれ最も多くなっています。

											単位：人
	件数	合計	自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中・不明
住宅型有料老人ホーム	7	172	0	4	4	25	25	27	37	44	6
軽費老人ホーム	3	160	89	25	28	13	5	0	0	0	0
サービス付き高齢者向け住宅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
グループホーム	8	108	0	0	0	44	23	25	10	6	0
特定施設	2	64	0	0	1	13	17	13	9	11	0
地域密着型特定施設	1	18	0	0	0	6	7	1	3	1	0
介護老人保健施設	1	87	0	0	0	17	20	17	19	14	0
介護医療院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特別養護老人ホーム	6	410	0	0	0	3	10	153	150	94	0
地域密着型特別養護老人ホーム	2	56	0	0	0	1	0	18	25	12	0
合計	30	1,075	89	29	33	122	107	254	253	182	6

問4 貴施設等で、以下の医療処置が必要な利用者の受け入れは可能ですか。（あてはまる項目全てに○）

受け入れが可能な医療処置について、全体では、「褥瘡の処置」（70.0%）の割合が最も高くなっており、次いで「酸素療法」（60.0%）、「ストーマの処置」（53.3%）となっています。

サービス種別では、「褥瘡の処置」は、住宅型有料老人ホーム、特定施設、介護老人保健施設、特別養護老人ホーム、地域密着型特別養護老人ホームで最も割合が高くなっています。

	件数	点滴の管理	中心静脈栄養	透析	ストーマの処置	酸素療法	レスピレーター	気管切開の処置	疼痛の看護	経管栄養	モニター測定	褥瘡の処置	カテーテル	喀痰吸引	インスリン注射	上記に対応可能な医療処置はない
住宅型有料老人ホーム	7	5 71.4	4 57.1	5 71.4	6 85.7	7 100.0	2 28.6	2 28.6	5 71.4	4 57.1	3 42.9	7 100.0	5 71.4	3 42.9	5 71.4	0 0.0
軽費老人ホーム	3	1 33.3	0 0.0	2 66.7	1 33.3	2 66.7	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0
サービス付き高齢者向け住宅	0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
グループホーム	8	0 0.0	0 0.0	1 12.5	0 0.0	3 37.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 25.0	0 0.0	0 0.0	1 12.5	1 12.5
特定施設	2	2 100.0	2 100.0	2 100.0	2 100.0	2 100.0	0 0.0	1 50.0	1 50.0	2 100.0	1 50.0	2 100.0	2 100.0	2 100.0	2 100.0	0 0.0
地域密着型特定施設	1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
介護老人保健施設	1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	1 100.0	1 100.0	0 0.0
介護医療院	0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
特別養護老人ホーム	6	1 16.7	0 0.0	2 33.3	4 66.7	3 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	6 100.0	0 0.0	6 100.0	3 50.0	2 33.3	3 50.0	0 0.0
地域密着型特別養護老人ホーム	2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	2 100.0	2 100.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0
合計	30	9 30.0	6 20.0	12 40.0	16 53.3	18 60.0	2 6.7	3 10.0	8 26.7	15 50.0	4 13.3	21 70.0	12 40.0	8 26.7	14 46.7	2 6.7

問5 現在、上記の医療処置を受けている入所・入居者の合計人数をご回答ください。（数値を入力）

医療処置を受けている入所・入居者の合計人数は132人で、サービス種別あたりの平均は4.4人となっています。

サービス種別では、住宅型有料老人ホーム（9.7人）の平均が最も多くなっており、次いで特別養護老人ホーム（6.7人）、介護老人保健施設（5.0人）となっています。

	件数	人数	平均
住宅型有料老人ホーム	7	68	9.7
軽費老人ホーム	3	3	1.0
サービス付き高齢者向け住宅	0	0	0.0
グループホーム	8	1	0.1
特定施設	2	6	3.0
地域密着型特定施設	1	0	0.0
介護老人保健施設	1	5	5.0
介護医療院	0	0	0.0
特別養護老人ホーム	6	40	6.7
地域密着型特別養護老人ホーム	2	9	4.5
合計	30	132	4.4

問6 過去1年間（R7年1月1日～R7年12月31日）に、貴施設等に新規で入所・入居した人の人数をご回答ください。（数値を入力）

過去1年間に新規で入所・入居した人の人数について、合計人数は524人で、サービス種別あたりの平均は17.5人となっています。

サービス種別では、介護老人保健施設（71.0人）の平均が最も多くなっており、次いで特別養護老人ホーム（29.2人）、住宅型有料老人ホーム（24.4人）となっています。

	件数	新規の入所・入居者数(人)	
		合計	平均
住宅型有料老人ホーム	7	171	24.4
軽費老人ホーム	3	40	13.3
サービス付き高齢者向け住宅	0	0	0.0
グループホーム	8	21	2.6
特定施設	2	18	9.0
地域密着型特定施設	1	5	5.0
介護老人保健施設	1	71	71.0
介護医療院	0	0	0.0
特別養護老人ホーム	6	175	29.2
地域密着型特別養護老人ホーム	2	23	11.5
合計	30	524	17.5

問7 問6の過去1年間の新規の入所・入居者について、入所・入居する前の居場所別の人数をご回答ください。（数値を入力）

過去1年間の新規の入所・入所者について、入所・入居する前の居場所は、全体では、市内の「病院・診療所」（207人）が最も多くなっており、次いで市内の「自宅」（143人）、市外の「病院・診療所」（122人）となっています。

サービス種別では、住宅型有料老人ホーム・介護老人保健施設・特別養護老人ホームでは市内の「病院・診療所」が、軽費老人ホーム・グループホーム・地域密着型特定施設・地域密着型特別養護老人ホームでは市内の「自宅」が、特定施設では市外の「病院・診療所」が、それぞれ最も多くなっています。

単位：人

	件数	合計	自宅		住宅型有料老人ホーム		軽費老人ホーム		サービス付き高齢者向け住宅		グループホーム		特定施設		地域密着型特定施設	
			市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外
住宅型有料老人ホーム	7	271	7	3	7	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
軽費老人ホーム	3	40	22	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サービス付き高齢者向け住宅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
グループホーム	8	23	16	4	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定施設	2	18	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地域密着型特定施設	1	18	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護老人保健施設	1	71	31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護医療院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特別養護老人ホーム	6	175	37	7	7	2	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0
地域密着型特別養護老人ホーム	2	23	10	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	30	639	143	25	16	6	1	0	0	0	5	0	0	0	0	0

	介護老人保健施設		介護医療院		特別養護老人ホーム		地域密着型特別養護老人ホーム		病院・診療所		その他		入居・入所する前の居場所を把握していない
	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	
住宅型有料老人ホーム	2	0	0	0	2	0	0	0	106	94	0	0	46
軽費老人ホーム	2	0	0	0	2	0	0	0	1	0	1	2	0
サービス付き高齢者向け住宅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
グループホーム	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定施設	1	0	0	0	0	0	0	0	3	10	0	1	0
地域密着型特定施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護老人保健施設	0	0	0	0	0	0	0	0	40	0	0	0	0
介護医療院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特別養護老人ホーム	18	6	0	0	7	1	4	0	51	18	12	0	0
地域密着型特別養護老人ホーム	5	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0
合計	28	8	0	0	11	1	4	0	207	122	13	3	46

ここからは、過去1年間の退去者についてお伺いします。

問8 過去1年間（R7年1月1日～R7年12月31日）に、貴施設等を退去した人の人数をご回答ください。

過去1年間に退去した人の人数について、合計人数は456人で、サービス種別あたりの平均は15.2人となっています。

サービス種別では、介護老人保健施設（51.0人）の平均が最も多くなっており、次いで特別養護老人ホーム（29.5人）、住宅型有料老人ホーム（15.4人）となっています。

	件数	過去1年間の退去者数(人)	
		合計	平均
住宅型有料老人ホーム	7	108	15.4
軽費老人ホーム	3	39	13.0
サービス付き高齢者向け住宅	0	0	0.0
グループホーム	8	23	2.9
特定施設	2	24	12.0
地域密着型特定施設	1	10	10.0
介護老人保健施設	1	51	51.0
介護医療院	0	0	0.0
特別養護老人ホーム	6	177	29.5
地域密着型特別養護老人ホーム	2	24	12.0
合計	30	456	15.2

問9 問8の過去1年間の退去者について、要介護度別の人数をご回答ください。

過去1年間の退去者について、全体では、「要介護4」（76人）が最も多くなっており、次いで「要介護3」（60人）、「要介護5」（57人）となっています。また、「死亡」による退去者は173人となっています。

サービス種別では、住宅型有料老人ホームでは「要介護5」、軽費老人ホームでは「自立」、グループホーム・特定施設では「要介護3」、地域密着型特定施設では「要介護2」と「要介護3」、特別養護老人ホーム・地域密着型特別養護老人ホームでは「要介護4」の人数がそれぞれ最も多くなっています。

単位：人

	件数	合計	自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中・不明	死亡
住宅型有料老人ホーム	7	113	0	0	0	1	2	2	5	6	0	97
軽費老人ホーム	3	39	8	6	6	7	1	4	0	0	1	6
サービス付き高齢者向け住宅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
グループホーム	8	25	0	0	0	4	1	6	3	5	0	6
特定施設	2	24	0	0	0	1	1	2	0	0	0	20
地域密着型特定施設	1	10	0	0	0	2	3	3	2	0	0	0
介護老人保健施設	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護医療院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特別養護老人ホーム	6	177	0	1	0	0	1	39	53	40	0	43
地域密着型特別養護老人ホーム	2	24	0	0	0	0	0	4	13	6	0	1
合計	30	412	8	7	6	15	9	60	76	57	1	173

※ご記入いただいた数値をそのまま掲載しているため、合計値などが一致しない場合があります。

問10 問8でご記入いただいた過去1年間の退去者について、退去先別の人数をご回答ください。

過去1年間の退去者の退去先について、全体では、「死亡」を除いては、市内の「病院・診療所」（98人）が最も多くなっており、次いで市内の「自宅」（36人）、市内の「特別養護老人ホーム」（31人）となっています。

サービス種別では、住宅型有料老人ホーム・特定施設では市外の「病院・診療所」が、軽費老人ホームでは市内・市外の「病院・診療所」が、グループホーム・特別養護老人ホーム・地域密着型特別養護老人ホームでは市内の「病院・診療所」が、特定施設では市内・市外の「自宅」と市外の「グループホーム」と市外の「病院・診療所」が、地域密着型特定施設では市内の「住宅型有料老人ホーム」が、介護老人保健施設では市内の「自宅」が、それぞれ最も多くなっています。

単位：人

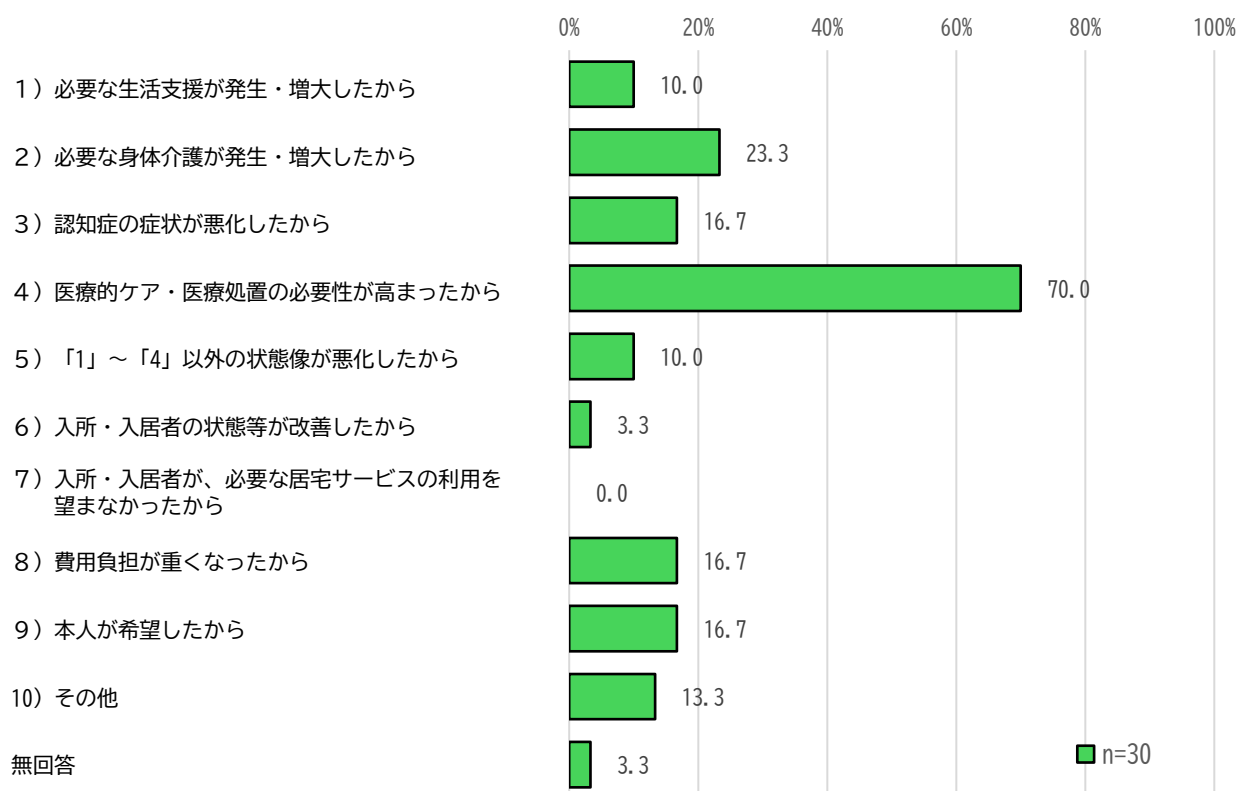
	件数	合計	自宅		住宅型有料老人ホーム		軽費老人ホーム		サービス付き高齢者向け住宅		グループホーム		特定施設		地域密着型特定施設	
			市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外
住宅型有料老人ホーム	7	109	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
軽費老人ホーム	3	39	3	1	1	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0
サービス付き高齢者向け住宅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
グループホーム	8	25	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定施設	2	24	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
地域密着型特定施設	1	10	0	0	4	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
介護老人保健施設	1	51	31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護医療院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特別養護老人ホーム	6	177	1	1	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
地域密着型特別養護老人ホーム	2	24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	30	459	36	4	6	3	0	0	1	0	4	1	2	0	0	0

	介護老人保健施設		介護医療院		病院・診療所		特別養護老人ホーム		地域密着型特別養護老人ホーム		その他		行先を把握していない	死亡
	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外		
住宅型有料老人ホーム	0	0	0	0	0	3	2	0	0	0	0	0	0	101
軽費老人ホーム	2	1	0	0	6	6	3	2	0	0	4	1	0	6
サービス付き高齢者向け住宅	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
グループホーム	0	0	0	0	7	1	3	1	0	0	0	0	0	11
特定施設	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	20
地域密着型特定施設	0	0	0	0	2	0	3	0	0	0	0	0	0	0
介護老人保健施設	0	0	0	0	0	0	11	0	0	0	0	0	0	9
介護医療院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特別養護老人ホーム	1	0	0	0	65	19	4	0	0	1	2	0	0	80
地域密着型特別養護老人ホーム	0	0	0	0	18	0	5	0	0	0	0	0	0	1
合計	3	1	0	0	98	30	31	3	0	1	6	1	0	228

※ご記入いただいた数値をそのまま掲載しているため、合計値などが一致しない場合があります。

問11 貴施設等の入居・入所者が、退去する理由は何ですか。退去理由として最も多いものを3つまで選択してください。（3つまで○）

入居・入所者が退去する理由については、「医療的ケア・医療処置の必要性が高まったから」（70.0％）の割合が最も高くなっており、次いで「必要な身体介護が発生・増大したから」（23.3％）、「認知症の症状が悪化したから」「費用負担が重くなったから」「本人が希望したから」（各 16.7％）となっています。



問12 貴事業所で入居・入所者が退去するのはどのような場合が多いですか。よくあるケースについてお答えください。

- ・ 病気の悪化から、歩けない、食事が1人でできない状況になった場合。
- ・ 身体介護の増加による限度額超過を避けるため、隣接する特定施設へ転居となった時。
- ・ 病院への入院後に医療行為が必要となり治療のためにそのまま退去となった時。
- ・ 要介護3以上になり、費用面の負担から特別養護老人ホームに入所となった場合。
- ・ 施設または搬送先で亡くなられた時。
- ・ 老衰により、経口摂取ができなくなり入院加療が必要となった時。
- ・ 看取り対応を行っていないため、看取り期が近づいた時に元気な段階で看取りの施設を選択される方は同法人の他施設へ移動します。最期は医療処置を希望される方はできる限り支援を行い、入院が必要な状態で入院されます。
- ・ 急変により入院した後に退院許可がおりても施設の医療行為の兼ね合いで受け入れができず、契約解除になった場合。
- ・ 夫婦のうち、どちらかが既に特別養護老人ホームに入所しており、キーパーソンをはじめとして家族が、夫婦で過ごさせてあげたいと考え、要介護3以上になった時。
- ・ 要支援2の利用者で「自分は認知症ではない」「ここ（グループホーム）で過ごす必要はない」という考えが強く、家族へのその旨を訴えるが解決できず、自傷行為が繰り返しあったために、主治医と相談し、精神病院へ入院となった場合。
- ・ 経口摂取が困難となり、点滴管理を余儀なくされて退去する場合。
- ・ 自宅での介護が難しくなり、家族の負担軽減のため、施設を退去し転院となった時。 稀に、家族による虐待が発覚し、転院する場合もある。
- ・ 身の回りの事が自身で出来なくなり在宅介護では賄えなくなった時。
- ・ 要介護状態となり養護老人ホームでの支援では対応できなくなった場合。
- ・ 入院が長期化し医療的ケア、医療処置の必要性が高くなった時。

在宅生活改善調査【事業所票】

問1 貴事業所に所属するケアマネジャーの人数、および利用者数について、ご回答ください。（数値を入力）

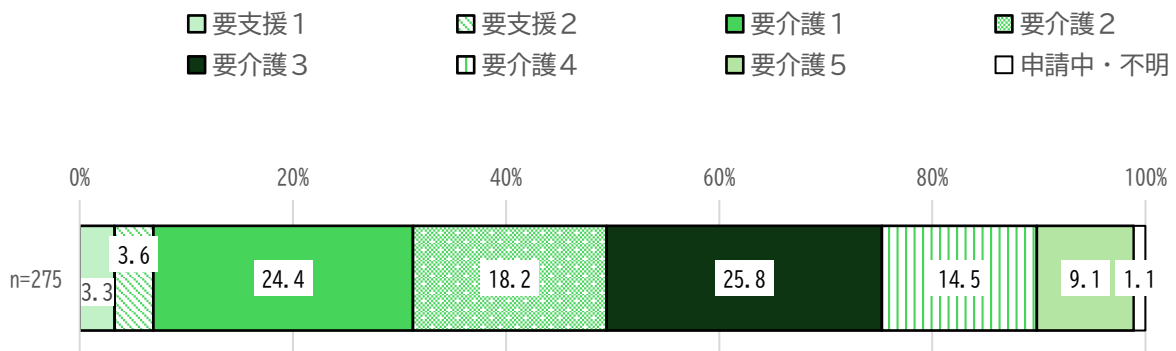
所属するケアマネジャーの人数は、22 事業所で合計 67 人となっています。

自宅等にお住まいの利用者数は、22 事業所で合計 2,034 人となっています。サービス付き高齢者向け住宅・住宅型有料老人ホーム・軽費老人ホームのいずれかにお住まいの利用者数は、22 事業所で合計 261 人となっており、利用者数は総計 2,295 人となっています。

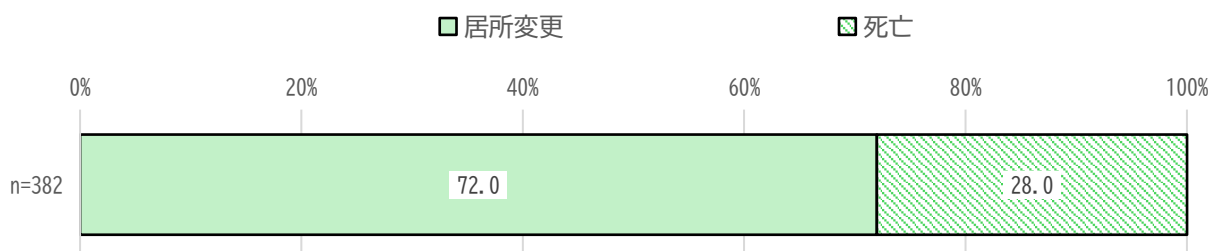
	件数	合計	最小	最大
1) 所属するケアマネジャーの人数	22	67	1	7
2) 「自宅等（3）を除く）」にお住まいの利用者数	22	2,034	0	289
3) 「サ高住」・「住宅型有料」・「軽費老人ホーム」にお住まいの利用者数	22	261	0	43

問2 貴事業所において、過去1年の間に「自宅等（サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームを除く）から、居場所を変更した要介護度別の利用者数」と「自宅等で死亡した利用者数」をご回答ください。（数値を入力）

自宅等から居場所を変更した要介護度別の利用者数の割合では、「要介護3」（26.1％）の割合が最も高くなっており、次いで「要介護1」（24.6％）、「要介護2」（18.4％）となっています。



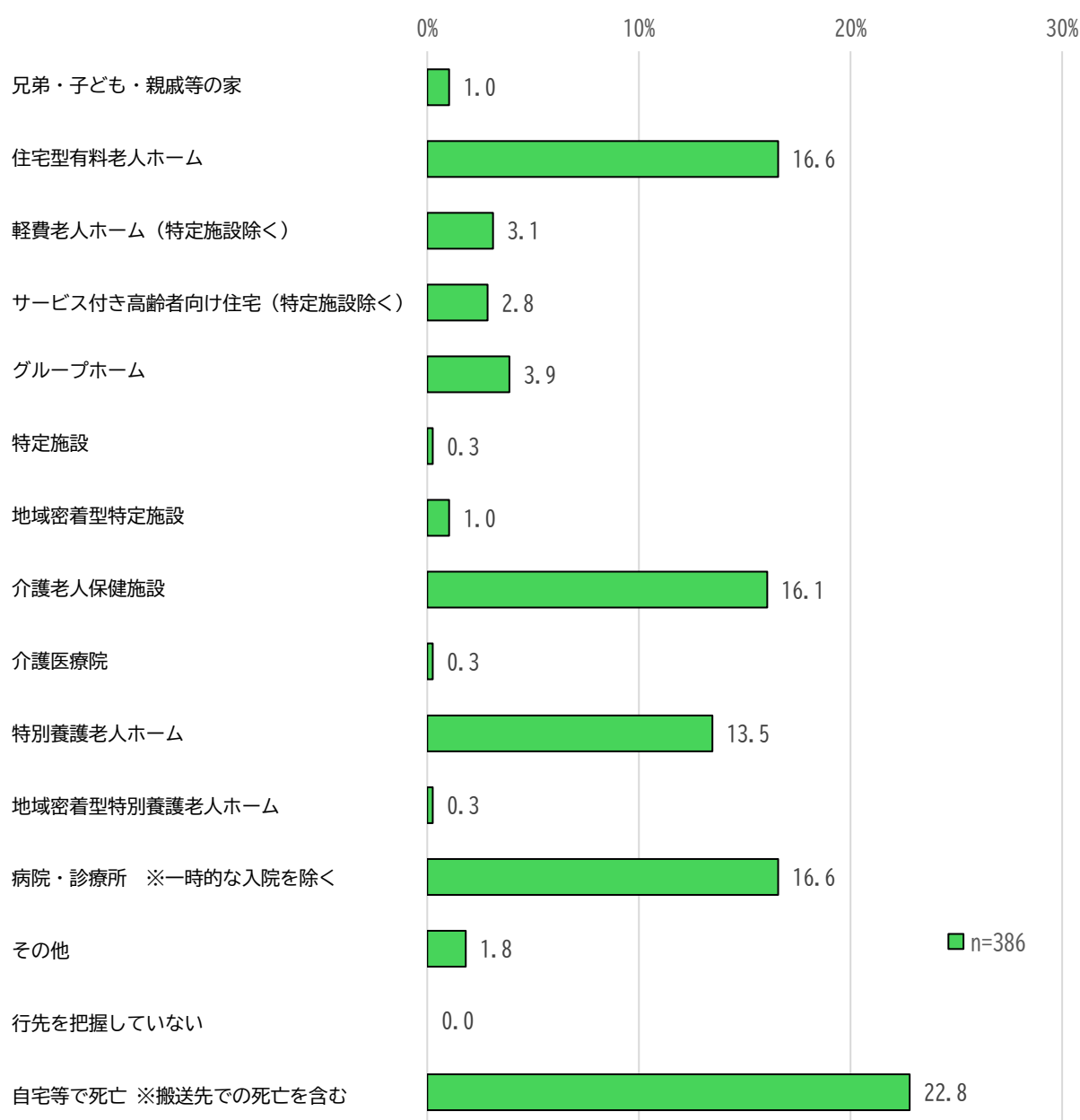
居所変更した方が 72.0％、自宅等で死亡した方が 28.0％となっています。



問3 貴事業所において、過去1年間の間に「自宅等（サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームを除く）から、居場所を変更した利用者数」を行先別にご回答ください。（数値を入力）

過去1年間の間に「自宅等」から居場所を変更した利用者の行先について、「住宅型有料老人ホーム」「病院・診療所」（16.6％）の割合が最も高くなっており、次いで「介護老人保健施設」（16.1％）、「特別養護老人ホーム」（13.5％）となっています。

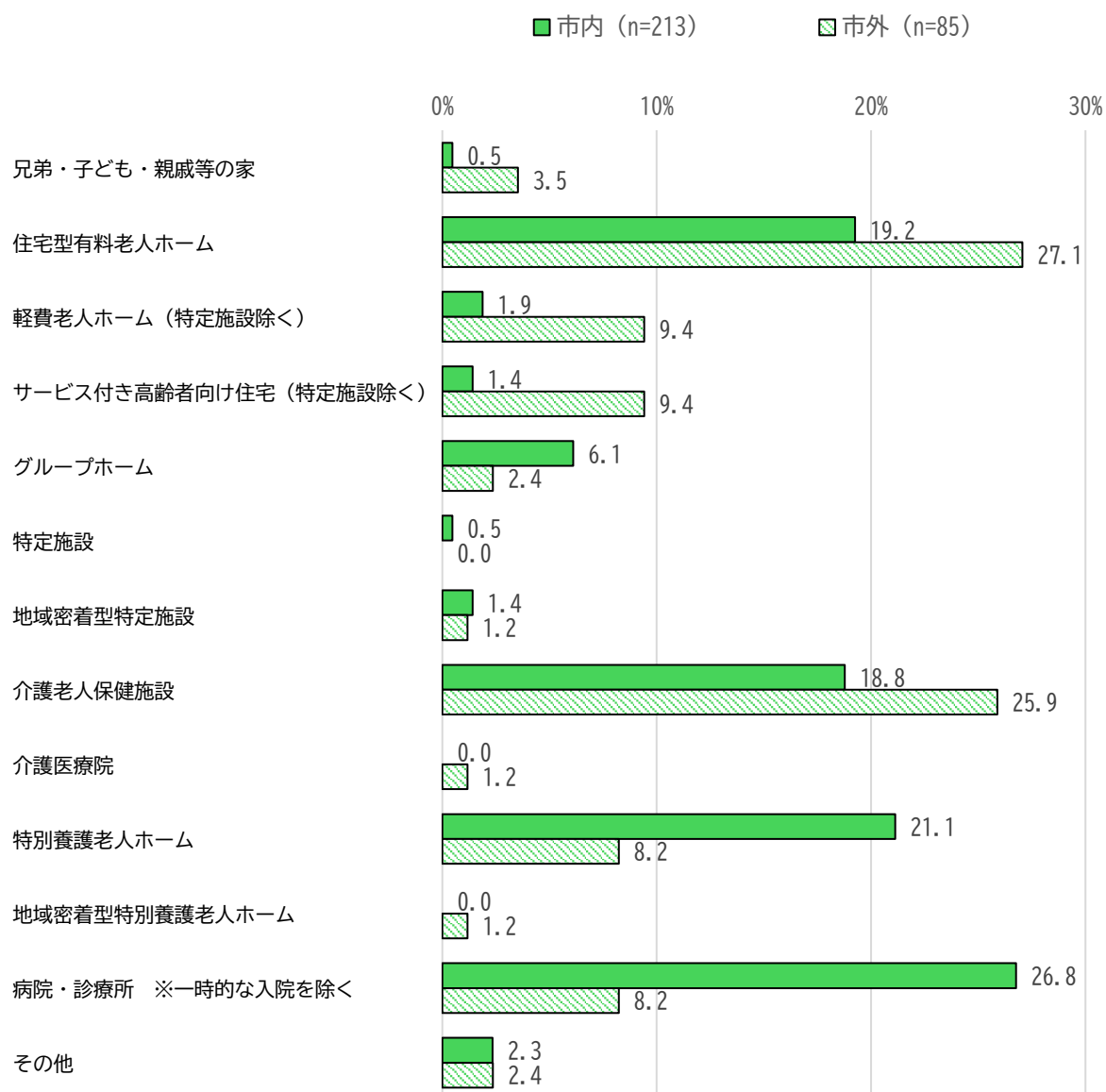
一方で、「自宅等で死亡」は22.8％となっています。



【市内・市外別】

過去1年間の間に「自宅等」から居場所を変更した利用者の行先について、市内では、「病院・診療所」（26.8％）の割合が最も高くなっており、次いで「特別養護老人ホーム」（21.1％）、「住宅型有料老人ホーム」（19.2％）となっています。

市外では、「住宅型有料老人ホーム」（27.1％）の割合が最も高くなっており、次いで「介護老人保健施設」（25.9％）、「軽費老人ホーム（特定施設除く）」「サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）」（各9.4％）となっています。



問4 貴事業所の利用者で在宅生活の維持が難しくなるのは、どのような場合がおおいですか。よくあるケースについてお答えください。（自由記述）

- ・ 本人のA D L（日常生活動作。日常生活を送るために最低限必要な日常的な動作で、「起居動作・移乗・移動・食事・更衣・排泄・入浴・整容」の動作のこと）の低下に伴う家族の介護力の限界を迎えた時。
- ・ 独居の場合、在宅生活困難な状況が増えてきた時。
- ・ 転倒が頻繁になり、見守り出来ない状況になった時。
- ・ 認知症状が進行し、迷惑行動が多くなってきた時。
- ・ 本人の状態が悪化し、住まいが2階以上で階段の昇り下りができなくなり、自宅での生活が困難になった時。
- ・ 自宅内に段差が多く移動能力、認知機能の低下により転倒・骨折のリスクが高い場合。
- ・ 主介護者不在及び健康状態の悪化で介護困難な場合。
- ・ 排泄介護が必要となるが、金銭的な負担もあるため施設入所に踏み切れない場合
- ・ 家族が精神疾患を抱えているもしくは病気を患っている時。
- ・ A D Lの低下により、食事摂取や服薬管理が訪問介護や通所介護を利用するも対応が難しくなり、健康を維持できなくなった時もしくは支援していた家族の都合で独居生活を維持できなくなった時
- ・ 独居で身寄りがない方の在宅における医療行為が継続的に必要な場合。
- ・ 認知症状を有する方で介助拒否があり、介護抵抗に家族が疲弊する場合。
- ・ 障害者で理解力がなく、自己判断が難しい方の診療方法が決定できない場合。
- ・ 親族がいても疎遠や意見相違で支援を受けられない時の介助量が増加した場合。
- ・ 身体的・精神的に介護者の負担が大きくなった時。
- ・ 夜間徘徊により警察に保護される、排泄介助が常時必要、火の元の管理が必要になった場合に在宅介護の見極めが必要となった時。
- ・ 認知症周辺症状（徘徊等）で家族対応が限界になった時。
- ・ 家族が仕事をしていたり、本人が身の回り動作（排泄、入浴など）が出来なくなった場合。
- ・ 独居になり、子供のいない世帯の場合。
- ・ 介護者が仕事と介護の両立が困難となった場合。
- ・ 寝たきりに近づき介護度が重くなり、家族介護が出来なくなった時。
- ・ 介護者が高齢である場合。
- ・ 同居家族が転勤した時。

VI 自由意見

1 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査

(1) 介護保険制度について

- ・ 介護保険料の運用状況の透明化、不公平感のない介護保険料や負担割合の設定をお願いします。
- ・ 介護保険制度や介護保険サービスがどのようなものなのか、分かりやすく周知してほしいです。
- ・ 介護保険制度や福祉サービスのおかげで、健康状態が良好で、家族と一緒に暮せる事に感謝しており、住み慣れた自宅で最後まで過ごしたいと思っています。
- ・ 介護給付費や医療費を抑えるためには、生活習慣病予備群などへの指導など、健康寿命を重視した取り組みが必要だと思います。
- ・ 家族が介護保険サービスを利用した際に、介護職の方々には大変親切にいただきましたが、その熱量と努力に対して医療・介護報酬額が低いと思います。

(2) 情報・相談について

- ・ 高齢者向けの仕事、地域の老人クラブや交流の場、食事や健康、毎日できる軽い運動、生きがいづくりなどが楽しく学べる講座などの情報発信をしてほしいです。
- ・ 地域包括支援センターが地域の体操教室などを紹介する際は、本人の意向にあった教室やサービスを紹介してほしいです。
- ・ 家事代行や照明の取り替えなど生活支援サービスを行っている業者を紹介してほしいです。
- ・ 地域のクリニックやバリアフリー化されているなどの高齢者向けの医療機関に関する情報がほしいです。
- ・ 介護保険も含め、高齢者向けの行政手続きが煩雑で、認知症などの相談窓口も分かりづらいので、相談や手続きが一括してできる窓口を望みます。

(3) 将来の不安や現状について

- ・ 高齢者向けにどのような支援があるのか十分に理解ができないため、将来高齢になったときのことを考えると不安に感じます。
- ・ 高齢のため、自分の車の運転について不安を感じる時があります。
- ・ ひとり暮らしのため、万一の際に、自力で救急車等が呼べるのかとても心配です。
- ・ スマートフォンが苦手なため携帯電話を使用していますが、スマートフォンでしか予約受けをしていない医療機関があり困っています。
- ・ 介護状態になった際の医療費や介護施設の費用など、年金だけでは足りないのではないかと不安です。
- ・ 今は夫婦ともに健康ですが、どちらか一方が倒れた時が心配です。
- ・ 月1回の高齢者教室が楽しみで参加しています。

- ・高齢になっても仕事をしたり、興味のある教室に通ったり、毎日運動をして健康に過ごすことを意識して、これからの人生を楽しみたいです。

（４）公共交通機関について

- ・運転免許証を返納したら、移動手段に困るため、誰もが自由に移動しやすい公共交通を重要施策として取り組んでほしいです。
- ・いこまいCARは予約がしにくく、市内しか利用できず、利用料金がなくて気軽に利用できません。
- ・いこまいCARは利用方法に制約がありますが、買い物など重い荷物を持って巡回バスなどに乗るのは不便なので、いこまいCARは継続していただきたいですし、いつも利用させていただいて感謝しています。
- ・大型バスでなく、小型バスやワゴン車、乗り合いタクシーなどの公共交通機関があると気軽に出かけることができます。
- ・すいとぴあ江南や市内の病院、図書館、スーパー、ジム等をつなぐ巡回バスやコミュニティバスなどがあるといいと思います。

（５）福祉行政について

- ・高齢者が増加しているため、できるだけ健康に暮らしていくことを促進する取り組みが必要だと思います。
- ・ひとり暮らしになった際に、安否確認のため自宅に訪問して声かけをしてほしいです。
- ・高齢者が安心して利用できる入浴施設や娯楽施設などがあるといいです。また、高齢者はスポーツ施設を低料金で利用できるようにしてほしいです。
- ・認知症は元気なうちから予防策を講じることが大切だと思いますので、認知症に関する施策を優先的に取り組んでください。
- ・自宅で家族の介護をしており、毎月のおむつ購入の助成は、とてもありがたく思います。ただ、物価高騰で商品が値上がり、やはり家計の負担となっています。少しでも助成額が増えれば助かります。
- ・移動スーパーによる買物支援が始まったことは大変ありがたいことです。
- ・高齢者になっても仕事をしたい人は仕事ができる社会になってほしいです。高齢者でも仕事をしたい人はたくさんいますので、働ける場所をたくさん作ってください。
- ・他自治体では、短時間の家事などの生活支援のボランティア制度などがあるようなので、江南市でも検討していただきたいです。

(6) 地域交流について

- ・足腰弱らん教室に参加して、健康維持と自立した生活ができるよう目指したいと思っています。足腰弱らん教室に参加することで、友人もできるし、高齢者にかかる医療費や福祉に関する費用を抑えることができると思います。
- ・区の有志で、住みよい地域づくりについて検討していますので、市にも助言してもらえると助かります。
- ・市による地域での高齢者向けの趣味、スポーツなどのサークル活動の立ち上げ支援と運営支援や、ボランティア活動への参加を促すコーディネートをしてほしいです。
- ・高齢者が気軽に集まり、会話をしたり、レクリエーションなどができる施設や機会をつくってほしいです。
- ・他市町の社会福祉協議会で、病院や買い物の付添いボランティアをしていました。大変喜ばれましたので、元気な高齢者にボランティアを呼びかけてほしいです。

(7) サービス利用について

- ・介護施設の充実と希望の介護施設にいつでも入る事ができますようにしてほしいです。
- ・身寄りのない高齢者は、入院や介護施設に入所する際に身元保証人がいないと死亡した後の手続きなどが大変です。NPO法人等の身元保証サービスもありますが、地域包括支援センターなどからも紹介してもらえると助かります。
- ・介護人材が不足している中、介護施設のサービス提供がしっかりされているかが不安なため、市で運営状況のチェックなど行っていただきたいです。
- ・夫の担当ケアマネジャーが、行き届いた対応をしていただいて、本当に安心した時間を過ごすことができ感謝しています。
- ・介護施設に入所したい時に、希望どおり入所できるよう市内に整備してほしいです。特に、線路東側に介護施設が少なく不便に感じます。

(8) 生活環境について

- ・歩道が狭い、横断歩道などの表示が消えている、電動車いすで通るとガタガタで危ないなど、道路状態が悪いです。
- ・高齢者が楽しく散歩ができるように、道路のバリアフリー化や街路樹の整備などをしてほしいです。
- ・公園が不足していると感じます。
- ・中央公園に「筋力トレーニング器具」を数種類設置してください。

2 在宅介護実態調査

(1) 手続き・制度

- ・郵送される書類が多く内容も複雑のため手続きが煩雑で困りました。今後マイナンバーを活用して手続きが簡素化されることを望みます。

(2) 施設・サービス

- ・安心して施設入所できるよう施設の充実、施設における人手が確保されることを望みます。
- ・老人保健施設における入所期間をできる限り長期になるよう認めて欲しいです。
- ・施設を利用できる時間帯が原因でフルタイムで働けないため、隙間時間のサービスが充実されることを望みます。
- ・少し困ったことを助けてくれるサービスがあるとよいです。

(3) 交通・移動

- ・タクシーチケットが利用できる年齢を広げ、または要件を設けて利便性を高めて欲しいです。
- ・車椅子や歩行器を利用する人が歩道や線路を安全に通れるよう住みやすい街づくりを望みます。
- ・横断歩道等の表示が消えかけている所を早めに整備して欲しいです。
- ・移動スーパーの周回エリアを広げて欲しいです。
- ・コミュニティバス、移動ボランティア等の交通手段が充実することを望みます。
- ・認知症の方でも最期まで安心して住める場所づくりを望みます。
- ・高齢者の移動手段の確保、外出サポート等を検討して欲しいです。
- ・いこまいカーを当日予約できるなど利用しやすくして欲しいです。

(4) 経済的負担について

- ・介護サービスを利用する際の費用に不安を感じています。
- ・介護保険料を安く抑えて欲しいです。

(5) 介護認定について

- ・介護認定制度（手続き、結果内容等）がわかりにくいです。
- ・介護認定結果の通知が遅いです。
- ・介護認定の判定をする際に、本人の状態だけでなく介護者の状態（健康状態、年齢等）も反映して欲しいです。

（６）家族負担について

- ・入所を検討する際に、入所できる施設が見つかるか不安です。
- ・多くの方が住み慣れた自宅で安心して介護を受けられるよう対策を考えて欲しいです。
- ・介護者に何かあった際にすぐに介護サービスを受けられるか不安です。
- ・在宅介護支援を充実し、また地域ごとに支え合える仕組みを作るなど今後検討して欲しいです。

（７）その他

- ・介護サービスの拡充を望みます。
- ・介護保険・福祉サービス等を利用することで充実した日々を過ごせています。今後のサービス等の維持・発展を望みます。
- ・現在、相談先がわからないため、身寄りがない人が相談できる窓口を知りたいです。
- ・高齢者に優しい街づくりがされることを望みます。
- ・今の生活に満足しています。
- ・外国人の方も含め、日頃から顔の見える関係をつくり、いざという時に有事の際に助け合える関係を築けるよう支援して欲しいです。
- ・現在開催している認知症予防教室を周知して欲しいです。
- ・現在、企業によって、介護の理解度が統一されていないので、ガイドライン等を作り、展開して欲しいです。

VII 調査票

1 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査

江南市介護保険及び高齢者福祉実態調査

- ご協力をお願い - 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査



みなさまには、日頃から介護保険事業にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

江南市では、令和8年度に新たな『介護保険事業計画、高齢者福祉計画及び認知症施策推進計画』を策定します。高齢者の方が安心して暮らせる社会の実現に向けた計画を策定するにあたり、みなさまの現状や希望を把握するため、アンケート調査*を実施いたしますので回答にご協力ください。なお、お答えいただいた内容については、統計的に処理いたしますので、みなさまにご迷惑をおかけすることは一切ございません。

大変お忙しいところ誠に恐縮でございますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和8年2月 江南市長 澤田 和延

※アンケート調査対象者 対象人数2,000人（無作為抽出）、市内に居住されている65歳以上の方

◎ 記入上のお願い

- この調査は封筒の宛名の方が対象となります。
- 設問に選択肢のあるものは、あてはまる番号に○をつけてください。回答が「その他」にあてはまる場合は、（ ）内に具体的に記入ください。
- なんらかの事情でご本人が記入できない場合は、ご家族の方などに代筆していただくなど、ご本人の意思を尊重して代わってご回答していただける方をお願いしてください。

調査票でご回答いただく場合

ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れ、3月13日(金)までにご投函くださいますようお願いいたします。（返信用封筒には切手は不要です。また、住所・氏名のご記入も必要ありません）

Webでご回答いただく場合

本調査はWeb回答が可能です。Web回答で回答する場合は、下の二次元コードを読み取っていただくか、URL「https://wsurvey.jp/s.php?clear=1&a=aichi_konan-458」から江南市介護保険及び高齢者福祉実態調査（65歳以上）のWebページにアクセスし、下記のIDとパスワードを入力してご回答ください。

Webで回答いただいた場合は、調査票を返送していただく必要はありません。

Web回答は3月13日(金)までご利用いただけます。

ID/パスワード

◎ 調査内容についてのお問い合わせ

Web回答用二次元コード

江南市役所 ふくし部 介護保険課 介護予防グループ
電話：0587-50-0229 FAX：0587-56-5951
E-mail：kaigo@city.konan.lg.jp



個人情報の取り扱いについて

個人情報の保護及び活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものと見させていただきます。

◎ 個人情報の保護及び活用目的について

- この調査は、効果的な介護予防政策の立案と効果評価のために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、市町村による介護保険事業計画策定の目的以外には利用いたしません。また当該情報については、市町村内で適切に管理いたします。
- ただし、介護保険事業計画策定時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理する市町村外のデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析するなど、個人が識別されない形で利用することがあります。

介護予防・日常生活圏域二一ス調査 調査票

ご記入ください ➡ 記入日 令和 8年 月 日

調査票の記入者はどなたですか（○は1つ）※以降の質問には、あて名のご本人の立場でご記入ください

1. あて名のご本人が記入
2. ご家族が記入
(あて名のご本人からみた続柄：)
3. その他 ()

性別はどちらですか（○は1つ）

1. 男性
2. 女性

年齢はおいくつですか（○は1つ）（令和8年1月1日現在）

1. 65～69 歳
2. 70～74 歳
3. 75～79 歳
4. 80～84 歳
5. 85～89 歳
6. 90～94 歳
7. 95～98 歳
8. 99 歳以上

お住いの小学校区はどちらですか（○は1つ）

1. 古知野東
2. 古知野西
3. 古知野南
4. 古知野北
5. 布袋
6. 布袋北
7. 宮田
8. 草井
9. 藤里
10. 門弟山

分からない場合は町名をご記入ください。()

要介護認定を受けていますか。もしくは介護予防・日常生活支援総合事業対象者※ですか。（○は1つ）

1. 要支援1
2. 要支援2
3. 介護予防・日常生活支援総合事業対象者
4. 受けていない
5. わからない

※事業対象者とは、25 の質問項目で構成する日常生活に必要な機能が低下していないか判定する「基本チェックリスト」を受けた結果、生活機能の低下がみられると判定された方。

問1 ご家族や生活状況について

(1) 家族構成をお教えてください (〇は1つ)

1. 1人暮らし 2. 夫婦2人暮らし (配偶者 65 歳以上) 3. 夫婦2人暮らし (配偶者 64 歳以下)
4. 息子・娘との2世帯 5. その他 ()

(2) 普段の生活で、どなたかの介護・介助が必要ですか (〇は1つ)

1. 介護・介助は必要ない 2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
3. 現在、何らかの介護を受けている (介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)

(2) で「3. 現在、何らかの介護を受けている」と答えた方のみ以下の質問にお答えください

(2) - 1 主にどなたの介護、介助を受けていますか (〇はいくつでも)

1. 配偶者 (夫・妻) 2. 息子 3. 娘 4. 子の配偶者
5. 孫 6. 兄弟・姉妹 7. 介護サービスのヘルパー
8. その他 ()

(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか (〇は1つ)

1. 大変苦しい 2. やや苦しい 3. ふつう 4. ややゆとりがある
5. 大変ゆとりがある

(4) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか (〇は1つ)

1. 持家 (一戸建て) 2. 持家 (集合住宅) 3. 公営賃貸住宅
4. 民間賃貸住宅 (一戸建て) 5. 民間賃貸住宅 (集合住宅) 6. 借家
7. その他 ()

問2 からだを動かすことについて

(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか (〇は1つ)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか (〇は1つ)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(3) 15分位続けて歩いていますか (○は1つ)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか (○は1つ)

1. 何度もある 2. 1度ある 3. ない

(5) 転倒に対する不安は大きいですか (○は1つ)

1. とても不安である 2. やや不安である 3. あまり不安でない 4. 不安でない

(6) 週に1回以上は外出していますか (○は1つ)

1. ほとんど外出しない 2. 週1回 3. 週2~4回 4. 週5回以上

(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか (○は1つ)

1. とても減っている 2. 減っている 3. あまり減っていない 4. 減っていない

(8) 外出を控えていますか (○は1つ)

1. はい 2. いいえ

(8) で「1. はい」(外出を控えている) と答えた方のみ下記の質問にお答えください

(8) - 1 外出を控えている理由は、次のどれですか (○はいくつでも)

1. 病気 2. 障害(脳卒中^{しょうがい}の後遺症^{のうそつちゅう}など) 3. 足腰などの痛み
4. トイレの心配(失禁など) 5. 耳の障害(聞こえの問題など) 6. 目の障害
7. 外での楽しみがない 8. 経済的に出られない 9. 交通手段がない
10. その他()

(9) 外出する際の移動手段は何ですか (○はいくつでも)

1. 徒歩 2. 自転車 3. バイク
4. 自動車(自分で運転) 5. 自動車(人に乗せてもらう) 6. 電車
7. 路線バス 8. 病院や施設のバス 9. 車いす
10. 電動車いす(カート) 11. 歩行器・シルバーカー 12. タクシー
13. いこまいCAR 14. その他()

問3 食べることについて

(1) 身長・体重を教えてください

身長 cm 体重 kg

(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか (○は1つ)

1. はい 2. いいえ

(3) お茶や汁物等でむせることがありますか (○は1つ)

1. はい 2. いいえ

(4) 口の渇きが気になりますか (○は1つ)

1. はい 2. いいえ

(5) 歯の数[※]と入れ歯の利用状況をお教えてください (○は1つ)

1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用 2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし
3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用 4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし

※成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です。

(6) 歯科診療を受けていますか (○は1つ)

1. 定期的に受診している 2. 症状があったら受診する 3. 受診していない

(7) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか (○は1つ)

1. はい 2. いいえ

(8) どなたかと食事をともにする機会がありますか (○は1つ)

1. 毎日ある 2. 週に何度かある 3. 月に何度かある
4. 年に何度かある 5. ほとんどない

問4 毎日の生活について

(1) 物忘れが多いと感じますか (○は1つ)

1. はい 2. いいえ

(2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか (○は1つ)

1. はい 2. いいえ

(3) 今日が何月何日かわからない時がありますか (○は1つ)

(4) バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)(○は1つ)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか(○は1つ)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(6) 自分で食事の用意をしていますか(○は1つ)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(7) 自分で請求書の支払いをしていますか(○は1つ)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか(○は1つ)

1. できるし、している 2. できるけどしていない 3. できない

(9) 友人の家を訪ねていますか(○は1つ)

1. はい 2. いいえ

(10) 家族や友人の相談にのっていますか(○は1つ)

1. はい 2. いいえ

(11) 趣味はありますか(「1. 趣味あり」を選んだ方は()内に趣味を記入ください)(○は1つ)

1. 趣味あり()
2. 思いつかない

(12) 生きがいがありますか(「1. 生きがいあり」を選んだ方は()内に生きがいを記入ください)
(○は1つ)

1. 生きがいあり()
2. 思いつかない

(13) 主に使用している通信・連絡機器はどれですか(○は1つ)

1. スマートフォン 2. 携帯電話(ガラケー) 3. 固定電話 4. その他()

(14) スマートフォンやパソコン、タブレットなどの通信・連絡機器を使って、各種申込や申請を行うことに不安を感じますか(○は1つ)

1. 不安を感じない 2. できるが少し不安 3. どちらとも言えない
4. どちらかといえば不安 5. 不安

問5 地域での活動について

(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか(①～⑩それぞれに回答してください)(○はそれぞれに1つ)

	参加状況 (いずれかに○)					
	週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回	参加して いない
①ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
②スポーツ関係のグループやクラブ	1	2	3	4	5	6
③趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤市が実施する介護予防のための 通いの場 ・足腰弱らん教室 ・ちいきのきょうしつ ・講師派遣型介護予防教室 ・楽しく健康づくり教室 ・高齢者教室	1	2	3	4	5	6
⑥老人クラブ	1	2	3	4	5	6
⑦町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑧収入のある仕事	1	2	3	4	5	6
⑨シルバー人材センター	1	2	3	4	5	6
⑩高齢者向けサロン	1	2	3	4	5	6

(2) 以下のような会・グループ等で、今後参加してみたいものを教えてください(○はいくつでも)

1. ボランティアのグループ
2. スポーツ関係のグループやクラブ
3. 趣味関係のグループ
4. 学習・教養サークル
5. 市が実施する介護予防のための通いの場※
6. 老人クラブ
7. 町内会・自治会
8. 収入のある仕事
9. シルバー人材センター
10. 高齢者向けサロン

※足腰弱らん教室、ちいきのきょうしつ、講師派遣型介護予防教室、楽しく健康づくり教室、高齢者教室

(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、その活動に参加者として参加してみたいと思いますか (〇は1つ)

1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している

(4) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、その活動に企画・運営 (お世話役) として参加してみたいと思いますか (〇は1つ)

1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している

問6 たすけあいについて

まわりの人との「たすけあい」についておうかがいします。

(1) 心配事や愚痴^{ぐち}を聞いてくれる人 (〇はいくつでも)

1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人
7. その他 () 8. そのような人はいない

(2) 反対に、心配事や愚痴^{ぐち}を聞いてあげる人 (〇はいくつでも)

1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人
7. その他 () 8. そのような人はいない

(3) 病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人 (〇はいくつでも)

1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人
7. その他 () 8. そのような人はいない

ここまでのご回答、ありがとうございます。

アンケートの約半分が終わりました。

皆様のご回答は今後の市政にとって大変貴重なものとなります。

引き続きのご協力をよろしくお願いいたします。

(4) 反対に、看病や世話をし^てあげる人 (○はいくつでも)

- | | | |
|----------------|-----------|---------------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣 | 6. 友人 |
| 7. その他 (|) | 8. そのような人はいない |

(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください (○はいくつでも)

- | | | |
|-------------------|-----------------|---|
| 1. 自治会・町内会・老人クラブ | 2. 社会福祉協議会・民生委員 | |
| 3. ケアマネジャー | 4. 医師・歯科医師・看護師 | |
| 5. 地域包括支援センター・市役所 | 6. その他 (|) |
| 7. そのような人はいない | | |

(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか (○は1つ)

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 毎日ある | 2. 週に何度かある | 3. 月に何度かある |
| 4. 年に何度かある | 5. ほとんどない | |

(7) お困りのとき (今後、お困りになったとき)、地域の方に手助けをしてほしいことは何ですか (○はいくつでも)

- | | | |
|--------------------|------------------|----------|
| 1. 安否確認の見守りや声かけ | 2. ちょっとした買い物の手伝い | |
| 3. 食事づくりや掃除・洗濯の手伝い | 4. 食事のおすそ分け | |
| 5. ゴミ出し | 6. 話し相手、相談相手 | |
| 7. 外出や通院の付き添い | 8. 災害時の手助け | |
| 9. その他 (|) | 10. 特にない |

(8) 近所の方がお困りのとき、支援できることは何ですか (○はいくつでも)

- | | | |
|--------------------|------------------|----------|
| 1. 安否確認の見守りや声かけ | 2. ちょっとした買い物の手伝い | |
| 3. 食事づくりや掃除・洗濯の手伝い | 4. 食事のおすそ分け | |
| 5. ゴミ出し | 6. 話し相手、相談相手 | |
| 7. 外出や通院の付き添い | 8. 災害時の手助け | |
| 9. その他 (|) | 10. 特にない |

問7

健康について

(1) 現在の健康状態はいかがですか (○は1つ)

1. とてもよい 2. まあよい 3. あまりよくない 4. よくない

(2) 現在どの程度幸せですか (「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください) (○は1つ)

とても 不幸											とても 幸せ
0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	

(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか (○は1つ)

1. はい 2. いいえ

(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか (○は1つ)

1. はい 2. いいえ

(5) タバコは吸っていますか (○は1つ)

1. ほぼ毎日吸っている 2. 時々吸っている 3. 吸っていたがやめた
4. もともと吸っていない

(6) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか (○はいくつでも)

- | | |
|----------------------|--------------------------|
| 1. ない | 2. 高血圧 |
| 3. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等) | 4. 心臓病 |
| 5. 糖尿病 | 6. 高脂血症 (脂質異常) |
| 7. 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等) | 8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気 |
| 9. 腎臓・前立腺の病気 | 10. 筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等) |
| 11. 外傷 (転倒・骨折等) | 12. がん (悪性新生物) |
| 13. 血液・免疫の病気 | 14. うつ病 |
| 15. 認知症 (アルツハイマー病等) | 16. パーキンソン病 |
| 17. 目の病気 | 18. 耳の病気 |
| 19. その他 (|) |

問8 認知症にかかる相談窓口の把握について

(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか (○は1つ)

1. はい 2. いいえ

(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか (○は1つ)

1. はい ! 2. いいえ

(2)で「1. はい」と答えた方のみ下記の質問にお答えください

(2) - 1 認知症に関する相談窓口で知っているものを選んでください (○はいくつでも)

1. 地域包括支援センター 2. 認知症地域支援推進員 3. 認知症初期集中支援チーム
4. 市役所 5. 病院のもの忘れ外来 6. 認知症サポート医
7. その他()

(3) 江南市で、以下の認知症に対する取組を行っていることを知っていますか（○はいくつでも）

1. 認知症ケアパス
2. 認知症簡易チェック
3. 認知症ひとり歩き高齢者声かけ訓練
4. 認知症サポーター養成講座
5. 江南認知症家族会
6. 認知症カフェ
7. 認知症初期集中支援チーム
8. 認知症地域支援推進員
9. 二次元コードを活用した見守りシール
10. 特に知らない

(4) 認知症の方の支援に必要なことは何だと思いますか (〇はいくつでも)

1. 認知症に関する相談窓口の充実
2. 認知症の早期発見への取り組み
3. 病院やかかりつけの医師における、認知症に関する医療サービスの充実
4. 誰もが認知症の正しい理解を得る機会（認知症予防教室等）
5. 認知症の方や介護する家族に対する地域、職場からの理解と支援
6. 介護職員が行う認知症ケアの質の向上
7. 認知症に関する介護保険サービスや福祉サービスの充実
8. 認知症のご本人や介護者が集う場所づくり
9. 身近な地域での家族会発足の支援
10. 認知症専門の医療機関の充実
11. 医療職の訪問
12. 認知症の方が行方不明になった際のサポート体制
13. その他（ ）
14. 特になし

問9 介護予防・福祉サービスについて

(1) 介護が必要とならないために、どのような予防に取り組んでいますか

(①～⑫それぞれに回答してください) (○はそれぞれに1つ)

	取組状況 (いずれかに○)	
	すでに取り組んでいる	取り組んでいない
①自分で家事をする	1	2
②自宅で趣味をして過ごす	1	2
③自分で散歩、ランニングや筋力トレーニングを行う	1	2
④地域の集まりに参加して、運動や趣味を通じた活動をする	1	2
⑤ボランティア活動をする	1	2
⑥スポーツジムやスイミングスクールに通う	1	2
⑦趣味のサークルなどに通う	1	2
⑧人の助けを受けて家事を行う	1	2
⑨栄養に関する指導を受け、食生活を改善する	1	2
⑩歯科に関する指導を受け、口の中の状態を維持・改善する	1	2
⑪一時的に低下した足腰の機能を、短期集中的(3～6か月)な指導で回復する	1	2
⑫その他 ()	1	2

ここまでのご回答、ありがとうございます。
 質問は残り10問ほどです。
 最後までご協力のほどよろしくお願いいたします。

(2) 介護が必要とならないために、今後どのような予防に取り組みたいですか (〇はいくつでも)

1. 自分で家事をする
2. 自宅で趣味をして過ごす
3. 自分で散歩、ランニングや筋力トレーニングを行う
4. 地域の集まりに参加して、運動や趣味を通じた活動をする
5. ボランティア活動をする
6. スポーツジムやスイミングスクールに通う
7. 趣味のサークルなどに通う
8. 人の助けを受けて家事を行う
9. 栄養に関する指導を受け、食生活を改善する
10. 歯科に関する指導を受け、口の中の状態を維持・改善する
11. 一時的に低下した足腰の機能を、短期集中的 (3～6か月) な指導で回復する
12. その他()

(3) 住み慣れた地域・自宅で自分らしい暮らしを続けるために、何が重要だと思いますか (〇はいくつでも)

1. 病気になったとき、自宅で24時間対応の医療や看護が受けられる
2. 24時間対応の介護サービスが充実している
3. できるだけ長く生きがいを持ち、地域で自立した生活を送るよう心がける
4. 見守りや配食、買い物などの生活支援が受けられる
5. 高齢になっても住み続けられる住まいがある
6. 家族への医療行為・介護方法の指導
7. 自分の医療に関する情報をいつでも確認できる仕組み

問 10 終末期の考え方について

(1) 人生の最期をどこで迎えたいと思いますか (○は1つ)

1. 自宅 2. 病院 3. 施設
4. その他() 5. わからない

(2) 「人生会議」または「アドバンス・ケア・プランニング(ACP)※」について、知っていますか
(○は1つ)

1. 知っている 2. 言葉を聞いたことはある 3. 知らない

※万が一のときに備えて、どのような治療やケアを希望するかについて、家族等やかかりつけ医等と繰り返し話し合うこと

(3) 万が一のときに備えて、どのような治療やケアを希望するかについて、考えていますか
(○はいくつでも)

1. 自分ひとりで考えたことがある
2. かかりつけ医等の医療やケアマネジャー等の介護の専門職に相談したことがある
3. 家族と話し合ったことがある
4. 考えていない

(3) で「1」～「3」のいずれかを答えた方のみ下記の質問にお答えください

(3) - 1 どのような内容を考えましたか、または話しましたか (○はいくつでも)

1. 病状や治療後の経過に関すること 2. 希望する医療・ケアに関すること
3. 意思決定ができなくなった場合の対応に関すること 4. その他()

(4) 万が一の場合、不安に感じていることは何ですか (○はいくつでも)

1. 葬儀（納骨含む）の執り行いについて 2. 家や家財道具などの財産処分・相続について
3. 入院費や公共料金などの支払い・手続きについて 4. その他()
5. 家族など任せられる人がいるので心配はしていない

問 11 高齢社会への対応について

(1) 自宅周辺の生活環境についてどのように感じていますか (①～⑧それぞれに回答してください)
(○はそれぞれに1つ)

	満足	まあ満足	不満
①高齢者や障がい者が安心して通行できる道路の整備状況	1	2	3
②身近な公園、緑地などのいこいの場の整備状況	1	2	3
③消防・防災体制の整備状況	1	2	3
④公共性の高い施設のバリアフリーなどの配慮	1	2	3
⑤救急医療体制の整備状況	1	2	3
⑥高齢者の社会能力を養う心豊かな学習支援	1	2	3
⑦高齢者福祉施設の整備状況	1	2	3
⑧高齢者の移動手段・公共交通機関の整備状況	1	2	3

(2) 高齢社会に対して、今後、市に力を入れてほしいことは何ですか (○は5つまで)

1. 高齢者の各種相談や介護経験者による相談窓口の情報提供
2. 高齢者の外出に配慮した、移動手段・公共交通機関の整備
3. 高齢者と同居している家族への介護支援の充実
4. 24時間対応で医師や看護師の訪問を受けることができる体制づくり
5. 高齢者の体が不自由になっても生活できる住宅の整備への支援
6. ひとり暮らし高齢者に対する生活支援 (配食サービス、買物支援等)
7. 高齢者の権利擁護・虐待防止、消費者被害の相談窓口の充実
8. 認知症に対する取り組み (認知症サポーター養成講座、認知症カフェ等)
9. 高齢者が地域で気軽に集まったり、体を動かしたりする場所の提供
10. 高齢者が地域で気軽に集まったり、体を動かしたりする活動の支援
11. 福祉・医療にかかわる職員の知識・技能の向上
12. 介護予防教室の充実・周知
13. ボランティアによる見守りや介護が必要な高齢者を支援する活動の推進
14. その他 ()
15. 特にない

ご意見・ご要望

介護保険や福祉サービスについて、ご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください

This image shows a full page of white paper with horizontal dashed lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page, providing a guide for handwriting practice. There are no margins, text, or other markings on the page.

アンケートは以上です。長時間に渡り、ご協力ありがとうございました。

ご記入いただいたアンケートは、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、

3月13日(金)までにポストにご投函ください。

3月13日(金)までにポストにご投函ください。

2 在宅介護実態調査

江南市介護保険及び高齢者福祉実態調査

- ご協力をお願い - 在宅介護実態調査



みなさまには、日頃から介護保険事業にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

江南市では、令和8年度に新たな『介護保険事業計画、高齢者福祉計画及び認知症施策推進計画』を策定します。高齢者の方が安心して暮らせる社会の実現に向けた計画を策定するにあたり、みなさまの現状や希望を把握するため、アンケート調査を実施いたしますので回答にご協力ください。なお、お答えいただいた内容については、統計的に処理いたしますので、みなさまにご迷惑をおかけすることは一切ございません。

大変お忙しいところ誠に恐縮でございますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和8年2月 江南市長 澤田 和延

※アンケート調査対象者 対象人数 1,000 人（無作為抽出）、市内に居住されている要介護認定を受けられた方で、主に在宅で暮らしている方

※A票、C票の回答者 調査対象者ご本人様（封筒の宛名の方）

※B票の回答者 主な介護者様（もしくは調査対象者ご本人様）

◎ 記入上のお願い

- この調査は原則として調査員が聞き取りで調査票に回答を記入していきますが、ご自分で記入することもできます。
- 質問には、要介護認定を受けているご本人がお答えください。ご本人が困難な場合には、ご家族の方などにご本人の意思を尊重して代わってご回答していただくようお願いいたします。（一部介護者の方にお答えいただく質問もあります。）
- 設問に選択肢のあるものは、あてはまる番号に○をつけてください。回答が「その他」にあてはまる場合は、（ ）内に具体的に記入ください。

※なお、市外の居宅介護支援事業所をご利用の方につきましては、調査票を郵送でお送りしていますので、同封の返信用封筒にて返信してください。（調査員による聞き取りはありません。）

調査票でご回答いただく場合

調査票の回収は調査員が行いますが、郵送によりご提出いただくことも可能です。郵送を希望する場合は、調査員にその旨をお知らせ下さい。返信用封筒をお渡ししますので、ご記入された調査票を返信用封筒に入れて、**3月13日(金)**までにご投函ください。

（返信用封筒には切手は不要です。また、住所・氏名のご記入も必要ありません）

Webでご回答いただく場合

本調査はWeb回答が可能です。Web回答で回答する場合は、下の二次元コードを読み取っていただくか、URL「https://wsurvey.jp/s.php?clear=1&a=aichi_konan-459」から江南市介護保険及び高齢者福祉実態調査（要介護認定者）のWebページにアクセスし、下記のIDとパスワードを入力してご回答ください。

Webで回答いただいた場合は、調査票を返送していただく必要はありません。

Web回答は**3月13日(金)**までご利用いただけます。

ID/パスワード

◎ 調査内容についてのお問い合わせ

江南市役所 ふくし部 介護保険課 介護給付グループ

電話：0587-50-0238 FAX：0587-56-5951

E-mail：kaigo@city.konan.lg.jp

Web回答用二次元コード



個人情報の取り扱いについて

個人情報の保護及び活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものと見させていただきます。

◎ 個人情報の保護及び活用目的について

- この調査は、効果的な介護予防政策の立案と効果評価のために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、市町村による介護保険事業計画策定の目的以外には利用いたしません。また当該情報については、市町村内で適切に管理いたします。
- ただし、介護保険事業計画策定時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理する市町村外のデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析するなど、個人が識別されない形で利用することがあります。

在宅介護実態調査 調査票

被保険者番号[]

● 現在、この調査票にご回答を頂いているのはどなたですか（○はいくつでも）

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1. 調査対象者本人 | 2. 主な介護者となっている家族・親族 |
| 3. 主な介護者以外の家族・親族 | 4. 調査対象者のケアマネジャー |
| 5. その他（ | ） |

A票 調査対象者ご本人様がお答えください

● 問1 世帯類型について、ご回答ください（○は1つ）

- | | | | |
|---------|-----------|---------|---|
| 1. 単身世帯 | 2. 夫婦のみ世帯 | 3. その他（ | ） |
|---------|-----------|---------|---|

● 問2 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか

（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（○は1つ）

- | | |
|-------------|----------------------------|
| 1. ない ➡ 問8へ | 2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない |
| 3. 週に1～2日ある | 4. 週に3～4日ある |
| 5. ほぼ毎日ある | |

※「1. ない」を選ばれた方は3ページの間8に進んでください。それ以外の方は下記の間3に進んでください。

● 問3 主な介護者の方は、どなたですか（○は1つ）

- | | | | |
|----------|---------|----------|------|
| 1. 配偶者 | 2. 子 | 3. 子の配偶者 | 4. 孫 |
| 5. 兄弟・姉妹 | 6. その他（ | | ） |

● 問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください（○は1つ）

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

● 問5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（○は1つ）

- | | | | |
|----------|--------|--------|----------|
| 1. 20歳未満 | 2. 20代 | 3. 30代 | 4. 40代 |
| 5. 50代 | 6. 60代 | 7. 70代 | 8. 80歳以上 |
| 9. わからない | | | |

● 問10 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください（○は1つ）

1. 入所・入居は検討していない
2. 入所・入居を検討している
3. すでに入所・入居申し込みをしている

※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護医療院、特定施設（有料老人ホーム等）、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

● 問11 ご本人（調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください（○はいくつでも）

1. 脳血管疾患（脳卒中）
2. 心疾患（心臓病）
3. 悪性新生物（がん）
4. 呼吸器疾患
5. 腎疾患（透析）
6. 筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）
7. 膠原病（関節リウマチ含む）
8. 変形性関節疾患
9. 認知症
10. パーキンソン病
11. 難病（パーキンソン病を除く）
12. 糖尿病
13. 眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）
14. その他（ ）
15. なし
16. わからない

● 問12 ご本人（調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか（○は1つ）

1. 利用している
2. 利用していない

※訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含みません。

● 問13 現在、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用していますか（○は1つ）

1. 利用している
2. 利用していない

問13で「2. 利用していない」と答えた方のみ以下の質問にお答えください

● 問14 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか（○はいくつでも）

1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない
2. 本人にサービス利用の希望がない
3. 家族が介護をするため必要ない
4. 以前、利用していたサービスに不満があった
5. 利用料を支払うのが難しい
6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない
7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため
8. サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない
9. その他（ ）

◎ 次の設問に進む前にお読みください。

- 問2で「2. 」～「5. 」を回答し、さらに「主な介護者」が調査に同席している場合は、「主な介護者」の方に5ページからのB票へのご回答・ご記入をお願いします。
- 「主な介護者」の方が同席されていない場合は、ご本人（調査対象者の方）にご回答・ご記入をお願いします。（回答が困難な場合は、B票は無回答で結構です。7ページに進み、C票へのご回答・ご記入をお願いします。）

B票**主な介護者様（もしくは調査対象者ご本人様）がお答えください**

※主な介護者様、もしくはご本人様にご回答・ご記入（調査票の該当する番号に○）をお願い致します。

● 問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（○は1つ）

- | | |
|-----------------|-----------------------------|
| 1. フルタイムで働いている | 2. パートタイムで働いている |
| 3. 働いていない ➡ 問5へ | 4. 主な介護者に確認しないと、わからない ➡ 問5へ |

※「パートタイム」とは、「1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方」が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます。自営業・フリーランス等の場合も、就労時間・日数等から「フルタイム」・「パートタイム」のいずれかを選択してください。

➡ 問1で「1.」または「2.」と答えた方のみ以下の質問にお答えください

● 問2 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか（○はいくつでも）

1. 特に行っていない
2. 介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている
3. 介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている
4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている
5. 介護のために、2～4以外の調整をしながら、働いている
6. 主な介護者に確認しないと、わからない

➡ 問1で「1.」または「2.」と答えた方のみ以下の質問にお答えください

● 問3 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（○は3つまで）

- | | |
|---------------------------|----------------------------|
| 1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない | 2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実 |
| 3. 制度を利用しやすい職場づくり | 4. 労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など） |
| 5. 働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど） | 6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供 |
| 7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置 | 8. 介護をしている従業員への経済的な支援 |
| 9. その他（ | 10. 特にない |
| 11. 主な介護者に確認しないと、わからない | |

➡ 問1で「1.」または「2.」と答えた方のみ以下の質問にお答えください

● 問4 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（○は1つ）

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 問題なく、続けていける | 2. 問題はあるが、何とか続けていける |
| 3. 続けていくのは、やや難しい | 4. 続けていくのは、かなり難しい |
| 5. 主な介護者に確認しないと、わからない | |

C票

調査対象者ご本人様がお答えください

- 問1 以下の介護保険サービスについて、今後利用してみたいサービスを選択してください
(〇はいくつでも)

今後の利用希望（希望する場合に番号に〇をお願いします）			
A. 訪問介護（ホームヘルプサービス） ヘルパーの訪問	1	B. 訪問入浴介護 浴槽を持ち込み入浴介助	1
C. 訪問看護 看護師などの訪問 ※医療保険での利用を除く	1	D. 訪問リハビリテーション リハビリの専門職の訪問 ※医療保険での利用を除く	1
E. 通所介護（デイサービス） デイサービスセンター等への通い （地域密着型通所介護含む）	1	F. 通所リハビリテーション（デイケア） リハビリの専門職のいる施設への通い	1
G. 夜間対応型訪問介護 夜間にヘルパーの定期的な訪問や随時の訪問	1	H. 認知症対応型通所介護 認知症に対応したデイサービス	1
I. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 定時や随時の訪問介護と訪問看護	1	J. 小規模多機能型居宅介護 通所・訪問・短期入所の組み合わせ	1
K. 看護小規模多機能型居宅介護 小規模多機能型に訪問看護を追加	1	L. 短期入所生活介護 福祉系施設に短期間入所のする方に、日常生活上の介護や機能訓練を行う	1
M. 短期入所療養介護 医療系施設に短期間入所のする方に、医療的なケアや日常生活上の介護を行う	1	N. 居宅療養管理指導 医師等が訪問し、療養上の管理及び指導を行う	1
O. 特定施設入居者生活介護 介護付有料老人ホームに入居している方に介護、療養上の世話などを行う	1	P. 認知症対応型共同生活介護 認知症の方が少人数で一緒に生活するグループホーム	1
Q. 介護老人福祉施設(地域密着型を含む) 特別養護老人ホーム	1	R. 介護老人保健施設 退院後自宅に戻れるまで回復する期間入所してリハビリや医療が受けられる	1
S. 介護医療院 医療と生活機能を提供する施設	1	T. 福祉用具の貸与・購入 福祉用具の貸与（車いす・特殊寝台など）や購入費支給（腰掛け便座・入浴用いすなど）	1
U. 住宅の改修 手すりの取付け、床段差の解消などの住宅改修費の支給	1		

● 問2 あなたが住み慣れた地域・自宅で自分らしい暮らしを続けるために、何が重要だと思いますか
(〇はいくつでも)

1. 病気になったとき、自宅で24時間対応の医療や看護が受けられる
2. 24時間対応の介護サービスが充実している
3. できるだけ長く生きがいをもち、地域で自立した生活を送るよう心がける
4. 見守りや配食、買い物などの生活支援が受けられる
5. 高齢になっても住み続けられる住まいがある
6. 家族への医療行為の指導
7. 自分の医療に関する情報をいつでも確認できる仕組み

● 問3 認知症の方に対する支援として、どのようなことが必要だと思いますか (〇はいくつでも)

1. 認知症に関する相談窓口の充実
2. 認知症の早期発見への取組
3. 病院やかかりつけの医師における、認知症に関する医療サービスの充実
4. 誰もが認知症の正しい理解を得る機会 (認知症予防教室等)
5. 認知症の方や介護する家族に対する地域、職場からの理解と支援
6. 介護職員が行う認知症ケアの質の向上
7. 認知症に関する介護保険サービスや福祉サービスの充実
8. 認知症のご本人や介護者が集う場所づくり
9. 身近な地域での家族会発足の支援
10. 認知症専門の医療機関の充実
11. 医療職の訪問
12. 認知症の方が行方不明になった際のサポート体制
13. その他 ()

● 問4 あなたは今後、どのような介護を受けたいですか（○は1つ）

1. なるべく家族のみで、自宅で介護してもらいたい
2. 介護保険制度のサービス(ホームヘルパー等)や福祉サービスを活用しながら自宅で介護してもらいたい
3. 施設に入所したい
4. わからない

問4で「3. 施設に入所したい」と答えた方のみ以下の質問にお答えください

● 問4 - 1 その理由は何ですか（○はいくつでも）

1. 家が狭い、段差があるなど、現在の住居が介護に適していないから
2. 経済的な理由（自己負担が少なくて済む）から
3. 家族に負担をかけたくない（負担になる）から
4. 待機期間を見込んで早めに入所（入院）を申し込んだから
5. 介護者がいないなどの理由で、自宅で介護が受けられないから
6. ひとり暮らし（高齢者世帯）のため自宅の生活に不安を感じるから
7. 家族はいるが働いていて介護が受けられないから
8. 家族等介護者の健康状態がよくないから
9. 在宅サービスだけでは介護しきれないから
10. 認知症がひどいなど、ほとんど24時間介護が必要だから
11. その他（ ）

● 問4 - 2 今後、施設への入所を検討することになった場合、心配な事は何ですか（○はいくつでも）

1. 介護保険サービス利用料の支払い
2. 居住費、食費などの介護保険サービス対象外費用の支払い
3. 入所を希望する時期に施設の空きがあるか
4. 施設のスタッフや入居者となじめるか
5. 実家から離れることで寂しさを感じてしまわないか
6. その他（ ）

● 問5 終末期の考え方について、あなたは人生の最期をどこで迎えたいと思いますか（○は1つ）

1. 自宅 2. 病院 3. 施設
4. その他（ ） 5. わからない

● 問5 - 1 「人生会議」または「アドバンス・ケア・プランニング(ACP)※」について、知っていますか（○は1つ）

1. 知っている 2. 言葉を聞いたことはある 3. 知らない

※万が一のときに備えて、どのような治療やケアを希望するかについて、家族等やかかりつけ医等と繰り返し話し合うこと

● 問5 - 2 あなたは、万が一のときに備えて、どのような治療やケアを希望するかについて、考えていますか（○はいくつでも）

1. 自分ひとりで考えたことがある
2. かかりつけ医等の医療やケアマネジャー等の介護の専門職に相談したことがある
3. 家族と話し合ったことがある
4. 考えていない

問5 - 2で「1.」「2.」「3.」と答えた方のみ以下の質問にお答えください

● 問5 - 3 どのような内容を考えましたか、または話しましたか（○はいくつでも）

1. 病状や治療後の経過に関すること
2. 希望する医療・ケアに関すること
3. 意思決定ができなくなった場合の対応に関すること
4. その他（ ）

● 問5 - 4 万が一の場合、不安に感じていることは何ですか（○はいくつでも）

1. 葬儀（納骨含む）の執り行いについて
2. 家や家財道具などの財産処分・相続について
3. 入院費や公共料金などの支払い・手続きについて
4. その他（ ）
5. 家族など任せられる人がいるので、心配はしていない

- 問6 高齢者社会への対応について、自宅周辺の生活環境についてどのように感じていますか
(①～⑧それぞれに回答してください) (○はそれぞれに1つ)

	満足	まあ満足	不満
①高齢者や障がい者が安心して通行できる道路の整備状況	1	2	3
②身近な公園、緑地などのいこいの場の整備状況	1	2	3
③消防・防災体制の整備状況	1	2	3
④公共性の高い施設のバリアフリーなどの配慮	1	2	3
⑤救急医療体制の整備状況	1	2	3
⑥高齢者の社会能力を養う心豊かな学習支援	1	2	3
⑦高齢者福祉施設の整備状況	1	2	3
⑧高齢者の移動手段・公共交通機関の整備状況	1	2	3

- 問6 - 1 高齢社会に対して、今後、市に力を入れてほしいことは何ですか (○は5つまで)

1. 高齢者の各種相談や介護経験者による相談窓口の情報提供
2. 高齢者の外出に配慮した、移動手段・公共交通機関の整備
3. 高齢者と同居している家族への介護支援の充実
4. 24時間対応で医師や看護師の訪問を受けることができる体制づくり
5. 高齢者の体が不自由になっても生活できる住宅の整備への支援
6. ひとり暮らし高齢者に対する生活支援(配食サービス、買物支援等)
7. 高齢者の権利擁護・虐待防止、消費者被害の相談窓口の充実
8. 認知症に対する取り組み(認知症サポーター養成講座、認知症カフェ等)
9. 高齢者が地域で気軽に集まったり、体を動かしたりする場所の提供
10. 高齢者が地域で気軽に集まったり、体を動かしたりする活動の支援
11. 福祉・医療にかかわる職員の知識・技能の向上
12. 介護予防教室の充実・周知
13. ボランティアによる見守りや介護が必要な高齢者を支援する活動の推進
14. その他 ()
15. 特にない

ご意見・ご要望

- 介護保険や福祉サービスについて、ご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。

アンケートは以上です。長時間に渡り、ご協力ありがとうございました。
ご記入いただいたアンケートは、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、

3月13日(金)までにポストにご投函ください。

3 事業所調査

(1) 介護人材実態調査【事業所票】施設・通所系

介護人材実態調査 【事業所票】 施設・通所系

※R8年1月1日現在の状況について、の中に、ご回答ください。

問1 該当するサービス種別（介護予防を含む）を、ご回答ください。（1つに○）

※本調査票の送付先（メールの宛名となっている事業所）で行うサービスについて、ご回答ください。

1. 施設・居住系サービス

（特別養護老人ホーム（地域密着型含む）、介護老人保健施設、介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設（地域密着型含む）、住宅型有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、軽費老人ホーム）

2. 通所系サービス

（通所介護（地域密着型含む）、通所リハビリテーション、認知症対応型通所介護、通所型サービス（総合事業））

問2 貴事業所（問1で○をつけたサービス種別の事業所）に所属する介護職員について、お伺いします。

※ここでの「介護職員」は、賃金の支払いを受けている方に限ります。（ボランティアの方は含みません。）

問2-1 介護職員の人数を、ご回答ください。（数値を入力）

※前月に出勤のない、長期休暇（育児休業等）中の職員は人数に含めないでください。

※「外国人」には、EPA・技能実習・在留資格「介護」、特定技能により勤務している人数をご回答ください。

介護職員の総数		人	左記のうち常勤職員		人
			左記のうち非常勤職員		人
外国人職員数		人	派遣職員数		人

問2-2 貴事業所は開設から1年以上経過していますか。

(1つに○)

- | | | |
|----------------------|--------|--------|
| <input type="text"/> | 1. はい | ⇒問2-3へ |
| <input type="text"/> | 2. いいえ | ⇒問3へ |

問2-3 R8年1月1日時点で、開設から1年以上を経過している事業所にお伺いします。

過去1年間（R7年1月1日～R7年12月31日）の介護職員の採用者数と離職者数を、常勤・非常勤別にご記入ください。外国人人材も含めてご回答ください。（数値を入力）

	採用者数	離職者数
常勤職員		
非常勤職員		
合計		

問3 採用や人材定着に関する課題をご回答ください。（自由記述）

--

問4 人材確保に関して市町村に期待するサポートがあれば、ご回答ください。（自由記述）

--

貴事業所についてご回答ください。

事業所名	
ご担当者氏名	
電話番号	
Eメールアドレス	

続いて、調査票（Q5）の設問（問5）にお進みください。

問5 貴施設等に所属している介護職員全員（非常勤含む。ボランティアの方を除く）について、お答えください。

回答方法	※番号1つ記載				※数値を記入		※番号1つ記載			
設問	(1)資格の取得、研修の修了の状況	(2)雇用形態	(3)性別	(4)年齢	(5)過去1週間の勤務時間	(6)現在の施設等での勤務年数	(7)現在の施設等に勤務する直前の職場※地域密着型を含む	(8)直前の職場について		
選択肢	1.介護福祉士（認定介護福祉士含む） 2.介護福祉士実務者研修修了 または (旧)介護職員基礎研修修了 または (旧)ヘルパー1級 3.介護職員初任者研修修了、 または (旧)ヘルパー2級 4.上記のいずれも該当しない	1.常勤職員 2.非常勤職員	1.男性 2.女性	1.20歳未満 2.20代 3.30代 4.40代 5.50代 6.60代 7.70代以上 8.不明	※ 残業時間を含む。休憩時間は除く。 ※週週の始まりは事業所ごとに任意の曜日で構いません。	1.1年以上 ⇒ 【回答終了】 2.1年未満 ⇒ 【(7)へ】	1.現在の職場が初めての勤務先 ⇒ 【回答終了】 2.介護以外の職場 ⇒ 【回答終了】 3.特養、老健、療養型・介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設 4.訪問介護・入浴、夜間対応型 5.小多機、看多機、定期巡回サービス 6.通所介護、通所リハ、認知症デイ 7.住宅型有料、サ高住（特定施設以外） 8.その他の介護サービス ⇒ 【「3.」～「8.」の場合は(8)へ】 9.不明 ⇒ 【回答終了】	1.現在の施設等と、同一の市区町村内 2.現在の施設等と、別の市区町村内 3.不明	1.現在の施設等と、同一の法人・グループ 2.現在の施設等と、別の法人・グループ 3.不明	
記入例	1	1	1	3	40 時間	2	2	1	2	
01					時間					
02					時間					
03					時間					
04					時間					
05					時間					
06					時間					
07					時間					
08					時間					
09					時間					
10					時間					
11					時間					
12					時間					
13					時間					
14					時間					
15					時間					
16					時間					
17					時間					
18					時間					
19					時間					
20					時間					
21					時間					
22					時間					
23					時間					
24					時間					
25					時間					
26					時間					
27					時間					
28					時間					
29					時間					
30					時間					
31					時間					
32					時間					
33					時間					
34					時間					
35					時間					
36					時間					
37					時間					
38					時間					
39					時間					
40					時間					
41					時間					

(2) 介護人材実態調査【事業所票】訪問系

介護人材実態調査 【事業所票】 訪問系

※R8年1月1日現在の状況について、 の中に、ご回答ください。

問1 該当するサービス種別（介護予防を含む）を、ご回答ください。（1つに○）

※本調査票の送付先（郵便・メール等の宛名となっている事業所）で行うサービスについて、ご回答ください。

	1. 訪問系サービス（訪問介護、訪問入浴、夜間対応型訪問介護、訪問型サービス（総合事業））
	2. 小規模多機能型居宅介護
	3. 看護小規模多機能型居宅介護
	4. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護

問2 貴事業所（問1で○をつけたサービス種別の事業所）に所属する介護職員について、お伺いします。

※ここでの「介護職員」は、賃金の支払いを受けている方に限ります。（ボランティアの方は含みません。）

問2-1 介護職員の人数を、ご回答ください。（数値を入力）

※前月に出勤のない、長期休暇（育児休業等）中の職員は人数に含めないでください。

※「外国人」には、EPA・技能実習・在留資格「介護」、特定技能により勤務している人数をご回答ください。

介護職員の総数		人	左記のうち常勤職員		人
			左記のうち非常勤職員		人
外国人職員数		人	派遣職員数		人

問2-2 貴事業所は開設から1年以上経過していますか。

(1つ選択)

	1. はい ⇒問2-3へ
	2. いいえ ⇒問3へ

問2-3 R8年1月1日時点で、開設から1年以上を経過している事業所にお伺いします。

過去1年間（R7年1月1日～R7年12月31日）の介護職員の採用者数と離職者数を、常勤・非常勤別にご回答ください。外国人人材も含めてご回答ください。（数値を入力）

	採用者数	離職者数
常勤職員		
非常勤職員		
合計		

問3 採用や人材定着に関する課題をご回答ください。（自由記述）

問4 人材確保に関して市町村に期待するサポートがあれば、ご回答ください。（自由記述）

--

貴事業所についてご回答ください。

事業所名	
ご担当者氏名	
電話番号	
Eメールアドレス	

調査は以上となります。ご協力ありがとうございました。

(3) 介護人材実態調査【職員票】訪問系

介護人材実態調査 職員票（訪問系）

※この調査票は、訪問サービス・訪問介護を行う介護職員の方（非常勤含む。ボランティア除く）が対象です。

※R8年1月1日現在の状況について、の中に、ご回答ください。

問1 あなたが、本調査票を受け取った事業所で提供するサービス種別（介護予防を含む）について、ご回答ください。（1つ選択）

- | | |
|----------------------|---|
| <input type="text"/> | 1. 訪問系サービス（訪問介護、訪問入浴、夜間対応型訪問介護、訪問型サービス（総合事業）） |
| <input type="text"/> | 2. 小規模多機能型居宅介護 |
| <input type="text"/> | 3. 看護小規模多機能型居宅介護 |
| <input type="text"/> | 4. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 |

問2 あなたの資格の取得、研修の修了の状況について、ご回答ください。（1つ選択）

- | | |
|----------------------|---|
| <input type="text"/> | 1. 介護福祉士（認定介護福祉士を含む） |
| <input type="text"/> | 2. 介護福祉士実務者研修修了、または（旧）介護職員基礎研修修了、または（旧）ヘルパー1級 |
| <input type="text"/> | 3. 介護職員初任者研修修了、または（旧）ヘルパー2級 |
| <input type="text"/> | 4. 「1.」～「3.」のいずれにも該当しない |

問3 あなたの雇用形態、性別、年齢、過去1週間の勤務時間等について、ご回答ください。

1) 雇用形態（1つに○）		1. 常勤職員		2. 非常勤職員		
2) 性別（1つに○）		1. 男性		2. 女性		
3) 年齢（1つに○）		1. 20歳未満		2. 20代		3. 30代
		4. 40代		5. 50代		6. 60代
		7. 70代以上				
4) 過去1週間の勤務時間（数値を記入） ※問1で回答した勤務先における時間		週		時間	★	※残業時間を含む。 休憩時間は除く。
5) 現在の事業所での勤務年数（1つに○）		1. 1年以上 ⇒裏面に回答				
		2. 1年未満 ⇒問4と裏面に回答				

問4 【問3の5で「2.」と回答された方】現在の事業所に勤務する直前の職場について、以下にご回答ください。

- | | |
|----------------------|---|
| <input type="text"/> | 1. 現在の職場が初めての勤務先⇒【裏面に回答】 |
| <input type="text"/> | 2. 介護以外の職場⇒【裏面に回答】 |
| <input type="text"/> | 3. 特養、老健、療養型・介護医療院、ショートステイ、グループホーム、特定施設 |
| <input type="text"/> | 4. 訪問介護・入浴、夜間対応型 |
| <input type="text"/> | 5. 小多機、看多機、定期巡回サービス |
| <input type="text"/> | 6. 通所介護、通所リハ、認知症デイ |
| <input type="text"/> | 7. 住宅型有料、サ高住（特定施設以外） |
| <input type="text"/> | 8. その他の介護サービス |
- ⇒【「3.」～「8.」の場合は問5へ】

問5 【問4で「3.」～「8.」と回答された方】ご回答いただいた直前の職場について、以下にご回答ください。

1) 場所（1つに○）		1. 現在の事業所と、同一の市区町村内
		2. 現在の事業所と、別の市区町村内
2) 法人（1つに○）		1. 現在の事業所と、同一の法人・グループ
		2. 現在の事業所と、別の法人・グループ

⇒皆様、裏面も
ご回答ください

職員票（訪問介護員向け）裏面

この調査は、「訪問介護員」を対象とした調査です。「訪問介護」、「訪問入浴」、「夜間対応型訪問介護」、「訪問型サービス（総合事業）」、「定期巡回サービス」、「小規模多機能型居宅介護」、「看護小規模多機能型居宅介護」に従事されている方にお聞きします。

※表面の問3「4）過去1週間の勤務時間」（★欄）で回答した7日間の勤務時間について、身体介護・生活援助を提供した時間（分）を入力してください。

（例、水曜日を開始日とする場合、水曜日（開始日）から次週の火曜日までの7日間の情報を入力してください）

※移動時間、待機時間は含みません。「買い物」は、店舗での買い物に要する標準的な時間及び利用者の居宅における訪問介護に要する標準的な時間の合算となります（移動時間を含まない）。

※「掃除」には、ゴミ出しも含まれます。

※障害サービスの提供は除いてください。

※介護給付による提供、介護予防給付・総合事業による提供は分けて入力してください。

※入力する時間は「5分単位」とします。（例）32分→30分と入力。

■介護給付による訪問について右詰めで入力

曜日	身体介護		生活援助							
			買い物		調理・配膳		掃除		その他の生活援助	
記入例	60	分	20	分	20	分	20	分	20	分
月		分		分		分		分		分
火		分		分		分		分		分
水		分		分		分		分		分
木		分		分		分		分		分
金		分		分		分		分		分
土		分		分		分		分		分
日		分		分		分		分		分
週の合計		分		分		分		分		分

■介護予防給付・総合事業による訪問について右詰めで入力

曜日	身体介護		生活援助							
			買い物		調理・配膳		掃除		その他の生活援助	
記入例	30	分	0	分	0	分	20	分	20	分
月		分		分		分		分		分
火		分		分		分		分		分
水		分		分		分		分		分
木		分		分		分		分		分
金		分		分		分		分		分
土		分		分		分		分		分
日		分		分		分		分		分
週の合計		分		分		分		分		分

※自立生活支援・重度化防止のための見守りの援助（自立支援、ADL・IADL・QOL向上の観点から安全を確保しつつ常時介助できる状態で行う見守り等）は、身体介護に含む

週の合計時間

時間

（４）居所変更実態調査【施設等票】

居所変更実態調査

R8年1月1日現在の状況について、 の中に、ご回答ください。

問1 該当するサービス種別をご回答ください。 （1つに○）

☐	1. 住宅型有料老人ホーム	☐	6. 地域密着型特定施設
☐	2. 軽費老人ホーム（特定施設除く）	☐	7. 介護老人保健施設
☐	3. サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）	☐	8. 介護医療院
☐	4. グループホーム	☐	9. 特別養護老人ホーム
☐	5. 特定施設	☐	10. 地域密着型特別養護老人ホーム

※本調査では、上記のサービス種別をまとめて「施設等」と表記します。

問2 貴施設等の概要について、以下にご回答ください。

1) 施設等の名称	 		
2) 定員数など	 	(人/戸/室)	
3) 入所・入居者数	 	人	
4) (貴施設等の) 待機者数	 	人	
5) 特別養護老人ホームの待機者数(申込者数)	 	人	

※「2)定員数など」は、サービス付き高齢者向け住宅の場合は「住宅戸数」、住宅型有料老人ホーム・軽費老人ホームの場合は「居室数」、その他の施設等の場合は「定員数」をご回答ください。

※4)と5)は、該当者がいない場合は「0」を、不明の場合は「-」を入力してください。

※5)は、特養・地域密着型特養は回答不要です。

問3 現在の入所・入居者の要支援・要介護度別の人数について、ご回答ください。 （数値を入力）

自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中・不明	合計
 	 	 	 	 	 	 	 	 	

問4 貴施設等で、以下の医療処置が必要な利用者の受け入れは可能ですか。 （あてはまる項目全てに○）

※1人でも受け入れが可能であれば、○とご回答ください。

1) 点滴の管理	☐	8) 疼痛の看護	☐
2) 中心静脈栄養	☐	9) 経管栄養	☐
3) 透析	☐	10) モニター測定	☐
4) ストーマの処置	☐	11) 褥瘡の処置	☐
5) 酸素療法	☐	12) カテーテル	☐
6) レスピレーター	☐	13) 喀痰吸引	☐
7) 気管切開の処置	☐	14) インスリン注射	☐
		15) 上記に対応可能な医療処置はない	☐

問5 現在、上記の医療処置を受けている入所・入居者の合計人数をご回答ください。 （数値を入力）

問4の医療処置を受けている入所・入居者の合計（実人数）	 人
-----------------------------	---

ここからは、**過去1年間の新規の入所・入居者**についてお伺いします。

問6 過去1年間（R7年1月1日～R7年12月31日）に、貴施設等へ新規で入所・入居した人の人数をご回答ください。（数値を入力）

※ 貴施設等に入所・入居している方で、一時的な入院等で貴施設等に戻った方は含めないでください。

新規の入所・入居者数（合計★） 人

問7 問6の過去1年間の新規の入所・入居者について、入所・入居する前の居場所別の人数をご回答ください。（数値を入力）

※「合計★」と、問6「新規の入所・入居者数（合計★）」が一致することをご確認ください。

※ 一時的な入院の後に貴施設等に入所・入居した場合は入院前の居場所をご回答ください。入院前の居場所が

わからない場合は、「12)病院」を選択してください。

※「1) 自宅」に、ショートステイの長期利用者の入所・入居も含まれます。

	市（区町村）内	市（区町村）外
1) 自宅（※ 兄弟・子ども・親戚等の家含む）		
2) 住宅型有料老人ホーム		
3) 軽費老人ホーム（特定施設除く）		
4) サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）		
5) グループホーム		
6) 特定施設		
7) 地域密着型特定施設		
8) 介護老人保健施設		
9) 介護医療院		
10) 特別養護老人ホーム		
11) 地域密着型特別養護老人ホーム		
12) 病院・診療所（一時的な入院を除く）		
13) その他		
14) 入居・入所する前の居場所を把握していない		
合計★		

合計人数が一致することをご確認ください

ここからは、**過去1年間の退去者**についてお伺いします。

問8 過去1年間（R7年1月1日～R7年12月31日）に、貴施設等を退去した人の人数をご回答ください。

※ 一時的な入院等から貴施設等に戻った方、現在一時的に入院中の方（貴施設等との契約が継続している方）は含め
ないでください。

※ 「死亡」には、「貴施設等で亡くなられた方」に加え、「病院等への搬送後に死亡された方」も含みます。

退去者数（合計）※死亡を含む 人 ☆

問9 問8の過去1年間の退去者について、要介護度別の人数をご回答ください。（数値を入力）

※死亡した人については、「①退去者」欄ではなく、「②貴施設等での死亡」欄にその人数をご回答ください。

※病院等への搬送後に死亡した場合、搬送先で死亡したケースは「②貴施設等での死亡」、
搬送先からの転院等の後に死亡した場合は「①退去者」に含めてください。

※「合計☆」と、問8の「退去者数（合計）」が一致することをご確認ください。

①退去者									②貴施設等 での死亡 ※搬送先で の死亡を含 む	合計☆ ※①②の 合計
自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中・ 不明		

問10 問8でご記入いただいた過去1年間の退去者について、退去先別の人数をご回答ください。

※ 一時的に入院して貴施設等以外の居場所に移った場合は、退院後の居場所をご回答ください。

※搬送先からの転院等の後に死亡した場合は、死亡ではなく「居所変更」として、該当する行先にカウントして
ください。

※「合計☆」と、問8の「退去者数（合計）」、問9の「合計☆」が一致することをご確認ください。

	市（区町村）内	市（区町村）外
1) 自宅（※兄弟・子ども・親戚等の家含む）		
2) 住宅型有料老人ホーム		
3) 軽費老人ホーム（特定施設除く）		
4) サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）		
5) グループホーム		
6) 特定施設		
7) 地域密着型特定施設		
8) 介護老人保健施設		
9) 介護医療院		
10) 病院・診療所（上記「9」を除く） ※一時的な入院は含みません。		
11) 特別養護老人ホーム		
12) 地域密着型特別養護老人ホーム		
13) その他		
14) 行先を把握していない		
15) 死亡（※搬送先での死亡を含む）		
合計☆		

合計人数が一致することを、「ご確認ください」

問11 貴施設等の入居・入所者が、退去する理由は何ですか。退去理由として最も多いものを3つまで選択してください。（3つまで○）

※死亡した方は除く、退去者についてお答えください。

	3つまで○
1) 必要な生活支援が発生・増大したから	
2) 必要な身体介護が発生・増大したから	
3) 認知症の症状が悪化したから	
4) 医療的ケア・医療処置の必要性が高まったから	
5) 「1」～「4」以外の状態像が悪化したから	
6) 入所・入居者の状態等が改善したから	
7) 入所・入居者が、必要な居宅サービスの利用を望まなかったから	
8) 費用負担が重くなったから	
9) 本人が希望したから	
10) その他	

問12 貴事業所で入居・入所者が退去するのはどのような場合が多いですか。よくあるケースについてお答えください。（自由回答）

貴事業所についてご回答ください。

事業所名	
ご担当者氏名	
電話番号	
Eメールアドレス	

調査は以上となります。ご協力ありがとうございました。

（５）在宅生活改善調査【事業所票】

在宅生活改善調査 【事業所票】

※R8年1月1日現在の状況について、 の中にご回答ください。

問1 貴事業所に所属するケアマネジャーの人数、および利用者数について、ご回答ください。（数値を入力）

1) 所属するケアマネジャーの人数	 	人
2) 「自宅等（３）を除く）」にお住まいの利用者数	 	人
3) 「サ高住」・「住宅型有料」・「軽費老人ホーム」にお住まいの利用者数	 	人

ここからは、貴事業所において、過去1年の間（R7年1月1日～R7年12月31日）に「自宅等（サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームを除く）」から、居場所を変更した利用者」と「自宅等で死亡した利用者」についてお尋ねします。

問2 貴事業所において、過去1年の間に「自宅等（サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームを除く）」から、居場所を変更した要介護度別の利用者数」と「自宅等で死亡した利用者数」をご回答ください。

※入院後に自宅等に戻った方、現在一時的に入院中の方は含めないでください。

（数値を入力）

※病院等への搬送後に死亡した場合、搬送先で死亡したケースは「②自宅等での死亡」、

搬送先から転院等の後に死亡したケースは「①自宅等から、居場所を変更した利用者」に含めてください。

①自宅等から、居場所を変更した利用者								②自宅等での死亡	合計★
要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中・不明		
 	 	 	 	 	 	 	 	 	

問3 貴事業所において、過去1年間の間に「自宅等（サ高住・住宅型有料・軽費老人ホームを除く）」から、居場所を変更した利用者数」を行先別にご回答ください。（数値を入力）

※入院した後に自宅等以外の居場所に移った場合は、退院後の居場所をご回答ください。

※搬送後、搬送先から転院等の後に死亡した場合は、死亡ではなく「居所変更」として、該当する行先にカウントしてください。

※問3の合計（★）と、問2の合計（★）が一致することをご確認ください。

行先	市（区町村）内	市（区町村）外
1) 兄弟・子ども・親戚等の家	 	
2) 住宅型有料老人ホーム	 	
3) 軽費老人ホーム（特定施設除く）	 	
4) サービス付き高齢者向け住宅（特定施設除く）	 	
5) グループホーム	 	
6) 特定施設	 	
7) 地域密着型特定施設	 	
8) 介護老人保健施設	 	
9) 介護医療院	 	
10) 特別養護老人ホーム	 	
11) 地域密着型特別養護老人ホーム	 	
12) 病院・診療所 ※一時的な入院を除く	 	
13) その他	 	
14) 行先を把握していない	 	
15) 自宅等での死亡 ※搬送先での死亡を含む	 	
合計★	 	

合計人数が一致することを、「ご確認ください」

問4 貴事業所の利用者で在宅生活の維持が難しくなるのは、どのような場合が多いですか。
よくあるケースについてお答えください。（自由回答）

--

貴事業所についてご回答ください。

事業所名	
ご担当者氏名	
電話番号	
Eメールアドレス	

調査は以上となります。ご協力ありがとうございました。

江南市 介護保険及び高齢者福祉実態調査報告書 (令和8年度)

発行年月 令和8年8月

編集・発行 江南市ふくし部 介護保険課

地域ふくし課

〒483-8701 江南市赤童子町大堀90番地

電話:0587-54-1111 (代表)